

# アドバンスト クリニカル・クラークシッ プーガイドブックー

2025年

大阪医科薬科大学

# 目 次

1. 建学の精神・学是 .....	1
2. 理念・目的 .....	2
3. コンピテンシーズレベルマトリクス .....	3
4. 3つのポリシー .....	6
5. アドバンスト クリニカル・クラークシップを始めるにあたって .....	9
6. クリニカル・クラークシップの一般目標・行動目標 .....	10
7. アドバンスト クリニカル・クラークシップ心得 .....	11
8. 服装について .....	14
9. 臨床実習生（医学）が実施する医行為について .....	15
10. 臨床推論において鑑別すべき疾患リスト（例） .....	16
11. 実習中の感染予防とその対策 .....	17
12. 新型コロナウイルス感染予防のための行動指針 .....	19
13. 実習中の針刺し・切創・血液・体液汚染事故における対処 .....	21
14. アドバンスト クリニカル・クラークシップの実施概略 .....	22
15. 実習責任者の皆様へ .....	23
16. 臨床実習に関する誓約書・包括同意書・個別同意書 .....	24
17. アドバンスト クリニカル・クラークシップにおける評価について .....	27
18. 学則及び別表 .....	29
19. 医学部規程及び別表 .....	47
20. 資料	
別紙1 総合評価表（学生評価）	
1) 総合評価表 .....	56
2) 短縮版臨床評価表 mini-CEX (mini-clinical evaluation exercise) .....	57
3) 症例検討評価表 CbD (case-based discussion) .....	58
4) 手技観察評価表 DOPS (direct observation of procedural skills) .....	59
5) 多面的行動評価 360度評価 MSF (Multiple-Source Feedback) .....	60

## 別紙2 レポート入力（ユニバーサルパスポート）

1) 自己評価 .....	61
2) 学生評価 .....	62
3) 有意事象分析 SEA (Significant Event Analysis) .....	63
4) 症候チェックリスト .....	64
5) 医行為チェックリスト .....	68
6) 経験症例 .....	74

## 別紙3 出席表（サンプル） .....

75

21. 2025年 院内選択科目・実習プログラム .....	76
22. 2025年 教育機関一覧（総合実習）・実習プログラム .....	180
23. 2025年 教育機関一覧（院外）・実習プログラム .....	188
24. 2025年 教育機関一覧（診療所）・実習プログラム .....	342
25. 2025年 教育機関（単位互換科目） .....	386
26. 2025年 教育機関一覧（海外） .....	389
27. 地図一覧 .....	391

## 1. 建学の精神・学是

### 大阪医科薬科大学 建学の精神

国際的視野に立った良質の教育、研究および医療の実践を通して至誠仁術を体現する医療人を育成する

#### 学是

「至誠仁術」

「理念」  
「目的」

#### 医学部目的

3つのポリシー

ディプロマポリシー

カリキュラムポリシー

アドミッションポリシー

相互に参照



コンピテンス/コンピテンシー

カリキュラムマップ

医学部  
3つの  
方針



## 2. 理念・目的

### 大阪医科薬科大学 理念

大阪医科薬科大学（以下、「本学」という。）は、建学の精神及び学是（至誠仁術）に基づき、国際的視野に立った教育、研究或いは良質な医療の実践をとおして、人間性豊かで創造性に富み人類の福祉と文化の発展に貢献する医療人を育成する。（学則第1条）

### 大阪医科薬科大学 目的

本学は、前条の理念に基づき、豊かな人間性と国際的視野を備えた次の人材を育成することを目的とする。（学則第2条）

1. 人類共通の課題である健康の維持増進並びに疾病の予防と克服及び苦痛の軽減に努める人材
2. 変化する社会に対応し最新の知識と最良の技術を生涯学び続ける人材
3. 地域医療から世界に通じる研究開発にわたる領域で探究心を持って活躍する人材

### 医学部 目的

学則に定める本学の目的に基づき、医学部医学科の目的は、次の各号のとおりとする。（医学部規程第2条）

1. 生命の尊厳と人権の尊重を基本に、人々の生き方や価値観を尊重できる豊かな人間性を育成する。
2. 多様な人材と共同し、医学や医療の分野で国際的に通用する新しい知識や技術を創造できる能力を育成する。
3. 科学的知識と倫理的判断に基づき、疾病および治療に関する専門知識、情報や技術を効果的に活用した医療が実践できる能力を育成する。
4. 医師として地域社会の特性を学び、多職種と連携し協働してさまざまな健康課題に取り組むことができる能力を育成する。
5. 医師として専門能力を自律的に探求し、継続的に発展させる基本的姿勢を育成する。

### 大阪医科薬科大学病院 理念

社会のニーズに応える安全で質の高い医療を皆様に提供するとともに良識ある人間性豊かな医療人を育成します。

### 3. コンピテンシーズレベルマトリクス

	コア クリニカル・ クラークシップ	アドバンスド クリニカル・ クラークシップ
<b>倫理とプロフェッショナリズム</b>		
大阪医科薬科大学学生は、卒業時に：  高度専門職人としての高い自律性と、大阪医薬大人としての誇りをもとに、自己管理能力とリーダーシップをもちながら、患者を含めた他者に敬意をもって接することができ、生涯にわたって学び続け、社会に貢献することができる。		
1. 高度専門職にあるものとして相応しい身なり、態度、言葉遣い、行動を、職務遂行時または非遂行時にかかわらず自ら進んで行うことができる。	B	A
2. 医師の法的責任、規範、所属機関の内規等を遵守するとともに、倫理的責任にまで配慮し、行動できる。	B	A
3. 高度専門職に必要な社会への説明責任を果たすことができる。	B	A
4. 患者情報などの個人情報を守秘する責務を理解し、実践できる。	B	A
5. 至誠仁術を学是とする大阪医薬大人として誇りを持ち、大学の発展に直接的または間接的に貢献できる。	A	A
6. 医療従事者としての自己管理を実践できる。	B	A
7. 多様性を受容する人間性を持ち、自立と指導監督との適切なバランスを常に保つことができる。	B	A
8. 医学や医療の発展、人類の福祉や公衆衛生の向上に貢献することの重要性を理解し、実践できる。	B	A
<b>医学科学的知識</b>		
大阪医科薬科大学学生は、卒業時に：  医学、医療及びそれらの基礎となる科学的知識を十分に理解し、学修した知識を実践的知識として臨床や研究に有効に活用できる。  卒業生は：		
1. 生命現象の理解に必要な科学的知識を有し、関連する法則や理論を説明できる。	A	A
2. 医学研究や診療に必要な情報に関する基礎知識を有し、情報の適切な取り扱いに活用できる。	B	A
3. ヒトの行動や心理の変化を理解する基礎知識を有し、医学、医療に活用できる。	B	A
4. 人体の正常構造と機能を熟知し、臨床に応用できる。	A	A
5. 代表的な疾患の病因、病態及び病的状態の成立機序を説明できる。	A	A
6. 代表的な疾患の診断と治療に関する知識を有し、活用できる。	A	A
7. 外来診療やベッドサイドで求められる基本的な診療手技及び診療技術に関する知識を有し、活用できる。	B	A
8. エビデンスに基づく医療（EBM）を十分に理解し、経験に基づく医療との違いを説明でき、常に最新のエビデンスを検索収集してEBM実践に活用できる。	B	A
<b>実践的診療能力</b>		
大阪医科薬科大学学生は、卒業時に：  統合された科学的知識、技能、態度及び倫理的判断に基づいて、疾病及び治療に関する専門知識や技術を効果的に活用しながら、患者に敬意と思いやりをもちつつ、個人を尊重した、全人的で安全かつ適切な診療を実践できる。  卒業生は：		
1. 患者の主要な病歴を、心理的、社会的背景を含め、正確かつ適切に聴取し記録できる。	B	A
2. 成人及び小児患者の身体診察を適切に実施し、所見を正確に記録できる。	B	A
3. 臨床推論により、鑑別診断を挙げながら、系統立てて主要疾患を診断できる。	B	A
4. 重要な疾患（頻度、緊急性、重症度の高い疾患）の診断と治療に必要な検査を選択し、主な検査所見を適切に解釈できる。	B	A
5. 基本的臨床手技（緊急処置を含む）を安全かつ適切に実施できる。	B	A
6. 患者の心理的、社会的因子を考慮しながら、患者中心の適切な治療計画を立てられる。	B	A
7. 診断、治療及び全身管理に参加できる。	B	A
8. 病状説明、患者教育及び退院計画策定に参加し、監督または指導のもとで実施できる。	B	A
9. 診療録や要約などの医療文書を適切に作成、管理し、伝達やプレゼンテーションができる。	B	A
10. ICTを活用し、EBMを重視して、質の高い、適切かつ効果的な医療を実践できる。	B	A
11. 医療のリスク、医療安全、感染対策及び個人情報保護を理解し、遵守、実践、管理ができる。	A	A

12. 主要な疾患の予防計画を策定し、実施できる。	B	A
13. 状況に応じて指導医や上級医にコンサルトする必要性を理解し、実践できる。	A	A
14. 個々の医療機関の特徴や特殊性を理解し、状況に応じた最適な医療を提案できる。	B	A
<b>自律的探求能力</b>		
大阪医科薬科大学学生は、卒業時に：  基礎と臨床を総合して、科学的思考に基づいて批判的に学習することができる。医師や医学者としての自己を生涯に渡って向上させ続ける姿勢をもつことができる。基礎や臨床の興味ある領域を研究することができる。		
1. 医学や科学の広い範囲を、探究心や豊かな感性を持って学ぶことができる。	B	A
2. 基礎と臨床を総合して、科学的な思考に基づいて、疑問を発しつつ学ぶことができる。	B	A
3. 自己の現在の知識や技能を的確に評価して、さらに向上するための計画を立てて実行することができる。	B	A
4. 自己を生涯に渡って向上させ続ける動機を形成し、その姿勢をもつことができる。	B	A
5. 基礎や臨床の興味ある領域の研究を、方法を学び過程を記録しつつ、推し進めることができる。	B	A
6. 研究成果を学内あるいは学外に向けて、口演、ポスターまたは論文によって、発表することができる。	A	A
7. 研究における倫理的問題への配慮ができる。	A	A
<b>多職種連携とコミュニケーション</b>		
大阪医科薬科大学学生は、卒業時に：  他の医療職の多様な立場や考え方を理解し、尊重し、傾聴と共感力をもって相手と接することができる。また、自分の考えをわかりやすく正確に説明し伝えることができる。それにより患者中心の多職種連携医療を実践するために、チーム医療の場において主体性を持って広く良好な人間関係を構築することができる。  卒業生は：		
多職種連携： 1. 多職種よりなるチーム医療の意義を理解し、実践できる。	A	A
2. 医師の役割を理解し、医師としての責務を果たすことができる。	A	A
3. 他の医療職の職能と役割及び立場を理解し、尊重することができる。	A	A
4. 医療従事者すべてのメンバーと、敬意を払って効果的な意見交換ができる。	A	A
5. 多職種連携医療に係わる地域医療と福祉制度を理解し、多面的な観点から健康課題に取り組むことができる。	B	A
コミュニケーション： 1. 患者及び患者家族と、常に患者と家族を支持する誠実、高潔、かつ公平な姿勢を保ちながら、敬意を払って接することができる。	A	A
2. 患者及び家族の心理的、社会的背景に配慮し双方向的で良好な人間関係が構築できる。	A	A
3. 医師あるいは他の医療職よりなる医療チームのメンバーとの意志疎通を円滑に行い、医療現場における良好な人間関係を構築できる。	A	A
4. 医療チームの一員として、報告、連絡及び相談を適時かつ確に行うことができる。	A	A
<b>医療の社会性と国際性</b>		
大阪医科薬科大学学生は、卒業時に：  本邦の医療経済、法規、環境、疫学及び予防の側面、ならびに国際保健を深く理解したうえで、地域の特性を考慮した適切な判断に基づく医療を提供できる。医学情報発信に必要な外国語表現力を身につけ、海外の医療者と積極的に情報交換できる。  卒業生は：		
社会性： 1. 地域医療の体制、機能及び現状を理解したうえで、最適な医療を判断し提供できる。	B	A
2. 地域保健、福祉及び介護システムを理解し、分野間連携を図りながら効果的に活用できる。	B	A
3. 医師法、医療法及び医療関連法規を理解し、遵守しながら行動できる。	A	A
4. 医療経済の背景と現状を理解し、効率性と公平性のバランスにも配慮した医療を判断し提供できる。	B	A
5. 健康及び疾病に影響する環境因子を理解し、必要に応じて産業保健を活用し、あるいは災害医療を実践できる。	A	A
6. 疫学及び統計の概念と諸指標の意義及び現状について理解し、提供する医療の科学的背景及び根拠として示すことができる。	A	A
7. 代表的な疾患に関する予防医学（一次、二次、三次予防）を理解し、実践できる。	A	A
国際性： 1. 検疫体制を含めた国際保健を理解し、必要に応じてグローバルな疾病の説明あるいは対応ができる。	A	A
2. 医学情報発信に必要な外国語表現力を養い、実践できる。	A	A
3. 海外の医学生を含む医療者と積極的に交流し、情報交換できる。	A	A

## コンピテンシー達成レベル表

レベル(達成度)	Advanced	Applied	Basic	Basic		
<b>倫理とプロフェッショナリズム</b>						
大阪医科薬科大学学生は、卒業時に：	A	B	C	D	E	F
高度専門職人としての高い自律性と、大阪医薬大人としての誇りとともに、自己管理能力とリーダーシップをもちながら、患者を含めた他者に敬意をもって接することができ、生涯にわたって学び続け、社会に貢献することができる。	高度専門職人としての態度・価値感を現場で実践できることが単位認定の要件である	高度専門職人としての態度・価値感を模範的に示せることが単位認定の要件である	基盤となる態度・価値観を示せることが単位認定の要件である	基盤となる知識を示せることが単位認定の要件である	経験する機会はあるが、単位認定に関係ない	経験する機会がない
<b>医学科学的知識</b>						
大阪医科薬科大学学生は、卒業時に：	A	B	C	D	E	F
医学、医療及びそれらの基礎となる科学的知識を十分に理解し、学修した知識を実践的知識として臨床や研究に有効に活用できる。	実践の場で問題解決に応用できることが単位認定の要件である	問題解決に応用できる知識を示せることが単位認定の要件である	基盤となる知識の出典、引用方法、信頼度を示せることが単位認定の要件である	基盤となる知識を示せることが単位認定の要件である	修得する機会はあるが、単位認定に関係ない	修得する機会がない
<b>実践的診療能力</b>						
大阪医科薬科大学学生は、卒業時に：	A	B	C	D	E	F
統合された科学的知識、技能、態度及び倫理的判断に基づいて、疾病及び治療に関する専門知識や技術を効果的に活用しながら、患者に敬意と思いやりをもちつつ、個人を尊重した、全人的で安全かつ適切な診療を実践できる。	診療の一部として実践できることが単位認定の要件である	模擬診療を実施できることが単位認定の要件である	基盤となる態度、スキルを示せることが単位認定の要件である	基盤となる知識を示せることが単位認定の要件である	経験する機会はあるが、単位認定に関係ない	経験する機会がない
<b>自律的探求能力</b>						
大阪医科薬科大学学生は、卒業時に：	A	B	C	D	E	F
基礎と臨床を総合して、科学的思考に基づいて批判的に学習することができる。医師や医学者としての自己を生涯に渡って向上させ続ける姿勢をもつことができる。基礎や臨床の興味ある領域を研究することができる。	実践できることが単位認定の要件である	研究計画の立案、研究の見学、参加が単位認定の要件である	基盤となる態度、スキルを示せることが単位認定の要件である	基盤となる知識を示せることが単位認定の要件である	経験する機会はあるが、単位認定に関係ない	経験する機会がない
<b>多職種連携とコミュニケーション</b>						
大阪医科薬科大学学生は、卒業時に：	A	B	C	D	E	F
他の医療職の多様な立場や考え方を理解し、尊重し、傾聴と共感力をもって相手と接することができる。また、自分の考えをわかりやすく正確に説明し伝えることができる。それにより患者中心の多職種連携医療を実践するために、チーム医療の場において主体性を持って広く良好な人間関係を構築することができる。	診療の一部として実践することが単位認定の要件である	模擬診療を実施できることが単位認定の要件である	基盤となる態度、スキルを示せることが単位認定の要件である	基盤となる知識を示せることが単位認定の要件である	経験する機会はあるが、単位認定に関係ない	経験する機会がない
<b>医療の社会性と国際性</b>						
大阪医科薬科大学学生は、卒業時に：	A	B	C	D	E	F
本邦の医療経済、法規、環境、疫学及び予防の側面、ならびに国際保健を深く理解したうえで、地域の特性を考慮した適切な判断に基づく医療を提供できる。医学情報発信に必要な外国語表現力を身につけ、海外の医療者と積極的に情報交換できる。	実践できることが単位認定の要件である	模範的に実践できることが単位認定の要件である	基盤となる態度、スキルを示せることが単位認定の要件である	基盤となる知識を示せることが単位認定の要件である	経験する機会はあるが、単位認定に関係ない	経験する機会がない

## 4. 3つのポリシー

### 大阪医科薬科大学医学部 3つのポリシー

#### アドミッションポリシー（入学者受入の方針）

大阪医科薬科大学は、建学の精神及び学是（至誠仁術）に基づき、国際的視野に立った教育、研究或いは良質な医療の実践をとおして、人間性豊かで創造性に富み人類の福祉と文化の発展に貢献する医療人を育成するため、次のような人材を求めています。

- (1) 人類共通の課題である健康の維持増進並びに疾病の予防と克服及び苦痛の軽減に努める人材
- (2) 変化する社会に対応し最新の知識と最良の技術を生涯学び続ける人材
- (3) 地域医療から世界に通じる研究開発にわたる領域で探究心を持って活躍する人材

そこで医学部では、次のような学生を求めています。

#### 求める学生像

1. 医学を学ぶ明確な目的と意欲をもっている人
2. 医学を学ぶために必要な知識・技能、思考力・判断力・表現力をもっている人
3. 人に対する思いやりと豊かな人間性、および高い倫理性をもっている人
4. 他の人の意見を尊重し、コミュニケーション能力を涵養できる人
5. 知的好奇心と探究心をもって、自ら生涯にわたり課題の発見と解決に取り組むことのできる人
6. 柔軟な思考ができ、多様化と国際化に向かう現代社会に適応できる人

#### 大学入学までに身につけておくべき教科・科目等

1. 数学：知識に加え、数学的・論理的に思考し表現する能力
2. 理科：物理、化学、生物についての知識、科学的知識・思考にもとづいた判断力と探求心
3. 外国語：英語についての読解力・表現力と英語による基礎的なコミュニケーション能力
4. 国語：日本語文章の読解力・構成力、および日本語による表現力
5. 地理歴史・公民：基礎的な知識に加え、物事を社会的視点から理解する能力

#### 入学者選抜の基本方針

以上のような学生を選抜するため、以下の選抜を実施し、様々な要素を評価します。

- ・一般選抜では、知識・技能に加え、提出書類や面接等により思考力・判断力・表現力等の資質を評価します。
- ・総合型選抜では、知識・技能に加え、提出書類や面接等により主体性・協働性、思考力・判断力・表現力等の資質、また本学及び医学への関心・意欲を評価します。



- ・学校推薦型選抜では、知識・技能に加え、提出書類や面接等により主体性・協働性、思考力・判断力・表現力等の資質、また本学及び医学への関心・意欲を評価します。

## **カリキュラムポリシー（教育課程編成の方針）**

大阪医科薬科大学の理念、および医学部医学科の目的のもと、ディプロマポリシーに示された学修成果を学生が達成することを目的として、教育課程編成の方針を以下のように定めます。

### **1. 初期教育**

教養教育科目や医学準備教育科目の講義、セミナー、実習を通して、医学・医療を学修するために必要な知識、態度、技術を修得します。

### **2. 基礎医学教育**

基礎医学科目の講義と実習を通して、社会医学、臨床医学に活用できる体系的な知識を修得します。

### **3. 社会医学・臨床医学教育**

医療経済、医療保険、医療法規などの講義を通して、代表的な疾患の病態、診断、治療・予防についての知識を修得します。

### **4. 臨床実習**

コア・クリニカル・クラークシップでは、大学病院の各診療科において実習を行い、アドバンスト・クリニカル・クラークシップでは、主に地域の医療機関で臨床実習を行い、医療の現場を教室として患者から学ぶことにより、実践的な診療能力を獲得します。

### **5. 医療プロフェッショナルリズム**

早期体験実習から参加型臨床実習を通して、医療の全体的な流れを体験的に学びつつ、医療人に必要な倫理やチーム医療でのコミュニケーション能力等を修得します。また、地域医療実習などを通して、医療人として地域固有の課題を見つけ解決する能力を獲得します。

### **6. 語学・国際交流**

医療面接や海外との情報受発信に必要な語学力を修得します。国際交流や海外研修の機会により、国際性豊かな医療人を育成します。

### **7. リサーチマインド**

リサーチマインドを醸成し、自ら課題を発見し、それを解決する姿勢を獲得します。また、EBM (evidence-based medicine) を実践する能力を獲得します。

### **8. データサイエンス**

データサイエンスおよびAI導入により激動する未来の医療界における自らの在り方を省察し、未来における諸問題を解決する能力を獲得します。数理科学に基づいた統計的アプローチやデータ分類、解釈、解析、表現法について学び、データを正しく評価、活用する基盤となるリテラシーを身に着けます。

### **9. 多職種連携**

医薬看融合教育を含む、他学部の学生とともに学び討論する教育を通し、チーム医療を実践する能力を獲得します。

上記の方針をもとに編成した教育課程では、講義、演習、実習等の教育内容に応じて、アクティブラーニング、体験型学修、オンライン教育なども活用した教育、学修を実践します。

## **ディプロマポリシー（学位授与の方針）**

建学の精神・学是に則り、種々の活動を通じて強い倫理観、責任感、および指導力を涵養しつつ、医学を中心とした諸科学の知識を身につけ、医師や医学研究者としての資質と能力を将来にわたって発揮できる人材の育成を目指しています。

必要な所定の単位を修得し、以下の能力を獲得した学生に対して卒業を認定し、学士（医学）を授与します。

### **1. 倫理とプロフェッショナリズム**

高い倫理性と誇りをもって、自己管理能力とリーダーシップを有し、他者に敬意をもって接することができる。

### **2. 医学・科学的知識**

医学における科学的知識について十分に理解し、診療や研究に活用できる。

### **3. 実践的診療能力**

統合された医学・科学的知識、技能に基づいて、高い倫理観を有し、患者に敬意と思いやりをもって、医療行為を実践できる。

### **4. 自律的探求能力**

医師や医学研究者としての能力の向上を目指し、生涯にわたって自ら学習することができる。

### **5. 多職種連携とコミュニケーション**

他の医療職の立場や考え方を理解、尊重しながら自分の考えを伝え、チーム医療において良好な人間関係を構築することができる。

### **6. 医療の社会性と国際性**

医療の社会性に関する基本的な知識を身につけたうえで、地域の特性を考慮した適切な判断に基づく医療を提供できる。また医学情報発信に必要な外国語表現力を身につけ、海外の医療者・研究者や患者とコミュニケーションを取ることができる。

## 5. アドバンスト クリニカル・クラークシップを始めるにあたって

医学教育センター

「コア クリニカル・クラークシップ」を終えて、アドバンスト クリニカル・クラークシップが始まる。アドバンストはコアとは違った目的を含んでいる。一般的に大学病院には、先進医療を実施している機関として、診断や治療が困難な症例、複雑あるいは稀な病態や、先進的な医療研究の目的のため検査治療方針が一般レベルとは異なる症例が多く集まる傾向がある。そのため、高頻度の症候・疾患や救急、あるいは一般レベルの検査治療など、臨床実習で経験すべきとされる症例を全学生が経験するためには、積極的に学外協力病院での実習を行うべきである。

諸君のほとんどは将来臨床医になるだろう。日常臨床に必要な事柄は数多くある。卒業時に最低ラインクリアすべき項目として、ディプロマポリシーにまとめられている。本学のディプロマポリシーは6項目から成っている。そのなかに医療の社会性やコミュニケーションというキーワードがある。臨床医の相手は患者、すなわち人間である。患者の病気を治すのは、機械を修理するのとは意味が違う。診断・治療が科学的エビデンスに基づいて正しく実施されたとしても、まず患者にそれらを説明し、納得してもらう必要がある。その前提として患者に信頼されなければならない。「信頼」にもそれぞれの場面で程度の差はある。手術など重大な事柄の前には、十分な信頼が必要であるが、比較的時間をとってそれを行うからむしろ容易かもしれない。一方、日々の外来診察をみたとき、例えば初診患者を診察する場合、その一瞬で信頼を得なければならない。それは単なるテクニックではないし、マニュアル本で解決できるものではない。アドバンストではコアとは違った観点からも患者に接してもらいたい。多くの学ぶべきことや考えさせられる出来事に遭遇できるだろう。将来、日常臨床を行っていくうえでの原点となる出来事に接することができるかもしれない。

臨床研修医制度が変わって10年以上が過ぎてその光と影が明確になってきた。本制度が始まった当初はクリ・クラの改革が叫ばれる以前であり、またごく最近まで卒前と卒後教育は別次元のことであるという考え方が当たり前であった。クリ・クラの改革から、卒前教育からスムーズに卒後教育がなされるべきであるという意見がでてきた。すなわち、クリ・クラ、卒後臨床研修、さらには専門医研修までシームレスな連携の必要性が言われ始めた。そういう考え方では、アドバンスト クリニカル・クラークシップが卒後臨床研修へのつなぎ目としての役割は大きい。学生諸君も本コースの役割を認識し、自覚をもって臨んでもらいたい。実際、4年制大学を卒業した同級生たちはすでに社会の第一線で活躍しているはずである。是非有意義なアドバンスト クリニカル・クラークシップにしてもらいたい。



## 6. クリニカル・クラークシップの一般目標・行動目標

### 一般目標 (General Instructional Objective)

統合された科学的知識、技能、態度及び倫理的判断に基づいて、疾病及び治療に関する専門知識や技術を効果的に活用しながら、患者に敬意と思いやりをもちつつ、個人を尊重した、全人的で安全かつ適切な診療を実践できる能力を修得する。

### 行動目標 (Specific Behavioral Objective)

1. 患者の主要な病歴を、心理的、社会的背景を含め、正確かつ適切に聴取し記録できる。
2. 成人及び小児患者の身体診察を適切に実施し、所見を正確に記録できる。
3. 臨床推論により、鑑別診断を挙げながら、系統立てて主要疾患を診断できる。
4. 重要な疾患（頻度、緊急性、重症度の高い疾患）の診断と治療に必要な検査を選択し、主な検査所見を適切に解釈できる。
5. 基本的臨床手技（緊急処置を含む）を安全かつ適切に実施できる。
6. 患者の心理的、社会的因子を考慮しながら、患者中心の適切な治療計画を立てられる。
7. 診断、治療及び全身管理に参加できる。
8. 病状説明、患者教育及び退院計画策定に参加し、監督または指導のもとで実施できる。
9. 診療録や要約などの医療文書を適切に作成、管理し、伝達やプレゼンテーションができる。
10. ICT を活用し、EBM を重視して、質の高い、適切かつ効果的な医療を実践できる。
11. 医療のリスク、医療安全、感染対策及び個人情報保護を理解し、遵守、実践、管理ができる。
12. 主要な疾患の予防計画を策定し、実施できる。
13. 状況に応じて指導医や上級医にコンサルトする必要性を理解し、実践できる。
14. 個々の医療機関の特徴や特殊性を理解し、状況に応じた最適の医療を提案できる。

## 7. アドバンスト クリニカル・クラークシップ心得

この心得は本学学生が大学病院等で実習を行うにあたり、遵守すべき一般的事項を定めたものである。学生は病院内の教職員の指示や注意に従い、病院運営を阻害するようなことがあってはならない。

### 1. 臨床実習生（医学）として必要な基本的姿勢・態度

臨床実習を受ける医学部生として必要な基本姿勢・態度は下記に示す。

#### （1）患者－医師関係

- 1）患者、家族のニーズを身体・心理・社会的側面から把握できる。
- 2）守秘義務を果たし、プライバシーへの配慮ができる。

#### （2）チーム医療

- 1）指導医に適切なタイミングでコンサルテーションができる。
- 2）指導医や他の医療従事者と適切なコミュニケーションがとれる。

#### （3）問題対応能力

- 1）臨床上的の疑問点を解決するための文献検索などの情報収集を行い、最良の選択を提示する。
- 2）自己管理能力（時間厳守、体調管理）を身に付け、生涯にわたり基本的診療能力の向上に努める。

#### （4）安全管理

- 1）医療を行う際の安全確認の考え方を理解し、実施できる。
- 2）医療事故防止及び事故後の対処について、マニュアルなどに沿って行動できる。
- 3）院内感染対策（Standard Precautions を含む）を理解し、実施できる。

#### （5）症例呈示

カンファレンス等で症例呈示と討論ができる。

#### （6）医療の社会性

医療の持つ社会的側面の重要性を理解し、社会に貢献するために、医の倫理、生命倫理について理解し、適切に行動できる。

### 2. 集合時間及び集合場所

定められた時間・場所に集合する。場所は前もって確認しておき、時間を厳守する。予定表は本冊子に記載の通りであるが変更がある場合は指導医から伝達される。やむを得ず遅刻又は欠席をする場合は指導医に連絡する。

### 3. 服装・身だしなみ

不相当と認められた場合は実習を受けられない場合がある。

- 1）服装は清潔にして患者さんに不快感を与えないように心掛ける。
- 2）清潔な服・白衣を着用する。
- 3）清潔な靴を履く。
  - ・実習を受けるのに適した動きやすく清潔なものにすること。
  - ・スリッパ、サンダル、クロックスタイプの履物は認めない。

4) 所定の名札をつける。

5) ケーシタイプ以外の通常の白衣を着る時は、白衣の下に Y シャツを着用し、原則ネクタイを着用すること。

但し、夏季（クールビズ期間）はこの限りでない。

スクラブの着用は認めない。

6) 白衣の前ボタンはしめる。ボタンをはずして白衣をなびかせて歩かない。

7) その他の服装については、必ず指導医の指示に従う。

8) 手術室においては備え付けの学生用手術衣を着用する。

また手術室に入る際は清潔な靴をはくこと。

9) 頭髪はなるべく短くきれいに整髪する。

派手な色や髪型は避け、爪と共に常に手入れをしておく。

10) ひげは剃ること。

#### 4. 言葉遣い

1) 患者さんへは勿論のこと、他職種の職員に対しても丁寧な言葉を使う。

2) 患者さんは名前で呼ぶ。

おじいちゃん、おばあちゃんなど呼んではいけない。

3) ポケットに手を突っ込んだまま話をしない。

#### 5. 患者さんとの対応

1) 患者さんには誠意と親しみを持って対応する。

2) 患者さんから診断名、病状、検査結果、治療方針等について質問された時は、直ちに返答しないで指導医の指示に従う。

#### 6. 守秘義務

1) 患者さん個人及び病気に関する情報を他に漏らしてはいけない。

2) 個人情報保護に留意し、これに関する大学病院の規程を遵守する。

#### 7. 診療録・医療用器具等の取扱い

診療録、指示書、その他の書類、画像、診療用器械器具、薬品などをカンファレンス以外に所定の場所から持ち出してはならない。またそれらを撮影してはいけない。

#### 8. 誓約書

臨床実習を始めるにあたって、学生は誓約書の内容を十分に理解・同意し、真摯に遵守しなければならない。

#### 9. 評価表及び出欠表

1) 出欠表には毎日担当指導医等の検印又はサインをもらうこと。

2) 実習毎にクリニカル・クラークシップに対する学生の評価、自己評価および SEA をユニバーサルパスポート「マイステップ」に最終週直ぐの日曜日24時までに入力すること。

3) クリニカル・クラークシップは実習であり、全てに出席しなければならない。病気等で出席できない場合は、規程の様式に従って医学事務課に提出する。

## 10. スマートフォン

大学病院での臨床実習においては、常に電源をオンにしてスマートフォンを携帯する。紛失および破損には充分注意し、丁寧に扱うこと。クリニカル・クラークシップ終了後には、すみやかに学務部に返却する。

## 11. 医行為

下記の項目を満たしていれば、学生は医行為を行うことが可能である（別表参照）。

- 1) 侵襲性のそれほど高くない一定のものに限られること。
- 2) 医学部教育の一環として一定の要件を満たす指導医によるきめ細かな指導・監視の下に医行為を行わせること。
- 3) 臨床実習を行わせるに当たって事前に医学部生の評価を行うこと。
- 4) 臨床実習生（医学）である旨の明確な紹介及び患者等の同意を得て実施すること。

## 12. 医行為・症候および症例のチェックリスト

臨床実習期間において、見学あるいは経験した医行為・症候および経験症例について、適宜ユニバーサルパスポートに記入する。これは学生自身のポートフォリオとなる。

## 13. アンプロフェッショナルな行動

本学では「アンプロフェッショナルな行動」は以下のように定義する。

『診療参加型臨床実習において、臨床実習を受ける医学部生として必要な基本姿勢や態度に反し、患者関係や医療安全の面から、有害事象につながる行動』。

上記の1に記載された「臨床実習生（医学）として必要な基本姿勢・態度」に反するものだけでなく、大阪医科薬科大学学生等懲戒規程に該当する項目も含む。

## 授業準備学習（予習・復習）について

学修時間（授業、授業準備学習）と単位については、

1 単位の学修時間＝45時間（学修時間＝授業時間＋授業準備学習時間）

授業（講義、演習など）には、一定時間の授業準備学習（事前事後学習）時間が求められています。

授業形態	単位計算方法	1 コマ45分の授業に対して必要な学習時間
講 義	1 単位：15時間	<u>事前学習1時間</u> + 講義1時間 + <u>事後学習1時間</u>
演 習	1 単位：30時間	<u>事前学習15分以上</u> + 演習1時間 + <u>事後学習15分以上</u>
実 習	1 単位：45時間	

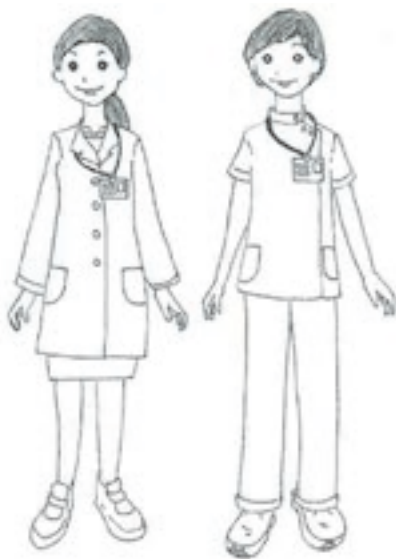
講義・演習の授業は、授業時間学習だけでは不十分であり、授業前後の準備学習（事前事後学習）をしっかりとすることが重要です。

## 8. 服装について

本学病院における医学部生の服装は以下のように定められています。清潔感を与える服装を心がけてください。

### 清潔感を与える服装【男性】

ヘアスタイル	髪の色は黒に近い色（他人が見て自然な色） 髪は清潔に保つ 長い髪は避ける 整髪料は無臭のもの
爪	短く切り清潔にする
アクセサリ	身に付けない 結婚指輪は可、ピアスは不可 時計は目立つものを使用しない（大きさ・色・形・厚み）
名札	必ず着用 ぶら下げずに左胸に固定 不要なシール・アクセサリをつけない 名札のストラップは首に掛ける
ユニフォーム	規定のユニフォームを使用する 白衣を使用時は前ボタンを留める Yシャツは派手な色を避ける ケーシー着用時は、色・柄付のTシャツを避ける 清潔であること スラックス丈は床につかない ジーンズは不可
ポケット	多くのものを詰め込まない
靴下	派手な色、柄物を避ける 素足は不可
靴	靴音がしないもの 清潔で活動的な靴 スリッパ、クロックスタイプ・サンダルは不可 派手な色・ものは履かない つま先クローズの靴でバックベルトは禁止
その他	食堂では診察着を着用しない 手術着、検査着は手術室、検査室以外では着用しない 眼鏡は自然で顔になじむ物 香水は不可 タバコの臭いは不可 実習中は飲食禁止



※診察や処置等の手指消毒が必要な場合は、指輪や腕時計ははずしてください。



### 清潔感を与える服装【女性】

ヘアスタイル	髪の色は黒に近い色（他人が見て自然な色） 髪は清潔に保つ 肩につく長さの髪は束ねてピンで留める 整髪料は無臭のもの
髪留め	黒、茶系で飾りがなく光らないもの 輪ゴムは黒か茶色
化粧	パール系は避けて、濃すぎない 口紅は自然で健康的に見える色 香水は不可。香りの強い化粧品は避ける
爪	短く切り清潔にする マニキュアは不可
アクセサリ	身に付けない 結婚指輪は可、ピアスは不可 時計は目立つものを使用しない（大きさ・色・形・厚み）
名札	必ず着用 ぶら下げずに左胸に固定 不要なシール・アクセサリをつけない 名札のストラップは首に掛ける
ユニフォーム	規定のユニフォームを使用する 白衣を使用時は前ボタンを留める ケーシー着用時は、色・柄付のTシャツを避ける 清潔であること スラックス丈はくるぶしまでとする ジーンズは不可
ポケット	多くのものを詰め込まない
靴下	派手な色、柄物を避ける ストッキングは肌色　ハイソックスは黒色 素足は不可
靴	靴音がしないもの 清潔で活動的な靴 スリッパ、クロックスタイプ・サンダルは不可 ヒールや派手な色・ものは不可 つま先クローズの靴でバックベルトは禁止
カーディガン	色は黒、紺、白 移動時のみ着用
その他	食堂では診察着を着用しない 手術着、検査着は手術室、検査室以外では着用しない 眼鏡は自然で顔になじむ物 タバコの臭いは不可 実習中は飲食禁止

## 9. 臨床実習生（医学）が実施する医行為について

医師養成の観点から臨床実習生（医学）が実施する医行為について

分類	①必須項目 医師養成の観点から臨床実習中に実施が 開始されるべき医行為	②推奨項目 医師養成の観点から臨床実習中に実施が 開始されることが望ましい医行為
診察	診療記録記載（診療録作成）※1 医療面接 バイタルサインチェック 診察法（全身・各臓器） 耳鏡・鼻鏡 眼底鏡 基本的な婦人科診察 乳房診察 直腸診察 前立腺触診 高齢者の診察（ADL 評価、高齢者総合機能評価）	患者・家族への病状の説明 分娩介助 直腸鏡・肛門鏡
一般手技	皮膚消毒 外用薬の貼付・塗布 気道内吸引※2 ネブライザー 静脈採血 末梢静脈確保※2 胃管挿入※2 尿道カテーテル挿入・抜去※2 注射（皮下・皮内・筋肉・静脈内） 予防接種	ギプス巻き 小児からの採血 カニューレ交換 浣腸
外科手技	清潔操作 手指消毒（手術前の手洗い） ガウンテクニック 皮膚縫合 消毒・ガーゼ交換 抜糸 止血処置 手術助手	膿瘍切開、排膿 嚢胞・膿瘍穿刺（体表） 創傷処置 熱傷処置
検査手技	尿検査 血液塗抹標本の作成と観察 微生物学的検査（Gram 染色含む） 妊娠反応検査 超音波検査（心血管） 超音波検査（腹部） 心電図検査 経皮的酸素飽和度モニタリング 病原体抗原の迅速検査 簡易血糖測定	血液型判定 交差適合試験 アレルギー検査（塗布） 発達テスト、知能テスト、心理テスト
救急※3	一次救命処置 気道確保 胸骨圧迫 バックバルブマスクによる換気 A E D※2	電気ショック 気管挿管 固定など整形外科的保存療法
治療※4	処方薬（内服薬、注射、点滴など）のオーダー 食事指示 安静度指示 定型的な術前・術後管理の指示 酸素投与量の調整※5 診療計画の作成	健康教育

※1 診療参加型臨床実習実施ガイドライン「学生による診療録記載と文章作成について」を参考に記載する

※2 特にシミュレータによる修得ののちに行うべき

※3 実施機会がない場合には、シミュレータによる修得も可である

※4 指導医等の確認後に実行される必要がある

※5 酸素投与を実施している患者が対象



## 10. 臨床推論において鑑別するべき疾患リスト（例）

主要症候について鑑別診断を検討し、診断の要点を説明できる。

主要症候	検討すべき鑑別疾患（例）
発熱	髄膜炎、急性副鼻腔炎、扁桃炎、上気道炎、インフルエンザ、肺炎、結核、感染性心内膜炎、胆嚢炎、胆管炎、尿路感染症、蜂巣炎、薬剤性
全身倦怠感	甲状腺機能低下症、結核、心不全、肝炎、鉄欠乏性貧血、うつ病
食思(欲)不振	消化性潰瘍、急性肝炎、急性副腎不全、うつ病
体重減少	甲状腺機能亢進症、慢性閉塞性肺疾患(COPD)、悪性腫瘍全般、糖尿病、神経性食思(欲)不振症(拒食症)、うつ病
体重増加	甲状腺機能低下症、心不全、ネフローゼ症候群
意識障害	脳出血、脳梗塞、頭蓋内血腫、脳炎、てんかん、くも膜下出血、髄膜炎、心筋梗塞、急性大動脈解離、急性消化管出血、敗血症、薬物中毒、アルコール性中毒、CO2ナルコーシス、低血糖、ナトリウム代謝異常、ショック
失神	てんかん、肺塞栓症、不整脈、弁膜症(大動脈弁膜症)
けいれん	脳梗塞、脳出血、脳炎、脳症、熱性けいれん、てんかん
めまい	脳出血、脳梗塞、良性発作性頭位めまい症、Meniere 病、前庭神経炎
浮腫	甲状腺機能低下症、心不全、肝硬変、ネフローゼ症候群、慢性腎臓病、薬剤性、深部静脈血栓症、リンパ浮腫、血管性浮腫
発疹	ウイルス性発疹症(麻疹)、ウイルス性発疹症(風疹)、ウイルス性発疹症(水痘)、ウイルス性発疹症(ヘルペス)、帯状疱疹、伝染性紅斑、薬疹、蕁麻疹、皮膚炎(アトピー性皮膚炎)、結節性紅斑、湿疹
咳・痰	副鼻腔炎、アレルギー性鼻炎、上気道炎、感冒(かぜ症候群)、百日咳、気管支炎、気管支喘息、肺炎、肺結核、肺癌、間質性肺疾患、胃食道逆流症(GERD)、薬剤性
血痰・咯血	気管支拡張症、肺結核、肺癌
呼吸困難	急性喉頭蓋炎、窒息、気管支喘息、肺塞栓症、急性呼吸促(窮)迫症候群(ARDS)、慢性閉塞性肺疾患(COPD)、肺炎、間質性肺疾患、肺結核、緊張性気胸、自然気胸、心不全、アナフィラキシー
胸痛	肺塞栓症、気胸、胸膜炎、急性冠症候群、急性心膜炎、急性大動脈解離、大動脈瘤破裂、帯状疱疹、パニック障害
動悸	甲状腺機能亢進症、不整脈、鉄欠乏性貧血、二次性貧血、パニック障害、不安障害
嚥下困難	脳出血、脳梗塞、扁桃炎、食道癌
腹痛	消化性潰瘍、機能的ディスペプシア(FD)、急性胃腸炎、急性虫垂炎、憩室炎、虚血性大腸炎、腸間膜動脈塞栓症、便秘症、過敏性腸症候群、腸閉塞、腸重積症、汎発性腹膜炎、鼠径ヘルニア、胆嚢炎、胆石症、急性膵炎、急性冠症候群、急性大動脈解離、子宮内膜症、異所性妊娠、流・早産、卵巣嚢腫(捻転)、卵巣癌(捻転)、尿路結石、糖尿病性ケトアシドーシス
悪心・嘔吐	脳出血、くも膜下出血、頭蓋内血腫、髄膜炎、片頭痛、急性胃腸炎、急性虫垂炎、腸閉塞、食中毒、急性心筋梗塞、妊娠、糖尿病性ケトアシドーシス、カルシウム代謝異常
吐血	食道静脈瘤、Mallory-Weiss 症候群、胃癌、消化性潰瘍
下血	消化性潰瘍、炎症性腸疾患、虚血性大腸炎、憩室出血、大腸癌、痔核、裂肛
便秘	Parkinson病、甲状腺機能低下症、便秘症、過敏性腸症候群、腸閉塞、大腸癌、薬剤性
下痢	甲状腺機能亢進症、急性胃腸炎、炎症性腸疾患、過敏性腸症候群、薬剤性
黄疸	急性肝炎、慢性肝炎、肝硬変、肝癌、胆管炎、胆管癌、膵癌、溶血性貧血、薬剤性、生理的黄疸
腹部膨隆・腫瘤	肝硬変、腸閉塞、鼠径ヘルニア、妊娠
リンパ節腫脹	扁桃炎、ウイルス性発疹症(風疹)、結核、伝染性単核(球)症、悪性リンパ腫、その他の悪性腫瘍全般
尿量・排尿の異常	尿路感染症、前立腺肥大症、過活動膀胱、神経因性膀胱、薬剤性、糖尿病
血尿	糸球体腎炎症候群、腎細胞癌、尿路結石、尿路感染症、膀胱癌
月経異常	月経困難症、子宮内膜症、子宮体癌、妊娠、薬剤性、更年期障害
不安・抑うつ	認知症、Parkinson病、甲状腺機能亢進症、甲状腺機能低下症、悪性腫瘍全般、薬剤性、うつ病、双極性障害、不安障害、適応障害
認知機能障害	認知症、Parkinson病、脳梗塞、正常圧水頭症、慢性硬膜下血腫、甲状腺機能低下症、薬剤性、うつ病
頭痛	片頭痛、緊張型頭痛、群発頭痛、脳出血、くも膜下出血、髄膜炎、緑内障、急性副鼻腔炎、巨細胞性動脈炎(側頭動脈炎)、薬剤性
運動麻痺・筋力低下	脳梗塞、一過性脳虚血発作、脳出血、頭蓋内血腫、てんかん、脊髄損傷、椎間板ヘルニア、筋萎縮性側索硬化症、Guillain-Barre 症候群、多発性筋炎、皮膚筋炎、カリウム代謝異常
歩行障害	脳出血、頭蓋内血腫、脳梗塞、Parkinson 病、変形性脊椎症、脊柱管狭窄症、椎間板ヘルニア、変形性関節症、骨折
感覚障害	脊柱管狭窄症、椎間板ヘルニア、多発神経炎、糖尿病
腰背部痛	急性大動脈解離、急性膵炎、膵癌、尿管結石、椎間板ヘルニア、変形性脊椎症、脊柱管狭窄症、脊椎椎体骨折、急性腰痛症、化膿性脊椎炎
関節痛・関節腫脹	化膿性関節炎、変形性関節症、関節リウマチ、全身性エリテマトーデス(SLE)、反応性関節炎、痛風、偽痛風、外傷

## 11. 実習中の感染予防とその対策

実習中、感染性疾患に感染する可能性があり、患者さんに感染性疾患を伝播する危険性もあります。感染性疾患は自分自身や患者さんにとって、時には重症化することもあるため実習中は以下の注意事項を守ってください。感染症の流行時には、発表されている行動指針を参照してください。

### 1. 自分自身の健康チェック

毎日、健康観察表に、体温、体調を記載してください。実習当日の朝、体調不良の場合、必ずまず保健管理室に連絡してください。自己判断で登校しないでください。また実習中に体調、気分不良となった場合は、指導医に報告し、保健管理室に連絡してください。普段から自分自身の健康管理に注意してください。低栄養の予防、過労防止、睡眠・休養の確保、生活リズムの維持、適切な水分補給を心がけましょう。

### 2. ワクチン接種

4 種感染症（麻疹・風疹・流行性耳下腺炎・水痘）や B 型肝炎の抗体価が基準を満たない場合はワクチン接種をしてください。接種後は速やかに保健管理室に書類を提出してください。接種確認ができない場合、臨床実習に出席できない場合があります。

### 3. 感染性の疾患に罹患した場合、疑わしい症状がある場合

学校保健安全法に定める疾患、他の感染性疾患に罹患した場合、あるいは疑わしい症状がある場合は、実習を休み、直ちに保健管理室に電話で報告し指示を受けてください。受診希望の場合でも、病院に直接来院せず、保健管理室に電話で相談してください。この場合の欠席（出席停止）については不利にならないよう配慮します。これらの疾患の中には、成人が発症すると重症化することもありますので注意してください。

#### 【学校保健安全法で定める感染症】

インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症、百日咳、麻疹、流行性耳下腺炎、風疹、水痘、咽頭結膜炎、結核、腸管出血性大腸菌感染症、流行性角結膜炎、急性出血性結膜炎、感染性胃腸炎 等

### 4. 切創・針刺し事故・血液汚染事故が発生した場合

直ちに受傷部位、曝露部位を洗浄し、指導医、保健管理室に報告してください。その血液、体液等に感染症がない場合も保健管理室に報告してください。（『実習中の針刺し・切創・体液汚染事故における対処』を参照）

### 5. 手洗い、うがい、マスク、フェイスシールドの着用

- 1) 病棟内への出入り時、食事や作業の前後、外出後などは十分に手洗いとうがいをしましょう。またアルコールによる手指消毒も励行してください。
- 2) 実習にて病院内で患者に接する場合に限らず、周辺の環境に接触する場合も、その前後に手洗いを行いましょう。手に目に見える汚れがない場合は、アルコールによる手指消毒での手洗いが有効です。目に見える汚れがある場合など、流水と石鹸を使用して手洗いをする場合は、石鹸で泡立てた手を少なくとも15秒かけ、手と指の全表面をくまなく両手で洗い、流水で洗い流し手を完全に乾かしてください。手拭きはペーパータオルやご自身のタオルを使用してください。



- 3) 臨床実習では、必ず不織布マスクを着用してください。手術見学の際は必ずゴーグルを装着するようにしてください。
- 4) 必要な状況以外では、他人とは社会的距離を保つように、心掛けてください。

## 12. 新型コロナウイルス感染予防のための行動指針

大学および病院内での感染拡大を防止するために、医療にかかわる者として責任ある行動をとってください。なお、出校停止（修学制限）により修学上の不利益がないように対応しますので、休むべきときは、しかるべき手続きの上、休んでください。

### 1. 登校前の検温、体調チェック

毎朝、体温測定、体調チェックを行ってください。

### 2. 発熱などの感冒様症状がある場合の対応

発熱（目安は 37.0度以上、または平熱 +0.5度以上）、鼻水、咳、咽頭痛、倦怠感などの感冒様症状や、味覚、嗅覚異常がある場合、以下のように対応してください。

①保健管理室開室時間内であれば、登校せず、保健管理室に電話連絡（072-684-6550）してください。

保健管理室開室時間 月～金 8：30～16：50、第1、3、5土曜 8：30～12：40

E-mail hokekan@ompu.ac.jp

②保健管理室開室時間外であれば、緊急性が高くないと判断される場合、市販薬の服用などで対応、保健管理室開室時間まで自宅待機して、保健管理室開室後に保健管理室に電話連絡してください。

③保健管理室開室時間内外にかかわらず、自らの判断で解熱鎮痛剤を服用して、連絡なしに登校はしないでください。

### 3. 肺炎症状など緊急性が高い症状が出た場合の対応

呼吸困難、強い倦怠感、高熱などの肺炎症状やその他、緊急性が高い症状が出た場合には、早急に保健管理室に連絡（電話あるいはE-mail）をしてください。また、夜間、休日など保健管理室時間外の場合は、救急車を呼んで指定された医療機関へ搬送、受診してください。

### 4. 出校停止について

大学および病院内での集団感染防止のため、新型コロナウイルス感染症が疑わしい場合は24時間以上の出校停止となります。出校停止期間中は保健管理室が健康管理を行い、学校医など医師の登校許可によって再登校可能となりますが、出校停止により修学上の不利益がないように対応します。ただし、①体調不良であるにも関わらず連絡がない、②事後報告、③出校停止期間を守らず、自己判断で登校する、④その他、客観的に不適切と判断される理由の場合には出校停止扱いにはなりません。

### 5. 新型コロナウイルス感染症と診断された時の対応

①新型コロナウイルス感染症と診断された場合、発症日を0日とし、5日間を経過し、かつ症状（発熱、強い咳症状など）が軽快した後1日（実習生は2日）を経過するまで出校停止・再登校となります。再登校後5日間は健康観察となります。必ず保健管理室にて健康チェックを受けてください。（実習生は健康観察期間中、KN95マスクを着用し実習に参加）また、その場合は詳細を保健管理室に必ず連絡してください。

②同居人や1泊もしくは一定時間以上行動を共にした人が新型コロナウイルス感染症と診断された場合、最終接触日を0日とし5日間の健康観察となります。詳細を保健管理室に必ず連絡し、出席前に必ず体調チェックを受けてください。（実習生は健康観察期間中、KN95マスク着用し実習に参加）

6. 本学病院（時間外救急外来）受診日の注意点

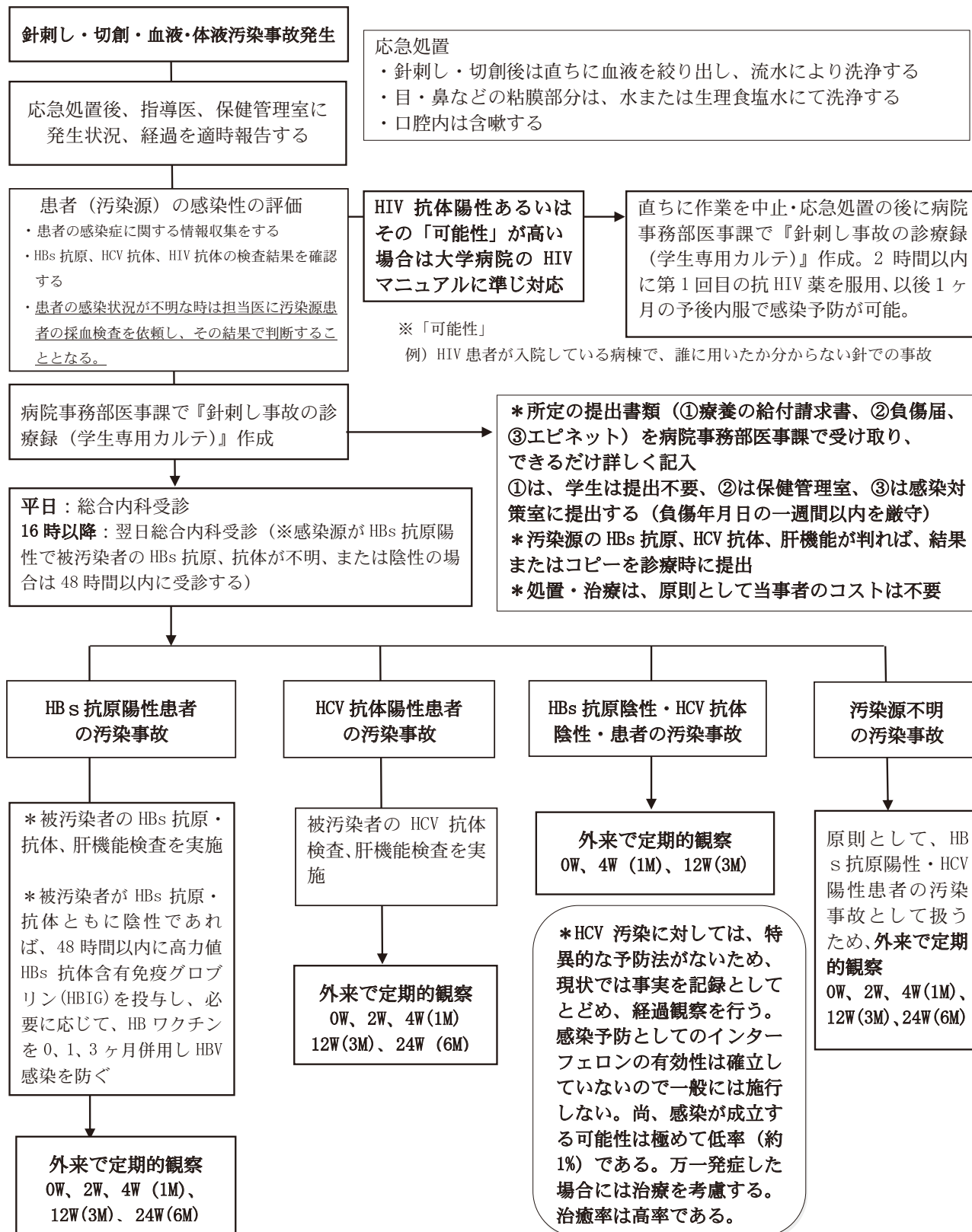
本学病院の時間外外来（救急）を受診する場合は、一般の方と同様に事前に時間外受付（電話：072-683-1221）に電話して許諾を得てください。

### 13. 実習中の針刺し・切創・血液・体液汚染事故における対処（大阪医科薬科大学病院）

多くの患者様に接する機会の多い医療現場は、いかなる部門にかかわらず、血液・体液曝露のリスクにさらされている環境です。事故原因は個人の不注意・過失だけではありません。

実習中に事故が発生してしまった場合、直ちに以下の手順で対処して下さい。また、その血液・体液等に感染症がないと判っていても、保健管理室に事故の旨を報告して下さい。

抗原抗体検査を行い自分の感染状況を知りワクチン接種をするなど、日頃から感染を防ぐ対策に努めましょう。



## 14. アドバンスト クリニカル・クラークシップの実施概略

### 科目の概要：

自ら選択した医療現場で、診療チームの一員として、診療業務を分担しながら、現場での思考法（臨床推論）や実技、医療や学習への態度を含めた医師の職業的能力を総合的に学び、実際の患者及びその家族や医師以外の医療職とのコミュニケーションを通して、現場での業務を実践的に学ぶことにより、医師としての基本的臨床能力を修得する。

上記科目の概要を達成するための具体的内容（科目のゴール）はこのガイドブックにある選択科目ごとのシラバスに明記している。

### 1. 実施方法

- 1) 期間：2025年2月3日 － 6月27日
- 2) 選択科目ごとに4週間あるいは2週間のプログラムとする。
- 3) クリニカル・クラークシップを主体とした診療参加型臨床実習とする。

### 2. 選択方法

- 1) 選択科目ごとの実習内容等を参考にして、学生自身が実習機関を選択する。
- 2) 選択科目ごとに定員が設定されており、定員を超えないように調整する。
- 3) 少なくとも12週間以上および3カ所以上は本学以外での実習を取り入れる。

### 3. 評価方法

- 1) 各選択科目の実習終了後、実習責任者が別紙1の総合評価表（電子データ）により評価する。
- 2) 各選択科目独自に評価を行う場合は、各臨床実習プログラムに明記している。
- 3) 学生は選択科目ごとにアドバンスト クリニカル・クラークシップに対する学生の評価、自己評価およびSEAをユニバーサルパスポート「マイステップ」に最終週直ぐの日曜日24時までに入力すること。
- 4) 別紙3の出席表をアドバンスト クリニカル・クラークシップ終了後に、医学事務課に提出する。
- 5) アドバンスト クリニカル・クラークシップの総合評価は医学教育センター長が行う。

### 4. 留意事項

- 1) 実施内容に記載している注意点を理解し、遵守する。
- 2) 臨床現場では、実習責任者ならびにスタッフの指示に従う。
- 3) 何らかの問題が発生した場合は、ただちに実習責任者に報告、相談する。
- 4) 臨床実習生（医学）として誠実かつ真摯な態度で実習に臨む。

## 15. 実習責任者の皆様へ

アドバンスト クリニカル・クラークシップにご協力いただきありがとうございます。下記要領にて実習および評価にご協力よろしくお願い申し上げます。

### 1. 実習学生について

- 1) 事前にお伺いしておりました受入可能期間および定員数に従い、学生に希望調査いたしました。実習学生ならびに実習期間は別紙にてお知らせしております。
- 2) 学生にかかわる実習先での医療事故については、学生本人が加入する学生傷害保険の範囲内で対応いたします。
- 3) 針刺し事故等で実習先でかかった診療費は原則として学生が支払うものとします。

### 2. 評価について

- 1) 実習終了後、本誌別紙1（総合評価表）により各学生の評価を行い、お渡ししている CD-R 内のエクセルシートにデータをご入力の上、本学医学事務課に提出してください。アドバンスト クリニカル・クラークシップにおける評価には、総合評価表、短縮版臨床評価表（Mini-CEX）、症例検討評価表（CbD）、手技観察評価表（DOPS）および360度評価（MSF）があります。できるだけ多くの評価を行うことで、精度の高い学生評価に基づいた良医の育成に繋がります。これらの評価が実施可能かどうかは実習の環境および診療科によることは承知しておりますが、本学が2018年に医学教育分野別評価の国際認証を得ましたので、必須の総合評価に加え、ひとつでも多くの方法で評価をお願いいたします。
- 2) 評価結果は、実習終了後1週間以内に電子メールでの送付をお願いいたします。あるいは、記載ページを印刷したうえ郵送していただいてもかまいません。
- 3) 独自の評価を行った場合はその結果もあわせてご報告ください。
- 4) 各実習機関での評価結果を基にして、医学教育センター長がアドバンスト クリニカル・クラークシップとして総合的に最終的な学生の評価を行います。

### 3. 連絡先について

ご意見、お気づきの点がありましたら、遠慮なく以下の連絡先までお知らせください。

連絡先：大阪医科薬科大学 学務部 医学事務課

Tel：072-684-6227（直通）平日 9：00～16：50

Fax：072-684-6884

Mail：edcs@ompu.ac.jp

16. 臨床実習に関する誓約書・包括同意書・個別同意書

## 誓 約 書

～診療参加型臨床実習に参加するにあたって～

大阪医科薬科大学医学部長 殿

大阪医科薬科大学病院長 殿

臨床教育協力機関 院長 殿

私は診療参加型臨床実習（以下、実習）に参加するに当たり、指導教員より、以下の内容について十分な説明を受け、理解・同意いたしました。つきましては、下記事項を遵守することを誓約いたします。

1. 「アドバンスト クリニカル・クラークシップガイドブック」に則って実習を行います。実習の内容は、病院および診療所の診療上の必要性や現実的制約によって、妥当な範囲で変更することがあることを了解しました。
2. 私は臨床実習生（医学）であることから、医行為は単独で、もしくは自己判断で行わず、必ず指導医の指導・監督の下に行います。
3. 実習は、医療行為の見学も含め包括及び個別同意に基づいて行います。
4. 担当患者には、指導医の紹介の下に臨床実習生（医学）であることを告げ、指導医とともに実習に対する患者の個別同意を得ます。
5. 実習中にアンプロフェッショナルな行為は行いません。
6. 基本的な診察手技の習得にあたっては、自ら被検者にもなることを心掛けます。
7. 患者などが保有する病原体が、血液・排泄物・分泌物を介し自らに感染する危険性があること、及びその予防法について指導医より事前に十分な説明を受けます。
8. 病院および診療所の諸規則、及び指導医または病院職員による指導に従い、感染防止を含めた医療安全の確保のために、常に十分な注意を払います。
9. 実習中の事故（針刺し事故等）については、病院職員の職務遂行中の事故に準じて取り扱われることを了解しました。
10. 常に患者の個人情報の取り扱いに留意し、実習中に知り得た患者情報は決して他に漏らしません。また、自らの実習に関係のない情報を閲覧することもしません。個人情報保護に留意し、これに関する病院・診療所の規程を遵守します。
11. 電子カルテの利用に際し、「診療情報管理に関する個人及び業務パーソナルコンピュータの取扱いに関する細則」及び「電子カルテ使用の注意点」を遵守し、原則として診療情報は印刷しません。電子カルテの記載に関しては特にプロフェッショナルとしての自覚を持って行います。診療録の記載についても、上記に準じて行います。
12. 上記に違反した場合に、学則による懲戒を受けます。

20 年 月 日

大阪医科薬科大学医学部

学籍番号： \_\_\_\_\_ 氏名： \_\_\_\_\_



～医学生の臨床実習について～  
ご協力をお願い

大阪医科薬科大学病院長

本院では、あなたに最善の医療を提供するとともに、大学病院として医療人を育成するための、医学生による**診療参加型臨床実習**（以下、**実習**）を行っております。あなたの診療を担当する医療チームには、実習を行うに足る十分な知識、技術、態度を身につけていると認定された学生が臨床実習生（医学）として参加させていただいております。

次世代の医療を担う医学生の育成について是非、ご理解とご協力をお願いいたします。

臨床実習生（医学）が実施できる医療行為は、あらかじめ限定され、かつ担当医の指導の下で行われます。また、当院におけるすべての診療において適用されることとなります。もし実習中に、何か気が付かれたこと、また、疑問や問題点などがございましたら、どうぞ遠慮なさらずに、速やかに医療スタッフまで申し出てください。臨床実習生（医学）に対する指導など、病院長ならびに教育責任者が誠意をもって対応させていただきます。

なお、あなたは実習への協力を辞退することもできますし、協力にご同意いただいた後もいつでも撤回することができます。いずれの場合でも診療上の不利益を被ることはございません。その他、何かご不明な点がございましたら、担当者までお申し出ください。

**診療参加型臨床実習とは**

医学生が医療チームの一員として診療に加わり、医療の実際を学んで行く実習です。医学生が実習を通して医師としての態度・技能を学ぶことは、将来質の高い医療を社会に提供できる医師になるために必要とされています。

**臨床実習生（医学）とは**

全国統一の臨床能力試験（知識・実技を含む）に合格した学生のことで、診療に参加し実習を行うための一定の能力を有すると認められています。

説明者氏名 \_\_\_\_\_

**同 意 書**

大阪医科薬科大学病院長 殿

診療参加型臨床実習について説明を受け、臨床実習生（医学）が私の診療に参加することに同意します。

20 \_\_\_\_ 年 \_\_\_\_ 月 \_\_\_\_ 日

あなたのお名前 \_\_\_\_\_

※もしくは保護者/代理人のお名前（続柄）

\_\_\_\_（ \_\_\_\_ ）\_\_\_\_



15466000111110050290000000000000



～医学生の臨床実習について～  
ご協力のお願い

大阪医科薬科大学病院長

本院では、あなたに最善の医療を提供するとともに、大学病院として医療人を育成するために、医学生による**診療参加型臨床実習**（以下、**実習**）を行っております。あなたの診療を担当する医療チームには、実習を行うに足る十分な知識、技術、態度を身につけていると認定された学生が臨床実習生（医学）として参加させていただいております。

次世代の医療を担う医学生の育成について是非、ご理解とご協力をお願いいたします。

臨床実習生（医学）が実施できる医療行為は、あらかじめ限定され、かつ担当医の指導の下で行われます。また、当院におけるすべての診療において適用されることとなります。もし実習中に、何か気が付かれたこと、また、疑問や問題点などがございましたら、どうぞ遠慮なさらずに、速やかに医療スタッフまで申し出てください。臨床実習生（医学）に対する指導など、病院長ならびに教育責任者が誠意をもって対応させていただきます。

なお、あなたは実習への協力を辞退することもできますし、協力にご同意いただいた後もいつでも撤回することができます。いずれの場合でも診療上の不利益を被ることはございません。その他、何かご不明な点がございましたら、担当者までお申し出ください。

本臨床実習生（医学）が患者様を担当させていただく期間は、  
20\_\_\_\_年\_\_\_\_月\_\_\_\_日から20\_\_\_\_年\_\_\_\_月\_\_\_\_日あるいは退院日までの予定です。  
担当期間中は臨床実習生（医学）が病室に伺いますのでご協力をよろしくお願い申し上げます。

説明者氏名

# 同意書

大阪医科薬科大学病院長 殿

診療参加型臨床実習について説明を受け、臨床実習生（医学） \_\_\_\_\_  
が私の診療に参加することに同意します。

20 年 月 日

あなたのお名前

※もしくは保護者/代理人のお名前（続柄）

( )



## 17. アドバンスト クリニカル・クラークシップにおける評価について

### 1. 総括的評価について

指導医は、シラバスに記載した項目に準拠して臨床実習の評価を行う。すなわち、プロフェッショナリズム・医学的知識と問題対応能力・診療技能と患者ケア・コミュニケーション能力・チーム医療の実践・科学的探究について、総合評価表を用いて、学生の評価を行う。実習終了後に、指導医は総合評価表を医学事務課に提出する。

### 2. 形成的評価について

アドバンスト クリニカル・クラークシップにおいて、学生が学修目標のどこまで修得しているか、また、どのような行動を改善する必要があるかについて、指導・評価を行うのにいくつかの手法がある。例えば、実習中におけるレポート作成の指導、医療面接・身体診察での実地指導および学生に対するフィードバックなどである。また、大学病院においては、ユニバーサルパスポート「マイステップ」を通じて、学生へのフィードバックを行う。学修すべき医行為および症候のチェックリスト（別表）を参考にしながら、臨床実習の指導を行う。

学生は、医学的知識を単に「知っている」だけではなく、その知識をもとに医師として必要な技能が「できる」ようになる必要がある。知識は、筆記試験で評価することが可能であるが、技能は評価できない。そこで、知識や技能を用いて「できる」ことの評価が、「パフォーマンス評価」である。「パフォーマンス評価」とは、「ある特定の状況下で、様々な知識や技能などを用いて行われる人の振る舞いを、直接的に評価する方法」である。アドバンスト クリニカル・クラークシップでは、医療現場での観察評価すなわち Workplace-based Assessments (WPBA) が、パフォーマンス評価として用いられる。また、単に評価するだけでなく、学生にフィードバックすることで、成長を促すことも重要である。そこで、アドバンスト クリニカル・クラークシップでは、以下の4評価を行う。

#### 1) 症例検討評価 CbD (case-based discussion)

回診あるいは症例検討などで行う。学生が担当している入院患者の報告を指導医に行い、指導医との間で議論し、その内容の評価を行うことである。最初に学生は、指導医の前で担当患者のプレゼンテーションを行う。次に、指導医から、臨床評価・今後の検査・コンサルテーション・治療方針などの計画・プロフェッショナリズム等について質問され、議論を行う。学生は、指導医の評価後にフィードバックを受ける。

#### 2) 手技観察評価 DOPS (direct observation of procedural skills)

採血や手術などの手技で行う。指導医は学生の診療手技の評価を行う。

#### 3) 短縮版臨床評価 Mini-CEX (mini-clinical evaluation exercise)

病歴聴取や身体診察時に行う。学生が患者から病歴聴取や身体診察を行う際に、指導医が学生の行動を評価する。具体的には、学生が指導医の前で臨床行為（病歴聴取・身体診察）を行い、指導医にそのサマリーを報告し、診断と治療方針を述べる。学生は、指導医の評価後にフィードバックを受ける。

#### 4) 多面的行動評価 360度評価 MSF (Multiple-Source Feedback)

臨床実習現場での多職種（看護師・技師など）が学生の評価を行う。具体的には、実習責任者が多職種から数人を評価者として選定する。患者との信頼関係やプロフェッショナルな関係を維持する、言語的コミュニケーション技術、チームにおいて働く・同僚とともに働く、プロフェッショナリズム・連絡等について評価する。さらに学生の良かった行動や心配な行動についてコメント欄に具体的に記載する。評価表は医学教育センターに集められ、場合により医学教育センターから学生にフィードバックを行う。なお学生にフィードバックを行う際には、評価者の名前は公表されない。

## 大阪医科薬科大学 学則

(昭和27年2月20日施行)

### 第1章 総 則

(理 念)

**第1条** 大阪医科薬科大学（以下、「本学」という。）は、建学の精神及び学是（至誠仁術）に基づき、国際的視野に立った教育、研究或いは良質な医療の実践をとおして、人間性豊かで創造性に富み人類の福祉と文化の発展に貢献する医療人を育成する。

(目 的)

**第2条** 本学は、前条の理念に基づき、豊かな人間性と国際的視野を備えた次の人材を育成することを目的とする。

- (1) 人類共通の課題である健康の維持増進並びに疾病の予防と克服及び苦痛の軽減に努める人材
- (2) 変化する社会に対応し最新の知識と最良の技術を生涯学び続ける人材
- (3) 地域医療から世界に通じる研究開発にわたる領域で探究心を持って活躍する人材

(自己点検及び評価)

**第3条** 本学は、その教育研究水準の向上を図り、前条の目的及び社会的使命を達成するため、本学における教育研究活動等の状況について自ら点検及び評価を行うものとする。

2 前項の点検及び評価の方法等については、別に定める。

(学部及び大学院)

**第4条** 本学に、医学部医学科、薬学部薬学科及び看護学部看護学科を置く。

- 2 医学部医学科の入学定員は110名、収容定員は660名とする。
- 3 薬学部薬学科の入学定員は294名、収容定員は1,764名とする。
- 4 看護学部看護学科の入学定員は85名、収容定員は340名とする。

**第4条の2** この学則に定めるもののほか、各学部の必要な事項は、本学医学部規程、薬学部規程及び看護学部規程（以下、「学部規程」という。）に定める。

**第5条** 本学に、大学院を置く。

- 2 大学院に関し必要な事項は、大阪医科薬科大学大学院学則の定めるところによる。

(修業年限)

**第6条** 医学部医学科の修業年限は、6年とする。

- 2 薬学部薬学科の修業年限は、6年とする。
- 3 看護学部看護学科の修業年限は、4年とする。

(在学年限)

**第7条** 医学部医学科の在学年限は、第1・2学年次、第3・4学年次、第5・6学年次に区分し、各区分において4年を超えることはできず、通算して12年以内とする。

- 2 薬学部薬学科の在学年限は、第1学年次から第4学年次までは、同一年次に2年を超えて在学することはできず、通算して12年以内とする。ただし、同一年次の在学年数が年度の途中で2年を超えることとなる者については、その年度が終了するまで当該学年に在学することができる。
- 3 看護学部看護学科の在学年限は、通算8年以内とする。ただし、同一年次に2年を超えて在学することはできない。

(学 年)

**第8条** 学年は、4月1日に始まり翌年3月31日に終る。

(学 期)

**第9条** 学年を、次の2学期に分ける。

前期 4月1日から9月30日まで

後期 10月1日から翌年3月31日まで

(休業日)

**第10条** 定期休業日は、次のとおりとする。

- (1) 土曜日及び日曜日
  - (2) 国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日
  - (3) 本学創立記念日
  - (4) 春季休業
  - (5) 夏季休業
  - (6) 冬季休業
- 2 学長は、前項に定めるもののほか臨時の休業日を定めることができる。また、教育上必要と認めた場合は、定期休業日であっても授業及び試験を行うことができる。

## 第2章 入学、再入学及び転入学

(入学等の時期)

**第11条** 入学、再入学及び転入学の時期は、学年の始めとする。

(入学資格)

**第12条** 本学に入学することができる者は、次の各号のいずれかに該当する者とする。

- (1) 高等学校（中等教育学校の後期課程を含む。）を卒業した者

- (2) 通常の課程による１２年の学校教育を修了した者又は通常の課程以外の課程によりこれに相当する学校教育を修了した者
- (3) 外国において学校教育における１２年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者
- (4) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
- (5) 専修学校の高等課程（修業年限が３年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣の指定したものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- (6) 文部科学大臣の指定した者
- (7) 大学入学資格検定規程（昭和２６年文部省令第１３号）により文部科学大臣の行う大学入学資格検定に合格した者又は高等学校卒業程度認定試験に合格した者
- (8) 本学の個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められ、１８歳に達した者

（入学志願手続）

**第１３条** 入学志願者は、所定の入学願書及び学部規程に定める入学検定料を添えて学長に願出しなければならない。

（合格者の選考）

**第１４条** 入学志願者に対しては試験を行い、その成績により合格者を選考する。

（入学手続及び入学許可）

**第１５条** 前条に定める選考の結果に基づき合格の通知を受けた者は、所定の期日までに必要書類を学長に提出するとともに、別表に定める入学金及び学費の一部を納入しなければならない。

２ 保証人は、両親又はこれに代る成年に達した親族とする。

３ 保証人は、学生の在学中に係る一切の事項について、責任を負うものとする。

**第１６条** 学長は、前条に定める入学手続を完了した者に、入学を許可する。

（再入学）

**第１７条** 本学を退学した者又は第３０条第４号により除籍された者で、再入学を志願する者については、選考の上、相当の学年次に入学を許可することがある。

２ 再入学に関し必要な事項は、学部規程に定める。

（転入学）

**第１７条の２** 他の大学の学生で、当該大学長又は学部長の承認を得て転入学を志願する者については、学長が入学を許可することができる。

(転学部)

**第17条の3** 転学部を願い出る者があるときは、選考の上、許可することがある。

2 転学部の取扱いについては、別に定める。

### 第3章 教育課程及び履修等

(教育課程及び履修方法)

**第18条** 学生が履修すべき授業科目、単位数及び年次配当は、学部規程に定める。

2 総合的な学力等を判定する試験（統合的な試験）を所定の課程に加えることができる。

3 本学則に定めるもののほか、履修方法の細目については、学部規程に定める。

(単位の計算方法)

**第19条** 各授業科目の単位数は、1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成するものとし、次の基準により計算するものとする。

(1) 講義、チュートリアル及び演習については、15時間から30時間までの範囲で学部規程に定める時間の授業をもって1単位とする。

(2) 実験、実習及び実技については、30時間から45時間までの範囲で学部規程に定める時間の授業をもって1単位とする。

(1年間の授業期間)

**第20条** 1年間の授業を行う期間は、35週にわたることを原則とする。

(成績の評価)

**第21条** 授業科目の成績は、試験その他の評価により行う。

2 評価は原則として100点法によって行い、60点以上を合格、59点以下を不合格とし、90点以上を秀(S)、80点以上89点以下を優(A)、70点以上79点以下を良(B)、60点以上69点以下を可(C)、59点以下を不可(D)と表示する。

3 不合格となった授業科目については、再試験を行うことがある。

4 試験及び成績の評価の実施に関し必要な事項は、学部規程に定める。

**第21条の2** 前条の評価に対してグレード・ポイント（以下、「GP」という。）を設定し、GPの平均値であるグレード・ポイント・アベレージ（以下、「GPA」という。）を算出する。

2 GP及びGPAの取扱いについては、学部規程に定める。

(追試験)

**第22条** 病気その他やむを得ない理由により、試験を受けられなかった者については、追試験を行うことがある。

2 追試験の実施に関し必要な事項は、学部規程に定める。



(単位の認定)

**第23条** 授業科目の成績の評価を行い、合格とされた学生に対し、所定の単位を与える。

2 前項の単位認定は、学部長が当該教授会の議を経て学長に報告し、学長が決定する。

(既修得単位の認定)

**第24条** 他の大学を卒業し、又は中途退学し、新たに本学の第1学年次に入学した学生の既修得単位については、教育上有益と認めるときは、その学力を確認した上で本学において修得したものとして認定することができる。

2 前項の定めにより認定することができる単位は、合計30単位を限度とする。

3 前2項の取扱いについては、学部長が当該教授会の議を経て学長に報告し、学長が決定する。

(他学部及び他大学等における授業科目等の履修)

**第25条** 本学が、教育上有益と認めるときは、本学の他学部及び他の大学等（外国の大学等を含む。）との協議に基づき、学生に当該学部及び当該大学等の授業科目等を履修させることができる。

2 前項の取扱いについては、学部長が当該教授会の議を経て学長に報告し、学長が決定する。

## 第4章 休学、復学、転学、退学及び除籍

(休学)

**第26条** 病気その他やむを得ない理由により、休学しようとする者は、医師の診断書又は詳細な理由書を添えて、保証人連署のうえ学長に願い出て、学期単位を原則として休学することができる。

2 病気その他の理由により修学することが不適当と認められる者については、学長は休学を命ずることができる。

3 休学に関する取扱いは、学部規程に定める。

(復学)

**第27条** 休学期間中に、その理由がなくなったときは、学長の許可を得て復学することができる。

2 復学は、原則として学年又は学期の始めでなければならない。

3 第1項の規定により復学が許可された場合には、休学前の既修得単位及び成績はそのまま認める。

(転学)

**第28条** 他の大学へ、入学又は転入学を志願しようとする者は、保証人連署の上、学長に所定の退学願を提出しなければならない。



(退 学)

**第29条** 病気その他やむを得ない理由により、退学しようとする者は、保証人連署の上、学長に所定の退学願を提出しなければならない。なお、必要に応じその他書類の提出を求める場合がある。

2 学業成績の不振が一定期間続く学生に対しては、退学を命ずることがある。

(除 籍)

**第30条** 次の各号のいずれかに該当する者は、当該教授会の意見を踏まえ、学長が決定し、除籍する。

- (1) 第7条に定める在学年限を超えた者
- (2) 在学年限内に所定の単位を修得できないことが明らかな者
- (3) 学部規程に定める休学年限を超えてなお復学できない者
- (4) 第35条に定める学費について、納入期限経過後督促してもなお未納の者
- (5) 長期間にわたり行方不明の者
- (6) 死亡した者

## 第5章 進級及び卒業

(進 級)

**第31条** 当該学年次又は当該学期の所定の課程を修了した者については、当該教授会の議を経て、学部長が単位及び進級を認定し、学長が決定する。

(卒 業)

**第32条** 第6条に定める修業年限以上在学し、医学部医学科においては学部規程に定める所定の単位を修得し、かつ、総合試験に合格した者には、医学部教授会の議を経て、医学部長が卒業を認定し、学長が決定のうえ卒業証書及び学士（医学）の学位を授与する。

2 前項の総合試験に関しては、医学部教授会の議を経て、医学部長が別に定め、学長が決定する。

3 第6条に定める修業年限以上在学し、薬学部薬学科においては学部規程に定める所定の単位を修得した者には、薬学部教授会の議を経て、薬学部長が卒業を認定し、学長が決定のうえ卒業証書及び学士（薬学）の学位を授与する。

4 第6条に定める修業年限以上在学し、看護学部看護学科においては学部規程に定める所定の単位を修得した者には、看護学部教授会の議を経て、看護学部長が卒業を認定し、学長が決定のうえ卒業証書及び学士（看護学）の学位を授与する。

## 第6章 賞 罰

(褒 章)

**第33条** 成績優秀操行善良で他の模範であると学長が認めるときは、教授会の議を経て、

学生を褒賞することができる。

(懲 戒)

**第34条** 教育上必要があると学長が認めるときは、当該教授会の意見を踏まえ、学生に懲戒を加えることができる。なお、懲戒に関し必要な事項は、大阪医科薬科大学学生等懲戒規程に定める。

## 第7章 入学金及び学費

(入学金及び学費)

**第35条** 入学金及び学費の額は、別表に定める。

- 2 入学金及び学費は、原則として返還しない。
- 3 入学金及び学費は、経済事情の変化によりその金額を変更することがある。
- 4 第1項にかかわらず、入学時特待生制度等適用者の入学金及び学費については、別に定める。
- 5 学費の納入に関する取扱いについては、学部規程に定める。

(休学の場合における学費)

**第36条** 休学する者は、指定した期限までに学費のうち在籍料を納入しなければならない。ただし、学期途中に復学した者は、当該学費を納入しなければならない。

- 2 在籍料の額は、学部規程に定める。

## 第8章 研究生

(研究生)

**第37条** 本学開設の授業科目のうち特定分野に関し、研究を行おうとする者があるときは、選考の上研究生として許可することができる。

- 2 研究生に関し必要な事項は、学部規程に定める。

## 第9章 委託生、聴講生等

(委託生及び聴講生)

**第38条** 本学に委託生を託された場合は、その学歴を選考して許可することがある。

- 2 本学開設の授業科目の中から聴講することを希望する者があるときは、聴講生として許可することがある。
- 3 委託生及び聴講生に関し必要な事項は、学部規程に定める。

(単位互換履修生及び科目等履修生)

**第39条** 他の大学又は短期大学との協議に基づき、当該他の大学等に在学中の者を単位互換履修生として、本学における授業科目を履修させることができる。

- 2 特定の授業科目のうち1科目又は数科目を選んで履修し、単位を修得しようとする者があるときは、科目等履修生として許可することがある。
- 3 単位互換履修生及び科目等履修生に関し必要な事項は、学部規程に定める。

(外国人留学生)

- 第40条** 第12条に定める入学資格を有する外国人が本学に入学を志願するときは、選考のうえ外国人留学生として入学を許可することがある。
- 2 外国人留学生については別に定める。

## 第10章 公開講座

(公開講座)

- 第41条** 本学に公開講座を設けることがある。

## 第11章 学生の福利・厚生

(学生の福利・厚生)

- 第42条** 本学に福利・厚生施設を置く。その規則は、別に定める。

## 第12章 職員組織

(職員組織)

- 第43条** 本学に学長、学部長、大学病院長、図書館長その他の職員を置く。その規則は、別に定める。
- 2 前項に定めるもののほか、本学に副学長、学長補佐を置くことができる。
  - 3 学長は、校務をつかさどり、所属職員を統督する。
  - 4 副学長及び学長補佐は、学長の統督の下で教育及び研究に関する校務をつかさどる。
  - 5 学部長は、学長の統督の下で学部に関する校務をつかさどる。
- 第44条** 本学に教育及び研究のための教授、准教授、講師、助教、助手、技術職員等を置く。これらの定員及び資格については、別に定める。
- 第45条** 本学の事務を処理するため、一定数の事務職員を置く。
- 第46条** 本学の教職員を専任兼任に区別し、その勤務規則は、別に定める。

## 第13章 教授会

(教授会)

- 第47条** 教育研究に関する事項の審議機関として、各学部に教授会を置く。

2 教授会に関し、必要な事項は、別に定める。

## 第14章 附属施設

(附属施設)

**第48条** 本学に大学図書館、その他の附属施設を設ける。その規則は、別に定める。

**第49条** 本学に大学病院を設ける。その規則は、別に定める。

## 第15章 その他の組織

(その他の組織)

**第50条** 本学に教育研究に必要なその他の組織を設ける。

2 個々の組織の使命・構成等は、別に定める。

## 第16章 その他

(改 廃)

**第51条** この学則の改廃は、各学部の教授会及び法人運営会議の議を経て、理事会が行う。

**附 則** (昭和49年9月30日)

この改正は、昭和50年4月1日から施行する。

ただし、経過措置として第45条の総定員は昭和50に限り500名、昭和51年度に限り520名、昭和52年度に限り540名、昭和53年度に限り560名、昭和54年度に限り580名とする。

**附 則**

この改正は、昭和52年4月1日から施行する。

ただし、昭和51年度以前より在学する者については、改正後の第40条の規定にかかわらず、なお従前の例による。

**附 則**

この改正は、昭和53年4月1日より施行する。

ただし、昭和52年度以前より在学する者については、改正後の第40条の規定にかかわらず、なお従前の例による。

**附 則**

この改正は、昭和53年4月1日から施行する。

**附 則**

この改正は、昭和５４年４月１日より施行する。

**附 則**

この改正は、昭和５８年４月１日より施行する。

**附 則**

この改正は、昭和５９年４月１日より施行する。

ただし、昭和５８年度以前より在学する者については、改正後の第４０条の規定にかかわらず、なお従前の例による。

**附 則**

この改正は、昭和５９年４月１日より施行する。

ただし、昭和５８年度以前より在学する者については、改正後の第８条の規定にかかわらず、なお従前の例による。

**附 則**

この改正は、昭和６２年４月１日より施行する。

ただし、昭和６１年度以前より在学する者については、改正後の第７条の規定にかかわらず、なお従前の例による。

**附 則**

この改正は、平成元年４月１日より施行する。

ただし、昭和５８年度以前より在学する者については、改正後の第４０条の規定にかかわらず、次の通りとする。

期 間	納入期限	納 入 金 額			計
		授 業 料	実 習 料	施設拡充費	
第 １ 期	４月１５日	２０万円	１０万円	２０万６千円	５０万６千円
第 ２ 期	９月１５日	２０万円	１０万円	２０万６千円	５０万６千円
第 ３ 期	１月１５日	２０万円	１０万円	２０万６千円	５０万６千円
合 計		６０万円	３０万円	６１万８千円	１５１万８千円

**附 則**

この改正は、平成元年１０月１日より施行する。

**附 則**

この改正は、平成２年４月１日より施行する。

**附 則**

この改正は、平成３年４月１日より施行する。

**附 則**

この改正は、平成３年１０月１日より施行する。

**附 則**

この改正は、平成４年３月１日より施行する。

**附 則**

この改正は、平成７年４月１日から施行する。

ただし、平成６年度以前から在学する者については、改正後の第４０条の規定にかかわらず、なお従前の例による。

**附 則**

この改正は、平成８年４月１日から施行する。

ただし、平成７年度以前から在学する者については、改正後の第４０条の規定にかかわらず、なお従前の例による。

**附 則**

この改正は、平成９年４月１日から施行する。

ただし、平成８年度以前から在学する者については、改正後の第４０条の規定にかかわらず、なお従前の例による。

**附 則**

この改正は、平成９年４月１日から施行する。

ただし、平成８年度以前から在学する者については、改正後の規定にかかわらず、なお従前の例による。

**附 則**

この改正は、平成１０年４月１日から施行する。

ただし、平成９年度以前から在学する者については、改正後の第３６条の規定にかかわらず、なお従前の例による。

**附 則**

この改正は、平成１１年４月１日から施行する。

ただし、平成１０年度以前から在学する者については、改正後の第３６条の規定にかかわらず、なお従前の例による。

**附 則**

この改正は、平成１１年４月１日から施行する。



ただし、平成10年度以前から在学する者については、改正後の第33条の規定にかかわらず、なお従前の例による。

#### 附 則

この改正は、平成12年4月1日から施行する。

ただし、平成11年度以前から在学する者については、改正後の第36条の規定にかかわらず、なお従前の例による。

#### 附 則

この改正は、平成12年4月1日から施行する。

ただし、平成8年度以前から在学する者については、改正後の第32条の規定にかかわらず、なお従前の例による。

#### 附 則

この改正は、平成12年4月1日から施行する。

ただし、平成11年度以前から在学する者については、改正後の第18条の規定にかかわらず、なお従前の例による。

#### 附 則

この改正は、平成13年4月1日から施行する。

ただし、平成12年度以前から在学する者については、改正後の第36条の規定にかかわらず、なお従前の例による。

#### 附 則

この改正は、平成13年4月1日から施行する。

ただし、平成12年度以前から在学する者については、改正後の第18条の規定にかかわらず、なお従前の例による。

#### 附 則

この改正は、平成14年4月1日から施行する。

ただし、平成13年度以前から在学する者については、改正後の第18条、第36条の規定にかかわらず、なお従前の例による。

#### 附 則

この改正は、平成15年4月1日から施行する。

ただし、平成14年度以前から在学する者については、各学年次の前年度までの履修科目単位について改正後の規定にかかわらず、なお従前の例による。

#### 附 則

この改正は、平成15年4月1日から施行する。

ただし、平成14年度以前から在学する者については、改正後の第36条の規定にかかわらず、なお従前の例による。

**附 則**

この改正は、平成16年4月1日から施行する。

**附 則**

この改正は、平成16年4月1日から施行する。

ただし、平成15年度以前から在学する者については各学年次の前年度までの履修科目単位について改正後の規定にかかわらず、なお従前の例による。

**附 則**

この改正は、平成17年4月1日から施行する

**附 則**

この改正は、平成17年12月13日から施行する

**附 則**

この改正は、平成18年2月14日から施行する

**附 則**

この改正は、平成18年4月1日から施行する

**附 則**

この改正は、平成19年2月13日から施行する。

**附 則**

この改正は、平成19年4月1日から施行する。

**附 則**

この改正は、平成20年4月1日から施行する。

ただし、平成19年度以前から在学する者については、改正後の第36条の規定にかかわらず、なお従前の例による。

**附 則**

この改正は、平成21年3月1日から施行する。

**附 則**

この改正は、平成21年4月1日から施行する。

ただし、平成20年度以前から在学する者については、改正後の第7条の規定にかか

ならず、なお従前の例による。

**附 則**

この改正は、文部科学大臣の認可（平成２１年１０月３０日）を得て、平成２２年４月１日から施行する。

**附 則**

この改正は、平成２２年４月１日から施行する。

ただし、平成２１年度以前から在学する者については、改正後の第３６条の規定にかかわらず、なお従前の例による。

**附 則**

この改正は、平成２３年４月１日から施行する。

**附 則**

この改正は、平成２４年４月１日から施行する。

ただし、平成２３年度以前から在学する者については、改正後の別表２の規定にかかわらず、なお従前の例による。

**附 則**

この改正は、平成２４年４月１日から施行する。

ただし、平成２２年度及び２３年度入学生に限る。

**附 則**

この改正は、平成２３年４月１日から施行する。

**附 則**

この改正は、平成２４年４月１日から施行する。

**附 則**

この改正は、平成２５年４月１日から施行する。

ただし、平成２４年度以前から在学する者については、改正後の規定にかかわらず、なお従前の例による。

**附 則**

この改正は、平成２６年４月１日から施行する。

**附 則**

この改正は、平成２７年４月１日から施行する。

#### 附 則

この改正は、平成２８年４月１日から施行する。

ただし、平成２７年度以前から在学する看護学部学生に係る学費については、別表及び改正後の第３６条の規定にかかわらず、なお従前の例による。

#### 附 則

この改正は、平成２９年４月１日から施行する。

ただし、平成２８年度以前の入学生については、改正後の第２１条及び第２１条の２の規定にかかわらず、なお従前の例による。

#### 附 則

この改正は、平成２９年４月１日から施行する。

ただし、平成２８年度以前の入学生については、改正後の第１８条の規定にかかわらず、なお従前の例による。

#### 附 則

この改正は、平成３０年４月１日から施行する。

#### 附 則

この改正は、平成３１年４月１日から施行する。

#### 附 則

この改正は、令和２年４月１日から施行する。

ただし、第３条第２項の規定にかかわらず、令和２年度から令和３年度までの医学部医学科の定員は、地域枠の臨時定員２名を加え、入学定員１１２名、収容定員６７２名とする。

#### 附 則

１ この改正は、令和３年４月１日から施行する。

２ 改正後の第４条第３項の規定にかかわらず、薬学部薬学科の収容定員は令和３年度１，７２１名、令和４年度１，７４０名とする。

３ 改正後の第４条第１項及び第３項、第６条第２項、第７条第２項、第３２条第３項の規定にかかわらず、令和３年４月１日に大阪薬科大学から薬学部に入転した学生のうち、平成２９年度以前の入学生が第４学年次進級時に選択可能な学科として、薬学部薬科学科（４年制）を置く。なお、同学科は大阪薬科大学において学生募集を停止していたことを受け、新規の学生募集は行わず、令和３年度における第４学年次の収容定員を２名、令和４年度以降の収容定員を０名とし、在籍学生がいなくなった時点で廃止するものとし、同学科の取扱い薬学部規程及び薬科学科規程に定める。

４ 令和３年４月１日に大阪薬科大学から薬学部に入転した学生は大阪薬科大学に

おける修業年数及び在学年数については、改正後の第6条第2項及び第7条第2項に規定する修業年限及び在学年限に継承する。

- 5 令和3年4月1日に大阪薬科大学から薬学部転入学した学生のうち、平成26年度以前の入学生については、改正後の第7条第2項中の「2年」を「3年」に読み替える。
- 6 薬学部規程に定めることとする取扱いのうち、改正後の第3章及び第5章に関する事項の令和3年4月1日に大阪薬科大学から薬学部転入学した学生への適用については、薬学部規程細則に大阪薬科大学の入学年度に応じた個別の取扱いを定める。

#### 附 則

この改正は、令和3年7月1日から施行する。

ただし、令和3年度以前から在学する看護学部学生に係る学費については、別表及び改正後の第35条にかかわらず、大阪医科薬科大学医学部及び看護学部における学費納入に関する取扱規程に定める。

#### 附 則

この改正は、令和4年4月1日から施行する。

ただし、第4条第2項の規定にかかわらず、令和4年度の医学部医学科の定員は、地域枠の臨時定員2名を加え、入学定員112名、収容定員672名とする。令和4年度から令和10年度までの入学定員及び収容定員は下表のとおりとする。

年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
入学定員	112名	110名	110名	110名	110名	110名	110名
収容定員	672名	670名	668名	666名	664名	662名	660名

#### 附 則

- 1 この改正は、令和5年4月1日から施行する。

ただし、第4条第2項の規定にかかわらず、令和5年度の医学部医学科の定員は、地域枠の臨時定員2名を加え、入学定員112名、収容定員672名とする。令和5年度から令和11年度までの入学定員及び収容定員は下表のとおりとする。

年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
入学定員	112名	110名	110名	110名	110名	110名	110名
収容定員	672名	670名	668名	666名	664名	662名	660名

- 2 この改正の施行に伴い、大阪医科薬科大学医学部特待生（入学時）規程は廃止する。

- 3 この改正は令和5年度以降に入学する者に適用し、令和4年度以前に入学した医学部学生に係る学費については、別表にかかわらず、大阪医科薬科大学医学部及び看護学部における学費納入に関する取扱規程に定める。

## 附 則

- 1 この改正は、令和6年4月1日から施行する。

ただし、第4条第2項の規定にかかわらず、令和6年度の医学部医学科の定員は、地域枠の臨時定員2名を加え、入学定員112名、収容定員672名とする。令和6年度から令和12年度までの入学定員及び収容定員は下表のとおりとする。

年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
入学定員	112名	110名	110名	110名	110名	110名	110名
収容定員	672名	670名	668名	666名	664名	662名	660名

- 2 令和3年4月1日に大阪薬科大学から薬学部へ転入学した学生のうち、平成29年度以前の入学生が第4学年次進級時に選択可能な学科として薬学部を設置していた薬科学科（4年制）については、学科選択権を持つ在籍学生がいなくなったため、令和5年3月31日付で廃止する。

## 附 則

この改正は、令和7年4月1日から施行する。

ただし、第4条第2項の規定にかかわらず、令和7年度の医学部医学科の定員は、地域枠の臨時定員2名を加え、入学定員112名、収容定員672名とする。令和7年度から令和13年度までの入学定員及び収容定員は下表のとおりとする。

年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	令和13年度
入学定員	112名	110名	110名	110名	110名	110名	110名
収容定員	672名	670名	668名	666名	664名	662名	660名



(別表)

(1) 医学部医学科

項 目		金 額 (年額)	備 考
入学金		1 0 0 万円	入学手続時
学費	授業料	1 8 8 万円	
	実習料	3 4 万 5 千円	
	施設拡充費	1 2 6 万円	
	教育充実費	1 5 0 万円	入学年次
		1 0 0 万円	2 年次以降

(2) 薬学部薬学科

項 目		金 額 (年額)	備 考
入学金		4 0 万円	入学手続時
学費	授業料	1 2 0 万円	
	施設・設備費	6 0 万円	

(3) 看護学部看護学科

項 目		金 額 (年額)	備 考
入学金		2 0 万円	入学手続時
学費	授業料	1 2 0 万円	
	実習料	2 0 万円	公衆衛生看護学実習Ⅱ受講者及び 助産学実習受講者を除く
		3 0 万円	公衆衛生看護学実習Ⅱ受講者対象
		5 0 万円	助産学実習受講者対象
	施設拡充費	3 0 万円	

## 大阪医科薬科大学 医学部規程

(令和 3 年 4 月 1 日施行)

(趣 旨)

**第 1 条** この規程は、大阪医科薬科大学（以下、「本学」という。）が設置する医学部に  
おいて、本学学則（以下、「学則」という。）に基づく必要な事項を定める。

(目 的)

**第 2 条** 学則に定める本学の目的に基づき、医学部医学科の目的は、次の各号のとおりと  
する。

- (1) 生命の尊厳と人権の尊重を基本に、人々の生き方や価値観を尊重できる豊かな人間性を育成する。
- (2) 多様な人材と共同し、医学や医療の分野で国際的に通用する新しい知識や技術を創造できる能力を育成する。
- (3) 科学的知識と倫理的判断に基づき、疾病および治療に関する専門知識、情報や技術を効果的に活用した医療が実践できる能力を育成する。
- (4) 医師として地域社会の特性を学び、多職種と連携し協働してさまざまな健康課題に取り組むことができる能力を育成する。
- (5) 医師として専門能力を自律的に探求し、継続的に発展させる基本的姿勢を育成する。

(授業科目等)

**第 3 条** 医学部の授業科目、当該科目の配当年次及び単位数は、別表 1 に定めるとおりとする。

- 2 前項に定める医学部の授業は、講義、チュートリアル、演習、実験、実習及び実技のいずれかにより又はこれらの併用により行う。
- 3 前項の授業は、多様なメディアを利用して、当該授業を行う本学の校舎及び附属施設等以外の場所で学生に履修させることができる。また、学生に海外において履修させる場合においても同様とする。

(履修届)

**第 4 条** 学生は、各学年次又は各学期の始めに、その学年次又は学期に開講される選択科目及び自由科目の中から、履修しようとする授業科目を定めて、学部長に届け出なければならない。

- 2 前項の届出は、当該授業科目の授業開始後 1 週間以内に学務部医学事務課に履修届（様式 1 号）を提出することにより行う。

(履修科目の変更・取消)

**第 5 条** 前条第 1 項の定めにより届け出た授業科目を変更し又は取消をしようとするとき

は、学部長に届け出なければならない。

- 2 前項の届出は、当該授業開始後2週間以内に、学務部医学事務課に履修科目変更・取消届（様式第2号）を提出することにより行う。

（履修の評価）

**第6条** 授業科目の履修の評価は、別表1の授業科目の細分に従って、当該授業科目の担当の教授、准教授、講師（以下、「担当教員」という。）が行う。

- 2 総合的な学力等の評価は、医学教育センター（以下、「教育センター」という。）が行う。

（履修の評価を受ける資格）

**第7条** 前条に定める授業科目の履修の評価を受けるためには、原則として講義については実授業時間の3分の2以上、実習、演習及び実技については全ての授業時間に出席していなければならない。

（単位算定の基準）

**第8条** 各授業科目の単位数は、1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成するものとし、次の基準により計算する。

講義については、15時間の授業をもって1単位とする。

チュートリアルについては、20時間の授業をもって1単位とする。

演習については、30時間の授業をもって1単位とする。

実験、実習及び実技については、45時間の授業をもって1単位とする。

- 2 教育上必要があると認めたときは、前項の規定にかかわらず、講義、チュートリアル及び演習については15時間から30時間、実験、実習及び実技については、30時間から45時間までの範囲の時間の授業をもって1単位とすることができる。

（成績の評価）

**第9条** 授業科目の成績の評価は、別表1に掲げる授業科目ごとに当該担当教員が総合的に行う。

- 2 評価は100点法によって行い、60点以上を合格、59点以下を不合格とし、90点以上を秀（S）、80点以上89点以下を優（A）、70点以上79点以下を良（B）、60点以上69点以下を可（C）、59点以下を不可（D）と表示する。

（単位の認定）

**第10条** 前条の成績の評価により、合格とする者に所定の単位を認定する。

（GPA）

**第11条** 第9条の評価に対してグレード・ポイント（以下、「GP」という。）を設定し、下記の計算式によりGPの平均値であるグレード・ポイント・アベレージ（以下、「GPA」という。）を算出する。

$GPA = \{ (\text{評価を受けた科目の}GP) \times (\text{当該科目の単位数}) \}$  の累計／履修単位数の合計 (Dの単位数を含む。)

2 成績の評価に対するGPは、Sが4点、Aが3点、Bが2点、Cが1点、Dが0点とする。

3 前項にかかわらず、次の各号に該当する授業科目はGPAの算出対象外とする。

- (1) 可否で判定し、成績の評点を表示しない授業科目
- (2) 学則第24条により本学における履修とみなし単位を与えるが、成績の評点を表示しない授業科目

(試験)

**第12条** 第6条に定める授業科目の履修の評価のための試験は定期試験及び臨時試験とし、総合的な学力等の評価のための試験は統合的な試験とする。

(定期試験)

**第13条** 定期試験は、別表1にしたがい学年末又は学期末に、学長が一定の期間を定めて行う。

(臨時試験)

**第14条** 臨時試験は、当該授業科目の担当教員、教育センターが必要と認めたとき、適宜行う。

(統合的な試験)

**第15条** 統合的な試験は、別表1にしたがい学長が一定の期間を定めて行う。

2 統合的な試験には共用試験、臨床実習履修評価試験、総合試験などが含まれる。

(試験の実施方法)

**第16条** 試験の実施方法は、定期試験及び臨時試験については当該授業科目の担当教員が、統合的な試験については教育センターが定める。

(追試験)

**第17条** 試験を受けなかった者のうち、当該授業科目の担当教員、教育センターが、病気、災害その他やむを得ない理由によって試験を受けることができなかったと認定した者については、所定の様式(様式3号)による願い出に基づき追試験を行うことができる。

2 追試験は次の各号を満たしている場合に、受験することができる。

定期試験の受験資格を満たしていること。

病気その他やむを得ない理由により定期試験の欠席が認められていること。

定められた期間に受験手続きをしていること。

3 追試験の成績評価は100点法によって評価し、60点以上を合格、59点以下を不合格とする。

(再試験)

**第18条** 試験において不合格となった場合は、当該授業科目の担当教員、教育センターが特に必要と認めた場合、再試験を行うことがある。再試験の受験を希望する者は定められた期間内に再試験受験願を提出しなければならない。

2 再試験は次の各号を満たしている場合に、受験を認めることがある。

定期試験の受験資格を満たしていること。

定められた期間に受験手続きをしていること。

3 再試験の成績評価は100点法によって評価し、60点以上を合格、59点以下を不合格とする。但し、60点以上の得点であってもすべて60点として評価する。

(受験料)

**第19条** 再試験を受験する者は、受験料を納めなければならない。

2 受験料の額は、1科目あたり3千円とする。

(試験に関する不正行為)

**第20条** 試験に関し不正な行為があったと認められた者については、当該授業科目の試験を無効とし、次の学年への進級若しくは卒業判定を受けることができない。

(進 級)

**第21条** 各第1～第6学年次の学年末において、第1～第2学年次は単位未修得者、第3～4学年次及び第6学年次は単位未修得者、統合的な試験の不合格者、第5学年次は単位未修得者、統合的な試験の不合格者、クリニカルクラークシップ総合評価不合格者、以上の者は次の学年次に進級することができない。

2 前項の定めにより進級できなかった者が留め置かれる学年次及び学期は、次の各号のとおりとする。

第1学年次から第5学年次においては、当該学年次に留め置く。

第6学年次においては、第6学年次に留め置く。(卒業判定がなされた時から臨床実習に参加することができる。)

**第22条** 前条第2項の規定によりそれぞれの年次に留め置かれた者は、第1～2学年次では、当該学年次で定められなかった授業科目を、第3～6学年次では、当該学年次に履修しなければならない全ての授業科目の授業科目を再履修し、合格しなければ次の学年次に進級することができない。

(休 学)

**第23条** 病気その他やむを得ない理由により、休学しようとする者は、医師の診断書又は詳細な理由書を添えて、保証人連署のうえ学長に願い出て、学期単位を原則として休学することができる。

2 病気その他の理由により修学することが不適当と認められる者については、学長は休

学を命ずることができる。

- 3 休学中の在籍料については、授業料相当額を納付しなければならない。

(休学期間)

**第24条** 休学期間は、引き続き2年を超えることができない。

- 2 休学期間は、通算して4年を超えることができない。
- 3 休学期間は、学則第7条に定める在学年限に算入しない。

(再入学)

**第25条** 本学を退学した者で、再入学を志願する者については、欠員がある場合に限り、選考のうえ、相当の学年次に入学を許可することがある。再入学の願い出は、退学の日から4年以内に限り、学力等について審議のうえ再入学を許可することがある。

- 2 再入学を願い出る者は、所定の書類に入学検定料を添えて願い出なければならない。
- 3 再入学を許可された者は、学則第15条の規定により入学手続きをしなければならない。
- 4 再入学を許可された者が退学前に修得した単位は認め、退学までの在学年数は学則第7条の在学年限に算入する。

(入学検定料)

**第26条** 入学検定料は6万円、ただし推薦入学選抜及び大学入学共通テスト利用選抜は3万2千円とする。

(学費の納入に関する取扱い)

**第27条** 医学部の学費の納入期日、その他納入に関する取扱いは別に定める。

(研究生)

**第28条** 医学部において、学長が認めた場合に限り、研究生を受け入れることができる。

- 2 医学部の研究生を希望する者の中で、他大学の学生である場合は、当該大学との協定等に基づき特別研究生として受け入れることができる。
- 3 特別研究生の教育・研究指導に必要な経費負担は、原則として他大学と協議のうえ決定する。
- 4 学長が認めた場合、特別研究生の指導料、研究料を免除することができる。

(委託生)

**第29条** 委託生を志望する者は、委託機関長からによる所定の願、その他必要書類を添えて願い出なければならない。

- 2 委託生及び聴講生に関し必要な事項は、医学部教授会の議を経て、学部長が別に定め、学長が決定する。

(聴講生)



**第30条** 聴講生を志望する者は、所定の願、その他必要書類を添えて願出しなければならない。

- 2 開講する授業科目のうち科目を指定して聴講することができる。
- 3 聴講生に対しては、試験及び単位の授与を行わない。

(単位互換履修生及び科目等履修生)

**第31条** 単位互換履修生及び科目等履修生は、履修した授業科目について試験を受けることができる。

- 2 前項の試験に合格した単位互換履修生及び科目等履修生には、所定の単位を与える。
- 3 単位を修得した科目等履修生には、願出により単位修得証明書を交付する。

(入学又は受入れ時期)

**第32条** 研究生、委託生、聴講生、単位互換履修生及び科目等履修生の入学又は受入れ時期は学期の始めとする。ただし、特別の事情のあるときにはこの限りではない。

(納付金)

**第33条** 研究生、委託生、聴講生及び科目等履修生の納付金は、別表2のとおりとする。ただし、研究生又は委託生の研究に要する特別の費用は、それぞれ研究生又は委託機関の負担とする。

(雑 則)

**第34条** この規程の施行に際して必要な事項は、医学部教授会の議を経て、学長が決定する。

(改 廃)

**第35条** この規程の改廃は、医学部教授会及び法人運営会議の議を経て、理事長が行う。

**附 則**

- 1 この規程は、令和3年4月13日から施行し、令和3年4月1日から適用する。
- 2 本規定の施行に伴い、平成9年4月1日施行の大阪医科大学 医学部授業科目履修認定方法及び学習の評価・進級・卒業に関する細則は廃止する。

**附 則**

この改正は、令和3年10月13日から施行する。

**附 則**

この改正は、令和4年4月1日から施行する。

**附 則**

この改正は、令和5年4月1日から施行する。

#### 附 則

この改正は、令和 6 年 4 月 1 日から施行する。

# 令和2(2020)年度入学者適用

(別表1)

2023. 4. 1現在

教育課程		授業科目	受講学年次及び単位数							必修・ 選択・自由
			第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	第5学年	第6学年	計	
総合教育	一般教養	人間科学	2						2	必修
		情報科学	0.5						0.5	〃
		セミナー1	2						2	〃
		セミナー2	2						2	〃
		大学コンソーシアム京都・大阪								
	準備教育	医工薬連環科学遠隔講座		2					2	必修*
		生命科学1(物理学)	6						6	必修
		生命科学2(化学)	4						4	〃
		生命科学3(生物学)	4						4	〃
		生命科学1実習(物理学)	1						1	〃
		生命科学2実習(化学)	1						1	〃
		生命科学3実習(生物学)	1						1	〃
		スポーツ健康科学	1						1	〃
		数理科学	6						6	〃
		生命誌	1						1	〃
		人体構造入門コース1(人体発生学)	2						2	〃
		人体構造入門コース2(細胞組織学)	2.5						2.5	〃
専門教育	基礎 医学系	人体の構造1(肉眼解剖学)		9					9	〃
		人体の構造2(組織学)		4					4	〃
		人体の構造3(神経解剖学)		1					1	〃
		人体の機能1(分子生物学)		2					2	〃
		人体の機能2(生理学)		7					7	〃
		人体の機能3(生化学)		5.5					5.5	〃
		人体の機能2実習(生理学)		0.5					0.5	〃
		人体の機能3実習(生化学)		1					1	〃
		病気の成り立ち1		4					4	〃
		病気の成り立ち2			1				1	〃
		薬物療法1		6.5					6.5	〃
		薬物療法2			1				1	〃
		薬物療法3				1			1	〃
		病原体・生体防御1		1					1	〃
		病原体・生体防御2		2					2	〃
		病原体・生体防御3			4				4	〃
	臨床 医学系	診断学入門			3				3	〃
		循環器			3				3	〃
		腎尿路・男性生殖器			1				1	〃
		女性生殖器・婦人科腫瘍			2				2	〃
		呼吸器			2				2	〃
		消化器			2				2	〃
		血液			1				1	〃
		内分泌・代謝			2				2	〃
		アレルギー・免疫			2				2	〃
		皮膚			1				1	〃
		運動器			1				1	〃
		神経			2				2	〃
		精神・行動			1				1	〃
		感覚器1(眼科)				1			1	〃
		頭頸部・感覚器2(耳鼻科)				1			1	〃
		妊娠・出産				1			1	〃
		成長・発達				1			1	〃
		思春期・ホルモン				1			1	〃
		加齢・高齢者				1			1	〃
		麻酔				1			1	〃
		救急				1			1	〃
		リハビリテーション				1			1	〃
		放射線治療・放射線障害				1			1	〃
		腫瘍				1			1	〃
		感染症				1			1	〃
		診断学				5			5	〃
		臨床技能1			1				1	〃
		臨床技能2				1			1	〃
	社会 医学系	医学・医療と社会			8				8	〃
		地域・産業保健				2			2	〃
		死と科学				4			4	〃
	国際言語文 化	国際言語文化1(英語)	4						4	〃
		国際言語文化2(独語)	4						4	〃
		医学英語1		0.5					0.5	〃
		医学英語2			0.5				0.5	〃
		医学英語3				0.5			0.5	〃
	学生研究	インタラクティブ・イングリッシュⅠ			1				1	自由
		インタラクティブ・イングリッシュⅡ			1				1	自由
		学生研究1	1						1	〃
		学生研究2			4.5				4.5	〃
		学生研究3				1			1	〃
	医療プロ フェッショ ナリズム	コミュニケーション学	2						2	〃
		医学概論	1						1	〃
		医学心理学・行動科学	3.5						3.5	〃
		医療人マインド	1						1	〃
		早期体験実習1	0.5						0.5	〃
		早期体験実習2		0.5					0.5	〃
		専門職連携医療論		1					1	〃
	臨床実習	医療プロフェッショナルリズム・コア1			2				2	〃
		医療プロフェッショナルリズム・コア2				1			1	〃
		コア・CC 臨床実習[コア・CC](特別演習/実習を含む)					33		33	〃
	アドバンスト・CC	臨床実習[アドバンスト・CC](特別演習/実習を含む)						19	19	〃
		合 計	53.0	45.5	45.0	29.5	33.0	19.0	227.0	

\*については大学コンソーシアム京都、大学コンソーシアム大阪、医工薬連環科学遠隔講座のうち2単位修得。  
自由科目は、単位認定は行いが進級・卒業要件単位数には含まれない。

(別表2) 研究生等納付金  
 <医学部医学科>

費 目		金 額	摘 要
研究生	指導料 (月額)	10,000円	
	研究料 (月額)	20,000円 10,000円	卒業生
委託生	指導料 (月額)	20,000円	
	研究料 (月額)	60,000円以上	金額は研究内容その他を考慮して定める。
聴講生	聴講料 (1科目)	10,000円	
科目等履修生	授業料 (1科目)	20,000円	
	授業料 (1科目)	60,000円	

## 総合評価表

着色した項目を入力してください。  
(入力項目の移動はTabキーで可能です。)

学生番号		学 生 氏 名	
実習科目		実習場所	
実習期間		入力日	
実習担当責任者		患者名(イニシャル)	

評価基準: アドバンスド クリニカル・クラークシップの臨床実習生(医学)として  
 5:臨床研修医相当である 4:優秀である 3:合格ラインである  
 2:改善すべき点がある 1:不適格である U/C:評価の機会なし  
 \*参加態度(出席など)を加味して、評価してください。(選択または入力)

<b>A プロフェッショナリズム*</b>	
1) 時間を厳守し、身だしなみを整え、あいさつをすることができる。	
2) 周囲の人の意見を聴き、適切に対応することができる。	
3) 臨床実習生(医学)にふさわしい態度(思考・行動)を取ることができる。	

<b>B 医学的知識と問題対応能力</b>	
4) 必要な情報を収集し、重要事項・問題点を抽出することができる。	
5) 得られた情報を統合し、適切に自分の考えを表現することができる。	
6) 適切に口頭発表を行うことができる。	

<b>C 診療技能と患者ケア</b>	
7) 適切に病歴を聴取し、患者と良好な関係を構築することができる。	
8) 網羅的に系統立てて、適切な順序で身体診察を行うことができる。	
9) 問題志向型医療記録形式で診療録を作成することができる。	
10) (指導の下で)医行為を行うことができる(含むシミュレーション)。	

<b>D コミュニケーション能力</b>	
11) (医療スタッフ・患者等と)良好な人間関係を築くことができる。	
12) 患者・家族の話を傾聴し、共感することができる。	

<b>E チーム医療の実践</b>	
13) 臨床実習生(医学)として、チーム医療に参加することができる。	

<b>F 科学的探究(自己学習能力・向上心)</b>	
14) 最新情報を整理統合し、疾患の理解等の深化に繋げることができる。	

<b>G マイステップの評価(大学病院での実習のみ)</b>	
15) マイステップの記載と内容が適切である。	
16) 実習で経験したことを省察し、自己の課題を明確にする。	

<b>H 総合評価</b>	
---------------	--

<b>I 実習担当者の感想</b>	(160字以内)

## 短縮版臨床評価表 (mini-CEX)

着色した項目を入力してください。  
(入力項目の移動はTabキーで可能です。)

学生番号	<input type="text"/>	学生氏名	<input type="text"/>
実習科目	<input type="text"/>	実習場所	<input type="text"/>
実習期間	<input type="text"/>	入力日	<input type="text"/>
評価者	<input type="text"/>	患者名(イニシャル)	<input type="text"/>
場面	<input type="text"/>	(その他の場合はここに記入)	ケースの複雑さ <input type="text"/>

評価基準: アドバンスド クリニカル・クラークシップの臨床実習生(医学)として  
 5:臨床研修医相当である 4:優秀である 3:合格ラインである  
 2:改善すべき点がある 1:不適格である U/C:評価の機会なし  
 (選択または入力)

1) 病歴	<input type="text"/>
2) 身体診察	<input type="text"/>
3) コミュニケーション能力	<input type="text"/>
4) 臨床判断	<input type="text"/>
5) プロフェッショナリズム(患者の尊重、事故の限界や法的問題への気づき)	<input type="text"/>
6) マネジメント、治療の提示	<input type="text"/>
7) 総合(時間がかかりすぎていないか、このケースを単独で診察できるか)	<input type="text"/>

良かった点 (200字以内)

改善すべき点 (200字以内)

学生の学修課題 (200字以内)



## 症例検討評価表(CbD)

着色した項目を入力してください。  
(入力項目の移動はTabキーで可能です。)

学生番号	<input type="text"/>	学生氏名	<input type="text"/>
実習科目	<input type="text"/>	実習場所	<input type="text"/>
実習期間	<input type="text"/>	入力日	<input type="text"/>
評価者	<input type="text"/>	患者名(イニシャル)	<input type="text"/>
場面	<input type="text"/>	<input type="text" value="(その他の場合はここに記入)"/>	

評価基準: アドバンスド クリニカル・クラークシップの臨床実習生(医学)として  
 5:臨床研修医相当である 4:優秀である 3:合格ラインである  
 2:改善すべき点がある 1:不適格である U/C:評価の機会なし  
 (選択または入力)

1) カルテ記載	<input type="text"/>
2) 臨床アセスメント	<input type="text"/>
3) 検査、専門家との相談	<input type="text"/>
4) 治療の提示	<input type="text"/>
5) 今後のフォローの立案	<input type="text"/>
6) プロフェッショナリズム(患者の尊重)	<input type="text"/>
7) 総合的な臨床判断	<input type="text"/>

良かった点 (200字以内)

改善すべき点 (200字以内)

学生の学修課題 (200字以内)

## 手技観察評価表(DOPS)

着色した項目を入力してください。  
(入力項目の移動はTabキーで可能です。)

学生番号	<input type="text"/>	学生氏名	<input type="text"/>
実習科目	<input type="text"/>	実習場所	<input type="text"/>
実習期間	<input type="text"/>	入力日	<input type="text"/>
評価者	<input type="text"/>	患者名(イニシャル)	<input type="text"/>
場面	<input type="text"/>	(その他の場合はここに記入)	ケースの複雑さ <input type="text"/>
手技の種類・部位	<input type="text"/>		

評価基準: アドバンスド クリニカル・クラークシップの臨床実習生(医学)として  
 5:臨床研修医相当である 4:優秀である 3:合格ラインである  
 2:改善するべき点がある 1:不適格である U/C:評価の機会なし  
 (選択または入力)

1) 適応、解剖、手技を理解している	<input type="text"/>
2) インフォームドコンセントを取る(理解している)	<input type="text"/>
3) 技術的能力	<input type="text"/>
4) 清潔手技	<input type="text"/>
5) 安全への配慮	<input type="text"/>
6) 手技後の管理	<input type="text"/>
7) コミュニケーションスキル	<input type="text"/>
8) プロフェッショナリズム(患者の尊重)	<input type="text"/>
9) 全体としての手技を行う能力	<input type="text"/>

評価者のコメント・実習生の学修課題

(200字以内)

別紙 1 - 5 (電子データ)

多面的行動評価 360度評価

学生氏名

学生の良かった行動や心配な行動についてコメント欄に記載してください。具体的に例示してください。この評価は、教育センター長に集められますがあなたがレポートに記載されたなかで学生の行動が非常に問題があるとされた場合は、詳しくお尋ねすることもあります。学生へフィードバックする際にはあなたの名前は公表されません。

態度と行動	不安はない	いくらかの不安がある	非常に不安がある	他に特別に優れている点があれば記載してください。学生の行動のたまの出来事ではなく終始不安な点があれば記載してください。
<b>患者との信頼関係やプロフェッショナルな関係を維持する</b> 傾聴する 礼儀正しくやさしい 患者の意見、プライバシー、尊厳などに敬意を表し公正である				
<b>言語的コミュニケーション技術</b> 分かりやすく情報を提供する 患者のレベルに応じて適切に分かりやすい言葉話す				
<b>チームにおいて働く/同僚とともに働く</b> 他の人の役割を重視しチームのなかで建設的に仕事をする 相手に対して効果的に譲りながら、良いコミュニケーションをする 偏見なく、支持的で公正である				
<b>プロフェッショナリズム/連絡について</b> 決められた出席や時間を守る 正しい責任感がある。適切なときのみ人に委任(委譲)する 与えられた義務を回避しない 呼び出しに直ちに応答する 休むときの手続きをうまくアレンジしカバーする				

実習科目・場所	
評価者の職種	
日付	20 年 月 日
評価者(イニシャル)	

## 自己評価

### 自己評価







A～Iの各項目について、あなたの到達目標の達成度合いを選択してください。

各実習の最終週の週末までに記入してください。

※実習毎に提出が必要になります。下記を参考にタイトルを変更してください。

(院内) 自己評価：診療科名 記入例) 自己評価：循環器内科

(総合、院外、診療所、他大学) 自己評価：機関名 診療科名 記入例) 自己評価：市立ひらかた病院 消化器外科

グループ	 選択してください▼ → <input type="text"/>
タイトル 	<input type="text" value="自己評価1"/>
A. 時間を厳守した。 	<input type="radio"/> 1 できなかった <input type="radio"/> 2 ややできなかった <input type="radio"/> 3 ややできた <input type="radio"/> 4 できた
B. 身だしなみに留意し、名札をつけた。 	<input type="radio"/> 1 できなかった <input type="radio"/> 2 ややできなかった <input type="radio"/> 3 ややできた <input type="radio"/> 4 できた
C. 患者の問接/問診を適切に行った。 	<input type="radio"/> 1 できなかった <input type="radio"/> 2 ややできなかった <input type="radio"/> 3 ややできた <input type="radio"/> 4 できた
D. 患者と適切にコミュニケーションし、不安や苦痛に配慮した。 	<input type="radio"/> 1 できなかった <input type="radio"/> 2 ややできなかった <input type="radio"/> 3 ややできた <input type="radio"/> 4 できた
E. 患者の状態を正しくとらえた(正しい診察、基本的な検査を学んだ) 	<input type="radio"/> 1 できなかった <input type="radio"/> 2 ややできなかった <input type="radio"/> 3 ややできた <input type="radio"/> 4 できた
F. 患者や疾患に対する情報を的確に集め、整理し、記録した。 	<input type="radio"/> 1 できなかった <input type="radio"/> 2 ややできなかった <input type="radio"/> 3 ややできた <input type="radio"/> 4 できた
G. 症例を適切に提示し、討議した。 	<input type="radio"/> 1 できなかった <input type="radio"/> 2 ややできなかった <input type="radio"/> 3 ややできた <input type="radio"/> 4 できた
H. 積極的、口主的に学習した。 	<input type="radio"/> 1 できなかった <input type="radio"/> 2 ややできなかった <input type="radio"/> 3 ややできた <input type="radio"/> 4 できた
I. 適切な態度で、チームの一員として行動した。 	<input type="radio"/> 1 できなかった <input type="radio"/> 2 ややできなかった <input type="radio"/> 3 ややできた <input type="radio"/> 4 できた
その他の自己評価事項の具体的な内容を記入してください (最大500文字)	<div style="border: 1px solid black; height: 100px; width: 100%;"></div>

一時保存

公開

## 学生評価

### 学生評価

クリニックに対して評価してください。

1: 不満 2: やや不満 3: ほぼ満足 4: 満足 5: 評価困難

各実習の最終週の週末までに記入してください。

※実習毎に提出が必要になります。下記を参考にタイトルを変更してください。

(院内) 学生評価: 診療科名 記入例) 学生評価: 循環器内科

(総合、院外、診療所、他大学) 学生評価: 機関名 診療科名 記入例) 学生評価: 市立ひらかた病院 消化器外科

グループ	目	選択してください▼ →
タイトル	目	学生評価1
指導医の対応	目	<input type="radio"/> 1 不満 <input type="radio"/> 2 やや不満 <input type="radio"/> 3 ほぼ満足 <input type="radio"/> 4 満足 <input type="radio"/> 5 評価困難
実習内容	目	<input type="radio"/> 1 不満 <input type="radio"/> 2 やや不満 <input type="radio"/> 3 ほぼ満足 <input type="radio"/> 4 満足 <input type="radio"/> 5 評価困難
検査、手技などの体験	目	<input type="radio"/> 1 不満 <input type="radio"/> 2 やや不満 <input type="radio"/> 3 ほぼ満足 <input type="radio"/> 4 満足 <input type="radio"/> 5 評価困難
実習期間	目	<input type="radio"/> 1 不満 <input type="radio"/> 2 やや不満 <input type="radio"/> 3 ほぼ満足 <input type="radio"/> 4 満足 <input type="radio"/> 5 評価困難
患者と接した時間	目	<input type="radio"/> とても長い <input type="radio"/> やや長い <input type="radio"/> 適切である <input type="radio"/> やや短い <input type="radio"/> とても短い <input type="radio"/> 評価困難
患者との積極的な関わり	目	<input type="radio"/> 積極的 <input type="radio"/> やや積極的 <input type="radio"/> やや消極的 <input type="radio"/> 消極的 <input type="radio"/> 評価困難
指導医の対応に関するコメント (最大300文字)	目	
実習内容に関するコメント (最大300文字)		
検査、手技などの体験に関するコメント (最大300文字)		
実習期間に関するコメント (最大300文字)		
その他の感想、要望など (最大300文字)		

## 有意事象分析 SEA (Significant Event Analysis)

### Significant Event Analysis

あなたが臨床実習中に体験したエピソードについて記載してください。

そのエピソードに対して、あなたが考え、行動したことについて、「振り返り」を行います。

各実習の最終週の週末までに記入してください。

※実習毎に提出が必要になります。下記を参考にタイトルを変更してください。

（院内）SEA：診療科名 記入例）SEA：循環器内科

（総合、院外、診療所、他大学）SEA：機関名 診療科名 記入例）SEA：市立ひらかた病院 消化器外科

グループ	選択してください →
タイトル	Significant Event Analysis 1
印象に残った（感情が動かされた、自分に取って意義のあると感じた）エピソードを記載してください。 （最大250文字）	
どのように感じ・考えたのか、具体的に記載してください。 うまく行えたこと、行えなかったことも記載してください。 （最大250文字）	
このエピソードはあなたにどのような影響を与えましたか？ （最大250文字）	
このエピソードから何を学びましたか？ 今後、同様のことが生じた場合どんな行動を起こしますか？ （最大250文字）	
このエピソードの体験から、今後何を学ぶべきと考えましたか。 （最大250文字）	

一時保存

公開

## 症候チェックリスト

症候チェックリスト	
実習を振り返って、各症状について「勉強・見学・経験」をチェックしてください。その時の「診療科」を記載してください。	
グループ	<input type="text" value="選択してください"/> → <input type="text"/>
タイトル	<input type="text" value="症候チェックリスト1"/>
1) 発熱	<input type="radio"/> 経験なし <input type="radio"/> 勉強 <input type="radio"/> 見学 <input type="radio"/> 経験
経験した診療科 (最大100文字)	<input type="text"/>
2) 全身倦怠感	<input type="radio"/> 経験なし <input type="radio"/> 勉強 <input type="radio"/> 見学 <input type="radio"/> 経験
経験した診療科 (最大100文字)	<input type="text"/>
3) 食思（欲）不振	<input type="radio"/> 経験なし <input type="radio"/> 勉強 <input type="radio"/> 見学 <input type="radio"/> 経験
経験した診療科 (最大100文字)	<input type="text"/>
4) 体重減少	<input type="radio"/> 経験なし <input type="radio"/> 勉強 <input type="radio"/> 見学 <input type="radio"/> 経験
経験した診療科 (最大100文字)	<input type="text"/>
5) 体重増加	<input type="radio"/> 経験なし <input type="radio"/> 勉強 <input type="radio"/> 見学 <input type="radio"/> 経験
経験した診療科 (最大100文字)	<input type="text"/>
6) 言語障害	<input type="radio"/> 経験なし <input type="radio"/> 勉強 <input type="radio"/> 見学 <input type="radio"/> 経験
経験した診療科 (最大100文字)	<input type="text"/>
7) 失神	<input type="radio"/> 経験なし <input type="radio"/> 勉強 <input type="radio"/> 見学 <input type="radio"/> 経験
経験した診療科 (最大100文字)	<input type="text"/>
8) けいけん	<input type="radio"/> 経験なし <input type="radio"/> 勉強 <input type="radio"/> 見学 <input type="radio"/> 経験
経験した診療科 (最大100文字)	<input type="text"/>
9) めまい	<input type="radio"/> 経験なし <input type="radio"/> 勉強 <input type="radio"/> 見学 <input type="radio"/> 経験
経験した診療科 (最大100文字)	<input type="text"/>
10) 汚物	<input type="radio"/> 経験なし <input type="radio"/> 勉強 <input type="radio"/> 見学 <input type="radio"/> 経験
経験した診療科 (最大100文字)	<input type="text"/>



11) 交際 <small>200</small>	<input type="radio"/> 経験なし <input type="radio"/> 勉強 <input type="radio"/> 見学 <input type="radio"/> 経験
経験した活動内容 (最大100文字)	<div></div>
12) 映画・祭 <small>200</small>	<input type="radio"/> 経験なし <input type="radio"/> 勉強 <input type="radio"/> 見学 <input type="radio"/> 経験
経験した活動内容 (最大100文字)	<div></div>
13) 音楽・唱歌 <small>200</small>	<input type="radio"/> 経験なし <input type="radio"/> 勉強 <input type="radio"/> 見学 <input type="radio"/> 経験
経験した活動内容 (最大100文字)	<div></div>
14) 呼称活動 <small>200</small>	<input type="radio"/> 経験なし <input type="radio"/> 勉強 <input type="radio"/> 見学 <input type="radio"/> 経験
経験した活動内容 (最大100文字)	<div></div>
15) 新聞 <small>200</small>	<input type="radio"/> 経験なし <input type="radio"/> 勉強 <input type="radio"/> 見学 <input type="radio"/> 経験
経験した活動内容 (最大100文字)	<div></div>
16) 絵画 <small>200</small>	<input type="radio"/> 経験なし <input type="radio"/> 勉強 <input type="radio"/> 見学 <input type="radio"/> 経験
経験した活動内容 (最大100文字)	<div></div>
17) 地下回遊 <small>200</small>	<input type="radio"/> 経験なし <input type="radio"/> 勉強 <input type="radio"/> 見学 <input type="radio"/> 経験
経験した活動内容 (最大100文字)	<div></div>
18) 読書 <small>200</small>	<input type="radio"/> 経験なし <input type="radio"/> 勉強 <input type="radio"/> 見学 <input type="radio"/> 経験
経験した活動内容 (最大100文字)	<div></div>
19) 読心・福祉 <small>200</small>	<input type="radio"/> 経験なし <input type="radio"/> 勉強 <input type="radio"/> 見学 <input type="radio"/> 経験
経験した活動内容 (最大100文字)	<div></div>
20) 社会 <small>200</small>	<input type="radio"/> 経験なし <input type="radio"/> 勉強 <input type="radio"/> 見学 <input type="radio"/> 経験
経験した活動内容 (最大100文字)	<div></div>
21) 下山 <small>200</small>	<input type="radio"/> 経験なし <input type="radio"/> 勉強 <input type="radio"/> 見学 <input type="radio"/> 経験
経験した活動内容 (最大100文字)	<div></div>
22) 音楽 <small>200</small>	<input type="radio"/> 経験なし <input type="radio"/> 勉強 <input type="radio"/> 見学 <input type="radio"/> 経験
経験した活動内容 (最大100文字)	<div></div>

23) 下痢 	<input type="radio"/> 経験なし <input type="radio"/> 勉強 <input type="radio"/> 見学 <input type="radio"/> 経験
経験した添物科 (最大100文字)	<div></div>
24) 黄熱 	<input type="radio"/> 経験なし <input type="radio"/> 勉強 <input type="radio"/> 見学 <input type="radio"/> 経験
経験した添物科 (最大100文字)	<div></div>
25) 新学塾院・歴史 	<input type="radio"/> 経験なし <input type="radio"/> 勉強 <input type="radio"/> 見学 <input type="radio"/> 経験
経験した添物科 (最大100文字)	<div></div>
26) リンパ腫療法 	<input type="radio"/> 経験なし <input type="radio"/> 勉強 <input type="radio"/> 見学 <input type="radio"/> 経験
経験した添物科 (最大100文字)	<div></div>
27) 採種・播種の異常 	<input type="radio"/> 経験なし <input type="radio"/> 勉強 <input type="radio"/> 見学 <input type="radio"/> 経験
経験した添物科 (最大100文字)	<div></div>
28) 虫咬 	<input type="radio"/> 経験なし <input type="radio"/> 勉強 <input type="radio"/> 見学 <input type="radio"/> 経験
経験した添物科 (最大100文字)	<div></div>
29) 月経異常 	<input type="radio"/> 経験なし <input type="radio"/> 勉強 <input type="radio"/> 見学 <input type="radio"/> 経験
経験した添物科 (最大100文字)	<div></div>
30) 不安・抑うつ 	<input type="radio"/> 経験なし <input type="radio"/> 勉強 <input type="radio"/> 見学 <input type="radio"/> 経験
経験した添物科 (最大100文字)	<div></div>
31) 認知機能障害 	<input type="radio"/> 経験なし <input type="radio"/> 勉強 <input type="radio"/> 見学 <input type="radio"/> 経験
経験した添物科 (最大100文字)	<div></div>
32) 読解 	<input type="radio"/> 経験なし <input type="radio"/> 勉強 <input type="radio"/> 見学 <input type="radio"/> 経験
経験した添物科 (最大100文字)	<div></div>
33) 運動麻痺・筋力低下 	<input type="radio"/> 経験なし <input type="radio"/> 勉強 <input type="radio"/> 見学 <input type="radio"/> 経験
経験した添物科 (最大100文字)	<div></div>
34) 移行期志 	<input type="radio"/> 経験なし <input type="radio"/> 勉強 <input type="radio"/> 見学 <input type="radio"/> 経験
経験した添物科 (最大100文字)	<div></div>

35) 紙の取り扱い 	<input type="radio"/> 経験なし <input type="radio"/> 勉強 <input type="radio"/> 見学 <input type="radio"/> 経験
経験したお役目 (最大100文字)	<div></div>
36) 餅つき体験 	<input type="radio"/> 経験なし <input type="radio"/> 勉強 <input type="radio"/> 見学 <input type="radio"/> 経験
経験したお役目 (最大100文字)	<div></div>
37) 稲刈体験・田舎暮らし 	<input type="radio"/> 経験なし <input type="radio"/> 勉強 <input type="radio"/> 見学 <input type="radio"/> 経験
経験したお役目 (最大100文字)	<div></div>

## 医行為チェックリスト

医行為チェックリスト_その1	
医業 <small>【必須】</small>	選択してください <span>▼</span>
グループ <small>【目録】</small>	選択してください <span>▼</span> → <input type="text"/>
タイトル <small>【目録】</small>	医行為チェックリスト_その11
1) 診療記録記載 (診療録作成) <small>【目録】</small>	<input type="radio"/> 経験なし <input type="radio"/> 見学 <input type="radio"/> シミュレーター <input type="radio"/> 介助 <input type="radio"/> 実施
経験した診療科 (最大100文字)	<input type="text"/>
2) 医療面接 <small>【目録】</small>	<input type="radio"/> 経験なし <input type="radio"/> 見学 <input type="radio"/> シミュレーター <input type="radio"/> 介助 <input type="radio"/> 実施
経験した診療科 (最大100文字)	<input type="text"/>
3) 患者・家族への 病状の説明 <small>【目録】</small>	<input type="radio"/> 経験なし <input type="radio"/> 見学 <input type="radio"/> シミュレーター <input type="radio"/> 介助 <input type="radio"/> 実施
経験した診療科 (最大100文字)	<input type="text"/>
4) バイタルサイン チェック <small>【目録】</small>	<input type="radio"/> 経験なし <input type="radio"/> 見学 <input type="radio"/> シミュレーター <input type="radio"/> 介助 <input type="radio"/> 実施
経験した診療科 (最大100文字)	<input type="text"/>
5) 診察法(全身・ 各臓器) <small>【目録】</small>	<input type="radio"/> 経験なし <input type="radio"/> 見学 <input type="radio"/> シミュレーター <input type="radio"/> 介助 <input type="radio"/> 実施
経験した診療科 (最大100文字)	<input type="text"/>
6) 耳鏡・鼻鏡 <small>【目録】</small>	<input type="radio"/> 経験なし <input type="radio"/> 見学 <input type="radio"/> シミュレーター <input type="radio"/> 介助 <input type="radio"/> 実施
経験した診療科 (最大100文字)	<input type="text"/>
7) 喉頭鏡 <small>【目録】</small>	<input type="radio"/> 経験なし <input type="radio"/> 見学 <input type="radio"/> シミュレーター <input type="radio"/> 介助 <input type="radio"/> 実施
経験した診療科 (最大100文字)	<input type="text"/>
8) 直視鏡・肛門鏡 <small>【目録】</small>	<input type="radio"/> 経験なし <input type="radio"/> 見学 <input type="radio"/> シミュレーター <input type="radio"/> 介助 <input type="radio"/> 実施
経験した診療科 (最大100文字)	<input type="text"/>
9) 基本的な採血 診療 <small>【目録】</small>	<input type="radio"/> 経験なし <input type="radio"/> 見学 <input type="radio"/> シミュレーター <input type="radio"/> 介助 <input type="radio"/> 実施
経験した診療科 (最大100文字)	<input type="text"/>
10) 処置診療 <small>【目録】</small>	<input type="radio"/> 経験なし <input type="radio"/> 見学 <input type="radio"/> シミュレーター <input type="radio"/> 介助 <input type="radio"/> 実施
経験した診療科 (最大100文字)	<input type="text"/>

11) 分岐介助 <small>【20分】</small>	<input type="radio"/> 経験なし <input type="radio"/> 見学 <input type="radio"/> シミュレーター <input type="radio"/> 介助 <input type="radio"/> 実践
経験した診療科 (最大100文字)	<div></div>
12) 直型診察 <small>【20分】</small>	<input type="radio"/> 経験なし <input type="radio"/> 見学 <input type="radio"/> シミュレーター <input type="radio"/> 介助 <input type="radio"/> 実践
経験した診療科 (最大100文字)	<div></div>
13) 前立腺触診 <small>【20分】</small>	<input type="radio"/> 経験なし <input type="radio"/> 見学 <input type="radio"/> シミュレーター <input type="radio"/> 介助 <input type="radio"/> 実践
経験した診療科 (最大100文字)	<div></div>
14) 高齢者の診察 (ADL評価、高齢者 総合機能評価) <small>【20分】</small>	<input type="radio"/> 経験なし <input type="radio"/> 見学 <input type="radio"/> シミュレーター <input type="radio"/> 介助 <input type="radio"/> 実践
経験した診療科 (最大100文字)	<div></div>
15) 皮膚消毒 <small>【20分】</small>	<input type="radio"/> 経験なし <input type="radio"/> 見学 <input type="radio"/> シミュレーター <input type="radio"/> 介助 <input type="radio"/> 実践
経験した診療科 (最大100文字)	<div></div>
16) 外用薬の貼付・ 塗布 <small>【20分】</small>	<input type="radio"/> 経験なし <input type="radio"/> 見学 <input type="radio"/> シミュレーター <input type="radio"/> 介助 <input type="radio"/> 実践
経験した診療科 (最大100文字)	<div></div>
17) ギプス巻き <small>【20分】</small>	<input type="radio"/> 経験なし <input type="radio"/> 見学 <input type="radio"/> シミュレーター <input type="radio"/> 介助 <input type="radio"/> 実践
経験した診療科 (最大100文字)	<div></div>
18) 気道内吸引 <small>【20分】</small>	<input type="radio"/> 経験なし <input type="radio"/> 見学 <input type="radio"/> シミュレーター <input type="radio"/> 介助 <input type="radio"/> 実践
経験した診療科 (最大100文字)	<div></div>
19) ネブライザー <small>【20分】</small>	<input type="radio"/> 経験なし <input type="radio"/> 見学 <input type="radio"/> シミュレーター <input type="radio"/> 介助 <input type="radio"/> 実践
経験した診療科 (最大100文字)	<div></div>
20) カニキュレ交換 <small>【20分】</small>	<input type="radio"/> 経験なし <input type="radio"/> 見学 <input type="radio"/> シミュレーター <input type="radio"/> 介助 <input type="radio"/> 実践
経験した診療科 (最大100文字)	<div></div>
21) 静脈採血 <small>【20分】</small>	<input type="radio"/> 経験なし <input type="radio"/> 見学 <input type="radio"/> シミュレーター <input type="radio"/> 介助 <input type="radio"/> 実践
経験した診療科 (最大100文字)	<div></div>
22) 小児からの採血 <small>【20分】</small>	<input type="radio"/> 経験なし <input type="radio"/> 見学 <input type="radio"/> シミュレーター <input type="radio"/> 介助 <input type="radio"/> 実践
経験した診療科 (最大100文字)	<div></div>

23) 末梢静脈留置 【23】	<input type="radio"/> 経験なし <input type="radio"/> 見学 <input type="radio"/> シミュレーター <input type="radio"/> 介助 <input type="radio"/> 実施
経験した診療科 (最大100文字)	
24) 胃置挿入 【24】	<input type="radio"/> 経験なし <input type="radio"/> 見学 <input type="radio"/> シミュレーター <input type="radio"/> 介助 <input type="radio"/> 実施
経験した診療科 (最大100文字)	
25) 採血カテーテル 挿入・抜き 【25】	<input type="radio"/> 経験なし <input type="radio"/> 見学 <input type="radio"/> シミュレーター <input type="radio"/> 介助 <input type="radio"/> 実施
経験した診療科 (最大100文字)	
26) 造影 【26】	<input type="radio"/> 経験なし <input type="radio"/> 見学 <input type="radio"/> シミュレーター <input type="radio"/> 介助 <input type="radio"/> 実施
経験した診療科 (最大100文字)	
27) 注射（皮下・皮 内・筋肉・静脈内） 【27】	<input type="radio"/> 経験なし <input type="radio"/> 見学 <input type="radio"/> シミュレーター <input type="radio"/> 介助 <input type="radio"/> 実施
経験した診療科 (最大100文字)	
28) 予防接種 【28】	<input type="radio"/> 経験なし <input type="radio"/> 見学 <input type="radio"/> シミュレーター <input type="radio"/> 介助 <input type="radio"/> 実施
経験した診療科 (最大100文字)	
29) 点滴操作 【29】	<input type="radio"/> 経験なし <input type="radio"/> 見学 <input type="radio"/> シミュレーター <input type="radio"/> 介助 <input type="radio"/> 実施
経験した診療科 (最大100文字)	
30) 手指消毒（手術 前の手洗いや） 【30】	<input type="radio"/> 経験なし <input type="radio"/> 見学 <input type="radio"/> シミュレーター <input type="radio"/> 介助 <input type="radio"/> 実施
経験した診療科 (最大100文字)	
31) ガウンテクニック 【31】	<input type="radio"/> 経験なし <input type="radio"/> 見学 <input type="radio"/> シミュレーター <input type="radio"/> 介助 <input type="radio"/> 実施
経験した診療科 (最大100文字)	
32) 縫合切開・排膿 【32】	<input type="radio"/> 経験なし <input type="radio"/> 見学 <input type="radio"/> シミュレーター <input type="radio"/> 介助 <input type="radio"/> 実施
経験した診療科 (最大100文字)	
33) 帯巻・縫合材料 （糸巻） 【33】	<input type="radio"/> 経験なし <input type="radio"/> 見学 <input type="radio"/> シミュレーター <input type="radio"/> 介助 <input type="radio"/> 実施
経験した診療科 (最大100文字)	
34) 皮膚縫合 【34】	<input type="radio"/> 経験なし <input type="radio"/> 見学 <input type="radio"/> シミュレーター <input type="radio"/> 介助 <input type="radio"/> 実施
経験した診療科 (最大100文字)	

35) 消毒・ガーゼ交換 <small>【20分】</small>	<input type="radio"/> 経験なし <input type="radio"/> 見学 <input type="radio"/> シミュレーター <input type="radio"/> 介助 <input type="radio"/> 実施
経験した診療科 (最大100文字)	<div></div>
36) 抜糸 <small>【20分】</small>	<input type="radio"/> 経験なし <input type="radio"/> 見学 <input type="radio"/> シミュレーター <input type="radio"/> 介助 <input type="radio"/> 実施
経験した診療科 (最大100文字)	<div></div>
37) 止血処置 <small>【20分】</small>	<input type="radio"/> 経験なし <input type="radio"/> 見学 <input type="radio"/> シミュレーター <input type="radio"/> 介助 <input type="radio"/> 実施
経験した診療科 (最大100文字)	<div></div>
38) 創傷処置 <small>【20分】</small>	<input type="radio"/> 経験なし <input type="radio"/> 見学 <input type="radio"/> シミュレーター <input type="radio"/> 介助 <input type="radio"/> 実施
経験した診療科 (最大100文字)	<div></div>
39) 熱傷処置 <small>【20分】</small>	<input type="radio"/> 経験なし <input type="radio"/> 見学 <input type="radio"/> シミュレーター <input type="radio"/> 介助 <input type="radio"/> 実施
経験した診療科 (最大100文字)	<div></div>
40) 手術助手 <small>【20分】</small>	<input type="radio"/> 経験なし <input type="radio"/> 見学 <input type="radio"/> シミュレーター <input type="radio"/> 介助 <input type="radio"/> 実施
経験した診療科 (最大100文字)	<div></div>
41) 採検票 <small>【20分】</small>	<input type="radio"/> 経験なし <input type="radio"/> 見学 <input type="radio"/> シミュレーター <input type="radio"/> 介助 <input type="radio"/> 実施
経験した診療科 (最大100文字)	<div></div>
42) 血液塗抹標本の作成と観察 <small>【20分】</small>	<input type="radio"/> 経験なし <input type="radio"/> 見学 <input type="radio"/> シミュレーター <input type="radio"/> 介助 <input type="radio"/> 実施
経験した診療科 (最大100文字)	<div></div>
43) 血液型判定 <small>【20分】</small>	<input type="radio"/> 経験なし <input type="radio"/> 見学 <input type="radio"/> シミュレーター <input type="radio"/> 介助 <input type="radio"/> 実施
経験した診療科 (最大100文字)	<div></div>
44) 交差凝集検査 <small>【20分】</small>	<input type="radio"/> 経験なし <input type="radio"/> 見学 <input type="radio"/> シミュレーター <input type="radio"/> 介助 <input type="radio"/> 実施
経験した診療科 (最大100文字)	<div></div>
45) 微生物学的検査 (Gram染色含む) <small>【20分】</small>	<input type="radio"/> 経験なし <input type="radio"/> 見学 <input type="radio"/> シミュレーター <input type="radio"/> 介助 <input type="radio"/> 実施
経験した診療科 (最大100文字)	<div></div>
46) 妊娠反応検査 <small>【20分】</small>	<input type="radio"/> 経験なし <input type="radio"/> 見学 <input type="radio"/> シミュレーター <input type="radio"/> 介助 <input type="radio"/> 実施
経験した診療科 (最大100文字)	<div></div>



47) 超音波検査（心臓） <small>【23】</small>	<input type="radio"/> 経験なし <input type="radio"/> 見学 <input type="radio"/> シミュレーター <input type="radio"/> 介助 <input type="radio"/> 実施
経験した診療科 (最大100文字)	<input type="text"/>
48) 超音波検査（腹部） <small>【23】</small>	<input type="radio"/> 経験なし <input type="radio"/> 見学 <input type="radio"/> シミュレーター <input type="radio"/> 介助 <input type="radio"/> 実施
経験した診療科 (最大100文字)	<input type="text"/>
49) 心電図検査 <small>【23】</small>	<input type="radio"/> 経験なし <input type="radio"/> 見学 <input type="radio"/> シミュレーター <input type="radio"/> 介助 <input type="radio"/> 実施
経験した診療科 (最大100文字)	<input type="text"/>

#### 医行為チェックリスト\_その2

英語を振り返って、各医行為について「見学・シミュレーター・介助・実施」をチェックしてください。その時の「診療科」を記載してください。

授業 <small>【23】</small>	選択してください <span>▼</span>
グループ <small>【目】</small>	選択してください <span>▼</span> → <input type="text"/>
タイトル <small>【23】</small> <small>【目】</small>	医行為チェックリスト_その21
50) 経皮的酸素飽和度モニタリング <small>【23】</small>	<input type="radio"/> 経験なし <input type="radio"/> 見学 <input type="radio"/> シミュレーター <input type="radio"/> 介助 <input type="radio"/> 実施
経験した診療科 (最大100文字)	<input type="text"/>
51) 病原体抗原の迅速検査 <small>【23】</small>	<input type="radio"/> 経験なし <input type="radio"/> 見学 <input type="radio"/> シミュレーター <input type="radio"/> 介助 <input type="radio"/> 実施
経験した診療科 (最大100文字)	<input type="text"/>
52) 簡易血糖測定 <small>【23】</small>	<input type="radio"/> 経験なし <input type="radio"/> 見学 <input type="radio"/> シミュレーター <input type="radio"/> 介助 <input type="radio"/> 実施
経験した診療科 (最大100文字)	<input type="text"/>
53) アレルギー検査（皮膚） <small>【23】</small>	<input type="radio"/> 経験なし <input type="radio"/> 見学 <input type="radio"/> シミュレーター <input type="radio"/> 介助 <input type="radio"/> 実施
経験した診療科 (最大100文字)	<input type="text"/>
54) 発達テスト、知能テスト、心理テスト <small>【23】</small>	<input type="radio"/> 経験なし <input type="radio"/> 見学 <input type="radio"/> シミュレーター <input type="radio"/> 介助 <input type="radio"/> 実施
経験した診療科 (最大100文字)	<input type="text"/>
55) 一次救命処置 <small>【23】</small>	<input type="radio"/> 経験なし <input type="radio"/> 見学 <input type="radio"/> シミュレーター <input type="radio"/> 介助 <input type="radio"/> 実施
経験した診療科 (最大100文字)	<input type="text"/>

56) 気道確保 <small>25点</small>	<input type="radio"/> 経験なし <input type="radio"/> 見学 <input type="radio"/> シミュレーター <input type="radio"/> 介助 <input type="radio"/> 実施
経験した診療科 (最大100文字)	<input type="text"/>
57) 胸骨圧迫 <small>25点</small>	<input type="radio"/> 経験なし <input type="radio"/> 見学 <input type="radio"/> シミュレーター <input type="radio"/> 介助 <input type="radio"/> 実施
経験した診療科 (最大100文字)	<input type="text"/>
58) バックパルプマ スクによる換気 <small>25点</small>	<input type="radio"/> 経験なし <input type="radio"/> 見学 <input type="radio"/> シミュレーター <input type="radio"/> 介助 <input type="radio"/> 実施
経験した診療科 (最大100文字)	<input type="text"/>
59) AED <small>25点</small>	<input type="radio"/> 経験なし <input type="radio"/> 見学 <input type="radio"/> シミュレーター <input type="radio"/> 介助 <input type="radio"/> 実施
経験した診療科 (最大100文字)	<input type="text"/>
60) 電気ショック <small>25点</small>	<input type="radio"/> 経験なし <input type="radio"/> 見学 <input type="radio"/> シミュレーター <input type="radio"/> 介助 <input type="radio"/> 実施
経験した診療科 (最大100文字)	<input type="text"/>
61) 気管挿管 <small>25点</small>	<input type="radio"/> 経験なし <input type="radio"/> 見学 <input type="radio"/> シミュレーター <input type="radio"/> 介助 <input type="radio"/> 実施
経験した診療科 (最大100文字)	<input type="text"/>
62) 固定など屋外外 科的保存療法 <small>25点</small>	<input type="radio"/> 経験なし <input type="radio"/> 見学 <input type="radio"/> シミュレーター <input type="radio"/> 介助 <input type="radio"/> 実施
経験した診療科 (最大100文字)	<input type="text"/>

## 経験症例

### 経験症例\_その1

経験症例について入力してください。

タイトル	経験症例_その11
症例1) 年月	選択してください▼
症例1) 年齢 (最大10文字)	
症例1) 性別	<input type="radio"/> 男性 <input type="radio"/> 女性
症例1) 場所	<input type="radio"/> 外来 <input type="radio"/> 病棟 <input type="radio"/> 手術室
症例1) 診断名 (最大100文字)	
症例1) 診療科 施設 (最大100文字)	
症例2) 年月	選択してください▼
症例2) 年齢 (最大10文字)	
症例2) 性別	<input type="radio"/> 男性 <input type="radio"/> 女性
症例2) 場所	<input type="radio"/> 外来 <input type="radio"/> 病棟 <input type="radio"/> 手術室
症例2) 診断名 (最大100文字)	
症例2) 診療科 施設 (最大100文字)	
症例3) 年月	選択してください▼
症例3) 年齢 (最大10文字)	
症例3) 性別	<input type="radio"/> 男性 <input type="radio"/> 女性
症例3) 場所	<input type="radio"/> 外来 <input type="radio"/> 病棟 <input type="radio"/> 手術室
症例3) 診断名 (最大100文字)	
症例3) 診療科 施設 (最大100文字)	
症例4) 年月	選択してください▼
症例4) 年齢 (最大10文字)	
症例4) 性別	<input type="radio"/> 男性 <input type="radio"/> 女性
症例4) 場所	<input type="radio"/> 外来 <input type="radio"/> 病棟 <input type="radio"/> 手術室
症例4) 診断名 (最大100文字)	
症例4) 診療科 施設 (最大100文字)	

一時保存 公開

サンプル

## 大阪医科薬科大学 アドバンスト クリニカル・クラークシップ 出席表

学籍番号：

氏名：

実習期間：2025 年 月 日 ～ 2025 年 月 日 （ 2 ・ 4 週コース ）

実習施設：

診療科：

	2/3(月)	2/4(火)	2/5(水)	2/6(木)	2/7(金)
指導者印					

	2/10(月)	2/11(火)	2/12(水)	2/13(木)	2/14(金)
指導者印					

※実習先の指導者に印鑑をもらい、各実習終了後 1 週間以内に新講義実習棟 4 階のレポート提出ボックスに提出してください。なお、翌週の実習先が院外等 1 週間以内の提出が難しい場合は、可及的速やかに提出をお願いします。欠席した場合は押印欄に理由を明記してください。

✂

----- 切り取り線 -----

## 大阪医科薬科大学 アドバンスト クリニカル・クラークシップ 出席表

学籍番号：

氏名：

実習期間：2025 年 月 日 ～ 2025 年 月 日 （ 2 ・ 4 週コース ）

実習施設：

診療科：

	2/17(月)	2/18(火)	2/19(水)	2/20(木)	2/21(金)
指導者印					

	2/24(月)	2/25(火)	2/26(水)	2/27(木)	2/28(金)
指導者印					

※実習先の指導者に印鑑をもらい、各実習終了後 1 週間以内に新講義実習棟 4 階のレポート提出ボックスに提出してください。なお、翌週の実習先が院外等 1 週間以内の提出が難しい場合は、可及的速やかに提出をお願いします。欠席した場合は押印欄に理由を明記してください。

## 21. 2025年 院内選択科目、実習プログラム

院内実習科目	頁
内科学Ⅰ（糖尿病代謝・内分泌内科）	77
内科学Ⅰ（呼吸器内科・呼吸器腫瘍内科）	81
内科学Ⅰ（血液内科）	85
内科学Ⅱ（消化器内科）	88
内科学Ⅲ（循環器内科）	92
内科学Ⅲ（腎臓内科）	96
内科学Ⅳ（脳神経内科）	100
内科学Ⅳ（リウマチ膠原病内科）	104
総合診療医学（総合診療科）	108
神経精神医学（精神神経科）	111
一般・消化器外科学（一般・消化器・小児外科、 乳腺・内分泌外科）	114
胸部外科学（心臓血管外科・小児心臓血管外科）	118
胸部外科学（呼吸器外科）	123
脳神経外科学（脳神経外科・脳血管内治療科）	128
整形外科（整形外科）	132
小児科学（小児科、新生児科）	135
産婦人科学（婦人科・腫瘍科、産科・生殖医学科）	138
眼科学（眼科）	143
耳鼻咽喉科学（耳鼻咽喉科・頭頸部外科）	146
皮膚科学（皮膚科）	149
泌尿器科学（腎泌尿器外科）	152
放射線診断学（放射線診断・IVR科）	155
放射線腫瘍学（放射線腫瘍科）	158
麻酔科学（麻酔科・ペインクリニック、集中治療部）	160
形成外科学（形成外科）	167
リハビリテーション医学（リハビリテーション科）	170
救急医学（救急医療部）	173
口腔外科学（歯科口腔外科）	177

（全28科目）

# 臨床実習プログラム

科 目： 内科学Ⅰ（糖尿病代謝・内分泌内科）

担当者名： 今川 彰久、寺前 純吾、金綱 規夫、佐野 寛行、藤澤 玲子、渡邊 大督、  
稲葉 惟子、長江 亮太、八幡 直輝

5年以上の医師実務経験を有する教員：

今川 彰久、寺前 純吾、金綱 規夫、佐野 寛行、藤澤 玲子、渡邊 大督、  
稲葉 惟子、長江 亮太、八幡 直輝

実習内容：

## 科目の概要

学生は医療チームの一員として、糖尿病代謝・内分泌内科の診療を通して内科全般の臨床能力および一般的医学知識を高め、実際の医療現場で何が重要であることを体得することを目的とする。

## 科目のゴール

1. 担当患者と良好な人間関係を保ち、医療面接手技により医療情報を聴取できる。
2. 身体所見を正しく取ることができ、内分泌代謝に関する検査を正しく解釈できる。
3. 担当患者から問題点を抽出でき（problem listの作成）、客観的評価ができる。
4. 問題点を評価し、その解決策について主治医と共に検討できる（チーム医療の実践）。

## 具体的内容

1. 入院患者を副担当医として受け持ち、回診・カンファレンスでプレゼンテーションを行う。
2. 検査手技を実際に見学・体験する。
3. 身体診察結果・検査結果から問題点について検討する。
4. 診療内容、上記の事項を毎日正しくカルテに記載する。
5. 症例検討会・勉強会へ参加し発表をする。
6. 糖尿病教室で患者教育を行う。

評 価： 共通評価表

受入定員： 2名（他大学学生を含む）

注意事項： 特になし、日程については学生の希望により変更可能。

初日の集合場所、時間： 78病棟（7号館8階） カンファレンスルーム、午後1時30分  
月曜日が休日の場合 火曜日 同上

予習項目： 1) 解剖・生理：各内分泌臓器の構造とホルモンの作用、糖代謝の概略（解糖系と糖新生）  
2) 症候：各内分泌疾患の主な身体的特徴（肥満とやせ、高血圧と低血圧、高血糖と低血糖）  
糖尿病患者の身体的特徴（高血糖による症状か、合併症による症状か）  
3) 検査：各内分泌疾患に代表的な検査、糖尿病の診断基準、糖尿病合併症の評価検査・方法  
4) 疾患：1型糖尿病、2型糖尿病、その他の機序による糖尿病、妊娠糖尿病  
糖尿病急性合併症、糖尿病慢性合併症、糖尿病網膜症・腎症・神経障害  
クッシング症候群、先端巨大症、褐色細胞腫、原発性アルドステロン症  
5) 治療：ホルモン補充療法、ハーディ手術、腹腔鏡下副腎切除術、食事療法・運動療法  
経口血糖降下薬、インスリン療法（インスリンポンプ（CSII、SAP）を含む）  
上記の項目について調べ、学習をしておくこと。

**復習項目：** 予習した項目および実習で学習した項目は、ノートにまとめておくこと。  
レポートを発表後、質問のあった項目を中心に復習しておくこと。

**オフィスアワー担当教員：**

担当教員①：寺前 純吾

内線・スマートフォン：3415・56700      E-mail：jungo.terasaki@ompu.ac.jp

担当教員②：金綱 規夫

内線・スマートフォン：2672・53574      E-mail：norio.kanatsuna@ompu.ac.jp

**オフィスアワー日時：**

オフィスアワー日時①：毎週火曜日 14：00～15：00

場所：第3研究棟3階 内科学Ⅰ 13研究室

オフィスアワー日時②：毎週月曜日 15：30～17：00

場所：内科医局



糖尿病代謝・内分泌内科

(第1週目)

	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	13:30	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00
月							ガイダンス (寺前、他) 〔78病棟 カンファ室〕	内分泌代謝カンファレンス (寺前、他) 〔78病棟カンファ室〕		16:30～ 内科学Ⅰ 月曜会(全員) 〔歴史資料館 3階講義室〕 (場所是要確認)	
火		病棟実習 (担当医)	内科学Ⅰ 総括者回診 (今川、他) 〔78病棟〕					病棟実習 (担当医)			
水		病棟実習 (担当医)			病棟実習 (担当医)		甲状腺エコー (酒井) 〔甲状腺エコー室 新本館A棟4階 検査室8〕	病棟実習 (担当医)			
木		外来実習 (寺前) 〔内科外来11診察室〕				病棟実習 (担当医)			内分泌代謝 セミナー (担当者) 〔78病棟カンファ室〕 *担当者により 曜日変更あり		
金			内分泌代謝回診 (寺前)〔78病棟〕					病棟実習 (担当医)			

備考：内分泌代謝回診は金曜日から水曜日に、内分泌セミナーは木曜日から金曜日に変更されることがある。  
月曜会(医局会)は会場が変更されることがあるので、確認すること。

糖尿病代謝・内分泌内科

(第2週目)

	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00
月		病棟実習 (担当医)				病棟実習 (担当医)	内分泌代謝カンファレンス (寺前、他) 〔78病棟カンファ室〕		16:30～ 内科学Ⅰ 月曜会(全員) 〔歴史資料館 3階講義室〕 (場所是要確認)	
火		病棟実習 (担当医)	内科学Ⅰ 総括者回診 (今川、他) 〔78病棟〕				病棟実習 (担当医)			
水		外来実習 (今川) 〔内科外来11診察室〕			病棟実習 (担当医)		糖尿病教室 見学 〔78病棟処置室〕	病棟実習 (担当医)		
						外来糖尿病教室 (金網、渡邊) 〔病院2号館5階 第12会議室 第3水曜〕				
木		病棟実習 (担当医)				病棟実習 (担当医)		内分泌代謝 セミナー (担当者) 〔78病棟カンファ室〕 *担当者により 曜日変更あり		
金			内分泌代謝回診 (寺前)〔78病棟〕				病棟実習 (担当医)			

備考：内分泌代謝回診は金曜日から水曜日に、内分泌セミナーは木曜日から金曜日に変更されることがある。  
月曜会(医局会)は会場が変更されることがあるので、確認すること。

糖尿病代謝・内分泌内科

(第3週目)

	9:00	9:30	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00
月			病棟実習 (担当医)			病棟実習 (担当医)		内分泌代謝カンファレンス (寺前、他) 〔78病棟カンファ室〕		16:30～ 内科学Ⅰ 月曜会(全員) 〔歴史資料館 3階講義室〕 (場所是要確認)	
火			病棟実習 (担当医)	内科学Ⅰ 総括者回診 (今川、他) 〔78病棟〕			病棟実習 (担当医)				
水			9:30～ 外来実習 (長江) 〔内科外来10診察室〕				病棟実習 (担当医)	外来糖尿病教室 (金網、渡邊) 〔病院2号館5階 第12会議室 第3水曜〕			
木			外来実習 (寺前) 〔内科外来11診察室〕			病棟実習 (担当医)		糖尿病教室 見学 〔78病棟処置室〕	内分泌代謝 セミナー (担当者) 〔78病棟カンファ室〕 *担当者により 曜日変更あり		
金			内分泌代謝回診 (寺前)〔78病棟〕				病棟実習 (担当医)				

備考：内分泌代謝回診は金曜日から水曜日に、内分泌セミナーは木曜日から金曜日に変更されることがある。  
月曜会(医局会)は会場が変更されることがあるので、確認すること。

糖尿病代謝・内分泌内科

(第4週目)

	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00
月			病棟実習 (担当医)			病棟実習 (担当医)	内分泌代謝カンファレンス (寺前、他) 〔78病棟カンファ室〕		16:30～ 内科学Ⅰ 月曜会(全員) 〔歴史資料館 3階講義室〕 (場所是要確認)	
火			病棟実習 (担当医)	内科学Ⅰ 総括者回診 (今川、他) 〔78病棟〕			病棟実習 (担当医)			
水			外来実習 (今川) 〔内科外来11診察室〕				病棟実習 (担当医)			
木			病棟実習 (担当医)			病棟実習 (担当医)	14:00～15:00 レポート 発表会 (今川) 〔教授室〕	自学自習	内分泌代謝 セミナー (担当者) 〔78病棟カンファ室〕 *担当者により 曜日変更あり	
金			内分泌代謝回診 (寺前)〔78病棟〕				自学自習			

備考：内分泌代謝回診は金曜日から水曜日に、内分泌セミナーは木曜日から金曜日に変更されることがある。  
月曜会(医局会)は会場が変更されることがあるので、確認すること。

# 臨床実習プログラム

科 目： 内科学Ⅰ（呼吸器内科・呼吸器腫瘍内科）

担当者名： 池田 宗一郎、藤阪 保仁、田村 洋輔、中村 敬彦、鶴岡 健二郎、松永 仁綜、  
辻 博行、船本 智哉、満屋 奨、新井 将弘、島津 保之

5年以上の医師実務経験を有する教員：

池田 宗一郎、藤阪 保仁、田村 洋輔、中村 敬彦、鶴岡 健二郎、松永 仁綜、辻 博行、  
船本 智哉、満屋 奨

実習内容：

## 科目の概要

- 1) 患者は、何に困ってやって来ているのか？
  - 2) それに対して、何ができるのか？
  - 3) そうすれば、患者の将来・残りの人生に何が起こるか？（Oslerの三原則）
- を常に念頭に置きながら、医療チームの一員として、呼吸器内科診療を通して内科全般に亘る臨床能力および一般的医学知識を高め、実際の医療現場で何が重要であることを体得することを目的とする。

## 科目のゴール

1. 担当患者と良好な人間関係を保ち、医療面接手技により医療情報を聴取できる。
2. 客観的評価のため身体所見（特に聴診所見）を正しく取ることができる。
3. 担当患者から問題点を抽出できる。（problem listの作成）
4. 収集した情報より病態生理図を作成し、問題点の成り立ちを分析できる。
5. 問題の解決策について、主治医・他職種と共に検討できる。（チーム医療の学習）

## 具体的内容

1. 入院患者の副主治医として担当し、回診でのプレゼンテーションを行う。
2. 検査手技を実際に体験する。
3. 診察・検査結果から問題点について検討する。
4. 正しくカルテに記載する。
5. 症例検討会・勉強会への参加および発表をする。
6. 簡単な症例問題（英語）に毎週1題回答し、解説動画（日本語）で理解を深める。

評 価： 共通評価表

受入定員： 2名（他大学学生を含む）

注意事項： 特になし

初日の集合場所、時間： 77病棟カンファレンスルーム、午前9時  
月曜日が休日の場合 火曜日 午後1時30分 77病棟カンファレンスルーム

予習項目： ➤ 実習に先立ち、レジデント向けの簡潔なマニュアル本の通読を勧める。  
（例：呼吸器病レジデントマニュアル（医学書院）、  
レジデントのための呼吸器内科ポケットブック（中山書店）、  
レジデントのための呼吸器診療マニュアル（医学書院） など）  
➤ 下記の項目について調べ、学習をしておく。

- \* 以下の項目の①正常値 ②異常を来す病態
  - ・  $\text{PaCO}_2$ 、 $\text{PaO}_2$ 、 $\text{HCO}_3^-$ 、アニオン・ギャップ
  - ・  $\text{SpO}_2$
  - ・ 気管支肺胞洗浄液 (BALF)：総細胞数、白血球分画
- \* 肺泡気―動脈血酸素分圧較差 ( $\text{A-aDO}_2$ ) の計算方法とその増大の原因
- \* 呼吸困難の評価スケール：mMRC 分類
- \* 酸素投与の方法（経鼻カニューラなど）とその推定吸入酸素濃度 ( $\text{FiO}_2$ )
- \* A-DROP を用いた市中肺炎の重症度判断方法
- \* 肺癌の臨床病期分類
- \* ECOG の Performance Status (PS)
- \* 化学療法による有害事象の CTCAE Grade の定義（特に CBC、Cr、肝酵素）

**復習項目：** ➤ 実習で扱った症例について内科学会認定医病歴要約を参考にレポートにまとめる。  
但し、学会形式でパワーポイントのファイルに整理して発表することでも可。

**オフィスアワー担当教員：**

担当教員：池田 宗一郎

内線・スマートフォン：56702      E-mail：soichiro.ikeda@ompu.ac.jp

**オフィスアワー日時：**

毎週水曜日    9：00～9：30

場所：77病棟カンファレンスルーム

呼吸器内科・呼吸器腫瘍内科

(第1週目)

8:30	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00
月		オリエンテーション (池田) 〔77病棟カンファ室〕	病棟実習 (担当医)			病棟実習 (担当医)		16:30～ 内科学 I 月曜会 (全員) 〔歴史資料館3 階〕 (場所是要確認)			
火	気管支鏡 検査前 検討会 〔77病棟 カンファ室〕	気管支鏡検査 〔新本館 A 棟 4 階 消化器内視鏡室〕				内科学 I 総括者回診 (今川、他) (呼吸器内科は血液 内科が終了次第開始) 〔77病棟〕	15:00頃～ 呼吸器カンファレンス 〔77病棟カンファ室〕				
水		病棟実習 (担当医)				病棟実習 (担当医)					
木	抄読会 〔77病棟 カンファ室/ Zoom〕	気管支鏡検査 〔新本館 A 棟 4 階 消化器内視鏡室〕				病棟実習 (担当医)	外来見学				
金	呼吸器 放外内 合同 カンファ 〔手術棟 1 階会議室〕	病棟 実習 (担当 医)	中間振り返り 〔77病棟 カンファ室〕	病棟実習 (担当医)		病棟実習 (担当医)					

備考(\*)：月曜会（医局会）は会場が変更されることがあるので、確認すること。

呼吸器内科・呼吸器腫瘍内科

(第2週目)

8:30	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00
月	Tumor Board 〔77病棟 カンファ室〕	病棟実習 (担当医)	外来見学			病棟実習 (担当医)		16:30～ 内科学 I 月曜会 (全員) 〔歴史資料館3 階〕 (場所是要確認)			
火	気管支鏡 検査前 検討会 〔77病棟 カンファ室〕	気管支鏡検査 〔新本館 A 棟 4 階 消化器内視鏡室〕				内科学 I 総括者回診 (今川、他) (呼吸器内科は血液 内科が終了次第開始) 〔77病棟〕	15:00頃～ 呼吸器カンファレンス 〔77病棟カンファ室〕				
水		病棟実習 (担当医)				病棟実習 (担当医)					
木	抄読会 〔77病棟 カンファ室/ Zoom〕	気管支鏡検査 〔新本館 A 棟 4 階 消化器内視鏡室〕				病棟実習 (担当医)	外来見学				
金	呼吸器 放外内 合同 カンファ 〔手術棟 1 階会議室〕	病棟実習 (担当医)				病棟実習 (担当医)					

備考(\*)：月曜会（医局会）は会場が変更されることがあるので、確認すること。

呼吸器内科・呼吸器腫瘍内科

(第3週目)

	8:30	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00
月	Tumor Board 〔77病棟 カンファ室〕	病棟実習 (担当医)	外来見学			病棟実習 (担当医)			16:30～ 内科学Ⅰ 月曜会(全員) 〔歴史資料館3 階〕 (場所は要確認)			
火	気管支鏡 検査前 検討会 〔77病棟 カンファ室〕	気管支鏡検査 〔新本館A棟4階 消化器内視鏡室〕				内科学Ⅰ総括者回診 (今川、他) (呼吸器内科は血液 内科が終了次第開始) 〔77病棟〕		15:00頃～ 呼吸器カンファレンス 〔77病棟カンファ室〕				
水		病棟実習 (担当医)				病棟実習 (担当医)						
木	抄読会 〔77病棟 カンファ室／ Zoom〕	気管支鏡検査 〔新本館A棟4階 消化器内視鏡室〕				病棟実習 (担当医)	外来見学					
金	呼吸器 放外内 合同 カンファ 〔手術棟 1階会議室〕	病棟実習 (担当医)	中間振り 返り 〔77病棟 カンファ室〕	病棟実習 (担当医)		病棟実習 (担当医)						

備考(\*)：月曜会（医局会）は会場が変更されることがあるので、確認すること。

呼吸器内科・呼吸器腫瘍内科

(第4週目)

8:30		9:00		10:00		11:00		12:00		13:00		14:00		15:00		16:00		17:00		18:00		19:00	
月	Tumor Board 〔77病棟カンファ室〕	病棟実習 (担当医)	外来見学						病棟実習 (担当医)						16:30～ 内科学Ⅰ 月曜会(全員) 〔歴史資料館3階〕 (場所是要確認)								
火	気管支鏡 検査前 検討会 〔77病棟 カンファ室〕	気管支鏡検査 〔新本館A棟4階 消化器内視鏡室〕						内科学Ⅰ総括者回診 (今川、他) (呼吸器内科は血液 内科が終了次第開始) 〔77病棟〕				15:00頃～ 呼吸器カンファレンス 〔77病棟カンファ室〕											
水		病棟実習 (担当医)						病棟実習 (担当医)															
木	抄読会 〔77病棟 カンファ室／ Zoom〕	気管支鏡検査 〔新本館A棟4階 消化器内視鏡室〕						病棟実習 (担当医)		外来見学													
金	呼吸器 放外内 合同 カンファ 〔手術棟 1階会議室〕	病棟実習 (担当医)						病棟実習 (担当医)				総括 〔77病棟 カンファ室〕											

備考(\*)：月曜会（医局会）は会場が変更されることがあるので、確認すること。

# 臨床実習プログラム

**科 目：** 内科学Ⅰ（血液内科）

**担当者名：** 秋岡 寿一、横手 耐治、三好 拓児、岩木 一貴、増田 友紀、波戸岡 純、藤本 麻由美、木下 祐希、清水 将智、山田 智之、片岡 千尋、山本 翔太郎

**5年以上の医師実務経験を有する教員：**

秋岡 寿一、横手 耐治、三好 拓児、岩木 一貴、増田 友紀、波戸岡 純、藤本 麻由美、植田 光哉、木下 祐希、清水 将智、山田 智之

**実習内容：** 病棟医チームの受け持ち症例の診療を中心として病棟実習を行う。希望者は外来診療、外来化学療法に参加も可。

## 科目の概要

既習の知識の上に立ち、患者に接し、血液内科の臨床を体験する。

## 科目のゴール

主として造血器腫瘍についての知識を深める。

## 具体的内容

病棟実習。骨髓穿刺の介助。輸血手技の見学。

症例があれば、ドナーの骨髓採取術とレシピエントへの移植術に参加。

**評 価：** 共通評価表に従って評価する。

**受入定員：** 1名

**注意事項：** 白衣着用

**初日の集合場所、時間：** 午前10時に秋岡を呼び出してください（スマートフォン 56367）。  
月曜日が休日の場合は火曜日、同上

**予習項目：**

- 1) 生理：正常造血の仕組み
- 2) 症候：貧血、出血傾向、リンパ節腫脹、易感染性
- 3) 検査：血算・血液像、凝固系検査、放射線診断学（CT、PET）
- 4) 手技：静脈路確保、骨髓穿刺・生検
- 5) 疾患：悪性リンパ腫、多発性骨髄腫、急性白血病、骨髄異形成症候群、発熱性好中球減少症
- 6) 治療：造血器腫瘍に対する抗がん化学療法、適切な輸血療法の手順

上記の項目について調べ、学習をしておくこと。

**復習項目：**

- 1) 予習した項目および実習で学習した項目は、ノートにまとめておくこと。
- 2) 学習内容は、最終日のオフィスアワーにおいて口頭試問の形式で評価し、結果を直接伝える。

**オフィスアワー担当教員：**

担当教員：秋岡 寿一

スマートフォン：56367 E-mail：toshikazu.akioka@ompu.ac.jp



**オフィスアワー日時：**

オフィスアワー日時①：毎週月曜日 16：00～17：00

場所：7号館1階 血液内科診察室

オフィスアワー日時②：毎週金曜日 16：00～17：00

場所：7号館2階 血液内科診察室

血液内科

(第1～4週共通)

9:00	午 前	12:00	13:00	午 後	16:30	18:00
月	病棟 (初日は10時に56367で秋岡に連絡)		病棟／希望者は外来実習 〔7号館1階外来〕		オフィス アワー	医局会
火	病棟		教授回診 〔A11病棟〕	病棟		
水	病棟		病棟			カンファ
木	9時～骨髄採取(不定期)(三好) 病棟		病棟 (もしくは病棟回診)			
金	病棟／希望者は外来実習 〔7号館2階外来〕		病棟		オフィスアワー	

# 臨床実習プログラム

科 目： 内科学Ⅱ（消化器内科）

担当者名： 教 授：西川 浩樹

専門教授：中村 志郎、小倉 健

准教授：朝井 章

講 師：柿本 一城、太田 和寛、宮寄 孝子、岩坪 太郎、植野 紗緒理、平田 有基  
他、准講師、助教、医局員一同

5年以上の医師実務経験を有する教員：

西川 浩樹、小倉 健、朝井 章、柿本 一城、太田 和寛、宮寄 孝子、岩坪 太郎、植野 紗緒理、  
平田 有基

実習内容： 病棟実習、外来実習、内視鏡・腹部USシミュレータ

## 科目の概要

消化器内科の医療チームの一員として診療に参加し、実際の医療現場で消化器内科を中心に内科全般を統合する知識・技能を体得する。

## 科目のゴール

- 1) 医療チームの一員として良好な関係を築き、積極的にチーム医療に参加できる。
- 2) 良好な医師・患者関係を築き、正確な医療情報を聴取する医療面接ができる。
- 3) 消化器内科診療を通じて正確な身体診察ができる。
- 4) 消化器病に関する諸検査を正しく解釈できる。
- 5) 診療結果、検査結果を正確に診療録に記載できる。
- 6) 診療結果、検査結果から問題点を抽出し、臨床推論ができる。
- 7) 回診、カンファレンスで担当患者のプレゼンテーションができる。
- 8) 担当患者のサマリーを作成し、入退院報告会や症例検討会で発表できる。
- 9) 最前線の臨床現場に参加して、臨床医としての認識、将来への関心を喚起できる。

## 具体的内容

- 1) 4週間の実習で消化管/肝臓/胆膵/化学療法の領域の全分野の入院患者を担当する。
- 2) 消化管/肝臓/胆膵/化学療法の領域の指導医による指導の下にマンツーマン体制で、入院患者を担当する。
- 3) 指導医とともに鑑別診断、検査計画、治療計画に携わる。
- 4) 各カンファレンスに参加し、プレゼンテーションを行う。
- 5) 病棟実習で内科的診察法、直腸指診などの検査手技を習得する。
- 6) 外来実習で医療面接技能を高め、各種画像検査の見学と模擬体験をする。
- 7) 指導医の指導のもとに腹部超音波検査を実施する。
- 8) ファントムやシミュレータを用いて、消化管内視鏡検査や腹部超音波検査の実際の手技と技法を習得する。
- 9) 指導医とフリーディスカッションを行い、担当患者についてパワーポイントを作成し、発表する。
- 10) 毎日、始業時には当日の行動予定の目標を明確にして、終業時には指導医に一日の総括と習得状況についてチェックを受ける。

評 価： 共通評価表

受入定員： 6名（他大学学生を含む）

**注意事項：** 時間厳守

**初日の集合場所、時間：** 病院7号館5階 75病棟のカンファレンスルームに午前8時50分集合  
(初日が火曜日の場合も同様)

- 予習項目：**
- 1) 解剖：消化器系：食道、胃、十二指腸、小腸、大腸、肝臓、胆道、膵臓、脾臓、腹膜。
  - 2) 生理：消化管運動、胃酸分泌、消化吸収、糞便形成、消化管の正常細菌叢、胆汁・膵液分泌、消化管ホルモン。
  - 3) 症候：腹痛、悪心・嘔吐、嚥下困難・障害、食欲不振、体重減少、便秘・下痢、消化管出血（吐血、下血、黒色便、血便）、腹水、肝性能症、黄疸。
  - 4) 検査：腹部US、腹部CT、腹部MRI、消化管内視鏡検査（上部・下部、小腸）、カプセル内視鏡検査、小腸内視鏡検査、胆膵内視鏡検査（ERCP/EUS）、腹部血管造影検査、ヘリコバクターピロリ菌検査（迅速ウレアーゼ試験、<sup>13</sup>C尿素呼気試験）、ICG試験、肝生検。
  - 5) 疾患：各消化器疾患：食道（アカラシア、逆流性食道炎、Mallory-Weiss症候群、特発性食道破裂、食道癌、食道粘膜下腫瘍、食道静脈瘤）、胃/十二指腸（急性胃炎、慢性胃炎、消化性潰瘍、胃癌、胃粘膜下腫瘍（GIST））、小腸（小腸粘膜障害、小腸潰瘍、小腸癌）、大腸（感染性腸炎、潰瘍性大腸炎、Crohn病、腸結核、虚血性腸炎、薬剤性腸炎、大腸ポリープ、消化管ポリポーシス、吸収不良症候群、蛋白漏出性胃腸症、大腸癌、腸閉塞、急性虫垂炎、大腸憩室炎、憩室出血、過敏性腸炎）、肝臓（急性肝炎、慢性肝炎、肝硬変、肝癌、NAFLD、自己免疫性肝炎、原発性胆汁性肝硬変、肝膿瘍）、胆膵（胆管結石、胆道炎、胆道癌、急性膵炎、慢性膵炎、膵癌、神経内分泌腫瘍、自己免疫性膵炎）、好酸球性胃腸炎、機能性消化管障害（機能性ディスペプシア、過敏性腸炎）、薬剤性消化管粘膜障害、消化管神経内分泌腫瘍、急性汎発性腹膜炎、特発性細菌性腹膜炎。
  - 6) 治療：ヘリコバクターピロリ菌除菌治療、消化性潰瘍治療、内視鏡的止血術、内視鏡的粘膜切開剥離術、内視鏡的粘膜切除術、B型肝炎・C型肝炎治療、ラジオ波焼灼術、経カテーテル肝動脈化学塞栓療法、内視鏡的胆道ドレナージ術、内視鏡的乳頭括約筋切開術、内視鏡的乳頭バルーン拡張術、内視鏡的結石除去術、経腸栄養、劇症肝炎治療、重症急性膵炎治療。

上記の項目について調べ、学習をしておくこと。

**復習項目：** 予習した項目および実習で学習した項目はノートにまとめておくこと。

**オフィスアワー担当教員：**

担当教員①：宮崎 孝子

内線・スマートフォン：2352・58597 E-mail: takako.miyazaki@ompu.ac.jp

担当教員②：岩坪 太郎

内線・スマートフォン：2352・53539 E-mail: tarou.iwatsubo@ompu.ac.jp

担当教員③：西岡 伸

内線・スマートフォン：2352・58232 E-mail: nobu.nishioka@ompu.ac.jp

**オフィスアワー日時：**

毎週月曜日、火曜日、水曜日、木曜日、金曜日 8:50～9:00

場所：75病棟カンファレンスルーム

消化器内科

(第1週目)

9:00		9:10	12:00		13:00	17:00	
月		オリエン テーション (岩坪)	病棟実習／外来実習			病棟実習	
火			病棟実習／外来実習			病棟実習	
水			病棟実習／外来実習		病棟実習		16:00 内視鏡模擬実習 前半4名(岩坪) [シミュレーション室]
木			病棟実習／外来実習			病棟実習	
金			病棟実習／外来実習			病棟実習	

オリエンテーションは、75病棟カンファレンスルーム

消化器内科

(第2週目)

9:00		12:00		13:00	17:00	
月		病棟実習／外来実習			病棟実習	
火		病棟実習／外来実習			病棟実習	
水		病棟実習／外来実習			病棟実習	
木		病棟実習／外来実習			病棟実習*	
金		病棟実習／外来実習			病棟実習	

\* 2週コースの方は、2週目木曜16時から総括があります。

消化器内科

(第3週目)

	9:00	12:00	13:00	17:00
月	病棟実習／外来実習		病棟実習	
火	病棟実習／外来実習		病棟実習	
水	病棟実習／外来実習		病棟実習	
木	病棟実習／外来実習		病棟実習	
金	病棟実習／外来実習		病棟実習	

消化器内科

(第4週目)

	9:00	12:00	13:00	17:00
月	病棟実習／外来実習		病棟実習	
火	病棟実習／外来実習		病棟実習	
水	病棟実習／外来実習		病棟実習	
木	病棟実習／外来実習		病棟実習	16:00 総括 (宮寄)
金	病棟実習／外来実習		病棟実習	

# 臨床実習プログラム

科 目： 内科学Ⅲ（循環器内科）

担当者名： 斯波 真理子、伊藤 隆英、神崎 裕美子、森田 英晃、柴田 兼作、藤阪 智弘、藤田 修一、  
宮村 昌利、宍倉 大介、坂根 和志、山内 洋平

5年以上の医師実務経験を有する教員：

斯波 真理子、伊藤 隆英、神崎 裕美子、森田 英晃、柴田 兼作、藤阪 智弘、藤田 修一、  
宮村 昌利、宍倉 大介、坂根 和志、山内 洋平、酒谷 優佳、赤松 加奈子、津田 浩佑、  
藤岡 慎平、野村 悠文、楠本 紘史、奥野 隆祐、藤原 義大、高山 仁実、井上 雅巨

実習内容：

## 科目の概要

循環器疾患の基本的診療能力を身につけるために、チームの一員として診療業務を経験し、理解する。基本的手技を経験し、指導のもと自ら行えるようになる。

## 科目のゴール

1. 担当患者はもとより、指導医、主治医、担当医やコメディカルスタッフと良好な人間関係を築くことができる。
2. 循環器疾患の評価に必要な医療面接の方法と診察法を習得する。
3. 循環器疾患の診療に必要な検査の目的と方法を理解し、結果を解釈できる。
4. 循環器疾患の治療法の概略を理解する。
5. 得られた情報に基づいて problem list を作成できる。
6. 診療チームの一員として症例の問題解決に参加する。

## 具体的内容

1. 指導医、主治医、担当医とともに1～2人の入院患者を担当する。
2. 指導医、主治医、担当医とともに毎日の診療に関わる。
3. 回診やカンファレンスで担当患者のプレゼンテーションを行う。
4. 血圧測定や聴診法などの身体所見のとり方を習得する。
5. 心電図、胸部エックス線写真、心臓超音波検査、心臓カテーテル法などの検査データを理解する。希望があれば超音波検査技法を身につける。
6. 心臓カテーテル検査・治療を見学する。希望があれば術者に近い視線での見学可。
7. 症例検討会に参加する。
8. 外来診療を見学し、疾病管理を学ぶ。
9. 担当症例について発表を行い、評価を受ける。

評 価： 共通評価表

受入定員： 7名（他大学学生を含む）

注意事項： 医療人にふさわしい身だしなみを整え、節度ある言動を行うこと。学生の医療行為は定められた基準に従って行うこと。サンダル履き不可。

初日の集合場所、時間： A8病棟カンファレンス室、午前8時30分  
月曜日が休日の場合は火曜日、A8病棟カンファレンス室、午前8時

予習項目： 下記の項目について学習しておくこと。



- 1) 循環器（心血管）系の構造と機能
- 2) 循環器疾患の診断と検査（検査手技を含む）
- 3) 症候（ショック、意識障害・失神、浮腫、呼吸困難、胸痛、動悸、胸水）
- 4) 疾患（心不全、虚血性心疾患、不整脈、弁膜症、心筋・心膜疾患、先天性心疾患、血圧異常、脈管疾患）

**復習項目：** 経験した症例について、病歴、検査、鑑別診断、治療法、治療の効果についてレポートにまとめること。

**オフィスアワー担当教員：**

担当教員①：藤田 修一

スマートフォン：56504      E-mail：shuichi.fujita@ompu.ac.jp

担当教員②：教授

スマートフォン：                  E-mail：

**オフィスアワー日時：**

毎週木曜 16時～17時

場所：不定（スマートフォンで連絡を）

循環器内科

(第1週目)

	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00
月		オリエンテーション (藤田) [A8病棟カンファ室] ※前の週の金曜までに、 時間確認のため、秘書 (スマホ56477)まで連絡		各種実習・見学 (外来見学・臨床実習・ 病棟実習等)			各種実習・見学 (臨床実習・病棟実習等)			
火		循環器内科 科長回診 (教授) [A8病棟カンファ室]				循環器内科 クリニカル カンファレンス (循環器内科全員) [A8病棟カンファ室]	各種実習・見学 (臨床実習・病棟実習等)			
水		各種実習・見学 (外来見学・ 臨床実習・ 病棟実習等)	カテーテル 見学 [カテ室]	各種実習・見学 (外来見学・ 臨床実習・ 病棟実習等)			各種実習・見学 (臨床実習・病棟実習等)			
木	Cardio-Vascular Conference [中央手術棟1階 カンファレンスルーム] (CVCが休会の 場合は、自学自習)	各種実習・見学 (外来見学・臨床実習・病棟実習等)					各種実習・見学 (臨床実習・病棟実習等)			
金		各種実習・見学 (外来見学・臨床実習・病棟実習等)					各種実習・見学 (臨床実習・ 病棟実習等)	経食心エコー	各種実習・見学 (臨床実習・ 病棟実習等)	

循環器内科

(第2週目)

8:00		9:00		10:00		11:00		12:00		13:00		14:00		15:00		16:00		17:00		
月			各種実習・見学 (外来見学・臨床実習・病棟実習等)							各種実習・見学 (臨床実習・病棟実習等)										
火		循環器内科 科長回診 (教授) 〔A 8 病棟カンファ室〕							循環器内科 クリニカル カンファレンス (循環器内科全員) 〔A 8 病棟カンファ室〕		各種実習・見学 (臨床実習・病棟実習等)									
水		各種実習・見学 (外来見学・ 臨床実習・ 病棟実習等)		カテーテル 見学 〔カテ室〕		各種実習・見学 (外来見学・ 臨床実習・ 病棟実習等)				各種実習・見学 (臨床実習・病棟実習等)										
木	Cardio-Vascular Conference 〔中央手術棟 1 階 カンファレンスルーム〕 (CVC が休会の 場合は、自学自習)	各種実習・見学 (外来見学・臨床実習・病棟実習等)									各種実習・見学 (臨床実習・病棟実習等)									
金		各種実習・見学 (外来見学・臨床実習・病棟実習等)									各種実習・見学 (臨床実習・ 病棟実習等)		経食心エコー		各種実習・見学 (臨床実習・ 病棟実習等)					

循環器内科

(第3週目)

	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00
月			各種実習・見学 (外来見学・臨床実習・病棟実習等)			各種実習・見学 (臨床実習・病棟実習等)				
火		循環器内科 科長回診 (教授) 〔A 8 病棟カンファ室〕				循環器内科 クリニカル カンファレンス (循環器内科全員) 〔A 8 病棟カンファ室〕	各種実習・見学 (臨床実習・病棟実習等)			
水		各種実習・見学 (外来見学・ 臨床実習・ 病棟実習等)	カテーテル 見学 〔カテ室〕	各種実習・見学 (外来見学・ 臨床実習・ 病棟実習等)		各種実習・見学 (臨床実習・病棟実習等)	カテーテル HEARTROID実習 (藤阪) 〔内科学Ⅲ実験室〕	各種実習・見学 (臨床実習・ 病棟実習等)		
木	Cardio-Vascular Conference 〔中央手術棟1階 カンファレンスルーム〕 (CVCが休会の 場合は、自学自習)	各種実習・見学 (外来見学・臨床実習・病棟実習等)				各種実習・見学 (臨床実習・病棟実習等)				
金		各種実習・見学 (外来見学・臨床実習・病棟実習等)				各種実習・見学 (臨床実習・病棟実習等)			シミュレーション実習 (心音の聴診) (伊藤) 〔新講義実習棟 P405〕	

循環器内科

(第4週目)

	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00
月			各種実習・見学 (外来見学・臨床実習・病棟実習等)			各種実習・見学 (臨床実習・病棟実習等)				
火		循環器内科 科長回診 (教授) 〔A 8 病棟カンファ室〕				循環器内科 クリニカル カンファレンス (循環器内科全員) 〔A 8 病棟カンファ室〕	カテーテルトレーニング実習 (森田) 〔医療技能シミュレーション室〕		各種実習・見学 (臨床実習・ 病棟実習等)	
水		各種実習・見学 (外来見学・ 臨床実習・ 病棟実習等)	カテーテル 見学 〔カテ室〕	各種実習・見学 (外来見学・ 臨床実習・ 病棟実習等)		各種実習・見学 (臨床実習・病棟実習等)				
木	Cardio-Vascular Conference 〔中央手術棟1階 カンファレンスルーム〕 (CVCが休会の 場合は、自学自習)	各種実習・見学 (外来見学・ 臨床実習・ 病棟実習等)	総括 (教授) 〔A 8 病棟カンファ室〕			各種実習・見学 (臨床実習・病棟実習等)				
金		各種実習・見学 (外来見学・臨床実習・病棟実習等)				各種実習・見学 (臨床実習・病棟実習等)				

# 臨床実習プログラム

科 目： 内科学Ⅲ（腎臓内科）

担当者名： 美馬 晶（責任者）  
大井 幸昌

5年以上の医師実務経験を有する教員： 美馬 晶、大井 幸昌

実習内容：

## 科目の概要

内科的腎疾患のプライマリケアに必要な基本的診療能力を身につけるために、腎臓内科診療チームの一員として診療業務を経験し理解する。

## 科目のゴール

1. 担当患者と良好な人間関係を築き、必要な医療情報を入手できる。
2. 得られた情報に基づいて problem list を作成できる。
3. 腎疾患の客観的評価に必要な内科診察法を習得する。
4. 腎疾患診療に必要な検査の目的・方法を理解し、結果を解釈できる。
5. 腎疾患の治療法の概略を理解し説明できる。
6. 血液浄化療法の概略を理解し説明できる。
7. 診療チームの一員として症例の問題解決に向けた議論ができる。

## 具体的内容

1. 指導医、主治医、担当医とともに入院患者を受け持つ。
2. 毎日患者を診察し、担当医とともに診療録の記載を行う。記載内容は担当医がチェックしサインする。
3. 科長回診時に担当患者のプレゼンテーションを行う。
4. 症例検討会、腎生検組織検討会、レクチャー、ミニレクチャーに参加する。
5. 腎生検にチームの一員として参加し業務を分担する。
6. 腎代替療法（血液透析、腹膜透析）の導入と管理を学ぶ。
7. 腎臓内科外来診療の補助と見学を行う。
8. 担当症例についてまとめ、発表する。

評 価： 共通評価表

受入定員： 3名（他大学学生を含む）

注意事項： 医学生ではあっても患者からは医療チームの一員とみなされる。医療人としての自覚と責任を持って行動すること。

1. 患者に信頼感を与えるような身だしなみ・言動が要求される。
2. 病状や治療方針に関する患者からの質問に独断で返答しない。
3. 実習を通じて知り得た患者の個人情報については守秘義務がある。
4. 患者名やID番号が記載された書類や電子媒体を放置、または院外へ持ち出してはならない。書類廃棄時はシュレッダーにかけること。

初日の集合場所、時間： 78病棟、午前8時30分 ナースステーション  
初日が祝休日の場合は、明けの診療日。同上

- 予習項目：** (1) 構造と機能および検査：1) 体液の量と組成・浸透圧。2) 腎・尿路系の位置・形態。3) 腎の機能の全体像やネフロン各部の構造と機能。4) 腎糸球体における濾過の機序。5) 尿細管各部における再吸収・分泌機構と尿の濃縮機序。6) 水電解質、酸・塩基平衡の調節機構。7) 腎に作用するホルモン・血管作働性物質の作用。8) 腎生検の適応と禁忌。
- (2) 症候：脱水、浮腫、蛋白尿、血尿、尿量の異常、電解質異常、アシドーシス・アルカローシス
- (3) 疾患（の病因、症候、診断と治療）：①腎不全：1) 急性腎不全。2) 慢性腎不全。3) 腎代替療法選択。②原発性糸球体疾患：1) 急性糸球体腎炎。2) 慢性糸球体腎炎（IgA腎症を含む）。3) ネフローゼ症候群。4) 急速進行性糸球体腎炎。③腎血管障害：1) 腎血管性高血圧症。2) TMA。3) 悪性腎硬化症。④尿細管機能異常：1) 尿細管性アシドーシス。2) Fanconi 症候群。⑤間質性腎疾患：1) 急性・慢性腎盂腎炎。2) 急性・慢性間質性腎炎。⑥全身性疾患による腎障害：1) 糖尿病性腎症。2) ループス腎炎。3) アミロイド腎症。4) 膠原病類縁疾患（血管炎症候群、抗 GBM 病等）。5) IgA 血管炎。⑦先天異常：1) 腎尿路の主な先天異常（多発性嚢胞腎、Alport 症候群、Fabry 病）。

**参考文献**

- 1) レジデントのための腎臓病診療マニュアル第3版（医学書院）
- 2) レジデントのための血液透析患者マネジメント第2版（医学書院）
- 3) CKD 診療テキスト（中外医学社）
- 4) ブルンツェル 尿・体液検査 基礎と臨床（西村書店）
- 5) CKD 診療ガイドライン2023（東京医学社）
- 6) 腎生検病理アトラス（東京医学社）
- 7) 腎炎・ネフローゼ症候群 診療の入門書（医薬ジャーナル社）

上記文献を参照して、実習前に予習を行うこと。

- 復習項目：** (1) 構造と機能および検査：1) 体液の量と組成・浸透圧。2) 腎・尿路系の位置・形態。3) 腎の機能の全体像やネフロン各部の構造と機能。4) 腎糸球体における濾過の機序。5) 尿細管各部における再吸収・分泌機構と尿の濃縮機序。6) 水電解質、酸・塩基平衡の調節機構。7) 腎に作用するホルモン・血管作働性物質の作用。8) 腎生検の適応と禁忌。
- (2) 症候：脱水、浮腫、蛋白尿、血尿、尿量の異常、電解質異常、アシドーシス・アルカローシス
- (3) 疾患（の病因、症候、診断と治療）：①腎不全：1) 急性腎不全。2) 慢性腎不全。3) 腎代替療法選択。②原発性糸球体疾患：1) 急性糸球体腎炎。2) 慢性糸球体腎炎（IgA腎症を含む）。3) ネフローゼ症候群。4) 急速進行性糸球体腎炎。③腎血管障害：1) 腎血管性高血圧症。2) TMA。3) 悪性腎硬化症。④尿細管機能異常：1) 尿細管性アシドーシス。2) Fanconi 症候群。⑤間質性腎疾患：1) 急性・慢性腎盂腎炎。2) 急性・慢性間質性腎炎。⑥全身性疾患による腎障害：1) 糖尿病性腎症。2) ループス腎炎。3) アミロイド腎症。4) 膠原病類縁疾患（血管炎症候群、抗 GBM 病等）。5) IgA 血管炎。⑦先天異常：1) 腎尿路の主な先天異常（多発性嚢胞腎、Alport 症候群、Fabry 病）。

上記文献を参照して、実習期間中に学んだ、上記の項目について、復習し、実習最終週の1週間までに、担当教員までに、学習した内容について、試験問題を各人5問作成して提出すること。

**オフィスアワー担当教員：**

担当教員①：美馬 晶

スマートフォン：58458 E-mail：akira.mima@ompu.ac.jp

担当教員②：大井 幸昌

スマートフォン：54036 E-mail：yukimasa.ooi@ompu.ac.jp

**オフィスアワー日時：**

オフィスアワー日時①：毎週月曜日 10：00～13：00

場所：総合研究棟11F 1111研究室

オフィスアワー日時②：毎週木曜日 10：00～13：00

場所：総合研究棟11F 1111研究室

腎臓内科

(第 1 ～ 3 週目)

	8:30	9:30	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	17:30
月	オリエン テーション 及び回診 (美馬) 〔78病棟〕	病棟実習 (美馬、担当医)			病棟実習 (美馬、担当医)				
火	回診 (担当医)	外来見学 (美馬)			病棟実習 (美馬、担当医) 症例、腎生検組織検討会 (美馬) 〔78病棟カンファレンスルーム〕				
水	回診 (担当医)	病棟実習 (担当医)				病棟実習 (担当医)			
木	回診 (担当医)	病棟実習 (美馬、担当医)			腎生検 (美馬、担当医) 〔78病棟処置室〕		病棟実習 (大井、担当医)		
金	回診 (担当医)	病棟実習 (担当医)			病棟実習 (担当医)				

腎臓内科

(第 4 週目)

	8:30	9:30	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	17:30
月	オリエン テーション 及び回診 (美馬) 〔78病棟〕	病棟実習 (美馬、担当医)			病棟実習 (美馬、担当医)				
火	回診 (担当医)	外来見学 (美馬)			病棟実習 (美馬、担当医) 症例、腎生検組織検討会 (美馬) 〔78病棟カンファレンスルーム〕				
水	回診 (担当医)	病棟実習 (担当医)				病棟実習 (担当医)			
木	回診 (担当医)	病棟実習 (美馬、担当医)			腎生検 (美馬、担当医) 〔78病棟処置室〕		病棟実習 (美馬、大井、担当医) 腎臓内科総括 (美馬)		
金	回診 (担当医)	病棟実習 (担当医)			病棟実習 (担当医)				

# 臨床実習プログラム

科 目： 内科学Ⅳ（脳神経内科）

担当者名： 荒若 繁樹

5年以上の医師実務経験を有する教員： 荒若 繁樹、細川 隆史、中村 善胤

実習内容：

## 科目の概要

学生は医療チームの一員として診療の現場に参加し、脳神経内科全般の知識および臨床能力を向上させ、実際の医療現場で行われていることを深く理解することを目的とする。

## 科目のゴール

1. 担当患者と良好な人間関係を築き医療面接手技により診療情報を詳細かつ十分に聴取できる。
2. 一般内科的所見および神経学的診察所見を的確に取ることができる。
3. 担当患者から問題点を抽出できる（problem list の作成）。
4. 問題点を評価し解決策について主治医と共にディスカッションできる（チーム医療の学習）。

## 具体的内容

1. 正しくカルテを記載する。
2. 入院患者を副主治医として受け持ち、回診・検討会でプレゼンテーションを行う。
3. 診察結果・検査結果を評価して問題点を検討する。
4. 診断および治療の計画立案に参加する。
5. 検査手技を見学・体験する。
6. 症例について詳しい考察を加え鑑別診断と治療方針について発表を行う。

評 価： ・共通評価表  
・第2、4週目（金）の口頭試問で症例要約を発表する。

受入定員： 3名（他大学学生を含む）

注意事項： ・患者のプライバシーを尊重し、個人情報の管理を徹底して行うこと。  
・患者に不必要な苦痛を与えないこと。  
・標準予防策を徹底すること。

初日の集合場所、時間： 総合内科医局休憩室（3号館3階）午後1時30分～（担当 中村 善胤）  
月曜日が休日の場合 火曜日  
総合内科医局休憩室（3号館3階）午前8時50分～（担当 中村 善胤）

予習項目： <実習参加前に神経診察法について必ず目を通すこと>

## 推薦参考書

- ・朝倉内科学（第11版神経系の疾患 p2044-2069）……推薦参考書の中で最も要約されている
- ・神経内科ハンドブック（第5版医学書院 p26-140）……神経内科全般の学習に利用できる
- ・ベッドサイドの神経の診かた（改訂18版南山堂）……神経診察法の標準的教科書である

## 1) 神経内科総論

- ・神経診察法……脳神経系異常・錐体路徴候・腱反射・病的反射・運動失調・感覚障害・錐体外路徴候の診かたについて、ベッドサイドの神経の診かた、朝倉内科学（p2044-2069）、神



経内科ハンドブック（p26-140）を参考に学習しておくこと

- ・脳脊髄液検査……検査法・所見の解釈について、朝倉内科学（p2070-2073）、神経内科ハンドブック（p404-416）を参考に学習しておくこと
- ・画像検査……頭部MRI・脊椎MRI・核医学検査の診かたについて、神経内科ハンドブック（p417-483）を参考に学習しておくこと
- ・電気生理学的検査……神経伝導検査・針筋電図・脳波について、朝倉内科学（p2074-2083）、神経内科ハンドブック（p484-527）を参考に学習しておくこと

## 2) 神経疾患各論

- ・脳血管障害……ラクナ梗塞、アテローム血栓性脳梗塞、心原性脳塞栓について、朝倉内科学（p2100-2118）、神経内科ハンドブック（p588-646）で調べておくこと
- ・神経感染症……細菌性髄膜炎、結核性髄膜炎、真菌性髄膜炎、ウイルス性脳炎について、朝倉内科学（p2170-2198）、神経内科ハンドブック（p752-828）で調べておくこと
- ・神経変性疾患……  
パーキンソン病と類縁疾患（朝倉内科学 p2139-2146、神経内科ハンドブック p1030-1070）  
認知症（朝倉内科学 p2132-2138、神経内科ハンドブック p1016-1029）  
筋萎縮性側索硬化症（朝倉内科学 p2164-2169、神経内科ハンドブック p1102-1115）  
脊髄小脳変性症（朝倉内科学 p2154-2163、神経内科ハンドブック p1087-1101）  
について調べておくこと
- ・神経免疫疾患……自己免疫性脳炎、多発筋炎、重症筋無力症、多発性硬化症について、朝倉内科学および神経内科ハンドブックの該当項目で学習しておくこと
- ・末梢神経障害……Guillain-Barré 症候群、CIDP（慢性炎症性脱髄性多発神経炎）、代謝性・圧迫性ニューロパチーについて、朝倉内科学（p2291-2302）、神経内科ハンドブック（p1130-1168）で調べておくこと
- ・筋疾患……筋生検標本のみかた（朝倉内科学 p2094-2096、神経内科ハンドブック p541-572）、筋ジストロフィーの分類と特徴（朝倉内科学 p2307-2335、神経内科ハンドブック p1197-1228）について調べること
- ・高次機能障害……記憶障害・失語・失行・失認の診かたと責任部位について、朝倉内科学（p2045）、神経内科ハンドブック（p1-25）で調べておくこと

**復習項目：** 予習した項目および実習で学習した項目は、ノートにまとめておくこと  
担当した症例については、内科学会認定医病歴要約を参考にレポートとしてまとめること

### オフィスアワー担当教員：

担当教員：荒若 繁樹

内線：2389 E-mail：shigeki.arawaka@ompu.ac.jp

### オフィスアワー日時：

毎週月曜日 14：00～15：00

場所：総合研究棟 2 階 内科学 IV 教授室

脳神経内科

(第1週目)

	8:00	8:30	9:00	10:00	12:00	13:00	13:30	14:00	15:00	16:00	16:30	17:00	19:00
月							オリエンテーション		病棟実習 (担当医)		16:00～17:00 神経診察1 (荒若) 〔教授室〕		
火				病棟実習 (担当医)			病棟実習 (担当医)	講義 (中村)		病棟実習 (担当医)		16:30～ 神経カンファレンス 〔76病棟カンファレンスルーム〕	
水			病棟実習 (担当医)	10:00～ 外来実習 (注1) (細川)			13:30～ 入院多職種 合同カンファレンス 〔76病棟カンファレンスルーム〕			病棟実習 (担当医)			
木				病棟実習 (担当医)						病棟実習 (担当医)			
金	8:00～ 脳外科と合同カンファ レンス (注1,2)	8:30～ チャート カンファレンス 〔76病棟カンファ レンスルーム〕		神経回診 (荒若、細川) 〔76病棟〕 → (注1)					病棟実習 (担当医)				

(注1) 新型コロナウイルスの状況により  
変更／中止の可能性あり

(注2) 脳神経外科との合同カンファレンス (開催日変更あり)  
第2金曜 脳卒中カンファレンス 場所はオリエンテーション時に連絡  
第3金曜 神経カンファレンス 場所はオリエンテーション時に連絡

脳神経内科

(第2週目)

	8:00	8:30	9:00	10:00	12:00	13:00	13:30	14:00	14:30	15:00	16:00	16:30	17:00	19:00
月				病棟実習 (担当医)					病棟実習 (担当医)					
火				病棟実習 (担当医)					病棟実習 (担当医)			16:30～ 神経カンファレンス 〔76病棟カンファレンスルーム〕		
水			病棟実習 (担当医)	10:00～ 外来実習 (注1) (細川)			13:30～ 入院多職種 合同カンファレンス 〔76病棟カンファレンスルーム〕			病棟実習 (担当医)				
木				病棟実習 (担当医)		病棟実習 (担当医)	神経画像講義 (細川)			病棟実習 (担当医)				
金	8:00～ 脳外科と合同カンファ レンス (注1,2)	8:30～ チャート カンファレンス 〔76病棟カンファ レンスルーム〕		神経回診 (荒若、細川) 〔76病棟〕 → (注1)			13:00～14:30 症例提示 試問 (荒若) 〔教授室〕			病棟実習 (担当医)				

(注1) 新型コロナウイルスの状況により  
変更／中止の可能性あり

(注2) 脳神経外科との合同カンファレンス (開催日変更あり)  
第2金曜 脳卒中カンファレンス 場所はオリエンテーション時に連絡  
第3金曜 神経カンファレンス 場所はオリエンテーション時に連絡

脳神経内科

(第3週目)

8:00	8:30	9:00	10:00	12:00	13:00	13:30	14:00	15:00	16:00	16:30	17:00	19:00
月			病棟実習 (担当医)					病棟実習 (担当医)		16:00～17:00 レクチャー 神経診察2 (荒若) 〔教授室〕		
火			病棟実習 (担当医)			病棟実習 (担当医)	講義 (中村)	病棟実習 (担当医)			16:30～ 神経カンファレンス 〔76病棟カンファレンスルーム〕	
水			病棟実習 (担当医)	10:00～ 外来実習 (注1) (細川)			13:30～ 入院多職種 合同カンファレンス 〔76病棟カンファレンスルーム〕	病棟実習 (担当医)				
木			病棟実習 (担当医)					病棟実習 (担当医)				
金	8:00～ 脳外科と合 同カンファ レンス (注1,2)	8:30～ チャート カンファレンス 〔76病棟カンファ レンスルーム〕	神経回診 (荒若、細川) 〔76病棟〕 → (注1)					病棟実習 (担当医)				

(注1) 新型コロナウイルスの状況により  
変更／中止の可能性あり

(注2) 脳神経外科との合同カンファレンス (開催日変更あり)  
第2金曜 脳卒中カンファレンス 場所はオリエンテーション時に連絡  
第3金曜 神経カンファレンス 場所はオリエンテーション時に連絡

脳神経内科

(第4週目)

8:00	8:30	9:00	10:00	12:00	13:00	13:30	14:30	15:00	16:30	17:00	19:00
月			病棟実習 (担当医)					病棟実習 (担当医)			
火			病棟実習 (担当医)					病棟実習 (担当医)		16:30～ 神経カンファレンス 〔76病棟カンファレンスルーム〕	
水			病棟実習 (担当医)	10:00～ 外来実習 (注1) (細川)			13:30～ 入院多職種 合同カンファレンス 〔76病棟カンファレン スルーム〕	病棟実習 (担当医)			
木			病棟実習 (担当医)			病棟 実習 (担当 医)	神経画像講義 (細川)	病棟実習 (担当医)			
金	8:00～ 脳外科と合 同カンファ レンス (注1,2)	8:30～ チャート カンファレンス 〔76病棟カンファ レンスルーム〕	神経回診 (荒若、細川) 〔76病棟〕 → (注1)			13:00～14:30 症例提示 試問 (荒若) 〔教授室〕		病棟実習 (担当医)			

(注1) 新型コロナウイルスの状況により  
変更／中止の可能性あり

(注2) 脳神経外科との合同カンファレンス (開催日変更あり)  
第2金曜 脳卒中カンファレンス 場所はオリエンテーション時に連絡  
第3金曜 神経カンファレンス 場所はオリエンテーション時に連絡

# 臨床実習プログラム

**科 目：** 内科学Ⅳ（リウマチ膠原病内科）

**担当者名：** 武内 徹、小谷 卓矢、庄田 武司、鈴鹿 隆保、和田 裕美子、吉川 紋佳、平松 ゆり、木坊子 貴生、松田 翔悟

**5年以上の医師実務経験を有する教員：**

武内 徹、小谷 卓矢、庄田 武司、鈴鹿 隆保、和田 裕美子、吉川 紋佳、平松 ゆり、木坊子 貴生、松田 翔悟

**実習内容：**

## 科目の概要

膠原病の疾患概念、症候、検査を理解し、診断も行えるようにする。

## 科目のゴール

膠原病の症候、検査について実習を通じ理解し、全身性エリテマトーデス、強皮症、筋炎、血管炎などの診断ができる。

## 具体的内容

1. 膠原病に伴う皮疹、関節痛、レイノー症状を理解する。
2. 自己抗体検査（抗核抗体、リウマチ因子を始めとする）、CRP、血液像、免疫グロブリン等の検査を理解する。
3. 全身性エリテマトーデス（SLE）、関節リウマチ、強皮症、筋炎、血管炎、シェーグレン症候群の疾患概念を理解する。

**評 価：** 共通評価表

**受入定員：** 3名（他大学学生を含む）

**注意事項：** 特になし

**初日の集合場所、時間：** 78病棟カンファレンスルーム、午前9時30分

月曜日が休みの場合：火曜日 78病棟カンファレンスルーム、午前9時30分

**予習項目：** ・膠原病の症候 ＜膠原病の皮膚・関節症状等＞・検査 ＜血清・免疫学的検査の意義＞について学習しておくこと  
・SLE・関節リウマチ・血管炎・強皮症・皮膚筋炎/多発性筋炎・シェーグレン症候群・ベーチェット病の病態生理・症候・検査・診断・治療について学習しておくこと

**復習項目：** ・実習で扱った膠原病症例についてレポートにまとめること  
・実習で扱った関節エコー検査・キャピラロスコピー検査についてレポートにまとめること  
・免疫抑制療法や分子標的薬についてレポートにまとめること

**オフィスアワー担当教員：**

担当教員：小谷 卓矢

内線・スマートフォン：56194 E-mail：takuya.kotani@ompu.ac.jp

オフィスアワー日時：

期間中金曜日 10：00～11：00

場所：総合研究棟11階 内科学Ⅰ・Ⅳ研究室

## リウマチ膠原病内科

### (第1週目)

9:00		10:00		11:00		12:00		13:00		14:00		15:00		16:00		17:00		18:00		19:00	
月		ガイダンス (庄田、鈴鹿) 〔78病棟〕	病棟実習 (庄田、鈴鹿、木坊子、他)				リウマチ膠原病 ガイダンス (武内) 〔7号館8F 78病棟 カンファ室〕			リウマチ膠原病内科回診 〔78病棟〕 →			講義 (担当：木坊子)								
火	病棟実習 (庄田、鈴鹿、木坊子、他)						病棟実習（庄田、鈴鹿、木坊子、他）														
							母性外来見学〔7号館1F〕														
							外来検査：関節エコー（担当医）〔7号館1F〕														
水	病棟実習 (庄田、鈴鹿、木坊子、他)						病棟実習（庄田、鈴鹿、木坊子、他）														
							外来検査：キャピラロスコピー（担当医）														
							外来検査：関節エコー（担当医）〔7号館1F〕														
木	病棟実習 (庄田、鈴鹿、木坊子、他)						病棟実習 (庄田、鈴鹿、木坊子、他)														
金	病棟実習 (庄田、鈴鹿、木坊子、他)						病棟実習 (庄田、鈴鹿、木坊子、他)														
							外来検査：関節エコー（担当医）〔7号館1F〕														

- ・内科学（Ⅳ）講座の全体実習：月曜会、教授回診などは必ず出席するものとする。その他空き時間は、病棟実習にあてるものである。
- ・体験型学習を目的としているため、研究会・学会などは自主的に進んで参加することが望ましい。担当者より、その都度アナウンスを行う。

## リウマチ膠原病内科

### (第2週目)

9:00		10:00		11:00		12:00		13:00		14:00		15:00		16:00		17:00		18:00		19:00	
月	病棟実習 (庄田、鈴鹿、木坊子、他)					膠原病肺外来 見学 (希望者のみ) (小谷) 〔7号館1F リウマチ膠原病 内科外来〕		リウマチ膠原病内科回診 〔78病棟〕→			講義 (担当：庄田)										
火	病棟実習 (庄田、鈴鹿、木坊子、他)					病棟実習（庄田、鈴鹿、木坊子、他）															
						母性外来見学〔7号館1F〕															
						外来検査：関節エコー（担当医）〔7号館1F〕															
水	病棟実習 (庄田、鈴鹿、木坊子、他)					病棟実習（庄田、鈴鹿、木坊子、他）															
						外来検査：キャピラロスコピー（担当医）															
						外来検査：関節エコー（担当医）〔7号館1F〕															
木	病棟実習 (庄田、鈴鹿、木坊子、他)					病棟実習 (庄田、鈴鹿、木坊子、他)															
金	病棟実習 (庄田、鈴鹿、木坊子、他)					病棟実習 (庄田、鈴鹿、木坊子、他)															
						外来検査：関節エコー（担当医）〔7号館1F〕															

- ・内科学（Ⅳ）講座の全体実習：月曜会、教授回診などは必ず出席するものとする。その他空き時間は、病棟実習にあてるものである。
- ・体験型学習を目的としているため、研究会・学会などは自主的に進んで参加することが望ましい。担当者より、その都度アナウンスを行う。

## リウマチ膠原病内科

### (第3週目)

9:00		10:00		11:00		12:00		13:00		14:00		15:00		16:00		17:00		18:00		19:00		
月	病棟実習 (庄田、鈴鹿、木坊子、他)						膠原病肺外来 見学 (希望者のみ) (小谷)			リウマチ膠原病内科回診 〔78病棟〕→					講義 (担当：木坊子)							
火	病棟実習 (庄田、鈴鹿、木坊子、他)						病棟実習（庄田、鈴鹿、木坊子、他）															
							母性外来見学〔7号館1F〕															
							外来検査：関節エコー（担当医）〔7号館1F〕															
水	病棟実習 (庄田、鈴鹿、木坊子、他)						病棟実習（庄田、鈴鹿、木坊子、他）															
							外来検査：キャピラロスコピー（担当医）															
							外来検査：関節エコー（担当医）〔7号館1F〕															
木	病棟実習 (庄田、鈴鹿、木坊子、他)						病棟実習 (庄田、鈴鹿、木坊子、他)															
金	病棟実習 (庄田、鈴鹿、木坊子、他)						病棟実習 (庄田、鈴鹿、木坊子、他)															
							外来検査：関節エコー（担当医）〔7号館1F〕															

- ・内科学（Ⅳ）講座の全体実習：医局会、教授回診などは必ず出席するものとする。その他空き時間は、病棟実習にあてるものである。
- ・体験型学習を目的としているため、研究会・学会などは自主的に進んで参加することが望ましい。担当者より、その都度アナウンスを行う。

## リウマチ膠原病内科

### (第4週目)

9:00		10:00		11:00		12:00		13:00		14:00		15:00		16:00		17:00		18:00		19:00	
月	病棟実習 (庄田、鈴鹿、木坊子、他)					膠原病肺外来 見学 (希望者のみ) (小谷) 〔7号館1F リウマチ膠原病 内科外来〕		リウマチ膠原病内科回診 〔78病棟〕→				講義 (担当：庄田)									
火	病棟実習 (庄田、鈴鹿、木坊子、他)					病棟実習（庄田、鈴鹿、木坊子、他）															
						母性外来見学〔7号館1F〕															
						外来検査：関節エコー（担当医）〔7号館1F〕															
水	病棟実習 (庄田、鈴鹿、木坊子、他)					病棟実習（庄田、鈴鹿、木坊子、他）															
						外来検査：キャピラロスコピー（担当医）															
						外来検査：関節エコー（担当医）〔7号館1F〕															
木	病棟実習 (庄田、鈴鹿、木坊子、他)					病棟実習 (庄田、鈴鹿、木坊子、他)															
金	実習の総括 (武内 / 小谷)		病棟実習 (庄田、鈴鹿、木坊子、他)					病棟実習 (庄田、鈴鹿、木坊子、他)													
								外来検査：関節エコー（担当医）〔7号館1F〕													

- ・内科学（Ⅳ）講座の全体実習：医局会、教授回診などは必ず出席するものとする。その他空き時間は、病棟実習にあてるものである。
- ・体験型学習を目的としているため、研究会・学会などは自主的に進んで参加することが望ましい。担当者より、その都度アナウンスを行う。

# 臨床実習プログラム

科 目： 総合診療医学（総合診療科）

担当者名： 【総合診療科】 鈴木 富雄（責任者）、島田 史生、三澤 美和  
【感染対策室】 小川 拓

5年以上の医師実務経験を有する教員： 鈴木 富雄、島田 史生、三澤 美和、小川 拓

実習内容：

## 科目の概要

医師となるための人格を涵養するとともに感染対策を含む基本的臨床技能を習得する。日常診療でしばしば遭遇する疾患や病態に適切に対応できるプライマリ・ケアの能力を育成する。

## 科目のゴール

1. 外来・病棟実習において患者との良好な関係を築き、医療面接によりの確な医療情報を得ることができる。
2. 医療情報に基づいて problem list を作成することができる。
3. 基本的な診察法を習得する。
4. 検査の目的・方法・結果を理解し、結果を解釈できる。
5. 各種疾患の診断方法や治療法を理解し説明できる。
6. 医療チームの一員として安全対策、感染対策の基本を知る。
7. 問題の指摘、解決に参加できる。
8. 初期診療における臨床推論の実習が主たる目標である。
9. 受け持ち患者の症例報告を行う。

## 具体的内容

外来診療に参加するとともに指導医、研修医で構成する医療チームの一員として参加し、入院患者を受け持つ。当科の入院患者は不明熱や関節痛などの症候診断で入院してくるものが多い。すなわち診断がついていない患者である。こうした患者における医療面接のポイント、重要な診察所見、必要な検査について学び臨床推論の習得を目指す。ベッドサイドで診察法に習熟する。またエンピリック治療と診断がついた後の治療計画の変更の手法についても学ぶ。AST 回診で感染症学、感染制御学の基本を知る。

1. 月曜日（第1週）午前8時20分に総合診療科医局（6号館地下1階）に集合し、その場でオリエンテーションを受ける。変更がある場合は別途連絡する。
2. 外来診療に参加しながら、医療面接、診察法、臨床診断学、治療など内科全般を学習する。
3. 指導医により担当患者の紹介を受ける。指導医の指導の下にチーム医療に参加する。
4. 指導医の指導の下に医療面接、診察、カルテ記載などを行う。
5. 臨床推論のための基礎的知識と鑑別診断の手法を学ぶ。
6. 感染対策室 抗菌薬適正使用の考え方を、実際の広域抗菌薬使用症例や血液培養陽性症例を通して学ぶ。

評 価： 共通評価表

受入定員： 2名（他大学学生を含む）

注意事項： 特になし

初日の集合場所、時間： 総合診療科医局（6号館地下1階） AM8:20



※変更がある場合は別途連絡する。  
月曜日が休日の場合は火曜日、同上

**予習項目：** 1. 5年生の時の症候学演習（10回シリーズ）の鈴木の授業プリントを参照し復習しておくこと  
2. 医療面接と身体診察の OSCE で用いたテキストなどを復習しておくこと  
3. 3Dテキストブックの院内感染のパートを学習しておくこと

**復習項目：** 1. 毎日業務終了後にポートフォリオシートを記入し、振り返りを行う。  
2. 実習の最終週に総合診療科医局にて、発表を行う。

**オフィスアワー担当教員：**

担当教員①：鈴木 富雄（総合診療科科长）  
連絡先：吉田（教授秘書） スマートフォン：56610  
E-mail：asako.yoshida@ompu.ac.jp

担当教員②：小川 拓（感染対策室室長）  
連絡先：スマートフォン：56080  
E-mail：taku.ogawa@ompu.ac.jp

担当教員③：島田 史生（総合診療科医長）  
連絡先：<sup>かいで</sup>開出（医局秘書） スマートフォン：58062  
E-mail：youko.kaide@ompu.ac.jp

担当教員④：三澤 美和（総合診療科医長）  
連絡先：<sup>かいで</sup>開出（医局秘書） スマートフォン：58062  
E-mail：youko.kaide@ompu.ac.jp

担当教員⑤：橋本 忠幸（総合診療科医員）  
連絡先：<sup>かいで</sup>開出（医局秘書） スマートフォン：58062  
E-mail：youko.kaide@ompu.ac.jp

**オフィスアワー日時：**

随時。教員の対応可能な時間帯については、秘書宛にお問い合わせください。

総合診療科

(第1週目)

8:20		9:00		10:00		12:00		12:30		14:30		15:00		15:30		17:00	
月	オリエン テーション (鈴木) 〔医局〕	総合診療科外来実習 (鈴木) 〔外来〕 または、病棟実習								病棟実習		入院 カンファレンス (鈴木) 〔医局〕					
火	カンファ レンス (鈴木) 〔医局〕	総合診療科外来実習 (住友) 〔外来〕 または、病棟実習								病棟 実習		科長回診 (鈴木) 〔医局〕					
水	カンファ レンス (鈴木) 〔医局〕	抗菌薬適正 使用演習 (小川) 医局 4 週間に 1 回	AST 回診 (小川) 〔感染対策室〕			病棟実習											
木	カンファ レンス (鈴木) 〔医局〕	総合診療科外来実習 (島田) 〔外来〕 または、病棟実習					病棟実習					外来 カンファレンス (鈴木) 〔医局〕					
金	カンファ レンス (三澤) 〔医局〕	総合診療科外来実習 (三澤) 〔外来〕 または、病棟実習								病棟 実習		科長回診 (鈴木) 〔医局〕					

総合診療科

(第2～4週目)

8:20		9:00		10:00		12:00		12:30		14:30		15:00		15:30		17:00	
月	カンファ レンス (鈴木) [医局]	総合診療科外来実習 (鈴木) 〔外来〕 または、病棟実習								病棟実習		入院 カンファレンス (鈴木) [医局]					
火	カンファ レンス (鈴木) [医局]	総合診療科外来実習 (三澤) 〔外来〕 または、病棟実習								病棟 実習		科長回診 (鈴木) [医局]					
水	カンファ レンス (鈴木) [医局]	抗菌薬適正 使用演習 (小川) 医局 4 週間に 1 回	AST 回診 (小川) 〔感染対策室〕				病棟実習										
木	カンファ レンス (鈴木) [医局]	総合診療科外来実習 (島田) 〔外来〕 または、病棟実習						病棟実習				救急外来 カンファレンス (鈴木) [医局]					
金	カンファ レンス (三澤) [医局]	総合診療科外来実習 (三澤) 〔外来〕 または、病棟実習								病棟 実習		科長回診 (鈴木) [医局]					

# 臨床実習プログラム

**科 目：** 神経精神医学（精神神経科）

**担当者名：** 金沢 徹文、西田 圭一郎、木下 真也、久保 洋一郎、西澤 由貴、辻 明里、藤本 健士郎、南 博也、犬山 麻亜弥

**5年以上の医師実務経験を有する教員：**

金沢 徹文、西田 圭一郎、木下 真也、久保 洋一郎、西澤 由貴、辻 明里、藤本 健士郎、南 博也

**実習内容：**

## 科目の概要

精神障害の診断と治療を習得する。

## 科目のゴール

- 1) 精神症状の捉え方を習得し、問題点が列挙できる。
- 2) 精神障害の診断と治療の初期対応ができる。
- 3) 精神症状を持つ患者の診療を行う上での、法と倫理の必須項目を列挙できる。

## 具体的内容

- 1) 外来、病棟において担当者の指導のもと、患者の診察（薬物療法、精神療法など）を行う。
- 2) 新入院患者に対する入院の説明、入院時の診察を行い、診断プラン、治療プランをたてる。
- 3) 外来においては予診をとり、初診につき、診療を行う。

**評 価：** 出席、態度、レポート、共通評価表による評価

**受入定員：** 2名（他大学学生を含む）

**注意事項：**

- 1) オリエンテーション、まとめは医局の集団精神療法室で行います。
- 2) 病棟実習について  
本学大学病院61病棟で行います。  
61病棟では患者さんを担当してもらいますので、服装や患者さんへの対応の仕方について注意してください。

**初日の集合場所、時間：** 精神神経科医局集団精神療法室、午前8時45分  
月曜日が休日の場合は翌火曜日 同上

**予習項目：**

- 1) 症候：精神運動性障害、幻覚・妄想、思考障害、陰性症状、認知機能障害、不安感、抑うつ状態、躁状態、物質依存、心気症状、強迫症状  
現代臨床精神医学70頁から116頁を参考に調べ学習しておくこと。
- 2) 検査：脳画像検査、脳波、心理機能検査  
現代臨床精神医学127頁から152頁を参考に調べ学習しておくこと。
- 3) 疾患：統合失調症、気分障害、非定型精神病、認知症、外因性精神病、神経症、精神作用物質性障害、適応障害、パーソナリティ障害、てんかん、児童思春期疾患  
現代臨床精神医学156頁から434頁を参考に調べ学習しておくこと。
- 4) 治療：向精神薬療法、精神療法、電気けいれん療法、精神科リハビリテーション  
現代臨床精神医学468頁から520頁を参考に調べ学習しておくこと。
- 5) 法律：精神保健福祉法、医療観察法

現代臨床精神医学436頁から464頁を参考に調べ学習しておくこと。

**復習項目：** 実習で経験した症候、検査、疾患、治療、法律のいずれかについてレポートにまとめること。  
(参考図書)

現代臨床精神医学 大熊 輝男 原著 (金原出版)

標準精神医学 尾崎 紀夫／三村 將／水野 雅文／村井 俊哉著 (医学書院)

臨床精神医学テキスト カプラン著 (医学書院)

**オフィスアワー担当教員：**

担当教員：木下 真也

内線・スマートフォン：56910 E-mail: shinya.kinoshita@ompu.ac.jp

**オフィスアワー日時：**

毎週月曜日 16：00～17：00

場所：精神神経科医局集団精神療法室

精神神経科

(第1週目)

	9:00	9:15	11:00	12:30	13:30	16:00	17:00
月	オリエンテーション (藤本) [医局]	回診 (金沢、西田、久保、木下、西澤、辻) [61病棟]	病棟実習 (藤本) [61病棟]		入院報告 (金沢、西田、久保、木下、西澤、辻) [医局]	演習 (藤本) [医局]	
火	外来実習 (久保、豊田、南) [外来]				病棟実習 (辻、藤本) [61病棟]		
水	外来実習 (金沢、西田、辻) [外来]				自学自習		
木	外来実習 (西田、木下、犬山) [外来]				入院報告 (金沢、西田、久保、木下、西澤、辻) [医局]	病棟実習 (藤本) [61病棟]	
金	外来実習 (金沢、木下、南) [外来]				病棟実習 (辻、藤本) [61病棟]		

精神神経科

(第2週目)

	9:00	11:00	12:30	13:30	16:00	17:00
月	回診 (金沢、西田、久保、木下、西澤、辻) [61病棟]	病棟実習 (藤本) [61病棟]		入院報告 (金沢、西田、久保、木下、西澤、辻) [医局]	演習 (藤本) [医局]	
火	外来実習 (久保、南) [外来]				病棟実習 (辻、藤本) [61病棟]	
水	外来実習 (金沢、西田、辻) [外来]				自学自習	
木	外来実習 (西田、木下、犬山) [外来]				入院報告 (金沢、西田、久保、木下、西澤、辻) [医局]	病棟実習 (藤本) [61病棟]
金	外来実習 (金沢、木下、南) [外来]				まとめ (金沢、西田、久保、木下、西澤、藤本) [医局]	

# 臨床実習プログラム

**科 目：** 一般・消化器外科学（一般・消化器・小児外科、乳腺・内分泌外科）

**担当者名：** 李 相雄、岩本 充彦、富山 英紀、朝隈 光弘、米田 浩二、木村 光誠、河野 恵美子、今井 義朗、田中 亮、濱元 宏喜、谷口 高平、川口 直、富岡 淳、松尾 謙太郎、富永 智、猪俣 陽介、高井 早紀、有馬 純、庫本 達、碓 絢菜、高野 義章、北田 和也、島 卓史

**5年以上の医師実務経験を有する教員：**

李 相雄、岩本 充彦、富山 英紀、朝隈 光弘、米田 浩二、木村 光誠、河野 恵美子、今井 義朗、田中 亮、濱元 宏喜、谷口 高平、川口 直、富岡 淳、松尾 謙太郎、富永 智、猪俣 陽介、高井 早紀、有馬 純、庫本 達、碓 絢菜、高野 義章、北田 和也、島 卓史

**実習内容：**

## 科目の概要

一般外科ならびに消化器外科・小児外科・乳腺外科の適応疾患を理解し、外科治療の効果と合併症・外科治療後のフォローアップの要点を理解する。

## 科目のゴール

外科疾患患者の診断と外科治療ならびに術前・術後管理について医行為水準Ⅰの臨床実習を行い、その成果についてレポートを提出する。

## 具体的内容

当医局の医師は上部、下部、肝胆膵、乳腺、小児外科、機能班の計6つの診療班に分かれ外科治療を担当している。それぞれの日常業務において学生を1～2名ずつ組み入れて前半の2週間にわたって上記科目のゴールのもとに実習を行う。実習内容とその進行度は逐次各班の学生指導医、さらに班長が責任をもって管理する。後半の2週間は異なる診療班にて同様に実習を行うが希望により同一班での実習を継続することもできる。  
また適宜、各担当教員による演習も行う。

**評 価：** 共通評価表とマイステップフォローへの記載内容などにより評価を行う。

**受入定員：** 6名（他大学学生を含む）

**注意事項：** 日常的に患者様と接触することから、節度ある身だしなみ、髪型・髪色などに留意することが重要であり、患者様と医療従事者への礼儀正しい挨拶の励行は必須である。また手洗いの励行及びマスク（必要に応じてフェイスガード）を装着しての実習参加により感染防止に努めるものとする。

**初日の集合場所、時間：** 月曜日午前8時30分（時間厳守）より、一般消化器外科医局にてオリエンテーションを行い配属する診療班を決める。  
火曜日が初日の場合 午前8時、C5病棟カンファレンス室集合

**予習項目：** “臨床テキストブック”で下記の項目を参照し、学習しておくこと  
「消化器コース」全章  
「腫瘍コース」消化器腫瘍関連の部分  
ほか、実習希望する領域に関わるテキスト内容

**復習項目：** 実習で扱った担当症例についてレポートにまとめること

**オフィスアワー担当教員：**

担当教員：富山 英紀

スマートフォン：53940      E-mail: hideki.tomiyama@ompu.ac.jp

**オフィスアワー日時：**

月曜日 9時～17時

場所：一般消化器外科 医局（内線2361）

一般・消化器・小児外科、乳腺・内分泌外科

(第1週目)

8:00		8:30	9:00	12:30	13:30	17:30
月		オリエンテーション (富山) [医局]	手術実習 (各班担当指導医) [手術室]			手術及び病棟実習 (各班担当指導医) [手術室、病棟]
火	術前・術後 症例検討会 [C5病棟カンファ レンスルーム]		病棟回診 (李) [病棟]	臨床実習 (各班担当指導医)		臨床実習 (各班担当指導医) [病棟]
水			手術実習 (各班担当指導医) [手術室]			手術及び病棟実習 (各班担当指導医) [手術室、病棟]
木	術前・術後 症例検討会 [A7病棟カンファ レンスルーム]		病棟回診 (李、岩本) [病棟]	臨床実習 (各班担当指導医)		臨床実習 (各班担当指導医) [病棟]
金			手術実習 (各班担当指導医) [手術室]			手術及び病棟実習 (各班担当指導医) [手術室、病棟]

一般・消化器・小児外科、乳腺・内分泌外科

(第2週目)

8:00		8:30	9:00	12:30	13:30	17:30
月			手術実習 (各班担当指導医) [手術室]			手術及び病棟実習 (各班担当指導医) [手術室、病棟]
火	術前・術後 症例検討会 [C5病棟カンファ レンスルーム]		病棟回診 (李) [病棟]	臨床実習 (各班担当指導医)		臨床実習 (各班担当指導医) [病棟]
水			手術実習 (各班担当指導医) [手術室]			手術及び病棟実習 (各班担当指導医) [手術室、病棟]
木	術前・術後 症例検討会 [A7病棟カンファ レンスルーム]		病棟回診 (李、岩本) [病棟]	臨床実習 (各班担当指導医)		臨床実習 (各班担当指導医) [病棟]
金			手術実習 (各班担当指導医) [手術室]			手術及び病棟実習 (各班担当指導医) [手術室、病棟]



一般・消化器・小児外科、乳腺・内分泌外科

(第3週目)

8:00	8:30	9:00	12:30	13:30	17:30
月		手術実習 (各班担当指導医) 〔手術室〕		手術及び病棟実習 (各班担当指導医) 〔手術室、病棟〕	
火	術前・術後 症例検討会 〔C5病棟カンファ レンスルーム〕	病棟回診 (李) 〔病棟〕	臨床実習 (各班担当指導医)	臨床実習 (各班担当指導医) 〔病棟〕	
水		手術実習 (各班担当指導医) 〔手術室〕		手術及び病棟実習 (各班担当指導医) 〔手術室、病棟〕	
木	術前・術後 症例検討会 〔A7病棟カンファ レンスルーム〕	病棟回診 (李、岩本) 〔病棟〕	臨床実習 (各班担当指導医)	臨床実習 (各班担当指導医) 〔病棟〕	
金		手術実習 (各班担当指導医) 〔手術室〕		手術及び病棟実習 (各班担当指導医) 〔手術室、病棟〕	

一般・消化器・小児外科、乳腺・内分泌外科

(第4週目)

8:00	8:30	9:00	12:30	13:30	17:30
月		手術実習 (各班担当指導医) 〔手術室〕		手術及び病棟実習 (各班担当指導医) 〔手術室、病棟〕	
火	術前・術後 症例検討会 〔C5病棟カンファ レンスルーム〕	病棟回診 (李) 〔病棟〕	臨床実習 (各班担当指導医)	臨床実習 (各班担当指導医) 〔病棟〕	
水		手術実習 (各班担当指導医) 〔手術室〕		手術及び病棟実習 (各班担当指導医) 〔手術室、病棟〕	
木	術前・術後 症例検討会 〔A7病棟カンファ レンスルーム〕	病棟回診 (李、岩本) 〔病棟〕	臨床実習 (各班担当指導医)	臨床実習 (各班担当指導医) 〔病棟〕	
金		手術実習 (各班担当指導医) 〔手術室〕		手術及び病棟実習 (各班担当指導医) 〔手術室、病棟〕	

# 臨床実習プログラム

**科 目：** 胸部外科学（心臓血管外科・小児心臓血管外科）

**担当者名：** 心臓血管外科・小児心臓血管外科；

勝間田 敬弘、根本 慎太郎、大門 雅広（責任者）、小澤 英樹、岡本 順子、神吉 佐智子、  
打田 裕明、小西 隼人、鈴木 達也、鈴木 昌代

**5年以上の医師実務経験を有する教員：**

勝間田 敬弘、根本 慎太郎、大門 雅広、小澤 英樹、岡本 順子、神吉 佐智子、打田 裕明、  
小西 隼人、鈴木 達也、鈴木 昌代

**実習内容：**

## 科目の概要

心臓・血管疾患の病態生理の理解を深め、臨床現場で診察と診断、治療法を学び臨床基本技能を修得する。

## 科目のゴール

主治医チームの一員として心臓血管外科・小児心臓血管外科の診療に参加し、術前・周術期・術後の診察と治療を学ぶ。基本的な外科手技と一般的な臨床医としての診察、診断、治療、管理を指導医の下に実習する。また、集中治療管理、緊急対応、他科医師や医師以外の医療職とのチーム医療、患者や患者家族とのコミュニケーションについても理解する。

## 具体的内容

4週間を通して診療チームの一員として日常診療に携わる。この中で、術前診察と各種検査結果、患者背景に基づいて治療法や手術手技を選択し、手術治療と術後管理を行う。受け持ち患者を訪床し、検査立ち合いや検査結果の確認、診療録の確認と記載、術前検討会で症例提示を行う。各種検査の適応と方法と結果の判断、治療法の選択、手術手技の選択を学ぶ。希望に応じて心臓血管外科と小児心臓血管外科を2週間ずつ選択することも可能である（4週間コースの場合）。トランスレーショナルリサーチ（基礎研究）の参加も可能である。

修得目標とする基本手技としては以下のものがあり、医学生の実習において一定条件下で許容される基本的医行為のうち、水準1と2までの実習を行う。

- a) 切開、縫合、結紮、抜糸などの基本的手技（ドライラボの実施、ウェットラボの参加（不定期開催）、医療技能シミュレーション室を使用）
- b) 中心静脈の確保やスワンガンツカテーテル挿入などの介助手技
- c) 各種CTおよび心エコーなどの生理機能検査や心臓カテーテル検査の読影と評価

**評 価：** 実習態度を評価する。見学した手術や経験した処置を「経験症例一覧表」に記入して提出し、自己振り返りを励行する。品位を欠く行為や危険行為がある場合には、実習の参加を制限することもある。大阪医科薬科大学実習共通評価表に基づき総合評価を行う。

**受入定員：** 3名（他大学学生を含む）

**注意事項：** 実習中は医師としてふさわしい服装をする。聴診器および学内スマートフォンは常時携帯すること。個人の携帯電話およびスマートフォンの実習中の持ち歩きは不可。

**初日の集合場所、時間：** 医局 AM8:30（担当：大門 雅広）  
火曜日が初日の場合も同上

**予習項目：** 心臓外科：新心臓血管外科テキスト（中外医学社、ISBN978-4-498-03914-8）第2章、第4章  
大動脈瘤、心臓弁膜症、冠動脈疾患の病態生理と手術の適応、手術手技、術後合併症について学習しておくこと。

小児心臓外科：新心臓血管外科テキスト（中外医学社、ISBN978-4-498-03914-8）第3章先天性心疾患の病態生理と手術適応、手術手技、術後合併症について学習しておくこと。

**復習項目：** 実習で扱った疾患、手術法、各種検査、術後診療について、別紙に記入し、理解しているかどうかを検討すること。

**オフィスアワー担当教員：**

担当教員①：大門 雅広（心臓血管外科）

スマートフォン：56934 E-mail：daimon@ompu.ac.jp

担当教員②：根本 慎太郎（小児心臓血管外科）

スマートフォン：56558 E-mail：snemoto@ompu.ac.jp

**オフィスアワー日時：**

オフィスアワー日時①：毎週木曜日 16：00～17：00

場所：医局

オフィスアワー日時②：毎週金曜日 9：00～10：00

場所：胸部外科研究室（総合研究棟8階）

心臓血管外科・小児心臓血管外科

(第1週目)

8:00 8:30 9:00			12:00 13:00		15:00 16:00		17:00 17:30		18:30	
月		オリエンテーション (大門) [医局]	手術実習 (勝間田、根本、大門、小澤、岡本、神吉、打田、小西、鈴木達、鈴木昌) 病棟実習							
火	ICU ラウンド	病棟 ラウンド	病棟実習		自学自習	心臓血管外科 症例検討会 [C4病棟カン ファレンス室 (C4-CR)]	TAVI カンファレンス [C4-CR]	抄読会 [医局] (不定期)		
水	ICU ラウンド	病棟 ラウンド	手術実習 (勝間田、根本、大門、小澤、岡本、神吉、打田、小西、鈴木達、鈴木昌) 病棟実習							
木	Cardiovascular conference (CVC) [中央手術棟1階 カンファレンス室 (C1-CR)]		病棟実習 外来見学		病棟実習 自学自習	エコーカン ファレンス [C4-CR]		小児心外 先天性心疾患 カンファレンス (根本、小西) [C1-CR]		
金	ICU ラウンド	病棟 ラウンド	手術実習 (勝間田、根本、大門、小澤、岡本、神吉、打田、小西、鈴木達、鈴木昌) 病棟実習							

心臓血管外科・小児心臓血管外科

(第2週目)

8:00 8:30 9:00			12:00 13:00		15:00 16:00		17:00 17:30		18:30
月	ICU ラウンド	病棟 ラウンド	手術実習 (勝間田、根本、大門、小澤、岡本、神吉、打田、小西、鈴木達、鈴木昌) 病棟実習						
火	ICU ラウンド	病棟 ラウンド	病棟実習		自学自習	心臓血管外科 症例検討会 [C4病棟カン ファレンス室 (C4-CR)]	TAVI カンファレンス [C4-CR]	抄読会 [医局] (不定期)	
水	ICU ラウンド	病棟 ラウンド	手術実習 (勝間田、根本、大門、小澤、岡本、神吉、打田、小西、鈴木達、鈴木昌) 病棟実習						
木	Cardiovascular conference (CVC) [中央手術棟1階 カンファレンス室 (C1-CR)]		病棟実習 外来見学		病棟実習 自学自習	エコーカン ファレンス [C4-CR]		小児心外 先天性心疾患 カンファレンス (根本、小西) [C1-CR]	
金	ICU ラウンド	病棟 ラウンド	手術実習 (勝間田、根本、大門、小澤、岡本、神吉、打田、小西、鈴木達、鈴木昌) 病棟実習						

心臓血管外科・小児心臓血管外科

(第3週目)

	8:00	8:30	9:00	12:00	13:00	15:00	16:00	17:00	17:30	18:30
月	ICU ラウンド	病棟 ラウンド	手術実習 (勝間田、根本、大門、小澤、岡本、神吉、打田、小西、鈴木達、鈴木昌) 病棟実習							
火	ICU ラウンド	病棟 ラウンド	病棟実習		自学自習	心臓血管外科 症例検討会 [C4病棟カン ファレンス室 (C4-CR)]	TAVI カンファレンス [C4-CR]	抄読会 [医局] (不定期)		
水	ICU ラウンド	病棟 ラウンド	手術実習 (勝間田、根本、大門、小澤、岡本、神吉、打田、小西、鈴木達、鈴木昌) 病棟実習							
木	Cardiovascular conference (CVC) [中央手術棟1階 カンファレンス室 (C1-CR)]		病棟実習 外来見学		病棟実習 自学自習		エコーカン ファレンス [C4-CR]		小児心外 先天性心疾患 カンファレンス (根本、小西) [C1-CR]	
金	ICU ラウンド	病棟 ラウンド	手術実習 (勝間田、根本、大門、小澤、岡本、神吉、打田、小西、鈴木達、鈴木昌) 病棟実習							

心臓血管外科・小児心臓血管外科

(第4週目)

	8:00	8:30	9:00	12:00	13:00	15:00	16:00	17:00	17:30	18:30
月	ICU ラウンド	病棟 ラウンド	手術実習 (勝間田、根本、大門、小澤、岡本、神吉、打田、小西、鈴木達、鈴木昌) 病棟実習							
火	ICU ラウンド	病棟 ラウンド	病棟実習		自学自習	心臓血管外科 症例検討会 [C4病棟カン ファレンス室 (C4-CR)]	TAVI カンファレンス [C4-CR]	抄読会 [医局] (不定期)		
水	ICU ラウンド	病棟 ラウンド	手術実習 (勝間田、根本、大門、小澤、岡本、神吉、打田、小西、鈴木達、鈴木昌) 病棟実習							
木	Cardiovascular conference (CVC) [中央手術棟1階 カンファレンス室 (C1-CR)]		病棟実習 外来見学		病棟実習 自学自習		エコーカン ファレンス [C4-CR]		小児心外 先天性心疾患 カンファレンス (根本、小西) [C1-CR]	
金	ICU ラウンド	病棟 ラウンド	手術実習 (勝間田、根本、大門、小澤、岡本、神吉、打田、小西、鈴木達、鈴木昌) 病棟実習						総括 (神吉) [医局]	

大阪医科薬科大学 胸部外科学（心臓血管外科・小児心臓血管外科）

アドバンスト・クリニカル・クラークシップ 経験症例一覧

学生氏名： \_\_\_\_\_ 学籍番号： \_\_\_\_\_ 令和 年 月 日～ 月 日

目標： \_\_\_\_\_

	患者イニシャル (姓・名)	疾患	手術・検査・手技	感想 (見つけた課題など)
第1週目				
	経験した処置など			
第2週目				
	経験した処置など			
第3週目				
	経験した処置など			
第4週目				
	経験した処置など			

4週間を通しての感想

# 臨床実習プログラム

科 目： 胸部外科学（呼吸器外科）

担当者名： 花岡 伸治（責任者）、佐藤 澄、文元 聡志

5年以上の医師実務経験を有する教員：

花岡 伸治、佐藤 澄、文元 聡志

実習内容：

## 科目の概要

呼吸器疾患（肺悪性腫瘍、縦隔腫瘍、肺感染症）の病態生理の理解を深め、臨床現場で診察と診断、治療法を学び臨床基本技能を修得する。

## 科目のゴール

診療チームの一員として胸部外科の診療に参加し、術前診察と各種検査、その結果に基づく治療法の選択、手術手技の選択、術後診療を学ぶ。この中で基本的的外科的手技と一般的臨床医としての治療管理を指導医の下に実習する。また、集中治療管理、緊急対応、他科医師や医師以外の医療職とのチーム医療、患者や患者家族とのコミュニケーションについても理解する。

## 具体的内容

4週間を通して診療チームの一員として日常診療に携わる。この中で、術前診察と各種検査結果、患者背景に基づいて治療法や手術手技を選択し、手術治療と術後管理を行う。

修得目標とする基本手技としては以下のものがあり、医学生の実習において一定条件下で許容される基本的医行為のうち、水準1と2までの実習を行う。

- a) 切開、縫合、結紮、抜糸などの基本的手技（ドライラボの実施、医療技能シミュレーション室を使用）
- b) 胸腔ドレーンの挿入手技、術後ドレーン管理
- c) 胸部レントゲン写真 各種CT検査、FDG-PET検査の読影と評価
- d) 気管支ファイバーの基本的操作手技
- e) 切除標本の病理学的検討

評 価： 見学した手術や経験した処置を「経験症例一覧表」に記入して提出。指導責任者が行う短時間の質疑応答と、大阪医科薬科大学実習共通評価表に基づき総合評価を行う。

受入定員： 2名（他大学学生を含む）

注意事項： 実習中は医師としてふさわしい服装。白衣の場合は、下は襟のある服を着用（ネクタイの着用は問わない）。ケーシーは可。聴診器は常時携帯すること。

初日の集合場所、時間： 胸部外科医局（A棟5階 総合医局内） AM8:30  
火曜日が初日の場合も同上

予習項目： 肺悪性腫瘍・縦隔腫瘍の病態生理、外科手術の適応、手術術式、術後合併症について学習しておくこと。

参考書：①呼吸器外科テキスト 南江堂 ②浅村・呼吸器外科手術 金原出版株式会社 ③肺癌取り扱い規約 第8版補訂版 金原出版株式会社 ④肺癌診療ガイドライン2020年度 金原出版株式会社

**復習項目：** 実習で扱った疾患、手術法、各種検査、術後管理 術後外来診療について、別紙に記入し、理解しているかどうかを検討すること。

**オフィスアワー担当教員：**

担当教員①：佐藤 澄（呼吸器外科）

スマートフォン：56396 E-mail：skiyoshi@ompu.ac.jp

担当教員②：文元 聡志（呼吸器外科）

スマートフォン：53492 E-mail：satoshi.fumimoto@ompu.ac.jp

**オフィスアワー日時：**

オフィスアワー日時①：毎週火曜日 10：00～11：00

場所：胸部外科医局（A棟5階総合医局内）

オフィスアワー日時②：毎週金曜日 9：00～10：00

場所：胸部外科医局（A棟5階総合医局内）

**必ず事前に連絡をして（医局秘書 内線：2362）日時を調整すること**



呼吸器外科

(第1週目)

8:00	8:30	9:00	13:30	17:00	19:00
月	オリエンテーション (花岡) 〔胸部外科医局〕	手術実習 (花岡、佐藤、文元)	病棟実習		
火	病棟ラウンド	病棟実習 (手術があることもあり)	病棟実習・ダビンチ手術実習 (花岡、佐藤、文元)		
水	モーニングレクチャー	手術実習 (花岡、佐藤、文元)			術前カンファレンス
木	病棟ラウンド	病棟実習	病棟実習 病理検査 自己学習		
金	Lung disease conference (LDC) 〔中央手術棟1階 カンファレンス室 (C1-CR)〕	手術実習 (花岡、佐藤、文元)			

呼吸器外科

(第2週目)

8:00	8:30	9:00	13:30	17:00	19:00
月	病棟ラウンド	手術実習 (花岡、佐藤、文元)	病棟実習		
火	病棟ラウンド	病棟実習 (手術があることもあり)	病棟実習・ダビンチ手術実習 (花岡、佐藤、文元)		
水	抄読会または モーニングレクチャー	手術実習 (花岡、佐藤、文元)			術前カンファレンス
木	病棟ラウンド	病棟実習	病棟実習 病理検査 自己学習		
金	Lung disease conference (LDC) 〔中央手術棟1階 カンファレンス室 (C1-CR)〕	手術実習 (花岡、佐藤、文元)			

呼吸器外科

(第3週目)

8:00	8:30	9:00	13:30	17:00	19:00
月	病棟 ラウンド	手術実習 (花岡、佐藤、文元)	病棟実習		
火	病棟 ラウンド	病棟実習 (手術があることもあり)	病棟実習・ダビンチ手術実習 (花岡、佐藤、文元)		
水	モーニングレクチャー	手術実習 (花岡、佐藤、文元)			術前 カンファレンス
木	病棟 ラウンド	病棟実習	病棟実習 病理検査 自己学習		
金		Lung disease conference (LDC) 〔中央手術棟1階 カンファレンス室 (C1-CR)〕	手術実習 (花岡、佐藤、文元)		

呼吸器外科

(第4週目)

8:00	8:30	9:00	13:30	17:00	19:00
月	病棟 ラウンド	手術実習 (花岡、佐藤、文元)	病棟実習		
火	病棟 ラウンド	病棟実習 (手術があることもあり)	病棟実習・ダビンチ手術実習 (花岡、佐藤、文元)		
水	抄読会または モーニングレクチャー	手術実習 (花岡、佐藤、文元)			術前 カンファレンス
木	病棟 ラウンド	病棟実習	病棟実習 病理検査 自己学習		
金		Lung disease conference (LDC) 〔中央手術棟1階 カンファレンス室 (C1-CR)〕	手術実習 (花岡、佐藤、文元)	最終総括 ミーティング (佐藤) 〔胸部外科医局〕	

大阪医科薬科大学 胸部外科学（呼吸器外科）

アドバンスト・クリニカル・クラークシップ 経験症例一覧

学生氏名： \_\_\_\_\_ 学籍番号： \_\_\_\_\_ 令和 \_\_\_\_ 年 \_\_\_\_ 月 \_\_\_\_ 日～ \_\_\_\_ 月 \_\_\_\_ 日

目標： \_\_\_\_\_

	患者イニシャル (姓・名)	疾患	手術・検査・手技	感想 (見つかった課題など)
第1週目				
	経験した処置など			
第2週目				
	経験した処置など			
第3週目				
	経験した処置など			
第4週目				
	経験した処置など			

4週間を通しての感想

# 臨床実習プログラム

**科 目：** 脳神経外科学（脳神経外科・脳血管内治療科）

**担当者名：** 鰐淵 昌彦（責任者）、高見 俊宏、川端 信司、古瀬 元雅、野々口 直助、亀田 雅博、平松 亮、二村 元、辻 優一郎、福村 匡央

**5年以上の医師実務経験を有する教員：**

鰐淵 昌彦、高見 俊宏、川端 信司、古瀬 元雅、野々口 直助、亀田 雅博、平松 亮、二村 元、辻 優一郎、福村 匡央

**実習内容：**

## 科目の概要

脳神経疾患の病態生理を充分理解した上で、ベッドサイドでの臨床神経学的診察・診断法を習得し、さらに基本的外科手技および一般的全身管理を指導医の下に実習する。

## 科目のゴール

脳神経外科の診療に主治医の一員として加わることによって、様々な脳神経外科疾患の基礎的知識を深め、将来臨床医として神経障害および意識障害を伴った患者さんに対する診察、診断、治療を正確かつ迅速に行える能力を身につける。特に意識障害を伴った患者さんへの迅速な対応、処置を学ぶことは、救急医療を実習する上でも重要である。

## 具体的内容

- 1）4週間を通して脳神経外科の日常業務に携わり、脳神経疾患に対する神経学的および神経放射線学的診断力を身につける。  
症例検討会、病棟回診：週3回（月、水、金）  
手術：週2回（火、木）、血管内手術（水、木、金）  
放射線治療カンファレンス：週1回（金）  
脳卒中カンファレンス（神経内科合同）：月1回  
神経カンファレンス（神経内科、放射線科合同）：月1回
- 2）脳神経外科疾患（脳腫瘍、脳血管障害、先天奇形、水頭症、頭部外傷、機能脳神経外科疾患、認知症、脊髄疾患）を伴った患者さんを均等に担当することによって、検査、治療を実習する。
- 3）脳神経外科的検査の基本手技としては a）外科手術の基本的な手技、b）脳血管撮影の基本的準備、c）髄液採取の基本手技、d）中心静脈ルートの確保の基本手技、などの介助を行う。
- 4）病棟における患者診察、静脈採血、創処置、術前検査（心電図、動脈採血）などの手技を実施または介助を行う。
- 5）救急外来における脳卒中などの脳神経外科患者の初期診療を見学する。
- 6）血管造影装置「ARTIS icono D-Spin」を2024年度から導入した。当機を用いた脳血管内治療術前シミュレーションを実施することでより正確な脳血管の解剖学的構造が把握でき、実際の脳血管内治療での手技内容の理解に繋げる。

**評 価：** 臨床実習終了時に担当した個々の症例のレポートを提出し、その上で大阪医科薬科大学臨床実習共通評価表に基づいた総合評価を指導責任者が行う。

**受入定員：** 4名（他大学学生を含む）

**注意事項：** 臨床実習中の服装はネクタイ着用（ケーシータイプ可）。

**初日の集合場所、時間：** 大阪医科薬科大学 A10病棟カンファレンスルーム、午前9時

月曜日が休日の場合は火曜日、A10病棟カンファレンスルーム、午前8時30分

**予習項目：** 下記項目について金芳堂脳神経外科学および金芳堂グリーンバーグ脳神経外科ハンドブックを読み、予備知識を備え、整理しておくこと。

- 1) 解剖：前頭葉、頭頂葉、側頭葉、後頭葉、大脳基底核、間脳・下垂体、脳幹、小脳、脊髄、脳神経、脳血管、頭蓋骨（グリーンバーグ脳神経外科ハンドブック 原著第6版 P89-122）
- 2) 症候：頭痛、めまい、麻痺、感覚障害、失語、視力・視野障害、意識障害（グリーンバーグ脳神経外科ハンドブック 原著第6版 P1211-1239）
- 3) 検査：CT、MRI、MRA、脳血管撮影、SPECT（グリーンバーグ脳神経外科ハンドブック 原著第6版 P165-195）
- 4) 疾患：脳腫瘍（髄膜腫、膠芽腫、など）（グリーンバーグ脳神経外科ハンドブック 原著第6版 P541-653、P655-665、P678-685、P541-653）  
脳血管障害（脳動脈瘤、脳動静脈奇形、脳内出血、脳梗塞、など）（グリーンバーグ脳神経外科ハンドブック 原著第6版 P1167-1184、P1193-1194）  
先天奇形（頭蓋骨縫合早期癒合症、神経管閉鎖障害、など）（グリーンバーグ脳神経外科ハンドブック 原著第5版 P181-219）  
水頭症（グリーンバーグ脳神経外科ハンドブック 原著第5版 P233-267）  
頭部外傷（急性硬膜外血腫、急性/慢性硬膜下血腫、など）（グリーンバーグ脳神経外科ハンドブック 原著第6版 P849-936）  
機能脳神経外科疾患（三叉神経痛、顔面けいれん、パーキンソン病）（グリーンバーグ脳神経外科ハンドブック 金芳堂 P491-505）  
認知症（脳神経外科学 改訂12版 P2844-2851）  
脊髄疾患（グリーンバーグ脳神経外科ハンドブック 原著第6版 P406-455、P466-468、P685-693）
- 5) 治療：腫瘍摘出術、脳動脈瘤クリッピング、脳動脈瘤コイル塞栓術、ステント留置術、神経血管減圧術（グリーンバーグ脳神経外科ハンドブック 原著第6版 P807-843、P1081-1092、P1167-1184、P500-502）

**復習項目：** 実習中に症例検討会やカンファレンスで提示された疾患および自身で経験した疾患について教科書を参考にノートにまとめること。

**オフィスアワー担当職員：**

担当職員①：平松 亮

内線・スマートフォン：2363・53377 Email: ryo.hiramatsu@ompu.ac.jp

担当職員②：二村 元

内線・スマートフォン：2363・58017 Email: gen.futamura@ompu.ac.jp

**オフィスアワー日時：**

毎週金曜日 13:00～14:00

場所：脳神経外科医局

脳神経外科・脳血管内治療科

(第1週目)

	8:00	9:00	12:00	14:30	17:00
月		オリエンテーション (病棟主任) 〔A10病棟カンファレンスルーム〕 患者診察 (病棟主任)		症例検討会、回診 (古瀬) 〔A10病棟カンファレンスルーム〕 病棟処置、患者診察 (病棟主任) 〔A10病棟〕	
火		手術介助 (高見、古瀬、二村)〔手術室〕 病棟処置、患者診察 (病棟主任)〔A10病棟〕		手術介助 (鰐淵)〔手術室〕 病棟処置、患者診察 (病棟主任)〔A10病棟〕	
水		症例検討会、回診 (鰐淵)〔A10病棟カンファレンスルーム〕 担当患者プレゼンテーション 病棟処置、患者診察 (病棟主任)〔A10病棟〕		脳血管内治療 (平松)〔本館 A 棟 3 階〕 または脳血管撮影〔A10病棟〕	
木		手術介助 (川端、野々口、亀田)〔手術室〕 脳血管内治療 (平松、辻)〔本館 A 棟 3 階〕		手術介助 (鰐淵)〔手術室〕 脳血管内治療 (平松、辻)〔本館 A 棟 3 階〕	
金		脳卒中カンファレンス〔第1金曜日、第11会議室〕 神経カンファレンス〔第3金曜日、第11会議室〕 担当患者プレゼンテーション 症例検討会、回診 (鰐淵)〔A10病棟カンファレンスルーム〕		脳血管内治療 (平松)〔本館 A 棟 3 階〕 病棟処置、患者診察 (病棟主任)〔A10病棟〕	

脳神経外科・脳血管内治療科

(第2週目)

	8:00	9:00	12:00	14:30	17:00
月		病棟処置、患者診察 (病棟主任)〔A10病棟〕		症例検討会、回診 (古瀬) 〔A10病棟カンファレンスルーム〕 病棟処置、患者診察 (病棟主任) 〔A10病棟〕	
火		手術介助 (高見、古瀬、二村)〔手術室〕 病棟処置、患者診察 (病棟主任)〔A10病棟〕		手術介助 (鰐淵)〔手術室〕 病棟処置、患者診察 (病棟主任)〔A10病棟〕	
水		症例検討会、回診 (鰐淵)〔A10病棟カンファレンスルーム〕 担当患者プレゼンテーション 病棟処置、患者診察 (病棟主任)〔A10病棟〕		脳血管内治療 (平松)〔本館 A 棟 3 階〕 または脳血管撮影介助	
木		手術介助 (川端、野々口、亀田)〔手術室〕 脳血管内治療 (平松、辻)〔本館 A 棟 3 階〕		手術介助 (鰐淵)〔手術室〕 脳血管内治療 (平松、辻)〔本館 A 棟 3 階〕	
金		脳卒中カンファレンス〔第1金曜日、第11会議室〕 神経カンファレンス〔第3金曜日、第11会議室〕 担当患者プレゼンテーション 症例検討会、回診 (鰐淵)〔A10病棟カンファレンスルーム〕		脳血管内治療 (平松)〔本館 A 棟 3 階〕 病棟処置、患者診察 (病棟主任)〔A10病棟〕	

脳神経外科・脳血管内治療科

(第3週目)

	8:00	9:00	12:00	14:30	17:00
月		病棟処置、患者診察（病棟主任）〔A10病棟〕		症例検討会、回診（古瀬） 〔A10病棟カンファレンスルーム〕 病棟処置、患者診察（病棟主任） 〔A10病棟〕	
火		手術介助（高見、古瀬、二村）〔手術室〕 病棟処置、患者診察（病棟主任）〔A10病棟〕		手術介助（鰐淵）〔手術室〕 病棟処置、患者診察（病棟主任）〔A10病棟〕	
水		症例検討会、回診（鰐淵）〔A10病棟カンファレンスルーム〕 担当患者プレゼンテーション 病棟処置、患者診察（病棟主任）〔A10病棟〕		脳血管内治療（平松）〔本館 A 棟 3 階〕 または脳血管撮影介助	
木		手術介助（川端、野々口、亀田）〔手術室〕 脳血管内治療（平松、辻）〔本館 A 棟 3 階〕		手術介助（鰐淵）〔手術室〕 脳血管内治療（平松、辻）〔本館 A 棟 3 階〕	
金		脳卒中カンファレンス〔第1金曜日、第11会議室〕 神経カンファレンス〔第3金曜日、第11会議室〕 担当患者プレゼンテーション 症例検討会、回診（鰐淵）〔A10病棟カンファレンスルーム〕		脳血管内治療（平松）〔本館 A 棟 3 階〕 病棟処置、患者診察（病棟主任）〔A10病棟〕	

脳神経外科・脳血管内治療科

(第4週目)

	8:00	9:00	12:00	14:30	17:00
月		病棟処置、患者診察（病棟主任）〔A10病棟〕		症例検討会、回診（古瀬） 〔A10病棟カンファレンスルーム〕 病棟処置、患者診察（病棟主任） 〔A10病棟〕	
火		手術介助（高見、古瀬、二村）〔手術室〕 病棟処置、患者診察（病棟主任）〔A10病棟〕		手術介助（鰐淵）〔手術室〕 病棟処置、患者診察（病棟主任）〔A10病棟〕	
水		症例検討会、回診（鰐淵）〔A10病棟カンファレンスルーム〕 担当患者プレゼンテーション 病棟処置、患者診察（病棟主任）〔A10病棟〕		脳血管内治療（平松）〔本館 A 棟 3 階〕 または脳血管撮影介助	
木		手術介助（川端、野々口、亀田）〔手術室〕 脳血管内治療（平松、辻）〔本館 A 棟 3 階〕		手術介助（鰐淵）〔手術室〕 脳血管内治療（平松、辻）〔本館 A 棟 3 階〕	
金		脳卒中カンファレンス〔第1金曜日、第11会議室〕 神経カンファレンス〔第3金曜日、第11会議室〕 担当患者プレゼンテーション 症例検討会、回診（鰐淵）〔A10病棟カンファレンスルーム〕		実習総括（鰐淵）〔A10病棟カンファレンスルーム〕 患者診察（病棟主任）〔A10病棟〕 脳血管内治療（平松）〔本館 A 棟 3 階〕	

# 臨床実習プログラム

科 目： 整形外科学（整形外科）

担当者名： 大槻 周平教授（責任者）以下、准教授、診療准教授、講師、講師（准）、助教

5年以上の医師実務経験を有する教員：

大槻 周平、三幡 輝久、馬場 一郎、横田 淳司、嶋 洋明、岡本 純典、長谷川 彰彦、藤城 高志、羽山 祥生、藤野 圭太郎、宇佐美 嘉正、若間 仁司、東迎 高聖

実習内容：

## 科目の概要

運動器疾患と外傷の病歴聴取の方法および身体所見の診かたを習得すると共に、臨床例を通じて診断の論理展開と保存的および手術的な治療法を実際に経験し理解する。

## 科目のゴール

1. 外来および病棟実習で医療面接と身体所見の取り方を身につける。
2. 運動器疾患の診察法を理解し、その基本的手技として関節可動域、四肢長、四肢周囲長などの基本的計測や神経学的診察法（腱反射、徒手筋力テスト）を身につける。
3. 代表的な運動器疾患と外傷例の画像の読影法をカンファレンスおよび講義を通じて身につける。
4. 保存的療法（ギプス固定、装具療法、薬物療法など）の実施方法を理解し、選択肢を列挙する。
5. 手術法の基本手技（皮膚切開、結紮、縫合など）を習得する。
6. 整形外科的な特殊検査（超音波検査、脊髓造影、関節造影、筋電図、関節鏡など）の手技を理解し、かつ所見について説明できる。
7. 後療法を列挙できる。

## 具体的内容

学生は1週ごとに各診療班（脊椎、関節、肩肘スポーツ、手の外科、足の外科、腫瘍）に所属し、入院患者を受け持って、医療チームの一員として診療に参加することにより、将来、医師として必要な運動器疾患と外傷の診断と治療法を理解する。

1. 月曜日（初日）午前9時に医局集合。月曜日が休日の場合は火曜日午前7時30分に第6会議室に集合。オリエンテーションを行う。オリエンテーション担当教員によっては時間変更の可能性があり、変更する場合は学生に事前連絡を行う。
2. 担当患者（2～4名）の病態を診療録などから情報を抽出して把握する。
3. 担当患者の最初の診察は指導医の下で行う。以後は、適宜患者の状態を観察し、所見を診療録に記載し、指導医のチェックを受けサインをもらう。
4. 教授回診時は、担当患者の身体状態の把握を行う。
5. 学生の医行為は定められた条件（大阪医薬大承認の基本的医行為）に基づいて行う。
6. 担当患者の手術は手洗いをして参加し、助手を務める。時間が許せば、担当外の患者の手術にも積極的に参加する。
7. 代表的な疾患と外傷のエックス線像の読影法と神経診察法の実習は時間を定めて助教以上のスタッフが指導する。
8. 外来では、各スペシャリティにおける病歴聴取、身体診察を学ぶ。
9. 最終日（金）夕方に担当患者の経過を報告し、評価表、アンケート等を提出する。

評 価： 共通評価表

受入定員： 2週単位で4名（他大学学生を含む）



- 注意事項：**
1. 決められた時間を厳守する。
  2. 患者さんに信頼感を与えるような身だしなみ、言葉遣い、態度を心がける。
  3. 診療グループの一員として実習するので自覚と責任を持って行動する。
  4. 患者さんからの相談や質問に対しては指導医に相談したうえで返答する。
  5. 個人情報の取り扱いには細心の注意を払い、診療録の情報は、プリントアウトなど外部への持ち出しを禁止する。

**初日の集合場所、時間：** 整形外科医局 月曜日、午前9時。  
月曜日が休日の場合は、火曜日午前7時30分に第6会議室に集合する。  
時間変更となる可能性がある。

- 予習項目：**
- 1) 整形外科手術に必要な解剖：整形外科医のための手術解剖学図説 第4版 南江堂を参考に調べ学習しておくこと。
  - 2) 症候学について：整形外科診断学 金原出版を参考に基本的な手技について予習しておくこと。特に脊髄高位診断の予習をしておくこと。
  - 3) 検査：エックス線像、CT、MRI、各種造影検査（脊髄造影など）超音波検査について、総論を標準整形外科学 第13版 医学書院 第13章を参考に調べ学習しておくこと。
  - 4) 疾患：標準整形外科学 第13版 医学書院 整形外科疾患各論に記載されている代表疾患（特に医師国家試験出題基準に収載されている疾患を中心に）について概略を掴んでおくこと。
  - 5) 治療：標準整形外科学 第13版に記載されている各疾患の標準的治療法、特に手術治療についてその適応と期待される効果について理解しておくこと。

**復習項目：** 経験した症例（1.2例）について、診断、治療法の選択、手術手技、得られた効果についてまとめておく。これを最終週のまとめの際にプレゼンテーションする。

**オフィスアワー担当教員：**

担当教員：若間 仁司

スマートフォン：56464 E-mail：hitoshi.wakama@ompu.ac.jp

**オフィスアワー日時：**

毎週月曜日 カンファレンス終了後

場所：整形外科医局

整形外科

(第1週目)

8:00		9:00		10:30		12:00		13:00		13:45		15:00		16:30		18:00	
月		オリエンテーションと診察 (指導医) 〔医局〕		担当患者の診察 (病棟指導医) 〔62病棟〕						新入院患者の紹介 (指導医) 〔第 6 会議室〕		教授回診 (指導医) 〔62病棟〕				症例検討会 (指導医) 〔第 6 会議室〕	
火	講義 (担当医) 〔第 6 会議室〕	手術実習 (指導医 (講師、助教)) 〔手術棟〕						手術実習 (指導医 (講師、助教)) 〔手術棟〕									
水		外来患者の診察 (指導医) 〔整形外科外来〕		病棟実習 (病棟指導医) 〔62病棟〕				自学自習									
木		外来患者の診察 (指導医) 〔整形外科外来〕		外来実習 (指導医) 〔整形外科外来〕				自学自習									
金	症例検討会 (指導医) 〔第 6 会議室〕	手術実習 (指導医 (講師、助教)) 〔手術棟〕						手術実習 (指導医 (講師、助教)) 〔手術棟〕									

整形外科

(第2週目)

8:00		9:00		10:30		12:00		13:00		13:45		15:00		16:30		18:00	
月		担当患者の診察 (担当医) 〔62病棟〕		病棟実習 (病棟指導医) 〔62病棟〕						新入院患者の紹介 (指導医) 〔第 6 会議室〕		教授回診 (指導医) 〔62病棟〕				症例検討会 (指導医) 〔第 6 会議室〕	
火	講義 (担当医) 〔第 6 会議室〕	手術実習 (指導医 (講師、助教)) 〔手術棟〕						手術実習 (指導医 (講師、助教)) 〔手術棟〕									
水		外来患者の診察見学 (指導医) 〔整形外科外来〕		病棟実習 (病棟指導医) 〔62病棟〕				手術実習・検査実習 〔手術棟〕〔X 線透視室等〕									
木		外来患者の診察 (指導医) 〔整形外科外来〕		病棟実習 (病棟指導医) 〔62病棟〕				自学自習									
金	症例検討会 (指導医) 〔第 6 会議室〕	手術実習 (指導医 (講師、助教)) 〔手術棟〕						手術実習 (指導医 (講師、助教)) 〔手術棟〕						まとめ (指導医) 〔医局〕			

# 臨床実習プログラム

**科 目：** 小児科学（小児科、新生児科）

**担当者名：** 芦田 明（科長）、黒柳 裕一（教育主任）、瀧谷 公隆、新田 雅彦、島川 修一、岸 勘太、山岡 繁夫、尾崎 智康、松村 英樹、梶 恵美里、吉田 誠司、小田中 豊、田中 智子、河村 佑太郎、藤井 裕子、杉田 侑子

**5年以上の医師実務経験を有する教員：**

芦田 明、瀧谷 公隆、新田 雅彦、島川 修一、黒柳 裕一、岸 勘太、山岡 繁夫、尾崎 智康、松村 英樹、梶 恵美里、吉田 誠司、小田中 豊、田中 智子、河村 佑太郎、藤井 裕子、杉田 侑子

**実習内容：**

## 科目の概要

小児の精神身体的特性を知り、小児期の疾患について理解する。  
また可能であれば小児保健や社会福祉システムなどについても理解する。

## 科目のゴール

- 1) 入院患者の病態生理を理解し診断までのプロセスを組み立てることができる。
- 2) 診断に必要な検査法の基本原理について理解し簡単な手技を行うことができる。
- 3) 治療に必要な基本的処置を行うことができる。
- 4) 協調性をもって行動することができる。
- 5) 社会人として礼節やマナーを遵守することができる。

## 具体的内容

- 1) 病棟内での疾患別グループ（小児科病棟・NICU病棟）に配属され、グループ内の回診に参加し、指導医らと共に行動する。教授回診では受け持った患者のプレゼンテーションを行う。
- 2) 小児救急処置に参加し可能な場合には、指導医の下に基本的な臨床手技を行う。
- 3) 指導医が近隣の保健センターでの乳児健診・予防接種に出向する際は随行する。

**評 価：** 共通評価表

**受入定員：** 4名（他大学学生を含む）

**注意事項：** 時間厳守。医療に関わる者としてふさわしい身だしなみ（服装、頭髮）、言葉遣い、態度を心がける。患者さんのプライバシーに配慮する。

**初日の集合場所、時間：** 月曜日 午前8時15分、病院2号館5階 第5会議室  
\* 月曜日が休日の場合、火曜日。場所は事前確認が必要。

**予習項目：** シンプル小児科学（南江堂）  
小児科学（第10版、文光堂）  
ネルソン小児科学 原著第19版

**復習項目：** 実習で扱った担当症例についてグループ担当医師とディスカッションする。  
（レポート作成は不要）

**オフィスアワー担当教員：** \* 必ず事前にメールしアポイントメントを取得すること。  
担当教員①：黒柳 裕一（教育主任）

連絡先（スマートフォン）：53454      E-mail：yuichi.kuroyanagi@ompu.ac.jp

担当教員②：岸 勘太（外来医長、一般小児科担当）

連絡先（スマートフォン）：58467      E-mail：kanta.kishi@ompu.ac.jp

担当教員③：山岡 繁夫（周産期センター員、新生児科担当）

連絡先（スマートフォン）：58288      E-mail：shigeo.yamaoka@ompu.ac.jp

担当教員④：吉田 誠司（病棟医長、一般小児科担当）

連絡先（スマートフォン）：53588      E-mail：seiichi.yoshida@ompu.ac.jp

**オフィスアワー日時：**

オフィスアワー日時①：毎週火曜日    9：00～12：00

場所：病院3号館3階    小児科医局

オフィスアワー日時②：毎週月曜日    9：00～12：00、13：00～15：00

場所：病院3号館3階    小児科医局

オフィスアワー日時③：毎週金曜日    9：00～12：00

場所：病院6号館3階    周産期センター

オフィスアワー日時④：毎週月曜日    9：00～12：00

場所：病院3号館3階    小児科医局

小児科学

(第1～4週共通)

	8:00	9:00	12:00	13:30	14:00	17:00
月	医局会◆	臨床実習			教授回診◆、臨床実習	
火	抄読会◆	臨床実習			予防接種・乳児健診★ 〔高槻市保健センター・西部地域保健センターなど〕	
水		臨床実習			予防接種・乳児健診★ 〔高槻市保健センター・西部地域保健センターなど〕	
木		臨床実習			臨床実習	
金		臨床実習			臨床実習	

注釈：

◆集合場所等は医局カンファレンス（2号館5階 第5会議室）、教授回診（病院西管理棟4階 第11会議室）、抄読会（オンライン）としているが集合場所は事前確認すること。

★予防接種・乳児健診の見学は感染症流行状況によっては院内の臨床実習になる可能性がある。

備考：

臨床実習は、各診療班に分かれて指導医とともに行動し病棟診療を主とするが、外来診療の見学も可能。

# 臨床実習プログラム

**科 目：** 産婦人科学（婦人科・腫瘍科、産科・生殖医学科）

**担当者名：** 教授 大道 正英（3月末退官予定）

准教授 林 正美

講師 藤田 太輔、恒遠 啓示、田中 智人

講師（准） 田中 良道、藤原 聡枝、劉 昌恵、永易 洋子

助教 中村 真由美、多賀 紗也香、丸岡 寛、寺田 信一、橋田 宗祐、上田 尚子、森田 奈津子

助教（准） 田路 明彦、土橋 裕允、井淵 誠吾、西江 瑠璃、石川 渚

**5年以上の医師実務経験を有する教員：**

大道 正英、林 正美、藤田 太輔、恒遠 啓示、田中 智人、田中 良道、藤原 聡枝、劉 昌恵、永易 洋子、中村 真由美、多賀 紗也香、丸岡 寛、寺田 信一、上田 尚子、森田 奈津子、橋田 宗祐、田路 明彦、土橋 裕允、井淵 誠吾、西江 瑠璃、石川 渚

**実習内容：**

## 科目の概要

母性医療、内分泌・加齢医療、女性腫瘍性疾患、感染症疾患に関する臨床経験を通して幅広い知識と女性診療の場での臨床能力と態度を研鑽する。

## 科目のゴール

医療チームの一員としてクリニカルクラークシップを行う。当科では従来の見学型ベッドサイドティーチングは行わない。しかしながら対象患者がすべて女性であるという科の性格上、学生が直接患者に接し診療をする際には十分な配慮が必要であることはいまでもない。したがって、学生であろうとも、不用意な言動や医療人にあるまじき態度などは教育的指導を行う。医療チームに入り婦人科診療所見をもとに、補助的診断項目を参考にしながら、外来・病棟患者の診療について十分にディスカッションをする。また分娩の進行においては、担当医とともにその経過中経時的に臨床症状の変化を勉強することになる。さらに、学生が実技への関心を高めるため、症候学を中心としたミーティング、および日進月歩の新しい医学に関する知見をそれぞれの分野を専門とする医師と意見交換することで産婦人科学を深く学習する。さらに基本的な医療技術の修得と、産婦人科患者とのコミュニケーションの確立に努力する。

## 具体的内容

女性の患者を担当し、受け持ち医とともにその診療すべてに参加する。

外 来・・・初診患者について医療面接を行い、基本的な情報を初診担当医の診察までに用意する。初診担当医とともに診察し、十分なディスカッションを経て必要な検査をオーダーし、患者をエスコートする。

産科病棟・・・分娩前患者については各疾患の入院管理法について病棟医長とディスカッションする。実際に測定しているCTGの読み方と判定をマスターする。産科超音波検査を自ら行い、その意義を学習し、読影を行う。分娩症例は、患者の入院とともに受け持ちが決まる。ベッドサイドで患者をケアし、パルトグラムの作成を自ら行い、分娩の進行をチェックしながら、逐次担当医とディスカッションする。心地よく分娩し、新生児とともに幸せに退院してもらえようように患者の病院生活に積極的に関与し努力する。以上の項目について臨床知識を深め、実技に習熟するよう努力する。

婦人科病棟・・・本大学では、婦人科疾患全般にわたり多くの患者が入院している。具体的には、良性疾患では約90%の症例で腹腔鏡下手術を行っている。そのため、入院から退院まで1週間とパスにより術後管理を行っている点も学習してもらいたい。また、

本大学の特徴でもある婦人科癌患者の診断、手術、治療や再発時の管理、治療などを病棟の受け持ち患者や、毎週水曜日に行われる腫瘍カンファレンスや金曜日の術前検討会から学んでもらいたい。

評 価： 共通評価表

受入定員： 6名（他大学学生を含む）

注意事項： 1. 医療チームの一員として、指導医や患者への挨拶を忘れないこと。  
2. 実習時間は厳守する。  
3. 女性患者に不快感を与えない身だしなみに留意する。  
4. 患者―医師関係を良好に構築できるように言葉遣い、態度に気を付ける。

初日の集合場所、時間： 午前8時30分、月曜日は周産期カンファレンスのため第6会議室  
月曜日が祝日の時は、前週の金曜日16時に代表者が恒遠講師と連絡を取ってオリエンテーションを受けること。

予習項目： 1) 解剖：女性生殖器の構造について、解剖の項目で予習しておくこと。  
2) 症候：無月経、過多月経などの項目について“月経の異常”を参考に予習しておくこと。  
3) 検査：基礎体温測定について、不妊症検査法の排卵時期診断法の項目で予習すること。  
ヒステロスコーピーは内視鏡検査法の子宮鏡診で、コルポスコーピーは内視鏡検査法の腔拡大鏡診の項目を予習すること。婦人科検査法の組織診の項目で組織診を、細胞診の項目で細胞診を予習すること。分娩監視装置の項目でNSTを予習しておくこと。  
超音波検査は超音波検査法で経腔、経腹の両方を予習しておくこと。  
4) 疾患：異常妊娠、異常分娩について、産科各論異常編で予習すること。遺伝子疾患について遺伝子相談の項目を予習。子宮頸癌、子宮筋腫、子宮腺筋症や子宮体癌は子宮の腫瘍の項目を予習すること。卵巣癌や卵巣腫瘍について卵巣腫瘍の項目を予習すること。内膜症、内膜ポリープ子宮内膜増殖症については類腫瘍性病変の項目について予習すること。STDについてはSTDの項目について予習すること。  
5) 治療：婦人科腫瘍手術、腹腔鏡手術、帝王切開は治療法の項目の婦人科手術、産科手術で予習すること。

復習項目： 1) 実習でならった解剖についてレポートにまとめること  
2) 実習でならった月経異常についてレポートにまとめること  
3) 実習でならったNSTについてレポートにまとめること  
4) 実習でならった異常分娩についてレポートにまとめること  
5) 実習でならった婦人科腫瘍についてレポートにまとめること  
6) 実習でならった婦人科手術についてレポートにまとめること

オフィスアワー担当教員：

担当教員①：恒遠 啓示

内線・PHS：6677 E-mail：satoshi.tsunetoh@ompu.ac.jp

担当教員②：藤田 太輔

内線・PHS：6393 E-mail：daisuke.fujita@ompu.ac.jp

オフィスアワー日時：

オフィスアワー日時①：金曜日 16時

場所：医局

オフィスアワー日時②：金曜日 16時  
場所：医局



## 産婦人科

## (第1週目)

8:30		9:00		10:00		12:30		13:30		15:30		17:00		
月	周産期 カンファレンス	産科回診		外来実習（大道、恒遠） 病棟（森田、石川） 分娩実習（随時 1人まで）				外来実習（大道、恒遠） 病棟（森田、石川） 分娩実習（随時 1人まで）				婦人科回診		
火	手術実習（大道、恒遠、田中良、田中智、藤原） 分娩実習（随時 1人まで）								手術実習（大道、恒遠、田中良、田中智、藤原） 分娩実習（随時 1人まで）					
水	腫瘍 カンファレンス	外来実習（恒遠、田中良） 病棟実習（井淵、永易） 分娩実習（随時 1人まで）						外来実習（恒遠、田中良） 病棟実習（井淵、永易） 分娩実習（随時 1人まで）						
木	手術実習（大道、恒遠、田中良、田中智、藤原） 分娩実習（随時 1人まで）								手術実習（大道、恒遠、田中良、 田中智、藤原） 分娩実習（随時 1人まで）				講義（教授） （全員 Zoom）	
金	外来実習（田中智） 病棟実習（吉田、松本） 分娩実習（随時 1人まで）								外来実習（田中智） 病棟実習（吉田、松本） 分娩実習（随時 1人まで）				症例検討会	

## 産婦人科

## (第2週目)

8:30		9:00		10:00		12:30		13:30		15:30		17:00		
月	周産期 カンファレンス	産科回診		外来実習（大道、恒遠） 病棟（森田、石川） 分娩実習（随時 1人まで）					外来実習（大道、恒遠） 病棟（森田、石川） 分娩実習（随時 1人まで）				婦人科回診	
火	手術実習（大道、恒遠、田中良、田中智、藤原） 分娩実習（随時 1人まで）									手術実習（大道、恒遠、田中良、田中智、藤原） 分娩実習（随時 1人まで）				
水	腫瘍 カンファレンス	外来実習（恒遠、田中良） 病棟実習（井淵、永易） 分娩実習（随時 1人まで）							外来実習（恒遠、田中良） 病棟実習（井淵、永易） 分娩実習（随時 1人まで）					
木	手術実習（大道、恒遠、田中良、田中智、藤原） 分娩実習（随時 1人まで）								手術実習（大道、恒遠、田中良、 田中智、藤原） 分娩実習（随時 1人まで）				講義（教授） （全員 Zoom）	
金	外来実習（田中智、松本） 病棟実習（吉田、松本） 分娩実習（随時 1人まで）								外来実習（田中智） 病棟実習（吉田、松本） 分娩実習（随時 1人まで）				症例検討会	

## 産婦人科

## (第3週目)

8:30		9:00		10:00		12:30	13:30	15:30		17:00	
月	周産期 カンファレンス	産科回診		外来実習（大道、恒遠） 病棟（森田、石川） 分娩実習（随時 1人まで）			外来実習（大道、恒遠） 病棟（森田、石川） 分娩実習（随時 1人まで）		婦人科回診		
火	手術実習（大道、恒遠、田中良、田中智、藤原） 分娩実習（随時 1人まで）						手術実習（大道、恒遠、田中良、田中智、藤原） 分娩実習（随時 1人まで）				
水	腫瘍 カンファレンス	外来実習（恒遠、田中良） 病棟実習（井淵、永易） 分娩実習（随時 1人まで）					外来実習（恒遠、田中良） 病棟実習（井淵、永易） 分娩実習（随時 1人まで）				
木	手術実習（大道、恒遠、田中良、田中智、藤原） 分娩実習（随時 1人まで）						手術実習（大道、恒遠、田中良、 田中智、藤原） 分娩実習（随時 1人まで）		講義（教授） （全員 Zoom）		
金	外来実習（田中智） 病棟実習（吉田、松本） 分娩実習（随時 1人まで）						外来実習（田中智） 病棟実習（吉田、松本） 分娩実習（随時 1人まで）		症例検討会		

## 産婦人科

## (第4週目)

8:30		9:00		10:00		12:30		13:30		15:30		17:00	
月	周産期 カンファレンス	産科回診		外来実習（大道、恒遠） 病棟（森田、石川） 分娩実習（随時 1人まで）			外来実習（大道、恒遠） 病棟（森田、石川） 分娩実習（随時 1人まで）		婦人科回診				
火	手術実習（大道、恒遠、田中良、田中智、藤原） 分娩実習（随時 1人まで）						手術実習（大道、恒遠、田中良、田中智、藤原） 分娩実習（随時 1人まで）						
水	腫瘍 カンファレンス	外来実習（大道、田中良） 病棟実習（井淵、永易） 分娩実習（随時 1人まで）					外来実習（大道、田中良） 病棟実習（井淵、永易） 分娩実習（随時 1人まで）						
木	手術実習（大道、恒遠、田中良、田中智、藤原） 分娩実習（随時 1人まで）						手術実習（大道、恒遠、田中良、 田中智、藤原） 分娩実習（随時 1人まで）			講義（教授） （全員 Zoom）			
金	外来実習（田中智） 病棟実習（吉田、松本） 分娩実習（随時 1人まで）						外来実習（田中智） 病棟実習（吉田、松本） 分娩実習（随時 1人まで）			学生の 発表		症例 検討会	

# 臨床実習プログラム

科 目： 眼科学（眼科）

担当者名： 喜田 照代、池田 華子、小林 崇俊、田尻 健介、大須賀 翔、向井 規子、水野 博史、根元 栄美佳、西川 優子、柊山 友里恵、滝 功一郎、廣川 貴久、角野 晶一、武市 有希也、泉谷 祥之

5年以上の医師実務経験を有する教員：

喜田 照代、池田 華子、小林 崇俊、田尻 健介、大須賀 翔、向井 規子、水野 博史、根元 栄美佳、西川 優子、柊山 友里恵、滝 功一郎、廣川 貴久、角野 晶一、武市 有希也

実習内容：

## 科目の概要

眼科的疾患を理解し、基本手術を説明できる。

## 科目のゴール

視力検査、眼圧検査ができる。

細隙灯顕微鏡（図1）、眼底検査ができる。

白内障、緑内障、網膜剥離の説明ができる。

眼科疾患の術前検査を理解する。

眼科手術の説明ができる。

## 具体的内容

- ・眼科入院患者の術前検査を主治医と共に行い、手術介助および術後検査を行う。
- ・眼科特殊外来での診察を見学する。特殊外来としては以下のようなものがある。  
（①網膜硝子体、②緑内障、③ぶどう膜、④角膜、⑤神経眼科、⑥斜視弱視、⑦涙道・眼瞼）
- ・顕微鏡を用いた縫合実習を行う（図2）。このことによりマイクロサージャリーの実験を体験する。

評 価： 共通評価表

受入定員： 3名（他大学学生を含む）

注意事項： 医学生としてふさわしい服装で参加する。

初日の集合場所、時間： 月曜16時 眼科医局

月曜祝日の場合は 火曜9時 オペ室19番に集合



図1 細隙灯顕微鏡検査



図2 顕微鏡による縫合実習

**予習項目：** (1) 診断と検査の基本

視力検査、眼圧検査、細隙灯顕微鏡、眼底検査の解釈について、書籍を参考に調べ、学習しておくこと。

(2) 症候

眼症状の分類と病態生理について書籍を参考に調べ、学習しておくこと。

(3) 疾患

角・結膜疾患、白内障、網膜硝子体疾患、緑内障、ぶどう膜炎、視神経疾患について書籍を参考に調べ、学習しておくこと。

**復習項目：** 実習で扱った検査、疾患についてレポート等にまとめておくこと。

**オフィスアワー担当教員：**

担当教員①：廣川 貴久

内線・スマートフォン：2354・58363      Email: takahisa.hirokawa@ompu.ac.jp

担当教員②：田尻 健介

内線・スマートフォン：2354・56564      Email: kensuke.tajiri@ompu.ac.jp

担当教員③：喜田 照代

内線：教授室2374、眼科医局2354

**オフィスアワー日時：**

9：00～17：00

場所：2号館3階 眼科医局（内線2354）

眼科学

(第1週目)

	9:00	10:00	12:00	13:30	14:00	15:00	16:00	16:30	17:00
月	自学自習						オリエンテーション・ 白内障 (担当紹介)(廣川) 〔医局〕		
火	(池田、水野、根元、 手術見学 西川、柊山、滝、廣川、泉谷) 〔手術室〕				(池田、水野、根元、 手術見学 西川、柊山、滝、廣川、泉谷) 〔手術室〕				
水	術後診察実習 (担当 Dr) 〔病棟〕						自学自習 オリエンテーション・ 白内障手術予習 (担当患者紹介) (廣川)〔医局〕		
木	暗室実習 (大須賀) 〔外来〕			自学自習					
金	手術見学実習 (池田、大須賀、向井、根元、児玉、角野、武市) 〔手術室〕				緑内障・硝子 体手術予習 (田尻) 〔医局〕		患者の症例検討Ⅰ (泉谷) 〔医局〕		

眼科学

(第2週目)

	9:00	10:00	10:30	12:00	13:30	14:00	15:00	15:30	16:00	16:30	17:00
月	暗室実習 (池田、田尻、水野、廣川、滝) 〔外来〕					手術見学 (滝、武市)〔手術室〕					
火	(池田、水野、根元、 手術見学 西川、柊山、滝、廣川、泉谷) 〔手術室〕					(池田、水野、根元、 手術見学 西川、柊山、滝、廣川、泉谷) 〔手術室〕					
水	術後診察実習 (担当 Dr) 〔79病棟〕	自学自習					縫合実習 (角野) 〔研究室〕				
木	国試対策 スライド講義等 (喜田)〔医局〕					病棟実習・ 回診 (喜田) 〔79病棟〕		受持患者症例 検討Ⅱ (大須賀) 〔医局〕			
金	手術見学実習 (池田、大須賀、向井、根元、角野、武市) 〔手術室〕					手術見学 (池田、大須賀、向井、根元、角野、武市) 〔手術室〕					

(担当教員変更のこともあり、医局(内線2354)へ確認を)

# 臨床実習プログラム

科 目：耳鼻咽喉科学（耳鼻咽喉科・頭頸部外科）

担当者名：教授 萩森 伸一  
専門教授 寺田 哲也  
講師 東野 正明、乾 崇樹、綾仁 悠介  
助教 稲中 優子、尾崎 昭子、神人 彪、谷内 政崇

5年以上の医師実務経験を有する教員：

萩森 伸一、寺田 哲也、東野 正明、乾 崇樹、稲中 優子、尾崎 昭子、綾仁 悠介、神人 彪、谷内 政崇

実習内容：

## 科目の概要

耳鼻咽喉科・頭頸部外科の専門外来で、外来での検査や診察を学ぶ。

## 科目のゴール

外来実習：

1. 自覚的および他覚的な聴力検査を理解できる。
2. 正常と異常の鼓膜所見を理解できる。
3. 経鼻ファイバースコープにおける鼻腔、咽頭喉頭の解剖を理解する。
4. アレルギー性鼻炎の治療法を理解する。
5. 嚥下機能検査のしくみを理解する。
6. 末梢性めまいの眼振所見を理解する。

評 価： 共通評価表や提出物などで行う。

受入定員： 2名（他大学学生を含む）

注意事項： 学生の希望があれば、実習内容を適宜変更することができる。

所属班は第1週月曜のガイダンスで伝える。

挨拶をはじめとする接遇マナーを守ること。

病院内における感染対策を守ること。

実習が病院内という社会の中で行われていることを忘れないこと。

臨床実習生（医学）として適切な服装をし、身だしなみに注意する。

臨床実習生（医学）として適切な言葉使いをする。

外来・病棟で患者の前では教科書を見ないこと。

初日の集合場所、時間：耳鼻咽喉科・頭頸部外科学医局（総合研究棟8階）に午前8時30分集合  
初日が火曜日の場合、午前8時50分耳鼻咽喉科外来に集合

予習項目：教科書：切替一郎・他、新耳鼻咽喉科学（南山堂）

- 1) 解剖：外耳・中耳、鼻腔・副鼻腔、咽頭・喉頭、頸部
- 2) 症候：難聴、めまい、鼻出血、咽頭痛、嚥声、頸部腫瘍
- 3) 検査：聴力検査、経鼻ファイバースコープ、レントゲン、CT、MRI
- 4) 疾患：中耳疾患（真珠腫性中耳炎、慢性中耳炎）、鼻副鼻腔疾患（慢性副鼻腔炎、アレルギー性鼻炎）、咽頭疾患（慢性扁桃炎、扁桃周囲膿瘍）、喉頭疾患（声帯ポリープ、

急性喉頭蓋炎)、頭頸部腫瘍(口腔癌、咽頭癌、喉頭癌、甲状腺腫瘍、耳下腺腫瘍)  
5) 治療: 鼓室形成術、内視鏡下鼻内副鼻腔手術、顕微鏡下喉頭微細手術、口蓋扁桃摘出術、  
耳下腺浅葉部分切除術、頸部郭清術

**復習項目:** 担当患者の疾患について、十分に理解する。

**オフィスアワー担当教員:**

担当教員①: 東野 正明

スマートフォン: 53597 E-mail: masaaki.higashino@ompu.ac.jp

担当教員②: 乾 崇樹

スマートフォン: 56445 E-mail: takaki.inui@ompu.ac.jp

**オフィスアワー日時:**

オフィスアワー日時①: 毎週火曜日 15:30~16:00

場所: 耳鼻咽喉科・頭頸部外科外来診察室

オフィスアワー日時②: 毎週水曜日 12:30~13:30

場所: 総合研究棟 8階 耳鼻咽喉科・頭頸部外科医局

耳鼻咽喉科・頭頸部外科

(第1週目)

8:30		8:50	9:00	9:30	11:00	12:00	13:30	15:00	16:00	17:00
月	オリエンテーション [医局]	入院診 [外来]	難聴外来 (萩森、稲中、尾崎) [外来]				自学自習			
火			病棟処置、自学自習				幼児難聴外来 (尾崎)		症例検討会 [66病棟 カンファレンス室]	
水		入院診 [外来]	副鼻腔外来 (乾、谷内)				アレルギー外来（寺田） 音声喉頭嚥下外来（東野） めまい外来（乾） のうち1つを選択			
木				教授回診 (萩森) [66病棟]	自学自習					
金		入院診 [外来]	顔面神経外来 (萩森、綾仁、稲中)				補聴器外来 (綾仁、稲中)			

耳鼻咽喉科・頭頸部外科

(第2週目)

8:30		8:50		9:00		10:30		12:00		13:30		15:00		16:00		17:00	
月			入院診 [外来]	病棟・手術実習〔各班・手術室〕 17：00頃に術後回診、その後は班長の指示に従う 症例検討会の準備													
火				自学自習								教授回診 （寺田） 〔66病棟〕				症例検討会 〔66病棟 カンファレンス室〕	
水				自学自習								アレルギー外来（寺田） 音声喉頭嚥下外来（東野） めまい外来（乾） のうち1つを選択					
木			入院診 [外来]	教授回診 （萩森） 〔66病棟〕		病棟・手術実習〔各班、手術室〕 17:00頃に術後回診、その後は班長の指示に従う											
金			入院診 [外来]	総括 （萩森）								自学自習					



# 臨床実習プログラム

科 目： 皮膚科学（皮膚科）

担当者名： 森脇 真一、福永 淳、金田 一真、宗本 紗和

5年以上の医師実務経験を有する教員：

森脇 真一、福永 淳、金田 一真、宗本 紗和、沼田 礼良、中島 有香

実習内容：

## 科目の概要

基本的な皮膚疾患における診断と治療を習得する。

## 科目のゴール

- ①皮膚の正常構造・機能・病態生理を説明できる。
- ②主たる皮膚疾患の病因や臨床所見を説明できる。
- ③主たる皮膚疾患の診断に必要な基本的診断法および検査法を実施し、その結果を解釈できる。

## 具体的内容

外来実習では、診断・治療の見学および担当医のもとで真菌検査、パッチテスト、軟膏処置、外来小手術などを学び、補助を行う。

中央手術室での手術に臨み、適宜補助を行う。

病棟実習では、診療チームの一員となり検査・治療の補助を行う。

皮膚科専門外来の補助を行う。

月曜日午前 オリエンテーション、外来実習

午後 症例提示、外来処置見学、手術見学、病棟実習、褥瘡回診

火曜日午前 外来実習

午後 手術見学、病棟実習

水曜日午前 外来実習

午後 手術見学、外来処置見学、病棟実習、レーザー外来見学

木曜日午前 外来実習

午後 爪外来見学、外来処置見学、病棟実習

金曜日午前 外来実習

午後 抄読会、病棟回診、症例検討会

上記を2週間行う。

評 価： 共通評価表

受入定員： 2名（他大学学生1名を含む人数）

- 注意事項：
- 1. 時間を厳守すること。
  - 2. 患者から信頼感をもたれる服装、言葉遣い、態度を心がけること。
  - 3. 診療チームの一員としての自覚と責任を持って行動すること。

初日の集合場所、時間： 皮膚科外来 午前8時50分

火曜日が初日の場合 皮膚科外来 午前8時50分

火曜日午前の集合場所、時間：

火曜日午前の中央手術室見学は、月曜日に中央手術室があるかを確認し、何時にどの手術室に行くかを確認する。火曜日午前の手術がない場合、午前8時50分に皮膚科外来へ集合する。

**予習項目：** あたらしい皮膚科学第3版の以下の項目を学習しておくこと。

- 1) 皮膚の構造と機能：表皮・真皮の構造と主な作用、表皮・真皮に存在する細胞と主な作用など
- 2) 発疹学：皮膚描記症、Nikolsky 現象、Köbner 現象、Auspitz 現象など
- 3) 診断と検査の基本：パッチテスト、光パッチテスト、プリックテスト、スクラッチテスト、皮内テスト、硝子圧法、薬剤リンパ球刺激試験（DLST）、ダーモスコピーの基本、真菌検査法、Tzanck テストなど
- 4) 皮膚病理組織学：正常皮膚の組織像、表皮肥厚、表皮萎縮、過角化、不全角化、個細胞角化、海面状態、肉芽腫、蛍光抗体法など
- 5) 疾患：湿疹、アトピー性皮膚炎、蕁麻疹、痒疹、皮膚そう痒症、多形滲出性紅斑、薬疹、アナフィラクトイド紫斑、エリテマトーデス、強皮症、皮膚筋炎、抗リン脂質抗体症候群、シェーグレン症候群、関節リウマチ、熱傷、日光蕁麻疹、慢性光線性皮膚炎、多形日光疹、色素性乾皮症、尋常性天疱瘡、落葉状天疱瘡、水疱性類天疱瘡、ジューリング疱疹状皮膚炎、尋常性魚鱗癬、掌蹠角化症、ダリエー病、尋常性乾癬、膿疱性乾癬、扁平苔癬、ジベルばら色秕糠疹、アミロイドーシス、ポルフィリン症、尋常性ざ瘡、円形脱毛症、色素性母斑、青色母斑、太田母斑、脂腺母斑、扁平母斑、神経線維腫症1型、結節性硬化症、スタージウエーバー症候群、脂漏性角化症、粉瘤、皮膚線維腫、脂肪腫、肥満細胞腫、菌状息肉症、セザリー症候群、成人T細胞性白血病/リンパ腫、単純疱疹、水痘、带状疱疹、尋常性疣贅、尖圭コンジローム、伝染性軟属腫、麻疹、風疹、伝染性紅斑、ジアノッティー症候群、手足口病、伝染性単核球症、伝染性膿痂疹、丹毒、蜂窩織炎、ブドウ球菌菌性熱傷様皮膚症候群、壊死性筋膜炎、白癬、カンジダ症、スポロトリコーシス、クロモミコーシス、癩風、皮膚結核、非結核性抗酸菌症、ハンセン病、梅毒、疥癬など
- 6) 治療学：外用療法、副腎皮質ステロイド外用薬、免疫抑制剤外用薬（タクロリムス）、活性型ビタミンD3外用薬、レチノイド内服薬、抗ヒスタミン薬、生物学的製剤、紫外線療法、皮膚悪性腫瘍に対する化学療法、免疫チェックポイント阻害薬、低分子性分子標的薬について、各作用機序・適応疾患、禁忌事項、副作用などを理解する。

**復習項目：**

**オフィスアワー担当教員：**

担当教員①：福永 淳

内線・スマートフォン：53361 E-mail：atsushi.fukunaga@ompu.ac.jp

担当教員②：金田 一真

内線・スマートフォン：53362 E-mail：kazuma.kaneda@ompu.ac.jp

**オフィスアワー日時：**

毎週木曜日：14：30～16：30

場所：研究棟10階皮膚科研究室1（もしくは皮膚科医局、皮膚科外来）

皮膚科

(第 1、2 週共通)

9:00		11:30		13:00		13:45		14:15		14:45		17:00	
月	オリエンテーション・外来実習 (森脇) 〔皮膚科外来〕	昼食・ 自学自習	外来処置見学〔外来処置室〕 手術見学〔皮膚科外来／手術室〕 褥瘡回診（回診チームとともに）										
火	オリエンテーション（月曜代休時） 外来実習（福永） 〔皮膚科外来〕	昼食・ 自学自習	病棟実習〔A 7 病棟他〕										
水	外来実習 (福永) 〔皮膚科外来〕	昼食・ 自学自習	レーザー外来見学〔皮膚科外来〕 外来処置見学〔外来処置室〕 病棟実習〔A 7 病棟他〕										
木	外来実習 (森脇) 〔皮膚科外来〕	昼食・ 自学自習	爪外来見学〔皮膚科外来〕 外来処置見学〔外来処置室〕 病棟実習〔A 7 病棟他〕										
金	外来実習 (宗元) 〔皮膚科外来〕	昼食・自学自習	抄読会・ 症例提示 〔2号館 5階会議室〕	病棟回診 〔A7病棟他〕	臨床・病理症例検討会 〔2号館5階会議室〕								

# 臨床実習プログラム

**科 目：** 泌尿器科学（腎泌尿器外科）

**担当者名：** 東 治人、能見 勇人、小村 和正、辻野 拓也、前之園 良一、吉川 勇希、松永 知久、他教室員

**5年以上の医師実務経験を有する教員：**

東 治人、能見 勇人、小村 和正、辻野 拓也、前之園 良一、吉川 勇希、松永 知久

**実習内容：**

## 科目の概要

泌尿器全般および血液浄化に関する基礎知識と基本技術を修得する。

## 科目のゴール

### 問診の徹底

患者との対話により病状を的確に把握し、理解することができる。そして、推定される疾患と鑑別疾患名を列記できる。

## 具体的内容

診断から治療までの全経過を見聞する。

記録：聴取した病状を正確な専門用語を用いて病歴に記録することができる。

紹介状及び報告書の作成：必要に応じて他科あるいは他院への紹介状を作成し、あるいは他の医療機関から紹介された患者についての報告書を作成できる。

症例のまとめ：自分の経験した症例についての病歴、症状、臨床所見、検査成績、手術所見、病理組織学的所見、治療経過、転帰などの概要を要領よくまとめて記載できる。

文献の検索：自分の経験した疾患などについて必要な情報を得るために適切な内外の文献を検索できる。

**評 価：** 試問、レポート作成

**受入定員：** 3名（他大学学生を含む）

**注意事項：** 羞恥心を有する患者を扱う当科の特色性に配慮して実習に臨むこと。

**初日の集合時間、場所：** 月曜日 午前11時、第一週に外来第一診察室集合 班全員

月曜日が休みの場合は火曜日、午前9時、A9病棟ナースステーション集合

**予習項目：** 小児泌尿器、泌尿器科腫瘍、腎不全・腎移植、尿路結石、尿路性器感染症、婦人泌尿器、内分泌・生殖機能・性機能（ED）、尿路閉塞性疾患、排尿機能・神経泌尿器、外傷・救急医療、エンドウロロジー、腹腔鏡手術、ロボット支援下手術などの診療に立ち会う。

上記の項目について調べ、学習をしておくこと。

**復習項目：** 外来診察、病棟見学、手術見学など症例内容、手術手技に関して、レポートにまとめること。

**オフィスアワー担当教員：**

担当教員：辻野 拓也

スマートフォン：54050 E-mail：takuya.tsujino@ompu.ac.jp

オフィスアワー日時：

随時（事前に担当教員へ日時をご相談ください。）

場所：総合研究棟 9F 泌尿器科医局・腎泌尿器外科外来診察室

腎泌尿器外科

(第1週目)

8:30		9:00		11:30		12:30		13:30		14:30		16:00		17:00	
月		外来研修 (東、辻野、吉川、高井) 〔外来診察室〕						手術実習 (東、能見、小村、辻野、前之園、松永、吉川、中森、新名、池田、花盛、井村、小嶌、眞田、古澤、吉見、廣砂) 〔手術室〕							
火	症例検討会 (東) 〔A9カンファレンスルーム〕	外来研修 (能見、小村、辻野、松永) 〔外来診察室〕						手術実習 (尿路結石) (新名、池田、花盛、井村、小嶌、眞田、古澤、吉見、廣砂)					病棟実習 (新名、池田、花盛、井村、小嶌、眞田、古澤、吉見、廣砂)		
水		外来研修 (小村、吉川) 〔外来診察室〕						手術実習 (東、能見、小村、辻野、前之園、松永、吉川、中森、新名、池田、花盛、井村、小嶌、眞田、古澤、吉見、廣砂) 〔手術室〕							
木		外来研修 (東、小村、吉川、松永) 〔外来診察室〕		血液浄化センター研修 (能見、松永) 〔透析室〕				手術実習 (東、能見、小村、辻野、前之園、松永、吉川、中森、新名、池田、花盛、井村、小嶌、眞田、古澤、吉見、廣砂) 〔手術室〕							
金		外来研修 (能見、辻野、光野) 〔外来診察室〕						教授回診 (東) 〔A9病棟〕		症例検討会 (東) 〔A9カンファレンスルーム〕					

腎泌尿器外科

(第2週目)

8:30		9:00		11:30		12:30		13:30		14:30		16:00		17:00	
月		外来研修 (東、辻野、吉川、高井) 〔外来診察室〕						手術実習 (東、能見、小村、辻野、前之園、松永、吉川、中森、新名、池田、花盛、井村、小嶋、眞田、古澤、吉見、廣砂) 〔手術室〕							
火	症例検討会 (東) 〔A9カンファレンスルーム〕	外来研修 (能見、小村、辻野、松永) 〔外来診察室〕						手術実習 (尿路結石) (新名、池田、花盛、井村、小嶋、眞田、古澤、吉見、廣砂)					病棟実習 (新名、池田、花盛、井村、小嶋、眞田、古澤、吉見、廣砂)		
水		外来研修 (小村、吉川) 〔外来診察室〕						手術実習 (東、能見、小村、辻野、前之園、松永、吉川、中森、新名、池田、花盛、井村、小嶋、眞田、古澤、吉見、廣砂) 〔手術室〕							
木		外来研修 (東、小村、吉川、松永) 〔外来診察室〕		血液浄化センター研修 (能見、松永) 〔透析室〕				手術実習 (東、能見、小村、辻野、前之園、松永、吉川、中森、新名、池田、花盛、井村、小嶋、眞田、古澤、吉見、廣砂) 〔手術室〕							
金		外来研修 (能見、辻野、光野) 〔外来診察室〕						教授回診 (東) 〔A9病棟〕		症例検討会 (東) 〔A9カンファレンスルーム〕					

# 臨床実習プログラム

科 目： 放射線診断学（放射線診断・IVR 科）

担当者名： 大須賀 慶悟、山本 和宏、小森 剛、中井 豪、重里 寛、安賀 文俊、山本 聖人、東山 央、松谷 裕貴、沖野 佳、松岡 俊裕

5 年以上の医師実務経験を有する教員：

大須賀 慶悟、山本 和宏、小森 剛、中井 豪、重里 寛、安賀 文俊、山本 聖人、東山 央、松谷 裕貴、沖野 佳、松岡 俊裕

実習内容：

科目の概要

画像診断・IVR（画像下治療）・核医学診療の医療における役割と重要性を理解する。

科目のゴール

各種画像診断・核医学検査・IVR に関する知識と初歩的技術を習得する。

具体的内容

- ・単純 X 線・CT・MRI、胃腸透視、核医学検査などの実施に参加し、その意義を認識する。
- ・読影業務に参加し、症例のティーチング・ファイルなども活用して画像診断を学習する。
- ・血管造影・CT 下生検などの IVR を見学し、血管モデルなども用いて初歩部分で経験する。

評 価： 共通評価票

受入定員： 2 名（1 クールにつき）（他大学の学生含む）

注意事項：

初日の集合場所、時間： 前週金曜日に、医局へ確認のこと

予習項目： 画像診断学コース

- ◎核医学：各種シンチ・PET-CT 検査について、下記の教科書などを参考に学習しておくこと。  
核医学テキスト（中外医学社）  
放射線医学 核医学・PET・SPECT（金芳堂）
- ◎中枢神経画像診断：脳血管障害（脳梗塞、脳出血、くも膜下出血）や脳腫瘍（膠芽腫、髄膜腫、下垂体腺腫）などの典型的な画像所見について、下記の教科書などを参考に学習しておくこと。  
画像診断コンパクトナビ（医学教育出版社）
- ◎胸部画像診断：呼吸器・循環器疾患の典型的な画像所見について、下記の教科書などを参考に学習しておくこと。  
胸部 X 線写真の読み方（中外医学社）  
画像診断コンパクトナビ（医学教育出版社）
- ◎腹部画像診断：消化器・泌尿生殖器疾患の典型的な画像所見について、下記の教科書などを参考に学習しておくこと。  
放射線医学 泌尿生殖器画像診断・IVR（金芳堂）  
画像診断コンパクトナビ（医学教育出版社）
- ◎IVR（画像下治療）：血管造影や穿刺・ドレナージの適応や基本的な手技について、下記の教科書などを参考に学習しておくこと。  
IVR マニュアル（医学書院）

画像診断コンパクトナビ（医学教育出版社）

**復習項目：** 画像診断学コース

核医学・中枢神経・胸部・腹部・IVR の各領域ごとに、講義・実習で経験した症例を中心に、以下のポイントも踏まえて、学習した内容を整理し理解を深めること。

- ・各種画像モダリティ（単純 X 線・CT・MRI・シンチ・PET・血管造影など）の画像の成り立ち
- ・典型的な疾患の画像所見と鑑別診断のポイント
- ・放射線防護や造影剤の取り扱いなどの医療安全

**オフィスアワー担当教員：**

担当教員：小森 剛

内線・スマートフォン：2307・56334      E-mail：tsuyoshi.komori@ompu.ac.jp

**オフィスアワー日時：**

金曜日 14：00～15：00

場所：放射線科読影室（A 棟 2 階）



## 放射線診断科【画像診断学】

## (第1週目)

9:30		12:00	14:00	16:30	17:00
月	放射線診断学オリエンテーション (大須賀慶悟) 〔研究棟12階 教授室〕		自学自習		
火	腹部読影実習 (山本聖人) 〔A棟2階 読影室〕		胸部読影実習 (安賀文俊) 〔A棟2階 読影室〕		
水	自学自習				
木	自学自習		腹部読影実習 (沖野 佳) 〔A棟2階 読影室〕		
金	IVR(画像下治療)見学実習 (山本和宏) 〔A棟3階 低侵襲血管内治療センター〕		自学自習		

## 放射線診断科【画像診断学】

## (第2週目)

9:30		12:00	14:00	16:30	17:00
月	核医学読影実習 (小森 剛) 〔旧25病棟跡 放射線科〕		自学自習		
火	中枢神経読影実習 (東山 央) 〔A棟2階 読影室〕		読影実習 (重里 寛) 〔A棟2階 読影室〕		
水	自学自習				
木	読影実習 (松岡俊裕) 〔A棟2階 読影室〕		自学自習		
金	胃透視見学・読影実習 (松谷裕貴) 〔A棟2階 読影室〕		婦人科領域読影実習 (中井 豪) 〔A棟2階 読影室〕		

# 臨床実習プログラム

科 目： 放射線腫瘍学（放射線腫瘍科）

担当者名： 二瓶 圭二、新保 大樹、吉岡 裕人 他

5年以上の医師実務経験を有する教員： 二瓶 圭二、新保 大樹、吉岡 裕人 他

実習内容：

科目の概要

放射線治療の医療における役割と重要性を理解する。

科目のゴール

悪性腫瘍を中心とした放射線治療の実際を体験する。

具体的内容

放射線治療患者の診察と治療計画を立案する。

評 価： 共通評価票

受入定員： 1名（1クールにつき。他大学生を含む）

初日の集合場所、時間： 前週金曜日に、放射線科医局へ確認のこと

予習項目： 放射線治療については、『放射線腫瘍学\*』1ページ～162ページおよび『やさしくわかる放射線治療学 改訂第2版\*\*』3ページ～204ページを参考に、各自学習すること。

最低限、以下の事項を重点的に学習すること。

①放射線治療の適応疾患

②各放射線治療法の概要（外部照射、強度変調放射線治療、定位放射線治療、密封小線源治療、ホウ素中性子捕捉療法など）

③放射線治療計画の概要（特に標準体積）

\* 放射線医学 放射線腫瘍学

植林 勇（監修）、杉村 和朗（監修）、猪俣 泰典（編集）、上杉 康夫（著）、高橋 正嗣（著）  
出版社：金芳堂 第1版（2012年4月）

\*\*やさしくわかる放射線治療学

公益社団法人 日本放射線腫瘍学会（監修）  
出版社：株式会社 Gakken 改訂第2版（2024年3月）

復習項目： 放射線治療について、予習および本実習で学習した内容を整理し理解を深めること。

オフィスアワー担当教員：

担当教員：二瓶 圭二

内線・スマートフォン：2307・53396 E-mail: keiji.nihei@ompu.ac.jp

オフィスアワー日時：

火曜日 16:00～17:00

場所：6号館地下 放射線科カンファレンス室  
(事前にアポイントメントを取ることを。)

## 放射線腫瘍科【放射線腫瘍学】

## (第1週目)

8:30		9:00		12:00		14:00		16:00		17:00	
月		オリエンテーション				設定 治療計画実習 〔6号館地下〕					
火	初診 カンファ レンス	放射線治療 実践・体験実習（CT/ シェル） 〔6号館地下〕				設定 見学実習 RALS・LDR 〔6号館地下〕				治療計画 レビュー	
水	初診 カンファ レンス	設定 見学実習 BNCT 〔6号館地下〕									
木	初診 カンファ レンス	治療計画実習 組織内照射見学実習 〔6号館地下〕				設定 見学実習 RALS・LDR 〔6号館地下〕				治療計画 レビュー	
金	初診 カンファ レンス LDC	設定 治療計画実習 〔6号館地下〕				設定 治療計画実習 〔6号館地下〕					

## 放射線腫瘍科【放射線腫瘍学】

## (第2週目)

8:30		9:00		12:00		14:00		16:00		17:00	
月	初診 カンファ レンス	設定 見学実習 〔6号館地下〕				設定 治療計画実習 〔6号館地下〕					
火	初診 カンファ レンス	放射線治療 実践・体験実習（CT/ シェル） 〔6号館地下〕				設定 見学実習 RALS・LDR 〔6号館地下〕				治療計画 レビュー	
水	初診 カンファ レンス	設定 見学実習 BNCT 〔6号館地下〕									
木	初診 カンファ レンス	治療計画実習 組織内照射見学実習 〔6号館地下〕				設定 見学実習 RALS・LDR 〔6号館地下〕				治療計画 レビュー	
金	初診 カンファ レンス LDC	設定 治療計画実習 〔6号館地下〕				設定 治療計画実習 〔6号館地下〕					

# 臨床実習プログラム

**科 目：** 麻酔科学（麻酔科・ペインクリニック、集中治療部）

**担当者名：** 南 敏明、日下 裕介、梅垣 修、間嶋 望、中野 祥子、藤原 淳、門野 紀子、下山 雄一郎、  
上野 健史、木村 小百合、佐野 博昭、長峯 達成、北埜 学、藤澤 貴信、山崎 智己、山崎 紘幸、  
進藤 真美子、富畑 翔、野田 祐一、小川 夏美、徳永 友里、山田 理那、牧澤 佑樹、三井 寛明、  
愛甲 一樹、荒木 悠里、川上 由奈、金城 碧、三島 洋輝、坂本 太郎、島津 愛陽、南川 侑介、  
奥山 美友子、西尾 晃司、古田 俊太郎

**5年以上の医師実務経験を有する教員：**

南 敏明、日下 裕介、梅垣 修、間嶋 望、中野 祥子、藤原 淳、門野 紀子、下山 雄一郎、  
上野 健史、木村 小百合、佐野 博昭、長峯 達成、北埜 学、藤澤 貴信、山崎 智己、山崎 紘幸、  
進藤 真美子、富畑 翔、野田 祐一、小川 夏美、徳永 友里、山田 理那、牧澤 佑樹、三井 寛明、  
愛甲 一樹、荒木 悠里、川上 由奈、金城 碧、三島 洋輝、坂本 太郎、島津 愛陽、南川 侑介、  
奥山 美友子、西尾 晃司、古田 俊太郎

**実習内容：**

## 科目の概要

周術期の全身管理、疼痛に対する外来・入院治療、重症患者に対する集中治療を理解する。

## 科目のゴール

術前、術中、術後の麻酔・全身管理を実際に体験学習する。

ペインクリニック外来を体験する。

集中治療室における全身管理を体験する。

麻酔科関連手技（気道確保、中心静脈カテーテル留置、静脈路確保、橈骨動脈圧ライン確保）についてシミュレーターまたは模型を用いて学習する。

## 具体的内容

- ①朝の全体カンファレンスに参加する。
- ②実際の麻酔業務（点滴確保、マスクによる気道確保、声門上器具挿入、胃管挿入など）に立ち合い、実践する。
- ③手術室および集中治療室で使用する呼吸・循環等のモニタリングを理解する。
- ④全身麻酔・区域麻酔、集中治療のために使用する薬剤の使用法の実際を学ぶ。
- ⑤血液ガス分析を行い、そのデータの解析を行う。
- ⑥ペインクリニック外来で難治性疼痛疾患患者の診察を行う。
- ⑦心不全、呼吸不全をはじめとする臓器不全患者の病態を理解する。

**評 価：** 共通評価表（＊出席に関しては厳正に確認し評価を行う）

**受入定員：** 4名（他大学学生を含む）

**注意事項：**

**初日の集合場所、時間：** 麻酔科医局（新手術棟2階）9時00分  
月曜日が休日の場合は火曜日、同上

**予習項目：** 標準麻酔科学第7版（医学書院）を参考図書とする  
P20-30の全身麻酔の流れを学習する

P94-102の脊髄くも膜下麻酔の流れを学習する  
P117-130の麻酔管理時のモニタリングに関して学習する  
P75-94の気管挿管の方法と合併症を学習する  
P159-172の輸液、輸血の基準と合併症を学習する  
P117-130の中心静脈確保の方法とその合併症を学習する  
P311-323の集中治療の適応と意義を学習する  
P148-158の人工呼吸の適応と方法を学習する  
P165-170の血液ガス所見の解釈を学習する  
P311-322の敗血症の診断と治療を学習する  
P296-304の痛みの種類と診断について学習する  
P296-304の侵害受容性痛と神経障害性痛について学習する  
P296-304の頭痛の分類（片頭痛、群発頭痛）と治療法について学習する  
P296-304の三叉神経痛の性状と治療法を学習する  
P296-304の帯状疱疹後神経痛の診断と治療法を学習する  
P304-309の WHO のがん性痛治療を学習する

**復習項目：** 全身麻酔薬の効果と副作用についてまとめ、復習する  
麻酔管理時のモニタリングと正常値についてまとめ、復習する  
気道確保の一連の流れと注意点をまとめ、復習する  
中心静脈カテーテル留置の手技と合併症についてまとめ、復習する  
集中治療の適応についてまとめ、復習する  
人工呼吸の合併症についてまとめ、復習する  
血液ガスの正常値と代表的な異常所見についてまとめ、復習する  
痛みの治療薬とその副作用についてまとめ、復習する  
がん性痛の治療についてまとめ、復習する

**オフィスアワー担当教員：**

担当教員①：佐野 博昭

スマートフォン：58032      E-mail：hiroaki.sano@ompu.ac.jp

担当教員②：中野 祥子

スマートフォン：56630      E-mail：shoko.nakano@ompu.ac.jp

**オフィスアワー日時：**

月・水・金    午前9～11時

麻酔科（１、２週目とも手術麻酔）

（第１週目 手術麻酔）

	7:45	9:00	12:00	13:00	14:00	15:00	17:00
月		オリエンテーション (佐野、中野、木村、 藤澤、野田) 〔９時麻酔科医局〕	手術室実習 (佐野、中野、木村、 藤澤、野田)		自学自習	週により、 シミュレーション実施 〔麻酔科医局〕 なければ自学自習	
火		手術室実習 (佐野、木村、藤澤) 〔７時45分麻酔科医局〕			自学自習		
水		手術室実習 (佐野、中野、木村、藤澤、野田) 〔７時45分麻酔科医局〕			週により講義 またはシミュレーションを実施 (佐野、中野、木村、藤澤、野田) 〔13時医局に集合〕 なければ自学自習		
木		手術室実習 (佐野、中野、藤澤) 〔７時45分麻酔科医局〕			自学自習		
金		手術室実習 (中野、木村、野田) 〔７時45分麻酔科医局〕			自学自習		

麻酔科（１、２週目とも手術麻酔）

（第２週目 手術麻酔）

	7:45	12:00	13:00	14:00	15:00	17:00
月	手術室実習 (佐野、中野、木村、藤澤、野田) 〔７時45分麻酔科医局〕			自学自習	週により、 シミュレーション実施 〔麻酔科医局〕 なければ自学自習	
火	手術室実習 (佐野、木村、藤澤) 〔７時45分麻酔科医局〕			自学自習		
水	手術室実習 (佐野、中野、木村、藤澤、野田) 〔７時45分麻酔科医局〕			週により講義 またはシミュレーションを実施 (佐野、中野、木村、藤澤、野田) 〔13時医局に集合〕 なければ自学自習		
木	手術室実習 (佐野、中野、藤澤) 〔７時45分麻酔科医局〕			自学自習		
金	手術室実習 (中野、木村、野田) 〔７時45分麻酔科医局〕			総括（中野、木村、野田） 〔麻酔科医局〕		

麻酔科（１週目 手術麻酔、２週目 ペインクリニック）

（第１週目 手術麻酔）

	7:45	9:00	12:00	13:00	14:00	15:00	17:00
月		オリエンテーション (佐野、中野、木村、 藤澤、野田) 〔９時麻酔科医局〕	手術室実習 (佐野、中野、木村、 藤澤、野田)		自学自習	週により、 シミュレーション実施 〔麻酔科医局〕 なければ自学自習	
火		手術室実習 (佐野、木村、藤澤) 〔７時45分麻酔科医局〕			自学自習		
水		手術室実習 (佐野、中野、木村、藤澤、野田) 〔７時45分麻酔科医局〕			週により講義 またはシミュレーションを実施 (佐野、中野、木村、藤澤、野田) 〔13時医局に集合〕 なければ自学自習		
木		手術室実習 (佐野、中野、藤澤) 〔７時45分麻酔科医局〕			自学自習		
金		手術室実習 (中野、木村、野田) 〔７時45分麻酔科医局〕			自学自習		

麻酔科（１週目 手術麻酔、２週目 ペインクリニック）

（第２週目 ペインクリニック）

	7:45	9:00	12:00	13:00	14:00	15:00	17:00
月		ペインクリニック外来見学、ブロック見学 (外来：鳥井 ブロック：間嶋、佐野) 〔９時外来、10時手術室〕			回診 (南、間嶋、 佐野、鳥井) 〔13時麻酔科 医局〕	週により、 シミュレーション実施 〔麻酔科医局〕 なければ自学自習	
火		ペインクリニック外来見学 (佐野、徳永) 〔９時外来〕			自学自習		
水		ペインクリニック外来見学、ブロック見学 (外来：坂本 ブロック：間嶋、佐野、鳥井) 〔９時手術室〕			週により講義 またはシミュレーションを実施 (佐野、中野、木村、藤澤、野田) 〔13時医局に集合〕 なければ自学自習		
木		ペインクリニック外来見学、ブロック見学 (外来：間嶋、鳥井 ブロック：佐野、徳永) 〔９時外来、10時手術室〕			自学自習		
金		ペインクリニック外来見学 (間嶋、愛甲) 〔９時外来〕			総括 (中野、木村、野田) 〔麻酔科医局〕		

麻酔科（１週目 手術麻酔、２週目 集中治療）

（第１週目 手術麻酔）

	7:45	9:00	12:00	13:00	14:00	15:00	17:00
月		オリエンテーション (佐野、中野、木村、 藤澤、野田) 〔９時麻酔科医局〕	手術室実習 (佐野、中野、木村、 藤澤、野田)		自学自習	週により、 シミュレーション実施 〔麻酔科医局〕 なければ自学自習	
火		手術室実習 (佐野、木村、藤澤) 〔７時45分麻酔科医局〕			自学自習		
水		手術室実習 (佐野、中野、木村、藤澤、野田) 〔７時45分麻酔科医局〕			週により講義 またはシミュレーションを実施 (佐野、中野、木村、藤澤、野田) 〔13時医局に集合〕 なければ自学自習		
木		手術室実習 (佐野、中野、藤澤) 〔７時45分麻酔科医局〕			自学自習		
金		手術室実習 (中野、木村、野田) 〔７時45分麻酔科医局〕			自学自習		

麻酔科（１週目 手術麻酔、２週目 集中治療）

（第２週目 集中治療）

	7:45	8:00	12:00	13:00	14:00	15:00	17:00
月		集中治療見学 (梅垣、日下) 〔８時ICU〕			自学自習	週により、 シミュレーション実施 〔麻酔科医局〕 なければ自学自習	
火		集中治療見学 (梅垣、日下) 〔８時ICU〕			自学自習		
水		集中治療見学 (梅垣、日下) 〔８時ICU〕			週により講義 またはシミュレーションを実施 (佐野、中野、木村、藤澤、野田) 〔13時医局に集合〕 なければ自学自習		
木		集中治療見学 (梅垣、日下) 〔８時ICU〕			自学自習		
金		集中治療見学 (梅垣、日下) 〔８時ICU〕			総括（中野、木村、野田） 〔麻酔科医局〕		



麻酔科（１週目 ペインクリニック、２週目 手術麻酔）

（第１週目 ペインクリニック）

	7:45	9:00	10:00	12:00	13:00	14:00	15:00	17:00
月		オリエンテーション (佐野、中野、木村) 〔9時麻酔科医局〕	ブロック見学 (ブロック：間嶋、佐野) 〔10時手術室〕		回診 (南、間嶋、 佐野、鳥井) 〔13時麻酔科 医局〕	週により、 シミュレーション実施 〔麻酔科医局〕 なければ自学自習		
火		ペインクリニック外来見学 (佐野、徳永) 〔9時外来〕				自学自習		
水		ペインクリニック外来見学、ブロック見学 (外来：坂本 ブロック：間嶋、佐野、鳥井) 〔9時手術室〕				週により講義 またはシミュレーションを実施 (佐野、中野、木村、藤澤、野田) 〔13時医局に集合〕 なければ自学自習		
木		ペインクリニック外来見学、ブロック見学 (外来：間嶋、鳥井 ブロック：佐野、徳永) 〔9時外来、10時手術室〕				自学自習		
金		ペインクリニック外来見学 (間嶋、愛甲) 〔9時外来〕				自学自習		

麻酔科（１週目 ペインクリニック、２週目 手術麻酔）

（第２週目 手術麻酔）

	7:45	12:00	13:00	14:00	15:00	17:00
月	手術室実習 (佐野、中野、木村、藤澤、野田) 〔7時45分麻酔科医局〕				自学自習	週により、 シミュレーション実施 〔麻酔科医局〕 なければ自学自習
火	手術室実習 (佐野、木村、藤澤) 〔7時45分麻酔科医局〕				自学自習	
水	手術室実習 (佐野、中野、木村、藤澤、野田) 〔7時45分麻酔科医局〕				週により講義 またはシミュレーションを実施 (佐野、中野、木村、藤澤、野田) 〔13時医局に集合〕 なければ自学自習	
木	手術室実習 (佐野、中野、藤澤) 〔7時45分麻酔科医局〕				自学自習	
金	手術室実習 (中野、木村、野田) 〔7時45分麻酔科医局〕				総括 (中野、木村、野田) 〔麻酔科医局〕	

麻酔科（1週目 集中治療、2週目 手術麻酔）

（第1週目 集中治療）

	7:45	8:00	8:45	9:00	10:00	12:00	13:00	14:00	15:00	17:00
月				オリエンテーション (佐野、中野、木村) 〔9時麻酔科医局〕	集中治療見学 (梅垣、日下) 〔10時手術室〕		自学自習	週により、 シミュレーション実施 〔麻酔科医局〕 なければ自学自習		
火			集中治療見学 (梅垣、日下) 〔8時ICU〕					自学自習		
水			集中治療見学 (梅垣、日下) 〔8時ICU〕					週により講義 またはシミュレーションを実施 (佐野、中野、木村、藤澤、野田) 〔13時医局に集合〕 なければ自学自習		
木			集中治療見学 (梅垣、日下) 〔8時ICU〕					自学自習		
金			集中治療見学 (梅垣、日下) 〔8時ICU〕					自学自習		

麻酔科（1週目 集中治療、2週目 手術麻酔）

（第2週目 手術麻酔）

	7:45	12:00	13:00	14:00	15:00	17:00
月	手術室実習 (佐野、中野、木村、藤澤、野田) 〔7時45分麻酔科医局〕				自学自習	週により、 シミュレーション実施 〔麻酔科医局〕 なければ自学自習
火	手術室実習 (佐野、木村、藤澤) 〔7時45分麻酔科医局〕				自学自習	
水	手術室実習 (佐野、中野、木村、藤澤、野田) 〔7時45分麻酔科医局〕				週により講義 またはシミュレーションを実施 (佐野、中野、木村、藤澤、野田) 〔13時医局に集合〕 なければ自学自習	
木	手術室実習 (佐野、中野、藤澤) 〔7時45分麻酔科医局〕				自学自習	
金	手術室実習 (中野、木村、野田) 〔7時45分麻酔科医局〕				総括（中野、木村、野田） 〔麻酔科医局〕	

# 臨床実習プログラム

**科 目：** 形成外科学（形成外科）

**担当者名：** 准教授 塗 隆志

講師 大槻 祐喜、廣田 友香

助教 浅香 明紀、木野 紘美

**5年以上の医師実務経験を有する教員：**

上田 晃一、塗 隆志、大槻 祐喜、光野 乃祐、廣田 友香、浅香 明紀、木野 紘美

**実習内容：**

## 科目の概要

形成外科の観点から創や組織の扱い方を学び、創傷治癒について理解を深める。

## 科目のゴール

- 1) 形成外科的皮膚縫合法を実践できる。
- 2) 形成外科的診断法、手術術式、術後管理、処置方法の実際を知る。
- 3) 褥瘡の診断、分類、処置を実践できる。

## 具体的内容

- 1) 病棟で主治医と共に医療面接、術前評価、術後管理を行う。
- 2) 主治医、指導医と共に手術術式について検討する。
- 3) 術後の創部処置を行う。
- 4) 手術に助手として参加する。
- 5) 術前、術後カンファレンスに積極的に参加する。

**評 価：** 共通評価表による

**受入定員：** 2名（他大学学生を含む）

班に学生一人を配属し、班ごとに手術実習および病棟実習を行う。

**注意事項：** 時間厳守してください。また局所麻酔の手術の助手の場合、言動に注意してください。

**初日の集合場所、時間：** 月曜日 午前8時20分 形成外科医局集合

月曜日が休日の場合は火曜日 午前8時30分 形成外科医局集合

**予習項目：**

- 1) 唇裂・口蓋裂：南江堂 形成外科手術書（第4版）p257-262、p 327-502
- 2) 乳房再建：インプラント法、腹直筋皮弁法、広背筋皮弁法について適応や利点欠点を調べる
- 3) 下肢リンパ浮腫：永井書店 リンパ浮腫のすべてを参考に、リンパ浮腫の病態を調べる
- 4) 顔面骨骨折：克誠堂書店 顔面骨骨折を参考に顔面骨骨折の分類をまとめる

**復習項目：** 唇裂の治療法について年齢ごとにまとめてレポートにすること。  
再建方法の利点欠点、植皮の種類についてレポートにまとめる。

**オフィスアワー担当教員：**

担当教員①：塗 隆志

内線・スマートフォン：56895 E-mail：takashi.nuri@ompu.ac.jp

担当教員②：大槻 祐喜

内線・スマートフォン：56937      E-mail：yuuki.ootsuki@ompu.ac.jp

**オフィスアワー日時：**

毎週木曜 16：00～17：00

場所：A 病棟 5F 形成外科医局

形成外科

(第1週目)

8:30		9:00		12:00	13:00	16:00	17:00	18:00
月	教授回診 [A 7 病棟カンファレンス室]	外来または担当班の病棟処置				手術 乳房再建（大槻） 頭頸部再建（塗） または病棟		
火	手術（塗、廣田、浅香） 外来（大槻）					手術（塗、廣田、浅香）		カンファレンス (医局長：大槻)
水		外来（塗） 手術（大槻）				手術（大槻）		
木	手術（塗、大槻、廣田、浅香）					手術 （塗、大槻、廣田、浅香）	オフィスアワー （塗）	カンファレンス (医局長：大槻)
金		外来（光野、廣田）				病棟 各担当班		

形成外科

(第2週目)

7:45			8:30		9:00		12:00		13:00		16:00		17:00		18:00		
月	抄読会 [A7病棟 カンファ レンス室]	教授回診 [A7病棟 カンファ レンス室]	外来または担当班の病棟処置						手術 乳房再建（大槻） 頭頸部再建（塗） または病棟								
火	手術（上田、塗、光野、廣田、木野、浅香） または外来（大槻）								手術（上田、塗、光野、廣田、木野、浅香）					カンファレンス (医局長：大槻)			
水			外来（塗） 手術 乳房再建（大槻）						手術（大槻） 病棟 各担当班								
木	手術（上田、塗、光野、廣田、木野、浅香）								手術 （上田、塗、光野、 廣田、木野、浅香）				オフィスアワー （塗）		カンファレンス (医局長：大槻)		
金			外来（光野、廣田）						病棟 各担当班								

# 臨床実習プログラム

科 目： リハビリテーション医学（リハビリテーション科）

担当者名： 佐浦 隆一、小金丸 聡子、仲野 春樹、土井 あかね、河合 弘幸

5年以上の医師実務経験を有する教員：

佐浦 隆一、小金丸 聡子、仲野 春樹、土井 あかね、河合 弘幸

実習内容：

## 科目の概要

各種の疾病や外傷に対する大学病院ならではの超急性期・急性期（～回復期）のリハビリテーション医療を体験し、その意義と重要性を理解する。また、広義のリハビリテーション分野における介護、保健、福祉、療育と医療との関わりを通じて、リハビリテーション科医の役割を理解する。

## 科目のゴール

- ・リハビリテーション科医の役割を説明できる。
- ・専門外来でリハビリテーション科医が行う検査、治療手技を見学する。
- ・リハビリテーション治療の適応と禁忌を判断できる。
- ・リハビリテーション治療でのリスク管理の重要性を説明できる。
- ・リハビリテーション治療の指示・処方の流れを説明できる。
- ・リハビリテーション関連職種の役割を説明できる。
- ・多職種連携のリハビリテーションチームアプローチを実践できる。

## 具体的内容

脳血管疾患、運動器疾患、神経筋疾患、脊椎脊髄疾患、呼吸器・循環器疾患、小児疾患などに対する超急性期・急性期～回復期のリハビリテーション治療を体験し、リハビリテーション科医の役割と必要な知識および技術（障がいの診断・評価、帰結〔機能予後〕予測、目標設定、計画策定、訓練処方、リスク管理など）を理解、習得する。具体的には、運動麻痺、失調、感覚障害、高次脳機能障害、嚥下（摂食機能）障害、拘縮、筋力低下、切断などに対するリハビリテーション治療、院外の介護・保健・福祉・療育サービスとの連携など多職種によるチーム医療を体験し、その意義を理解する。また、リハビリテーション科の専門外来（痙縮外来、嚥下外来、義肢装具外来、筋電図外来など）での検査・診察、治療手技を見学する。さらに、医学教育やリハビリテーション医療の啓発など、医育機関でもある大学病院に勤務するリハビリテーション科医の役割についても理解する。

評 価： 共通評価表

受入定員： 1名

注意事項： 服装に留意し、障がい者（児）や高齢者のみならず、関係者に対して不適切な言動が認められた場合には直ちに実習を中止して退場を命じます。

初日の集合場所、時間： 6号館1階・リハビリテーション科医局 午前8時10分  
初日が火曜日の場合も同じ。

予習項目： ・リハビリテーション医学・医療の概念とリハビリテーション治療の適応、リハビリテーション医療チームの構成やメンバーの役割について「リハビリテーション医学・医療コアテキスト 第二版（医学書院）」総論第1章を読んでおくこと。

- ・主なりハビリテーション医療の対象疾患（脳血管疾患、運動器疾患、神経筋疾患、脊椎脊髄疾患、呼吸器・循環器疾患、小児疾患など）の基本的知識（病因・病態・主な検査法・評価法・治療法・予後など）をまとめておくこと。

**復習項目：** 脳血管障害、骨関節疾患、神経筋疾患、脊椎脊髄疾患など、リハビリテーション治療を担当した症例についてまとめること。

**オフィスアワー担当教員：**

担当教員①：佐浦 隆一

内線・スマートフォン：56509      E-mail：saura@ompu.ac.jp

担当教員②：仲野 春樹

内線・スマートフォン：56433      E-mail：haruki.nakano@ompu.ac.jp

**オフィスアワー日時：**

オフィスアワー日時①：月曜日午後・水曜日午前・金曜日午後

場所：リハビリテーション医学教室・教授室（62病棟奥）

オフィスアワー日時②：金曜日 12：00～13：00

場所：リハビリテーション医学教室・医局（6号館1階）

# リハビリテーション科

## (第1週目)

8:10		8:30		9:00		9:30		12:00		13:30		16:30	
月	医局 カンファ レンス (全員)	全体 カンファ レンス (全員)	オリエン テーション (仲野春樹)	外来 (仲野春樹)					検査・病棟 (仲野春樹)				
火	医局 カンファ レンス (全員)		外来 (土井あかね)					検査・病棟 (土井あかね)					
水	医局 カンファ レンス (全員)	全体 カンファ レンス (全員)	外来 (仲野春樹)					病棟（嚥下回診） (仲野春樹)					
木	医局 カンファ レンス (全員)		外来 (小金丸聡子)					検査・病棟 (小金丸聡子)					
金	医局 カンファ レンス (全員)		外来・嚥下造影検査 (仲野春樹)					検査・病棟 (仲野春樹)					

備考：実習は原則として、6号館1階リハビリテーション科外来およびリハビリテーションセンターで行います。

# リハビリテーション科

## (第2週目)

8:10		8:30		9:00		12:00		13:30		16:30	
月	医局 カンファ レンス (全員)	全体 カンファ レンス (全員)	外来 (仲野春樹)					検査・病棟 (仲野春樹)			
火	医局 カンファ レンス (全員)		外来 (土井あかね)					検査・病棟 (土井あかね)			
水	医局 カンファ レンス (全員)	全体 カンファ レンス (全員)	外来 (仲野春樹)					検査・病棟 (仲野春樹)			
木	医局 カンファ レンス (全員)		外来 (小金丸聡子)					検査・病棟 (小金丸聡子)			
金	医局 カンファ レンス (全員)		外来 (佐浦隆一)					検査・病棟 (佐浦隆一)			

備考：実習は原則として、6号館1階リハビリテーション科外来およびリハビリテーションセンターで行います。

学生への連絡事項

1. 実習初日は午前8時10分に医局へ集合してください。
2. 午後の実習は午後1時30分に医局に集合の上、各担当教員から具体的な研修内容について指示を受けてください。



# 臨床実習プログラム

科 目： 救急医学（救急医療部）

担当者名： 高須 朗、山川 一馬、太田 孝志、畠山 淳司、中尾 準三、十時 崇彰、榊原 謙、田中 克、  
雨宮 優、本田 浩太郎、久宗 遼、生塩 典敬、高島 章伍、中村 恵里子、武田 悠莉子、  
三嶋 隆之（非常勤講師）

5年以上の医師実務経験を有する教員：

高須 朗、山川 一馬、太田 孝志、畠山 淳司、中尾 準三、十時 崇彰、榊原 謙、田中 克、雨宮 優、  
本田 浩太郎、久宗 遼、生塩 典敬、高島 章伍、中村 恵里子、三嶋 隆之

実習内容：

科目の概要：

- ・救急のプライマリケアとクリティカルケアが実践できる医師を目指すために、救急外来（ER）並びに救命救急センターで行うべき診療を習得する。

科目のゴール：

- ①主な症候についてその鑑別ができる。
- ②救急外来で救急患者の初期診療に参加し、検査計画をたて、診断から治療にいたるプロセスを把握できる。
- ③救急患者の緊急度・重症度判断ができる。
- ④病院外心停止や院内急変患者の蘇生チームに加わり蘇生について知る。
- ⑤重要な外傷や中毒の初期治療内容とその対応を知る。
- ⑥必要に応じて各診療科にコンサルトできる。
- ⑦救急におけるチーム医療の重要性を知る。
- ⑧救命救急病棟での診療内容を説明できる。

具体的内容

- ・毎朝9：00からの症例検討会に参加する。
- ・救急外来における診療に参加し、医療面接、診察法、臨床診断学、初期治療等について学習する。
- ・救急外来でのチーム医療に参加する。
- ・心肺蘇生や外傷初期治療の標準化された診療・治療法を体験する。
- ・病棟入院患者の診療にチームの一員として係る。
- ・救急関連英文論文の抄読会に参加する。
- ・受け持ち症例についてレポートを作成しプレゼンテーションをする。

評 価： 共通評価表

受入定員： 2名

注意事項： ・スニーカーなど安全で動きやすい靴を履くこと。服装はケーシー白衣、Yシャツなど診療参加に相応しいものにする。  
・救急患者に対応するため、時間割はフレキシブルに行う。

初日の集合場所、時間： 救急医療部医局 午前8：45  
月曜日が休日の場合 火曜日同上

- 予習項目：**
- 1) 救急搬送システムについて標準救急医学第5版第1章を参考にして調べ学習しておくこと
  - 2) 症状・徴候からみた救急疾患について標準救急医学第5版第3章を参考にして調べ学習しておくこと
  - 3) 各ショックの病態について標準救急医学第5版 p145-152を参考にして調べ学習しておくこと
  - 4) 心停止患者へのCPRについて大阪医科薬科大学臨床テキストブック（Web版）を参考に調べ学習しておくこと
  - 5) 重症救急患者の管理について標準救急医学第5版第4章を参考にして調べ学習しておくこと
  - 6) 外傷例診療について標準救急医学第5版 p361-424を参考にして調べ学習しておくこと
  - 7) 中毒・熱傷の診療について標準救急医学第5版 p425-451を参考にして調べ学習しておくこと
  - 8) 環境要因による救急疾患について標準救急医学第5版 p452-458を参考にして調べ学習しておくこと

- 復習項目：**
- 1) 実習で理解した地域の救急搬送システムについてレポートにまとめること
  - 2) 実習で経験した救急症例についてレポートにまとめること
  - 3) 実習で担当した担当症例の経過についてレポートにまとめること
  - 4) 抄読会で発表した論文内容を概括すること

**オフィスアワー担当教員：**

担当教員①：高須 朗

スマートフォン：56855      E-mail：akira.takasu@ompu.ac.jp

担当教員②：山川 一馬

スマートフォン：56322      E-mail：kazuma.yamakawa@ompu.ac.jp

担当教員③：太田 孝志

スマートフォン：56858      E-mail：koshi.ota@ompu.ac.jp

担当教員④：畠山 淳司

スマートフォン：56470      E-mail：junji.hatakeyama@ompu.ac.jp

担当教員⑤：中尾 準三

スマートフォン：56609      E-mail：junzo.nakao@ompu.ac.jp

担当教員⑥：十時 崇彰

スマートフォン：56583      E-mail：takaaki.totoki@ompu.ac.jp

担当教員⑦：榊原 謙

スマートフォン：58157      E-mail：ken.sakakibara@ompu.ac.jp

担当教員⑧：田中 克

スマートフォン：54011      E-mail：suguru.tanaka@ompu.ac.jp

担当教員⑨：雨宮 優

スマートフォン：56487      E-mail：yu.amemiya@ompu.ac.jp

担当教員⑩：本田 浩太郎

スマートフォン：56720      E-mail：kotaro.honda@ompu.ac.jp

担当教員⑪：久宗 遼

スマートフォン：56117

E-mail：ryo.hisamune@ompu.ac.jp

担当教員⑫：生塩 典敬

スマートフォン：56204

E-mail：noritaka.ushio@ompu.ac.jp

担当教員⑬：高島 章伍

スマートフォン：54041

E-mail：shougo.takashima@ompu.ac.jp

担当教員⑭：中村 恵里子

スマートフォン：未定

E-mail：eriko.nakamura@ompu.ac.jp

担当教員⑮：武田 悠莉子

スマートフォン：54143

E-mail：yuriko.takeda@ompu.ac.jp

担当教員⑯：三嶋 隆之

スマートフォン：56484

E-mail：takayuki.mishima@pmpu.ac.jp

**オフィスアワー日時：**

毎週火曜日 午後15：00～（救急カンファレンス後）

救急医療部

(第1、2週共通)

9:00		10:30		12:00	13:00	14:30		16:00	16:30
月	初日 8:50-説明	症例検討会・病棟回診 (全員参加)	病棟・敗血症・集中治療・ 診断学 (Hチーム) (畠山淳司)		病棟診療 (Hチーム担当医)				
火	症例検討会 (カンファレンス)・ 抄読会 (医局員全員)		自学自習		教授回診 (高須 朗、 小畑仁司)	症例説明 (高須 朗、 小畑仁司)	自学自習		
水	症例検討会・病棟回診 (全員参加)		ER の実際 (太田孝志)		ER の実際 (太田孝志)				
木	症例検討会・病棟回診 (全員参加)		循環器救急・症候・診断学 (三嶋隆之)		病棟・集中治療・ ECMO 管理 (雨宮 優)	病棟診療 (Aチーム担当医)			
金	症例検討会・病棟回診 (全員参加)		病棟・外傷・症候・診断 (山川一馬)		ER の実際 (第1週のみ) (太田孝志)				
					自学自習	まとめ・試問 (第2週のみ) (高須 朗)			

# 臨床実習プログラム

科 目： 口腔外科学（歯科口腔外科）

担当者名： 教授 植野 高章  
准教授 真野 隆充  
講師 中島 世市郎、藤原 久美子  
講師（准）井上 和也  
助教 小越 菜保子、大森 実知、濱田 渉

5年以上の医師実務経験を有する教員（歯科医師実務経験者）：

植野 高章、真野 隆充、中島 世市郎、藤原 久美子、井上 和也、小越 菜保子、大森 実知、  
濱田 渉

実習内容：

## 科目の概要

口腔疾患が全身に与える影響を学び、医師として最低限必要な口腔内診断能力を身につける。また、口腔固有疾患について学習する。

## 科目のゴール

- (1) 口腔は消化器ならびに気道の一部であることをふまえ、慢性歯周炎などの口腔病変が全身に与える影響および口腔衛生管理の重要性を理解する。
- (2) がん治療周術期の口腔合併症（口腔粘膜炎・誤嚥性肺炎）を理解し、その予防法を学ぶ。
- (3) 顎骨の腫瘍、嚢胞、炎症、外傷などの口腔固有疾患について理解する。

## 具体的内容

- (1) 外来や病棟においてがん治療患者や全身麻酔手術（周術期）患者の口腔内状態を診察し、口腔衛生状態とその衛生状態の悪化が全身に及ぼす影響を判断できる。
- (2) ICU入院患者の誤嚥性肺炎予防のための口腔内診察を実習する。
- (3) 訪問診療などが必要な高齢患者の口腔衛生や咀嚼状態を診断する。
- (4) 骨転移や骨粗鬆症の治療薬が関与する顎骨壊死について理解する。
- (5) 医師として必要な口腔機能検査（口腔乾燥症・咀嚼機能検査）を学ぶ。
- (6) 睡眠時無呼吸症候群に関する病状・治療に必要な装置について学ぶ。
- (7) 全身麻酔下での口腔外科手術、抜歯術、歯科インプラント手術などの口腔外科固有疾患の手術を学ぶ。

評 価： 共通評価表

受入定員： 2名（他大学学生を含む）

注意事項： 臨床現場では感染対策に十分注意を払うこと。

初日の集合場所、時間： 歯科口腔外科外来 9時  
(月曜日が休日の場合は火曜日……歯科口腔外科外来 9時)

予習項目： 下記項目について、参考書をよく読み、学習しておくこと。参考書は貸し出します。（クインテッセンス出版 口の中がわかる ビジュアル 歯科口腔外科学読本 監修 全国医学部附属病院歯科口腔外科科長会議）

- (1) 構造と機能
  - 1) 顎、口腔の骨、筋、神経、血管など臓器の解剖と機能
  - 2) 歯および歯周組織の解剖と機能
- (2) 診断と検査の基本
  - 1) 顎口腔の診察方法
  - 2) 顎口腔の画像診断（レントゲン、CT、MRI）の適応と解剖
- (3) 症候
  - 1) がん周術期の口腔内症状
  - 2) 誤嚥性肺炎の病態
  - 3) 歯性感染の症状、臨床所見、検査所見
- (4) 疾患
  - 1) 歯周病の症状、検査所見、治療および全身に与える影響
  - 2) 顎骨の腫瘍、嚢胞、炎症、外傷などの口腔固有疾患について理解する
  - 3) 頭頸部放射線治療時の口腔内の副作用の症状、所見、治療
  - 4) 抗がん化学療法中の口腔内副作用について症状、所見、治療
  - 5) 誤嚥性肺炎の発症メカニズム、症状、所見
  - 6) 骨転移や骨粗鬆症の治療薬が関与する顎骨壊死の症状、所見、治療

**復習項目：** 歯科疾患、口腔外科疾患、口腔疾患の全身への影響について学んだことをノートにまとめること

**オフィスアワー担当教員：**

担当教員：小越 菜保子

スマートフォン：58074      E-mail：nahoko.kogoe@ompu.ac.jp

**オフィスアワー日時：**

月、木曜日 17：00～18：00

場所：6号館地下1階 歯科口腔外科医局

※スマートフォンまたはE-mailで連絡し予約すること。

歯科口腔外科

(第 1、2 週共通)

	9:00	12:00	13:30	15:30	17:30
月	外来・病棟実習（口腔ケア患者の介助） （小越、中島） 〔外来〕		病棟往診 （がん患者の口腔粘膜炎） （濱田、藤原）	顎骨の再建 （真野）	
火	外来実習（患者の問診・触診） （濱田、井上） 〔外来〕		手術助手 （植野、真野、藤原、中島、井上、濱田） 〔中央手術室〕		
水	外来・病棟実習（外来・入院患者処置の介助） （植野、中島、井上） 〔外来・66病棟〕				
木	外来・病棟実習（外来・入院患者処置の介助） （植野、真野、小越） 〔外来・66病棟〕		歯科小手術（抜歯・歯科インプラント術）見学 （植野、真野、井上） 〔中央手術室〕		
金	外来・病棟実習（患者の問診・触診） （真野、藤原） 〔外来・66病棟〕		手術助手 （植野、真野、藤原、中島、井上、濱田） 〔中央手術室〕		

## 22. 2025年 教育機関一覧（総合実習）、実習プログラム

### 2025年 教育機関一覧（総合実習）

臨床教育機関名	住 所	電 話	責任者	実習担当者	コース	頁
社会医療法人愛仁会 高槻病院	〒569-1192 大阪府高槻市古曽部町1-3-13	072-681-3801	高岡 秀幸	中後 聡	2	181
			秋元 寛	秋元 寛	2	182
社会医療法人きつこう会 多根総合病院	〒550-0025 大阪府大阪市西区九条南1-12-21	06-6581-1071	小川 竜介	小川 竜介	2	183
社会医療法人仙養会 北摂総合病院	〒569-8585 大阪府高槻市北柳川町6-24	072-696-2121	木野 昌也	循環器科 森井 功、 診療部各診療科部長・医長	4	184
洛和会音羽病院	〒607-8062 京都府京都市山科区音羽珍事町2	075-593-4111	谷口 洋貴	金森 真紀・内科スタッフ 山崎 武俊・音羽リハビリテー ション病院スタッフ	4	186

※募集定員について詳細は別紙一覧で確認してください。

4 は 4 週間コース

2 は 2 週間コース



# 総合臨床実習プログラム

教育機関名： 社会医療法人愛仁会 高槻病院

責任者名： 高岡 秀幸

実習担当者名： 中後 聡

実習内容：

テーマ：正常分娩の母体と新生児ケア

陣痛が発来した妊婦の方と可能な限り分娩経過を共に過ごし、がんばっておられる妊婦や家族の方々を支えつつ、分娩が進行してゆく過程を習得する。出生した新生児についても新生児科指導医と共に診療を行い、正常新生児の生理やケアを学ぶ。

ローテーション診療科（予定）： 産科、小児科（新生児科）

評価： 共通評価表

受入定員： 1クール1名、実習単位は1クール2週間（受入可能期間は別紙一覧の通り）

注意事項： 当院は一般病院のため、患者に接する時は十分な配慮と節度をもって行うこと。  
白衣（ケーシー型）着用。但し、白衣の下は柄物Tシャツ・ジーンズの着用は不可。  
履物は運動靴が好ましい。サンダル禁止。  
派手な化粧、無精髭は禁止。  
院内禁煙。帰宅、外出は直接指導医に告げること。

予習項目：

復習項目：

初日の集合場所、時間： リハビリテーション病院 3F ローソン前 8:20集合  
月曜日が休日の場合は火曜日、同上

交通手段： JR 高槻駅徒歩10分、阪急高槻市駅徒歩12分  
※自家用車および自転車での通勤不可

宿泊施設： なし

オフィスアワー担当者：

連絡先：

オフィスアワー日時：

# 総合臨床実習プログラム

教育機関名： 社会医療法人愛仁会 高槻病院

責任者名： 秋元 寛

実習担当者名： 秋元 寛

実習内容：

テーマ：二次救急病院の役割（成人系救急、小児救急）を学ぶ

地域医療の中での二次救急病院の役割を理解し、病院と地域の医療機関ならびに救急隊との連携の重要性を学ぶ。また、小児救急については、一次から三次救急まで対応している当院の小児救急診療の実際を経験する。

救急センターにて、救急医療の基本的な診療の流れを理解する。救急科担当医師と共に診療を行い、基本的な臨床検査、画像診断を理解し、トリアージを学ぶ。外傷初期診療を通じ、急性期外科の基本を体験する。

ローテーション診療科（予定）： 主に救急センターにて研修を行う（救急科、小児科）

評価： 共通評価表

受入定員： 1クール1名、実習単位は1クール2週間（受入可能期間は別紙一覧の通り）

注意事項： 当院は一般病院のため、患者に接する時は十分な配慮と節度をもって行うこと。  
白衣（ケーシー型）着用。但し、白衣の下は柄物 T シャツ・ジーンズの着用は不可。  
履物は運動靴が好ましい。サンダル禁止。  
派手な化粧、無精髭は禁止。  
院内禁煙。帰宅、外出は直接指導医に告げること。  
昼食持参のこと。

予習項目：

復習項目：

初日の集合場所、時間： リハビリテーション病院 3階 ローソン前 8:20集合  
月曜日が休日の場合は火曜日、同上

交通手段： JR 高槻駅徒歩10分、阪急高槻市駅徒歩12分  
※自家用車および自転車での通勤不可

宿泊施設： なし

オフィスアワー担当者：

連絡先：

オフィスアワー日時：

# 総合臨床実習プログラム

教育機関名： 社会医療法人きつこう会 多根総合病院

責任者名： 小川 竜介

実習担当者名： 小川 竜介

実習内容：

- ・在宅医療等を受けられている患者の受け入れや在宅等への退院支援などについて、医師としての関わりを学ぶ
- ・メディカルソーシャルワーカー（MSW）が行う転退院支援等について学ぶ（カンファレンス等の参加など）
- ・併設の訪問看護ステーションにて在宅医療の業務見学、利用者宅への同行
- ・併設の居宅介護支援事業所のケアマネージャーの業務見学、利用者宅への同行

（患者・利用者の同意が得られない場合や、各種感染症の感染状況などによっては実習内容や実習先を変更する場合があります。）

ローテーション診療科（予定）：

評価： 共通評価表

受入定員： 1クール1名（実習単位は1クール2週間）

注意事項：

予習項目： 当院で学びたいことを重点的に勉強しておくこと。

復習項目： 実習で扱った症例や学んだことを、週ごとにまとめること。

初日の集合場所、時間： 多根総合病院 医局 午前8時30分  
（月曜日が休日の場合は火曜日、同上）

交通手段： 別紙地図参照

宿泊施設： なし

オフィスアワー担当者： 上野 梢  
連絡先：06-6581-1071

オフィスアワー日時： 平日9:00～17:00 総合医局

# 総合臨床実習プログラム

**教育機関名：** 社会医療法人仙養会 北摂総合病院

**責任者名：** 木野 昌也

**実習担当者名：** 循環器科 森井 功、診療部各診療科部長、医長

**実習内容：**

当院救急部受診の内科系・外科系の一次救急患者の診療を通して、内科・外科などの診療科を超えたプライマリーケアの診療活動を体験・学習する。特に、急性心筋梗塞、不安定狭心症、心不全や肺梗塞などの循環器疾患、さらには肺炎や消化管出血など入院治療が必要な内科疾患については、上級医とともにチーム医療の一員として実際の診療チームに参画する。また外科や整形外科など手術が必要な外科系疾患の症例も希望により経験することが可能である。

**科目のゴール：**

受診時の初期診療から各診療科へ振り分け、確定診断・治療に至る経過観察まで診療科を超えた経時的観察を通し、診療活動を学ぶ。

**具体的内容：**

担当医（研修医、あるいは指導医）の下で医学部実習生として患者を受け持つ。電子カルテの記載、検査の助手を行う。患者1～2名を担当する。毎朝、院長室で行われる Morning Report に出席し、受け持ち患者の病態を報告する。当院の診療部（循環器科、消化器内科、呼吸器内科、救急診療科、総合内科）各科教育スタッフによる教育プログラムに出席する。

**教育スタッフ：**

木野 昌也（理事長）：内科診察の基本  
森井 功（救急診療担当副院長）  
永松 航（循環器科部長）冠動脈インターベンション  
玄 武司（総合内科部長）  
山口 茂（血液浄化療法科部長）：心不全、血液浄化療法について  
諏訪 道博（臨床検査科部長）：心エコー検査

**ローテーション診療科：** 循環器科（心臓カテ症例の全身管理と合併症）  
総合内科、救急診療科（救急外来を受診する患者への対応）

**評価：** 共通評価表

**受入定員：** 1クール（4週間）1名、合計5名まで

**注意事項：** 実習期間中は、当院の職員としてルールに従うこと

**予習項目：** Bates' Guide to Physical Examination and History Taking 等  
身体診察と病歴聴取の参考書を参照し、これらの基本的な部分を理解しておくこと

**復習項目：** 受け持った患者について身体診察、病歴聴取の結果を簡略にまとめ、診断確定に必要な検査や治療の実際を理解する。

**初日の集合場所、時間：** 病院3F 来客受付 午前8時30分  
月曜日が休日の場合は火曜日、同上

交通手段： 別紙地図参照

宿泊施設： なし、希望により宿直可

オフィスアワー担当者： 森井 功  
連絡先：内線3051

オフィスアワー日時： 8:30－17:30 月～土曜 医局等

# 総合臨床実習プログラム

教育機関名： 洛和会音羽病院

責任者名： 谷口 洋貴

実習担当者名： 金森 真紀・内科スタッフ  
山崎 武俊・音羽リハビリテーション病院スタッフ

実習内容：

当院での学生実習では、音羽病院総合診療科と、近接する関連病院の音羽リハビリテーション病院で実習を行います。音羽病院での急性期の実習と、音羽リハビリテーション病院での慢性期の実習の両方が経験できます。2つの病院を原則週単位で行います。

音羽病院では、総合内科や感染症科の外来・病棟診療、ER 見学を予定しています。

音羽リハビリテーション病院では、内科診療の外来・病棟での実習以外に、訪問診療、リハビリテーションの見学があります。

【音羽病院】

7:30～ 8:00 朝のレクチャー

8:00～12:30 外来・病棟・ER での実習

12:30～13:30 ケースカンファレンス

13:30～17:00 外来・病棟・ER での実習

17:00～ ふりかえり・一日のまとめ

【音羽リハビリテーション病院】

7:30～ 8:00 朝のレクチャー（音羽病院にて）

8:00～12:30 外来・病棟での実習、訪問診療同行

12:30～13:30 ケースカンファレンス（音羽病院にて）

13:30～17:00 外来・病棟での実習、訪問診療同行

17:00～ ふりかえり・一日のまとめ（音羽病院で行うことがあります）

※ 朝のレクチャーは必須ではありませんが、積極的な参加が求められます。

※ ふりかえり・一日のまとめはその時の状況で17:00より早くなる場合があります。

ローテーション診療科（予定）： 音羽病院総合内科・感染症科・ER  
音羽リハビリテーション病院内科・リハビリテーション科  
訪問診療部

評価： 共通評価表

受入定員： 1クール1名

注意事項： 実際の患者さんと接して頂きますので、礼節・服装には十分配慮下さい。  
ご連絡は以下のメールアドレスをお願いします。  
otowa.kensyu@rakuwa.or.jp



## 23. 2025年 教育機関一覧（院外）、実習プログラム

## 2025年 教育機関一覧（院外）

臨床教育機関名	住 所	電 話	診 療 科	指導医	コース	頁
IHI 播磨病院	〒678-0031 兵庫県相生市旭3丁目5-15	0791-22-0380	整形外科 リハビリテーション科	小泉 龍一	2	192
				古川 誠治		
社会医療法人愛仁会 愛仁会リハビリテーション病院	〒569-1116 大阪府高槻市白梅町5-7	072-683-1212	リハビリテーション科	兒島 正裕	2	193
				松岡美保子		
医療法人恒昭会 藍野花園病院	〒567-0017 大阪府茨木市花園2丁目6番1号	072-641-4100	精神科	清水 信夫	2	194
医療法人恒昭会 藍野病院	〒567-0011 大阪府茨木市高田町11-18	072-627-7611	内科	山本 直宗	4	196
				吉田 麻美		
			外科	日外 知行	4	197
医療法人ラポール会 青山病院	〒583-0014 大阪府藤井寺市野中4-16-25	072-953-1211	一般内科	井元 章	4	198
赤穂市民病院	〒678-0232 兵庫県赤穂市中広1090番地	0791-43-3222	消化器内科	高尾雄二郎	4	199
				勝谷 誠		
医療法人千水会 赤穂仁泉病院	〒678-0173 兵庫県赤穂市浜市408番地	0791-48-8087	精神科	深井 光浩	2	200
尼崎医療生協病院	〒661-0033 兵庫県尼崎市南武庫之荘12-16-1	06-6436-1701	総合内科	中田 均	4	201
社会医療法人愛仁会 尼崎だいもつ病院	〒660-0828 兵庫県尼崎市東大物町1丁目1-1	06-6482-0001	リハビリテーション科 (回復期、地域)	富岡 正雄	2	202
				嶋 聡子		
医療法人北辰会 天の川病院	〒573-0022 大阪府枚方市宮之阪2丁目20-1	072-847-2606	循環器内科 内科 血液浄化センター 小児科	寺崎 由香	4	203
				中倉 兵庫		
大阪医科薬科大学三島南病院	〒569-0856 大阪府高槻市玉川新町8-1	072-677-1333 内線520	麻酔科	辰巳 真一	2	205
大阪回生病院	〒532-0003 大阪府大阪市淀川区宮原1-6-10	06-6393-6234	消化器内科	増田 大介	4	206
大阪急性期・総合医療センター	〒558-8558 大阪府大阪市住吉区万代東3丁目1-56	06-6692-1201	リハビリテーション科	土岐 明子	2	208
大阪暁明館病院	〒554-0012 大阪府大阪市此花区西九条5-4-8	06-6462-0261	眼科	石田 理	2	209
西日本旅客鉄道株式会社 大阪鉄道病院	〒545-0053 大阪府大阪市阿倍野区松崎町1-2-22	06-6628-2221	精神神経科	江村 成就	2	210
			婦人科	坂井 昌弘	4	211
			耳鼻咽喉科・頭頸部外科	鈴木 倫雄	2	212
大阪府済生会茨木病院	〒567-0035 大阪府茨木市見付山2-1-45	072-622-8651	小児科	高谷 竜三	4	213
大阪府済生会吹田病院	〒564-0013 大阪府吹田市川園町1-2	06-6382-1521	小児科/NICU科	小川 哲	4	214
			産婦人科	加藤 俊	4	216
			形成外科	大江 恵	2	218
大阪府済生会中津病院	〒530-0012 大阪府大阪市北区芝田2-10-39	06-6372-0333	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	東川 雅彦	2	220
			泌尿器科	上原 博史	2	221
独立行政法人国立病院機構 大阪南医療センター	〒586-8521 大阪府河内長野市木戸東町2-1	0721-53-5761	産婦人科	金村 昌徳	4	222
独立行政法人労働者健康安全機構 大阪労災病院	〒591-8025 大阪府堺市北区長曾根町1179-3	072-252-3561	小児科 感染科	岡本 奈美	4	223
				川村 尚久		
医療法人達瑛会 鳳胃腸病院	〒593-8311 大阪府堺市西区上653-1	072-273-2821	外科	天上 俊之	4	227
医療法人社団英明会 大西脳神経外科病院	〒674-0064 兵庫県明石市大久保町江井島1661-1	078-938-1238	脳神経外科	大西 宏之	4	228
医療法人大植会 葛城病院	〒596-0825 大阪府岸和田市土生町2-33-1	072-422-9909	消化器内科	原田 智	4	229
川西市立総合医療センター	〒666-0017 兵庫県川西市火打1-4-1	0570-01-8199	産婦人科	荘園ヘキ子	4	230



臨床教育機関名	住 所	電 話	診 療 科	指導医	コース	頁
社会医療法人岡本病院（財団） 京都岡本記念病院	〒613-0034 京都府久世郡久御山町佐山西ノ口100番地	0774-48-5500	精神科	川野 涼	2	232
社会福祉法人京都社会事業財団 京都桂病院	〒615-8256 京都府京都市西京区山田平尾町17	075-391-5811	心臓血管センター・外科	島田 亮	4	234
医療法人恵生会 恵生会病院	〒579-8036 大阪府東大阪市鷹殿町20-29	072-982-5101	眼科	鈴木 浩之	2	235
神戸市立医療センター 中央市民病院	〒650-0047 兵庫県神戸市中央区港島南町2丁目1-1	078-302-4321	総合内科	西岡 弘晶	4	236
公立宍粟総合病院	〒671-2576 兵庫県宍粟市山崎町鹿沢93	0790-62-2410	産婦人科	植木 健	4	237
国立循環器病研究センター	〒564-8565 大阪府吹田市岸部新町6番1号	06-6170-1070	産婦人科部	吉松 淳	4	238
医療法人社団それいゆ会 こたま病院	〒665-0841 兵庫県宝塚市御殿山1-3-2	0797-87-2525	消化器外科	児玉慎一郎	4	239
社会医療法人美杉会 佐藤病院	〒573-1124 大阪府枚方市養父東町65-1	072-850-8711	整形外科	白井 久也	2	240
市立池田病院	〒563-8510 大阪府池田市城南3-1-18	072-751-2881	産婦人科	竹原 幹雄	4	241
市立伊丹病院	〒664-8540 兵庫県伊丹市昆陽池1-100	072-777-3773	呼吸器内科	細井 慶太	4	242
			循環器内科	下山 寿	4	244
地方独立行政法人 市立大津市民病院	〒520-0804 滋賀県大津市本宮2-9-9	077-522-4607	一般・乳腺・消化器外科	田中慶太郎	4	245
				大住 渉		
市立奈良病院	〒630-8305 奈良県奈良市東紀寺町1-50-1	0742-24-1251	形成外科	大谷 一弘	2	246
			総合診療科	下川 充	4	248
				山口 恭一		
市立ひらかた病院	〒573-1013 大阪府枚方市禁野本町2-14-1	072-847-2821	内科	後藤 功	4	249
			糖尿病・内分泌内科	柴崎早枝子	4	250
			循環器内科	中島 伯	4	251
				武田 義弘		
			消化器外科・乳腺内分泌外科・ 一般外科	林 道廣	4	252
				木下 隆		
				河合 英		
			心臓血管外科・呼吸器外科	吉井 康欣	4	254
			整形外科	大原 英嗣	2	255
			小児科	岡空 圭輔	4	256
			産婦人科	岡崎 審	4	257
			眼科	小嵩 祥太	2	258
			耳鼻咽喉科	西川 周治	2	259
			泌尿器科	和辻 利和	2	260
			麻酔科	宮崎信一郎	2	261
			形成外科	前田 尚吾	2	262
医療法人春秋会 城山病院	〒583-0872 大阪府羽曳野市はびきの2-8-1	072-958-1000	消化器内科	東野 健	4	263
			消化器・乳腺センター	石橋 孝嗣	4	264
			心臓血管センター	土田 隆雄	4	265
			麻酔科	辻井 英治	2	266
特定医療法人大阪精神医学研究所 新阿武山病院	〒569-1041 大阪府高槻市奈佐原4-10-1	072-693-1881	精神神経科	岡村 武彦	2	267
				樽谷精一郎		
医療法人 新淡路病院	〒656-0015 兵庫県洲本市上加茂43番地	0799-22-1534	精神科	堀 貴晴	2	268

臨床教育機関名	住 所	電 話	診 療 科	指導医	コース	頁
社会医療法人清恵会 清恵会病院	〒590-0064 大阪府堺市堺区南安井町1丁目1番1号	072-223-8199	糖尿病代謝内科	野村 美枝	4	269
			内科	星本 真弘	4	270
			小児科	森信 若葉	4	272
社会医療法人蒼生会 蒼生病院	〒571-0023 大阪府門真市大字横地596番地	072-885-1711	内科	小島 敬史	4	273
社会医療法人東和会 第一東和会病院	〒569-0081 大阪府高槻市宮野町2-17	072-671-1008	内科	時岡 聡	4	274
			消化器外科	田畑 智丈	4	275
			脳神経外科	朴 陽太	4	276
			婦人科、女性泌尿器科、 ウロギネコロジーセンター	加藤稚佳子	4	277
高槻赤十字病院	〒569-1096 大阪府高槻市阿武野1-1-1	072-696-0571	循環器内科	木澤 隼	4	278
			消化器外科・乳腺外科	平松 昌子	4	279
				小林 稔弘		
			小児科	河上 千尋	4	280
			産婦人科	中村 路彦	4	281
			麻酔科	澤井 俊幸	2	282
社会医療法人愛仁会 高槻病院	〒569-1192 大阪府高槻市古曽部町1-3-13	072-681-3801	産婦人科	中後 聡	4	283
			眼科	清水 一弘	2	284
			腎臓内科	高橋 利和	2	285
			泌尿器科	西田 剛	2	287
			形成外科	黒川 憲史	2	288
医療法人医仁会 武田総合病院	〒601-1495 京都府京都市伏見区石田森南町28-1	075-572-6331	心臓血管外科	三重野繁敏	4	289
			脳神経外科	川西 昌浩	4	290
医療法人財団康生会 武田病院	〒600-8558 京都府京都市下京区塩小路通西洞院東入東 塩小路町841-5	075-361-1351	麻酔科	原 直樹	2	291
社会医療法人きつこう会 多根総合病院	〒550-0025 大阪府大阪市西区九条南1-12-21	06-6581-1071	脳神経外科	小川 竜介	4	292
社会医療法人近森会 近森病院	〒780-8522 高知県高知市大川筋1-1-16	088-822-5231	形成外科	杉田 直哉	2	294
社会医療法人近森会 近森リハビリテーション病院	〒780-0843 高知県高知市廿代町2-22	088-822-5231	リハビリテーション科	和田恵美子	2	296
				中山 衣代		
医療法人歓喜会 辻外科リハビリテーション病院	〒543-0072 大阪府大阪市天王寺区生玉前町3-24	06-6771-0681	リハビリテーション科	中土 保	2	298
社会医療法人信愛会 暇生会脳神経外科病院	〒575-8511 大阪府四條畷市中野本町28-1	072-877-6639	脳神経外科	池永 透	4	299
社会医療法人彩樹 豊中敬仁会病院	〒560-0004 大阪府豊中市少路1丁目8-12	06-6853-1700	消化器外科	奥田 準二	4	301
社会医療法人甲友会 西宮協立脳神経外科病院	〒663-8211 兵庫県西宮市今津山中町11-1	0798-33-2211	脳神経外科	辻 雅夫	4	302
公益財団法人日本生命済生会 日本生命病院	〒550-0006 大阪府大阪市西区江之子島2-1-54	06-6443-3446	循環器内科・中央臨床検査	岡部 太一	4	304
医療法人長尾会 ねや川サナトリウム	〒572-0854 大阪府寝屋川市寝屋川公園2370-6	072-822-3561	精神科	長尾喜一郎	2	305
医療法人錦秀会 阪和記念病院	〒558-0041 大阪府大阪市住吉区南住吉3-5-8	06-6696-5591	消化器内科	矢田 豊	4	307
医療法人橘会 東住吉森本病院	〒546-0014 大阪府大阪市東住吉区鷹合3-2-66	06-6606-0010	脳神経外科	磯野 直史	4	308
医療法人愛心会 東宝塚さとう病院	〒665-0873 兵庫県宝塚市長尾町2-1	0797-88-2200	循環器内科	大辻 悟	4	309
兵庫県災害医療センター	〒651-0073 兵庫県神戸市中央区脇浜海岸通1-3-1	078-241-3131	救急部	石原 論	2	310
				松山 重成		

臨床教育機関名	住 所	電 話	診 療 科	指導医	コース	頁
医療法人恒尚会 兵田病院	〒589-0036 大阪府大阪狭山市山本東1394-1	072-366-2345	ペインクリニック	兵田 暁	2	312
医療法人幸生会 琵琶湖中央リハビリテーション病院	〒520-0834 滋賀県大津市御殿浜22-33	077-526-2131	リハビリテーション科	加藤 洋	2	313
医療法人祥佑会 藤田胃腸科病院	〒569-0086 大阪府高槻市松原町17番36号	072-671-5916	胃腸内科・内視鏡内科・ 内科・消化器内科	本郷 仁志	4	314
社会医療法人仙養会 北摂総合病院	〒569-8585 大阪府高槻市北柳川町6-24	072-696-2121	消化器内科	佐野村 誠	4	315
			一般消化器外科	豊田 昌夫	4	316
			整形外科	植田 直樹	2	317
			婦人科	田中 理恵	4	319
パナソニック健康保険組合 松下記念病院	〒570-8540 大阪府守口市外島町5番55号	06-6992-1231	麻酔科	趙 崇至	2	320
社会医療法人祐生会 みどりヶ丘病院	〒569-1121 大阪府高槻市真上町3-13-1	072-681-5717	消化器内科	占野 尚人	4	321
		072-681-5768	脳神経外科	新井 基弘	4	322
社会医療法人景岳会 南大阪病院	〒559-0012 大阪府大阪市住之江区東加賀屋1-18-18	06-6685-0221	整形外科	大坂 芳明	2	323
社会医療法人同仁会 耳原総合病院	〒590-8505 大阪府堺市堺区協和町4丁465	072-241-0501	救急総合診療科	大矢 亮	4	325
社会医療法人彩樹 守口敬仁会病院	〒570-0021 大阪府守口市八雲東町2-47-12	06-6906-9000	内科	川上 研	4	327
			循環器内科	小林 一史	4	328
			外科・消化器外科	岡 博史	4	329
			腎・透析科、泌尿器科	中嶋 章貴	2	330
淀川キリスト教病院	〒533-0024 大阪府大阪市東淀川区柴島1丁目7番50号	06-6322-2250	リウマチ膠原病内科	藤木 陽平	4	331
			腎臓内科	富田 弘道		332
			呼吸器内科	紙森 隆雄		333
淀川勤労者厚生協会附属西淀病院	〒555-0024 大阪府大阪市西淀川区野里3-5-22	06-6472-1141	地域総合内科	落合 甲太	4	334
医療法人清仁会 洛西シミズ病院	〒610-1106 京都府京都市西京区大枝香掛町13-107	075-331-8778	整形外科	矢津 匡也	2	336
			麻酔科	村谷 忠利	2	337
医療法人清仁会 洛西ニュータウン病院	〒610-1142 京都府京都市西京区大枝東新林町3丁目6	075-332-0123	消化器内科	中畑 孔克	4	338
洛和会音羽病院	〒607-8062 京都府京都市山科区音羽珍事町2	075-593-4111	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	河田 了	2	339
洛和会ヘルスケアシステム 洛和会丸太町病院	〒604-8401 京都府京都市中京区七本松通丸太町上ル	075-801-0351	救急・総合診療科	上田 剛士	4	340

※募集定員の詳細については別紙一覧を参照してください。

4は4週間コース

2は2週間コース

# 臨床実習プログラム

教育機関名： IHI 播磨病院 整形外科、リハビリテーション科

責任者名： 西川 梅雄、小泉 龍一、古川 誠治

実習内容：

## 科目の概要

臨床の場でリハビリテーション医療を理解する。

## 科目のゴール

リハビリテーション（以下リハと略す）とは単なる機能回復訓練ではなく、再度能力を回復して人間らしい社会生活に復帰するための過程である。そのために身体の問題だけでなく、心理的、職業的、経済的、社会的にも配慮する必要がある。またリハ医療では、多職種によるチーム医療が必要である。このチーム医療を進めるために医師はリーダーとしての役割を果たさねばならず、その位置付けについても学習する。

## 具体的内容

- 1) IHI 播磨病院は急性期病棟と回復期リハ病棟を有している。
- 2) 急性期病棟では患者の状態が不安定な時期からのリハ介入を開始し、現疾患の治療と平行して行われる急性期リハ医療について学習する。
- 3) 回復期リハ病棟では患者の著しい機能回復が期待される時期での機能回復を促進するリハ医療について学習する。
- 4) 主に整形外科の患者については、当病院内で急性期から回復期リハ病棟へ移動する場合も多いので、両時期のリハ介入の違いについて理解を深めることが出来る。

評価： 共通評価表

受入定員： 1 クール 1 名

注意事項： 白衣持参

予習項目： リハビリテーション医学の教科書（佐浦教授推薦）をよく読んでおく。

復習項目： 実習症例について学習してまとめる。

初日の集合場所、時間： 院長室に 8 時45分に集合（月曜休日の場合は火曜日 8 時45分）。

交通手段： 別紙地図参照

宿泊施設： 有（院内当直室）

オフィスアワー担当者： 小泉 龍一（副院長）  
連絡先：内線 9083

オフィスアワー日時： 毎週（木）13:00～14:00  
医局、副院長室など

# 臨床実習プログラム

教育機関名： 社会医療法人愛仁会 愛仁会リハビリテーション病院 リハビリテーション科

責任者名： 児島 正裕、松岡 美保子

実習内容：

## 科目の概要

リハビリテーション医学の実際、障害者全身管理とリハ処方、チームアプローチ、回復期・維持期への連携の実際を学習する。

## 科目のゴール

- ①リハ医の病院における役割を知る。
- ②装具処方をはじめとした、リハ処方の実際を学習する。
- ③PT、OT、ST、リハビリ看護師とのチームアプローチの指導方法を学習する。
- ④MSWを中心とした院外との連携、入退院指導を学習する。
- ⑤臨床心理士の役割を知る。

## 具体的内容

評価： 共通評価表

受入定員： 1クール1名（受入可能期間は別紙一覧の通り）

注意事項： 各自白衣、聴診器持参  
ゴーグルなど感染予防具

予習項目： カンファレンス、プレゼンテーションにあたっての分類・評価ツールであるFIM、ICFについて大まかに説明できるよう予習をしておくこと

復習項目： 実習で学習した多職種介入による回復期リハビリテーションに関して習得したこと、感じたことを1,200字以内のレポートにして提出すること

初日の集合場所、時間： 愛仁会リハビリテーション病院7階 管理科（患者・家族用EV前）に午前9時集合  
月曜日が休日の場合には、火曜日に同上

交通手段： 別紙地図参照

宿泊施設： なし

オフィスアワー担当者： 児島 正裕  
連絡先：院内内線 9801

オフィスアワー日時： 平日勤務時間内随時

# 臨床実習プログラム

**教育機関名：** 医療法人恒昭会 藍野花園病院 精神科

**責任者名：** 清水 信夫（院長）

**実習内容：**

## 科目の概要

単科精神病院における精神疾患の診断・治療の流れを知り、通院・入院症例を通して精神疾患と地域社会との関わりを知る。日本の精神医療の現状を理解する。

## 科目のゴール

精神科外来診察や入院患者の療養生活を目の当たりにして、精神疾患の症状を理解し、その治療のありかたを知る。また、患者側だけでなく、その治療に有機的に関わる多くの組織や人（社会資源）の存在を知る機会としたい。

さらに、藍野病院にも実習の場を設け、より幅広い体験をさせたい。

## 具体的内容

指導医、主治医や他のスタッフより精神疾患やその治療についての説明を受け、概略を理解する。精神医療に特有の地域社会との関わりを知る。

**評価：** 共通評価表による

**受入定員：** 1クール1名

**注意事項：** なし

**予習項目：** 主要な各疾患については標準的な教科書を参照し、勉強しておくこと

**復習項目：** 実習での体験や扱った症例などから学んだことをまとめること

**初日の集合場所、時間：** 午前9時30分 藍野花園病院 受付前エレベーターホールあたり

**交通手段：** 別紙地図参照

**宿泊施設：** なし

**オフィスアワー担当者：** 清水 信夫  
連絡先：藍野花園病院 内線 8001

**オフィスアワー日時：** 基本的には随時ですが、外来診察中、入院患者診察中は対応できかねます。  
また、状況によっては対応困難なときがあります。木曜日15:00～17:00

**その他：** 藍野病院と藍野花園病院は同一法人傘下の病院であり、ともに500以上の精神病床を有しています。

藍野病院は、精神科を除いて17の診療科を保有し各診療科固有の診療に加えて精神科は認知症・老年期精神疾患および身体合併症治療（入院治療が必要な身体疾患を持つ精神障害者の精神科入院治療）に特化しています。

これに対して藍野花園病院は、単科の精神科病院（ただし、内科、血液内科、歯科は併設）として精神科一般の治療を受け入れる役割を持っています。

このように両院は、同じ精神科領域でも比較的異なる機能を持っているため、臨床実習においても両院を経験する方がより幅広い実習ができると考えます。

地理的にも徒歩5分以内と近傍にあるため、どちらの病院の実習を選んでも両院を相互に行き来しながら同様な実習をしていただくことになります。

両院のプログラムはそのような事情を踏まえて作成しました。

# 臨床実習プログラム

教育機関名： 医療法人恒昭会 藍野病院 内科

責任者名： 山本 直宗、吉田 麻美

実習内容：

## 科目の概要

総合内科診療、特に高齢者の日常診療に必要な基本的診察能力、治療やケアの知識を習得する。

## 科目のゴール

高齢者と非高齢者の肉体的、精神的違いを理解し、老年医学・老年学の基礎的理解、診療プランをたてることができる。

## 具体的内容

各診療分野の専門医の指導の下、外来、入院、検査に携わり、症例発表を行う。

評価： 共通評価表

受入定員： 1クール1名

注意事項： 特になし

予習項目： 老年医学・老年学について勉強しておくこと

復習項目： 実習で担当した症例についてまとめること

初日の集合場所、時間： 藍野病院医局（本館3階）午前8時50分  
初日が火曜日の場合も同上

交通手段： 別紙地図参照

宿泊施設： なし

オフィスアワー担当者： 山本 直宗  
連絡先：内線 8046 又は 8306

オフィスアワー日時： 毎週水曜日 11:00～12:00 医局



# 臨床実習プログラム

教育機関名： 医療法人恒昭会 藍野病院 外科

責任者名： 日外 知行

実習内容：

## 科目の概要

一般外科および消化器外科における医学的知識と一般臨床の実際を知る。

## 科目のゴール

- ・対象患者の診断に至る検査所見と検査過程が理解できる。
- ・対象患者の治療に関する内容と過程が理解できる。
- ・対象患者の病態を総合評価し、診療計画を立てることができる。
- ・高齢者の病態を総合評価し、診療計画を立てることができる。

## 具体的内容

一般外科および消化器外科における診療を見学、体験し、その理解と技術の習得を行う。

- ・外来診察（一般外科、消化器外科、呼吸器外科、血管外科）
- ・病棟回診
- ・手術見学
- ・消化器内視鏡検査
- ・超音波検査
- ・症例検討会

評価： 共通評価表

受入定員： 1クール1名（受入可能期間は別紙一覧の通り）

注意事項： 特になし

予習項目： 参考書等を参照し、勉強しておくこと。

復習項目： 実習で扱った症例について、学んだことをまとめること。

初日の集合場所、時間： 藍野病院医局（本館3階） 午前8時50分  
初日が火曜日の場合も同上

交通手段： 別紙地図参照

宿泊施設： なし

オフィスアワー担当者： 日外 知行  
連絡先：内線 8035 又は 8306

オフィスアワー日時： 毎週水曜日 11:00～12:00 医局

# 臨床実習プログラム

教育機関名： 医療法人ラポール会 青山病院 一般内科

責任者名： 井元 章

実習内容：

## 科目の概要

内科医として必要な診療能力や知識を習得する。

地域の小規模病院の診療の実際を経験する。

## 科目のゴール

- 1) 患者とコミュニケーションをとり、診療を行える。
- 2) 問診、身体所見、血液検査、画像所見から鑑別診断をあげ、適切な治療法を説明できる。
- 3) リハビリについて学び、種類や内容について説明できる。

## 具体的内容

- 1) 外来診察の見学、初診患者の問診聴取。
- 2) 内視鏡検査（胃、大腸、超音波内視鏡、ERCP）の見学や補助。
- 3) リハビリ（PT、ST、OT）、嚥下機能検査（VE、VF）の見学。
- 4) 訪問診療、訪問歯科に同行し、見学する。
- 5) 主治医の指導のもとに医学部実習生として入院患者を受け持ち、実際の診療を学ぶ。受け持ち患者の日々の診療について電子カルテへの記載を行う。
- 6) 内視鏡・リハビリカンファレンス、褥瘡・NST・ICT 回診への参加。

評価： 共通評価表

受入定員： 1 クール 1 名

注意事項： 特になし。

予習項目： 身体診察、問診の最低限必要な事項を理解しておく。

復習項目： 実習で受け持った症例を病歴要約にまとめる。

初日の集合場所、時間： 2 F 医局、午前 8 時 45 分

交通手段： 別紙地図参照

宿泊施設： なし

オフィスアワー担当者： 井元 章  
連絡先： PHS 845

オフィスアワー日時： 毎週金曜日 16:00～17:00

# 臨床実習プログラム

教育機関名： 赤穂市民病院 消化器内科

責任者名： 高尾 雄二郎、勝谷 誠

実習内容：

## 科目の概要

消化器病に関する専門知識や技術を活用しながら、患者に敬意と思いやりをもちつつ、個人を尊重した、全人的で安全かつ適切な診療を実践できる能力を修得する。

## 科目のゴール

消化器疾患の概念、疫学、病因、症状、検査やその病態生理を説明できるようになる。

症状、検査所見から疾患の鑑別や臨床検査の進め方を判断できるようになる。

患者の心理的、社会的因子を考慮しながら、患者中心の適切な治療計画を立てられる。

## 具体的内容

診療の見学（外来、病棟での診察、内視鏡・超音波等各種検査）やカンファレンスへの参加を通じて、医療の現場を直接体験させる。

評価： 共通評価表

受入定員： 1名

注意事項：

予習項目： 消化器内科全般の教科書に目を通しておく。

復習項目： 実習で学んだことをレポートにまとめる。

初日の集合場所、時間： 総務課 AM8:30

交通手段： 別紙地図参照

宿泊施設： 有（研修医宿舎）

オフィスアワー担当者： 高尾 雄二郎  
連絡先：内線 1817

オフィスアワー日時： 毎週金曜日 14:00～16:00

# 臨床実習プログラム

教育機関名： 医療法人千水会 赤穂仁泉病院 精神科

責任者名： 理事長 深井 光浩

実習内容：

## 科目の概要

単科精神病院における精神疾患の診断、治療を実習を通じ理解する。また現状の問題点についても学習する。

## 科目のゴール

- 1) 各精神疾患の症状を理解し、その治療を見学する。
- 2) 外来における見学、デイケア、就労支援センターを通じ、精神科リハビリテーションに対する理解を深める。

## 具体的内容

指導医、主治医のもとで、各精神疾患患者を見学し、その診断、治療を学ぶ。

外来、デイケア、就労支援センター、相談支援センターを見学し、精神科リハビリテーションの実践に参加する。

評価： 共通評価表

受入定員： 1クール1名

注意事項： 患者様の個人情報の保全に注意すること。

予習項目： 参考書で基本的な所は学んでおくこと。

復習項目： 実習で扱った症例について学んだことをまとめること。

初日の集合場所、時間： 病院受付に8時45分集合

交通手段： 別紙地図参照

宿泊施設： なし

オフィスアワー担当者： 深井 光浩  
連絡先：内線 50

オフィスアワー日時： 毎週金曜日 16:00～17:00 医局

# 臨床実習プログラム

教育機関名： 尼崎医療生協病院 総合内科

責任者名： 中田 均

実習内容：

## 科目の概要

患者の立場に立ち、医学的側面だけでなく心理社会的な側面も含め、患者の健康をサポートする医療提供の能力を身に付ける。

## 科目のゴール

1. すべての臨床現場で必要とされる基本的診療能力（知識・技能・態度・総合的判断能力）を獲得します。
2. 多職種協働のチーム医療においてリーダーシップを発揮する能力の獲得。
3. 患者の思いや生活を把握し、患者にとっての最善を考える能力の獲得。

## 具体的内容

- ・総合内科病棟にて患者担当を行い、病歴聴取や身体診察、診療録記載を行い、指導医からの指導を受ける。回診やカンファレンスでは初期研修医と同様にプレゼンテーションを行い、診療方針の決定に参加する。
- ・病棟での多職種カンファレンスにおいて指導医と伴に参加し役割を果たす。
- ・日々のカルテチェックや週毎の振り返りで、患者中心の医療についての学びを深め、医療情報の検索方法などについても学ぶ。

評価： 共通評価表

受入定員： 4名（1クール1名）

注意事項：

予習項目： 患者担当を行うため、OSCE で学んだことなどを復習しておいてください。

復習項目： 日々の疑問点などから宿題が出ることもあります。

初日の集合場所、時間： 初日 8:30 病院待合、2日目以降 8:40 医局

交通手段： 別紙地図参照

宿泊施設： なし

オフィスアワー担当者： 中田 均  
連絡先：内線

オフィスアワー日時： 毎日 16:00～17:00

# 臨床実習プログラム

**教育機関名：** 社会医療法人愛仁会 尼崎だいもつ病院 リハビリテーション科

**責任者名：** 富岡 正雄、嶋 聡子、稲本 真也、瀧本 裕、加東 武、荒川 鉄雄、中村 道三、中田 秀史

**実習内容：**

## 科目の概要

リハビリテーション医療の実際、障害者全身管理とリハ処方、チームアプローチ、回復期・維持期への連携の実際を学習する。

## 科目のゴール

- ①リハ医の病院における役割を知る。
- ②装具処方をはじめとしたリハ処方の実際を学習する。
- ③PT、OT、ST、リハビリ看護師とのチームアプローチの指導方法を学習する。
- ④MSWを中心とした院外での連携、入退院指導を学習する。
- ⑤心臓リハビリの実際を体験、学習する。

## 具体的内容

開始時、スケジュールを渡します。

**評価：** 共通評価表

**受入定員：** 1クール1名（受入可能期間は別紙一覧の通り）

**注意事項：** 各自白衣、聴診器持参

**予習項目：** 回復期リハビリテーション

**復習項目：** 同上

**初日の集合場所、時間：** 尼崎だいもつ病院受付に9時集合  
月曜日が休日の場合は火曜日、同上

**交通手段：** 別紙地図参照

**宿泊施設：** なし

**オフィスアワー担当者：** 富岡 正雄、嶋 聡子  
連絡先：06-6482-0001（代表）

**オフィスアワー日時：** 平日 9:00～15:00

# 臨床実習プログラム

教育機関名： 医療法人北辰会 天の川病院 循環器内科 内科 血液浄化センター 小児科

責任者名： 寺崎 由香、中倉 兵庫

実習内容：

## 科目の概要

地域の方が安心して暮らせるよう医療を行う地域密着型の透析を中心とした総合病院で、診療を経験する。

## 科目のゴール

1. 患者様や病院スタッフと良好な関係を築く。
2. 高血圧、狭心症、心筋梗塞、不整脈、弁膜症、閉塞性動脈硬化症、うっ血性心不全などの循環器疾患の診療を経験、理解する。
3. 慢性腎不全、維持血液透析を知る。
4. 地域包括ケアシステムを知る。

## 具体的内容

1. 循環器外来、入院診療、心エコー検査、冠動脈 CT 検査、トレッドミル運動負荷、ホルター心電図、血管エコー検査などに参加する。
2. 血液透析の実際について見学する。
3. 小児科外来に参加し、一般的な疾患及び親子のかかわりを理解する。
4. 訪問診療、訪問看護、退院連絡会議などに参加。  
主治医、看護師、ケアマネージャー、ヘルパー、リハビリスタッフとご家族との話し合いによる退院後の患者様のサポート体制を知る。

ローテーション診療科：

内科、循環器内科、血液浄化センター、小児科

評価： 共通評価表

受入定員： 1 クール 1 名

注意事項： 白衣、聴診器持参

予習項目： ①内科全般、循環器疾患、特にうっ血性心不全、腎不全、小児科について勉強しておく  
②地域包括ケアシステムについて知っておく

復習項目： 希望の受け持ち患者 1 名についてまとめること

初日の集合場所、時間： 初日午前8:30  
相談の上スケジュールを決めます。

交通手段： 別紙地図参照  
阪急高槻市駅より京阪枚方市駅までバス、京阪枚方市駅から京阪交野線宮之阪駅下車 徒歩

宿泊施設： なし

オフィスアワー担当者： 寺崎 由香 他  
連絡先：072-847-2606

オフィスアワー日時： 毎週水曜日 13:00 医局会後



# 臨床実習プログラム

教育機関名： 大阪医科薬科大学三島南病院 麻酔科

責任者名： 辰巳 真一

実習内容：

## 科目の概要

全身麻酔管理（術前診察、術後診察を含む）を理解する。

## 科目のゴール

麻酔薬の準備ができるようになる。

気道確保の準備ができるようになる。

麻酔記録の読解ができるようになる。

## 具体的内容

手術麻酔（術前診察、術後診察）の見学。質疑応答。

医師指導の下での薬剤準備、希釈、投与。麻酔記録入力。気道確保。

※術前診察・術後診察の見学は新型コロナウイルスの感染状況によっては中止する可能性があります。

評価： 共通評価表

受入定員： 1クール1名

注意事項： 基本的に9:00～17:00の予定ですが、手術時間によっては前後する可能性があります。  
水曜日は常勤医不在のため自学自習とします。  
昼食は各自でとっていただきます。

予習項目： 大阪医科薬科大学麻酔科クリニカル・クラークシップで学んだことを復習しておくこと。

復習項目：

初日の集合場所、時間： 1階受付で「麻酔科 辰巳<sup>たつみ</sup>」へ連絡して下さい。午前10時

手術によっては変更する場合があります。変更する場合は前の週の金曜日に登録されたメールアドレスに連絡します。

交通手段： 別紙地図参照

宿泊施設： なし

オフィスアワー担当者： 辰巳 真一

連絡先：内線 520

オフィスアワー日時： 9:00～17:00 医局

# 臨床実習プログラム

教育機関名： 大阪回生病院 消化器内科

責任者名： 増田 大介

実習内容：

## 一般目標

消化器疾患に対する基本的な知識、検査、治療法を習得する。

## 行動目標

- 1) 外来、病棟における実習で医療面接、身体診察を習得する。
- 2) 消化器疾患の診断・治療を習得する。

## 具体的内容

- 1) 外来診療見学、初診患者の医療面接、身体診察（指導医の指導の下に行う）及び診察内容のカルテ記載
- 2) 病棟患者の受け持ち：指導医の指導のもとに医療面接、診察、病棟での処置を行う、及びカルテに記載
- 3) 検査見学：上部・下部消化管内視鏡検査、胆膵内視鏡検査（ERCP/EUS/EUS-FNA）腹部超音波検査治療手技（肝臓 RFA、急性胆嚢炎の PTGBD、閉塞性黄疸の PTCD など）
- 4) PCC-OSCE に添った形で実際の患者さんを相手に指導医の指導のもとに医療面接、身体診察を行い、カルテに診察内容を記載し、かつ診察内容を要約し指導医への報告を 3-4 分程度で行い、これで実習評価とする。
- 5) 最終日に実習評価試験を行う。

## 週間予定

	月	火	水	木	金
午前	上部	上部/EUS	自学自習	上部	自学自習
午後	下部/病棟実習/ 腹部 US	ERCP/病棟実習	自学自習	回診/ERCP/下部/ 腹部 US	ERCP/下部/ 週間総括

実習初日にオリエンテーションを行います。

評価： 共通評価票

受入定員： 4クール 4名

- 注意事項：
- 1) 時間厳守
  - 2) 身だしなみ、言葉遣い、態度に注意する。病院の白衣、ケーシーなど使用は可。
  - 3) 本実習は単なる見学実習ではなく、OSCE で履修した内容の実践の場であるので、実習時間内は積極的に患者さんに接すること。
  - 4) 患者さんに接した実績としてショートレポートを作成のこと。

予習項目： OSCE での医療面接、腹部診察が必須である。他の分野の診察方法も熟知のこと。

復習項目： 経験した症例 診察手技について内科学教科書（内科学 朝倉書店 新臨床内科学 医学書院 内科学書 中山書店 ハリソン内科学 メディカルサイエンスインターナショナル 内科診断学 医学書院 HARRISON'S INTERNAL MEDICINE 等）の内容を読み復習。

初日の集合場所、時間： 4階医局 8時50分

交通手段： 別紙地図参照

宿泊施設：

オフィスアワー担当者： 増田 大介  
連絡先：内線7082 外線06-6393-7082

オフィスアワー日時： 平日15時～17時

# 臨床実習プログラム

教育機関名： 大阪急性期・総合医療センター リハビリテーション科

責任者名： 土岐 明子

実習内容：

## 科目の概要

当科では、突然の事故や病気などにより生じた障害に対し、治療の当初から地域生活への移行までの一貫したリハビリテーションを提供している。脊髄損傷や高次脳機能障害など他医療機関では対応困難な症例にも多く取り組んでいる。

## 科目のゴール

受傷・発症後早期から地域復帰にかけての各疾患に対するリハビリテーションの流れを理解し、そこで行われているリハビリテーション医療について知る。

## 具体的内容

- 1) 高度救命救急センター、急性期一般病棟などで、どのようにリハビリテーション医療が提供されているか知る。
- 2) 回復期リハビリテーション病棟、障害者等一般病棟の役割を理解し、どのようにリハビリテーション医療が提供されているのか理解する。
- 3) リハビリテーション科医師が行っている障害の診断・評価、嚥下造影検査や嚥下内視鏡検査などの各種検査、予後予測、目標設定、訓練処方、投薬や痙攣治療などについて理解する。
- 4) リハビリテーション診療に関わる理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、医療ソーシャルワーカー、看護師など他職種の役割について理解しどのように連携をとるべきか知る。
- 5) 地域生活への移行のためどのような社会制度を利用し、ケアマネージャーや訪問看護師などの地域他職種と連携をとっているのか理解する。

評価： 共通評価表

受入定員： 1クール1名、合計2名まで（受入可能期間は別紙一覧の通り）

注意事項： 白衣持参

予習項目： 『リハビリテーション医学・医療 コアテキスト 第2版』医学書院にて勉強しておくこと。  
脳血管疾患、脊髄損傷のリハビリテーションについて勉強しておくこと。

復習項目： 実習期間中の担当患者について、レポート作成、発表を行う。

初日の集合場所、時間： 大阪急性期・総合医療センターリハビリテーション科外来に9時集合  
月曜日が休日の場合は火曜日、同上

交通手段： 別紙地図参照  
大阪急性期・総合医療センター ホームページ参照

宿泊施設： なし

オフィスアワー担当者： 土岐 明子  
連絡先：06-6692-1201でリハ科 土岐を呼び出す。

オフィスアワー日時： 平日 9:00～17:30

# 臨床実習プログラム

教育機関名： 大阪暁明館（ぎょうめいかん）病院 眼科

責任者名： 石田 理

実習内容：

## 科目の概要

眼科の臨床現場を体験し診察や手術について理解することで、実地の眼科診療を学ぶ。

## 科目のゴール

眼科診療の概要について理解する。

眼科疾患に関する基本的知識を身につける。

様々な患者への対応について学ぶ。

眼科手術の実際を理解する。

## 具体的内容

眼科外来診察見学、外来検査見学、眼科診療機器の使用実習、手術見学、模擬眼を用いての手術実習、病棟実習、他

評価： 共通評価表

受入定員： 1クール1名、2クールまで（受入可能期間は別紙一覧の通り）

注意事項： 節度ある言動、服装に留意すること。白衣は当院のものを貸与。

予習項目： 眼科参考書等にて、一般的な眼科疾患ならびに眼科検査法、眼科手術（特に白内障手術）について目を通しておくこと。

復習項目： 実習にて扱った疾患や手術について、参考書等を読み復習すること。

初日の集合場所、時間： 病院2階眼科外来に午前9時  
月曜日が休日の場合は火曜日、同上。

交通手段： 別紙地図参照  
JR 大阪環状線、阪神電車なんば線西九条駅下車、徒歩3分

宿泊施設： なし

オフィスアワー担当者： 石田 理  
連絡先：内線 7006

オフィスアワー日時： 毎週火・木・金曜日 16:00～17:00  
眼科外来診察室

# 臨床実習プログラム

教育機関名： 西日本旅客鉄道株式会社 大阪鉄道病院 精神神経科

責任者名： 江村 成就

実習内容：

## 科目の概要

総合病院における精神科医療を理解する。

## 科目のゴール

1. 一般診療科でも診療機会の多い精神障害に対する診断と、初期治療ができる。
2. 精神症状・精神障害の理解と、専門医へのコンサルテーションの必要性の有無が判断できる。
3. 精神症状を持つ患者の診療を行う上で必要な技能を理解する。

## 具体的内容

- ① 外来診察の見学
- ② 一般病棟往診患者の診察の見学

評価： 共通評価表

受入定員： 1クール1名（受入可能期間は別紙一覧の通り）

注意事項：

予習項目： 精神科薬物療法（作用、副作用について）

復習項目： 精神科診断学  
睡眠障害

初日の集合場所、時間： 月：JR 大阪鉄道病院医局 午前9時

交通手段： 別紙地図参照

宿泊施設： なし

オフィスアワー担当者： 江村 成就  
連絡先：

オフィスアワー日時： 随時  
何かあればご相談下さい。

# 臨床実習プログラム

教育機関名： 西日本旅客鉄道株式会社 大阪鉄道病院 婦人科

責任者名： 坂井 昌弘

実習内容：

## 科目の概要

当院では主に婦人科学の臨床実習を行う。婦人科腫瘍、内分泌、生殖などについて専門的な知識、技術を習得する。

## 科目のゴール

日進月歩の新しい医学に関する知見を興味をもって習得する。

## 具体的内容

婦人科診察、画像診断（超音波、MR、CT）、検査（コルポスコープ、子宮鏡検査、子宮卵管造影）、婦人科解剖学、婦人科手術学（腹腔鏡手術、子宮鏡手術、悪性腫瘍手術）、生殖補助医療（ART）

評価： 共通評価表

受入定員： 2名（1クール1名）

注意事項： 患者に接するときは十分な配慮と節度をもって行うこと

予習項目： 参考書などで勉強しておくこと

復習項目： 実習メモなどで知識を整理すること

初日の集合場所、時間： 午前8時30分 婦人科外来  
（月曜日が休日の場合は火曜日）

交通手段： 別紙地図参照

宿泊施設： なし

オフィスアワー担当者： 坂井 昌弘（さかい まさひろ）  
連絡先：06-6628-2221 内線 5036

オフィスアワー日時： 随時

# 臨床実習プログラム

教育機関名： 西日本旅客鉄道株式会社 大阪鉄道病院 耳鼻咽喉科・頭頸部外科

責任者名： 鈴木 倫雄

実習内容：

## 科目の概要

耳鼻咽喉科頭頸部外科の外来診療、検査データに基づく治療プランニング、手術などの実施臨床にふれる。

## 科目のゴール

内視鏡手術を中心とした耳鼻咽喉科の外科的治療を見学、体験する。検査データをもとに病状把握、適切な対応を習得する。

## 具体的内容

手術の見学、および手術助手に就く。外来診療、病棟回診、患者処置の見学。

	月	火	水	木	金
午前	外来実習	手術	外来実習	外来実習	外来実習
午後	頸部エコー	手術	頸部エコー	座学	自習

評価： 共通評価表

受入定員： 1クール1名

注意事項： 大阪医科薬科大の学生として自覚と誇りを持って行動してほしい。  
耳鼻咽喉科・頭頸部外科の基本的な解剖生理を理解しておくこと。  
スーパーローテートの研修先として大阪鉄道病院を考えている学生に特に参加してほしい。

予習項目： 耳鼻咽喉科・頭頸部外科の代表的な疾患及び解剖について

復習項目： 実習で扱った症例に対する理解

初日の集合場所、時間： 2階耳鼻咽喉科外来 午前8時50分  
月曜日が休日の場合は火曜日、同上

交通手段： 別紙地図参照

宿泊施設： なし

オフィスアワー担当者：  
連絡先：

オフィスアワー日時：



# 臨床実習プログラム

教育機関名： 大阪府済生会茨木病院 小児科

責任者名： 部長 高谷 竜三

実習内容：

## 科目の概要

小児の整理及び市中病院でよく遭遇する一般的疾患の病態を理解し、小児科全般の臨床において基本的診療から専門的な医療まで幅広く実習する。

## 科目のゴール

小児科領域における臨床症例を、主治医と共に行動することで小児診療に必要な基礎知識と技術を習得する。入院症例・重症例の精査・治療過程を見学することで、小児医療への理解を深めることを目標とする。

## 具体的内容

### A：外来

午前中の一般外来診療では、診察見学、問診及び処置などの常勤医の業務並びに患者への対応を指導医の下に習熟する。午後の専門外来では、それぞれの疾患に関する検査の見学や健診・ワクチンなどの診察の実践を学ぶ。

### B：病棟

該当症例がある場合には、小児科入院症例について、診察、検査、治療手技、保護者への説明などを見学する。

評価： 共通評価表

受入定員： 1クール1名

注意事項： 身分証（学生ID）の携帯

予習項目： 参考書・小児科学教科書を参照し、小児疾患について最低限の知識を勉強しておくこと

復習項目： 実習で扱った症例について得た知見をまとめておくこと

初日の集合場所、時間： 大阪府済生会茨木病院 3階 受付 AM8:45

交通手段： 別紙地図参照

当院ホームページ参照 <https://www.ibaraki.saiseikai.or.jp/index.html>

宿泊施設： なし

オフィスアワー担当者： 小児科 部長 高谷 竜三

小児科 医員 一名

連絡先：院内 PHS 番号

オフィスアワー日時： 毎週金曜日 15:00～16:00 医局

# 臨床実習プログラム

教育機関名： 大阪府済生会吹田病院 小児科／NICU 科

責任者名： 小川 哲

実習内容：

## 科目の概要

小児の一般的疾患、プライマリケアを学ぶ。

## 科目のゴール

子供の疾患に対する知識をつけ、診断、治療方針を考える。

親子、母子をとりまく環境、子育て支援の視点を理解する。

## 具体的内容

外来診察の見学、基本的診察手技など

評価： 共通評価表

受入定員： 1クール1名

注意事項： やる気のある人、当科で研修したい人に限ります。

予習項目：

復習項目：

初日の集合場所、時間： 済生会吹田病院 東館2階 事務所受付  
事務所受付カウンターの上に来客用の固定電話がございますので、内線：2231番（人事・人材開発課／臨床研修センター）までお電話ください。  
集合時間：全診療科：8時30分  
※待合室等のご準備がないため、集合時間より早い時間のご来院はお控えください。  
※来客用駐車場はございませんので、お車でのご来院はご遠慮ください。  
駐輪場については自由に使用していただいて構いません。  
※当院は本館（診療棟）と東館に分かれております。初回来院時にご注意ください。  
緊急連絡先：電話番号 06-6382-1903（初日のみ）  
臨床研修センター 山本  
電話番号 06-6382-1521（2日目以降）  
実習先の診療科長または指導医

注意事項： 病院で着用している以下のものをご持参ください。

- ・白衣／ケーシー／スクラブ等
- ・名札（学生証）
- ・くつ

※貸出用の男性ロッカーが不足しており、人数分のご準備ができない場合がございます。

貴重品はご自身で自己管理して頂き、必要最小限のお荷物でお越しください。

※手術室入室の際はこちらで準備した手術室用の入館証と持参した学生証、

どちらも着用の上で入室の徹底をお願いいたします。

またタブレット端末等の電子機器の手術室への持ち込みは全面禁止となっておりますので、

ご注意ください。

※2日目以降、欠席・遅刻・体調不良等の場合は

当該科の診療科長へ始業時間までに必ずお電話にてご連絡ください。

※本館3階 職員食堂の学生利用、再開しました。《営業時間：11:30～14:00》

1食あたり585円。現金は使用できませんので、予めご了承ください。

《各種クレジット、電子マネー、交通系IC等利用可能》

本館1階にコンビニ（ファミリーマート）も併設あり。

昼食時は東館2階のセンターホールも開放していますので、必要時にご利用ください。

※学生用控え室等はありませんので、

待機時間は東館1階の図書館や図書館前のホールをご利用ください。

職員の共用スペースを利用する際はルールやマナー厳守でお願いいたします。

交通手段： 別紙地図参照

宿泊施設： なし

オフィスアワー担当者： 常勤医全員（その時のNICU又は病棟担当医）

連絡先：小児科科長 小川 哲

オフィスアワー日時： 終日

# 臨床実習プログラム

教育機関名： 大阪府済生会吹田病院 産婦人科

責任者名： 加藤 俊

実習内容：

## 科目の概要

一般病院における産科婦人科診療についての臨床実習

## 科目のゴール

- 1) 妊娠の診断、健診、分娩に至る経過を観察し理解する。
- 2) 産科救急の実際を体験する。
- 3) 産科・婦人科手術の実際を体験する。
- 4) 婦人科癌治療について観察する。

## 具体的内容

- 1) 妊婦健診・産科超音波診断の実習
- 2) 正常分娩・帝王切開術の見学、実習
- 3) 婦人科手術の見学、実習
- 4) 病棟回診、カンファレンス参加

評価： 共通評価表

受入定員： 1クール1名

注意事項： ①女性相手のため服装、身だしなみに注意  
②医師・看護師・医療事務スタッフへのあいさつ、言葉使い

予習項目： 大学の実習内容

復習項目： 毎日の実習で経験した症例や診療内容について記録し整理する。

初日の集合場所、時間： 済生会吹田病院 東館2階 事務所受付  
事務所受付カウンターの上に来客用の固定電話がございますので、内線：2231番（人事・人材開発課 / 臨床研修センター）までお電話ください。  
集合時間：全診療科：8時30分  
※待合室等のご準備がないため、集合時間より早い時間のご来院はお控えください。  
※来客用駐車場はございませんので、お車でのご来院はご遠慮ください。  
駐輪場については自由に使用していただいて構いません。  
※当院は本館（診療棟）と東館に分かれております。初回来院時ご注意ください。  
緊急連絡先：電話番号 06-6382-1903（初日のみ）  
臨床研修センター 山本  
電話番号 06-6382-1521（2日目以降）  
実習先の診療科長または指導医

注意事項： 病院で着用している以下のものをご持参ください。  
・白衣 / ケーシー / スクラブ等  
・名札（学生証）

・くつ

※貸出用の男性ロッカーが不足しており、人数分のご準備ができない場合がございます。

貴重品はご自身で自己管理して頂き、必要最小限のお荷物でお越しください。

※手術室入室の際はこちらで準備した手術室用の入館証と持参した学生証、

どちらも着用の上で入室の徹底をお願いいたします。

またタブレット端末等の電子機器の手術室への持ち込みは全面禁止となっておりますので、ご注意ください。

※2日目以降、欠席・遅刻・体調不良等の場合は

当該科の診療科長へ始業時間までに必ずお電話にてご連絡ください。

※本館3階 職員食堂の学生利用、再開しました。《営業時間：11:30～14:00》

1食あたり585円。現金は使用できませんので、予めご了承ください。

《各種クレジット、電子マネー、交通系IC等利用可能》

本館1階にコンビニ（ファミリーマート）も併設あり。

昼食時は東館2階のセンターホールも開放していますので、必要時にご利用ください。

※学生用控え室等はありませんので、

待機時間は東館1階の図書館や図書館前のホールをご利用ください。

職員の共用スペースを利用する際はルールやマナー厳守をお願いいたします。

交通手段： 別紙地図参照

宿泊施設： なし

オフィスアワー担当者： 加藤 俊

連絡先：内線 7084

オフィスアワー日時： 毎週月曜日 8:50～ 症例カンファレンス（4A病棟）

# 臨床実習プログラム

教育機関名： 大阪府済生会吹田病院 形成外科

責任者名： 大江 恵

実習内容：

## 科目の概要

外科系の医師として必要最低限の知識・技能を習得すること。形成外科疾患への理解を深めること。

## 科目のゴール

形成外科外来診療を見学し、医師の心得、基本的診察を学ぶ。  
手術を見学・介助し、形成外科の手術手技を学ぶ。

## 具体的内容

日常の病棟・外来の業務を通じて学ぶ。

評価： 共通評価表

受入定員： 1クール1名

注意事項：

予習項目： 形成外科の教科書を参照し、勉強しておくこと。

復習項目： 実習で習った症例について復習すること。

初日の集合場所、時間： 済生会吹田病院 東館2階 事務所受付  
事務所受付カウンターの上に来客用の固定電話がございますので、内線：2231番（人事・人材開発課 / 臨床研修センター）までお電話ください。  
集合時間：全診療科：8時30分  
※待合室等のご準備がないため、集合時間より早い時間のご来院はお控えください。  
※来客用駐車場はございませんので、お車でのご来院はご遠慮ください。  
駐輪場については自由に使用していただいて構いません。  
※当院は本館（診療棟）と東館に分かれております。初回来院時はご注意ください。  
緊急連絡先：電話番号 06-6382-1903（初日のみ）  
臨床研修センター 山本  
電話番号 06-6382-1521（2日目以降）  
実習先の診療科長または指導医

注意事項： 病院で着用している以下のものをご持参ください。

- ・白衣 / ケーシー / スクラブ等
- ・名札（学生証）
- ・くつ

※貸出用の男性ロッカーが不足しており、人数分のご準備ができない場合がございます。

貴重品はご自身で自己管理して頂き、必要最小限のお荷物でお越しください。

※手術室入室の際はこちらで準備した手術室用の入館証と持参した学生証、  
どちらも着用の上で入室の徹底をお願いいたします。

またタブレット端末等の電子機器の手術室への持ち込みは全面禁止となっておりますので、ご注意ください。

※2日目以降、欠席・遅刻・体調不良等の場合は

当該科の診療科長へ始業時間までに必ずお電話にてご連絡ください。

※本館3階 職員食堂の学生利用、再開しました。《営業時間：11:30～14:00》

1食あたり585円。現金は使用できませんので、予めご了承ください。

《各種クレジット、電子マネー、交通系IC等利用可能》

本館1階にコンビニ（ファミリーマート）も併設あり。

昼食時は東館2階のセンターホールも開放していますので、必要時にご利用ください。

※学生用控え室等はありませんので、

待機時間は東館1階の図書館や図書館前のホールをご利用ください。

職員の共用スペースを利用する際はルールやマナー厳守でお願いいたします。

交通手段： 別紙地図参照

宿泊施設： なし

オフィスアワー担当者：

連絡先：

オフィスアワー日時：

# 臨床実習プログラム

教育機関名： 大阪府済生会中津病院 耳鼻咽喉科・頭頸部外科

責任者名： 東川 雅彦

実習内容：

## 科目の概要

- ①外来実習：外来での診察のすすめかたについて理解する。
- ②病棟実習：手術例の新入院患者についての治療と経過について学ぶ。

## 科目のゴールならびに具体的内容

- ①外来実習：
  - 1) 紹介患者を通して病診連携の流れを理解する。
  - 2) 実際の症候について診断につながる過程を学ぶ。
- ②病棟実習：
  - 1) 耳鼻科関連の機能系疾患（耳、鼻、喉頭領域の手術例）について必要な検査を列挙し、治療法を理解できる。
  - 2) 頭頸部がんの治療の流れを理解する。
  - 3) 症例検討会に参加する。

評価： 共通評価表による

受入定員： 1クール1名（受入可能期間は別紙一覧の通り）

注意事項： 実習者は事前（実習期間の前週）に責任者と連絡をとること

予習項目：

復習項目：

初日の集合場所、時間： 病院南棟4階 人事室、午前8時10分  
月曜日が休日の場合は火曜日、同上

交通手段： 別紙地図参照

宿泊施設： なし

オフィスアワー担当者：

連絡先：

オフィスアワー日時：



# 臨床実習プログラム

教育機関名： 大阪府済生会中津病院 泌尿器科

責任者名： 上原 博史

実習内容：

科目の概要

泌尿器科における診察、検査、手術の実際を知る

科目のゴール

泌尿器領域における一般的な診察を習得する

具体的内容

外来診察、検査、手術、病棟実習

評価： 共通評価表

受入定員： 1クール1名（受入可能期間は別紙一覧の通り）

注意事項： 特になし

予習項目：

復習項目：

初日の集合場所、時間： 月曜日午前8時40分 病院南棟2階 人事室

交通手段： 別紙地図参照

宿泊施設： なし

オフィスアワー担当者：

連絡先：

オフィスアワー日時：

# 臨床実習プログラム

教育機関名： 独立行政法人国立病院機構大阪南医療センター 産婦人科

責任者名： 金村 昌徳

実習内容：

## 科目の概要

患者様とのコミュニケーションを大切に、クリニカルクラークシップ（診療参加型実習）を行う。

## 科目のゴール

女性に対するプライマリーケアに必要な基礎知識はもちろん産科の特殊性、婦人科腫瘍や内分泌についての疾患の理解を修得する。検査手技や手術を実際に体得する。

## 具体的内容

評価： 共通評価表

受入定員： 1クール1名

注意事項：

予習項目： 婦人科腫瘍を中心に一般的な参考書等で勉強しておくこと。

復習項目： 実習で扱った婦人科疾患について学んだ事をまとめること。

初日の集合場所、時間： 事務所に午前8時30分  
月曜日が休日の場合は火曜日、同上

交通手段： 別紙地図参照

宿泊施設： なし

オフィスアワー担当者： 金村 昌徳  
連絡先：内線 4378

オフィスアワー日時： 毎週火曜日 14:00～15:00 医局2

# 臨床実習プログラム

教育機関名： 独立行政法人労働者健康安全機構 大阪労災病院 小児科

責任者名： 岡本 奈美

実習内容：

## 科目の概要

小児の生理および一般的疾患の病態を理解し、小児科全般の臨床において基本的診療から高度医療までを幅広く実習する。

## 科目のゴール

小児科領域における臨床症例の主治医と行を伴にすることにより小児科診療に必要な基礎知識と技術を習得するとともに、重症例や稀少例の精査・治療過程を見学することで、小児科医療への理解を深めることを目標にする。

## 具体的内容

- A. 外来：午前中の一般外来診療では、診察見学、問診および処置などの常勤医の業務ならびに患者への応対を指導医のもとに習熟する。午後の特殊外来（血液・内分泌・循環器・アレルギー・乳児発達・神経・夜尿・心身症）および超音波検査・聴力検査などの見学を通して、特殊検査法や診療の実際を学ぶ。
- B. 病棟：産婦人科病棟の健康新生児の退院時診察および小児科病棟における指導医の主治医症例について、診察、検査、治療手技、保護者への説明などを見学する。緊急帝王切開や分娩の際の新生児処置や蘇生を見学。

評価： 共通評価表

受入定員： 1クール1名

注意事項： 身分証（学生ID）の携帯（名札）

予習項目： 参考書・小児科書を参照し、小児疾患について最低限の知識を勉強しておくこと。

復習項目： 実習で扱った症例について最低限の知識を勉強しておくこと。

初日の集合場所、時間： 8時45分 総務課  
小児科 外来 午前9時  
月曜日が休日の場合は火曜日、同上

交通手段： 地下鉄御堂筋線新金岡駅下車徒歩10分  
JR 阪和線堺市駅・三国ヶ丘駅下車バス10分  
南海高野線三国ヶ丘駅下車バス10分  
当院ホームページ参照 <https://www.osakah.johas.go.jp/info/access>

宿泊施設： なし

オフィスアワー担当者： 岡本 奈美  
連絡先：内線 PHS 4429

オフィスアワー日時： 毎週金曜日 16:00～17:00 小児科外来

# 臨床実習プログラム

教育機関名： 独立行政法人労働者健康安全機構 大阪労災病院 小児科・感染科

責任者名： 川村 尚久

実習内容：

## 科目の概要

感染症の流行状況および疾患の病態を理解し、急性期病院全般の臨床において微生物検査から抗菌薬の適正使用までを幅広く実習する。

## 科目のゴール

ICT・AST病棟ラウンドにおける個々の症例に対する感染制御チームの介入を伴にすることにより、感染制御や抗菌薬の適正使用に必要な基礎知識と技術を習得するとともに、重症例の治療過程を見学することで、感染症治療と感染制御の理解を深めることを目標にする。

## 具体的内容

- A. 外来：一般外来診療では、海外渡航者へのワクチン接種や予防接種全般の基礎知識、小児科診療見学、常勤医の業務などの見学を通して、予防接種や感染症検査診療の実際を学ぶ。
- B. 病棟：感染制御部は、病院内の感染制御・管理を担い、感染防止対策のシステム化を進めながら、多職種から選抜されたチーム（ICT）とともに病院各部署を巡回して抗菌薬の適正使用と具体的対策の改善を行っている状況の見学。
- C. 臨床検査として細菌培養やグラム染色やPCR検査など検出された微生物の同定方法の見学と実習。

評価： 共通評価表

受入定員： 1クール1名

注意事項： 身分証（学生ID）の携帯（名札）

予習項目： 感染症と抗菌薬の参考書を参照し、感染症・感染制御について最低限の知識を勉強しておくこと。

復習項目： 実習で扱った症例について最低限の知識を勉強しておくこと。

初日の集合場所、時間： 8時45分 総務課  
小児科 外来 午前9時  
月曜日が休日の場合は火曜日、同上

交通手段： 地下鉄御堂筋線新金岡駅下車徒歩10分  
JR 阪和線堺市駅・三国ヶ丘駅下車バス10分  
南海高野線三国ヶ丘駅下車バス10分  
当院ホームページ参照 <https://www.osakah.johas.go.jp/info/access>

宿泊施設： なし

オフィスアワー担当者： 川村 尚久  
連絡先：内線 PHS 4056

オフィスアワー日時： 毎週月から金曜日 15:00～16:30 ICT・AST 病棟ラウンド

# 臨床実習プログラム

教育機関名： 医療法人達瑛会 鳳胃腸病院 外科

責任者名： （中田 英二） 天上 俊之

実習内容：

## 科目の概要

実際の医療現場で基本的に診療に必要な知識・技能・態度を身につける。

## 科目のゴール

- ①外科・内科双方の立場から、消化器疾患の診断と治療並びにアフターケアを一貫して学ぶ。
- ②患者及びその家族、さらには医療スタッフとのコミュニケーションを通して現場医療の実際を学ぶ。
- ③地域医療を担う病院の性格を理解する。

## 具体的内容

評価： 共通評価表

受入定員： 1クール1名

注意事項： 当院は一般病院であるため、身だしなみ・言動には十分留意する必要がある。

予習項目： 消化器検査の読影、消化器外科領域の手術療法について。

復習項目： 研修で学んだことをレポートにまとめること。（見学手術症例等）

初日の集合場所、時間： 病院2F 会議室 AM8:15  
（月曜日が休日の場合は火曜日）

交通手段： 別紙地図参照

宿泊施設： なし

オフィスアワー担当者： 天上 俊之  
連絡先： PHS 502

オフィスアワー日時： 月・水・金の16:00～17:00

# 臨床実習プログラム

教育機関名： 医療法人社団英明会 大西脳神経外科病院 脳神経外科

責任者名： 大西 宏之（理事長・院長）

実習内容：

## 科目の概要

急性期の神経疾患診療の実際を指導医の下で体験し、神経疾患の病態生理、治療についての理解を深める。

## 科目のゴール

地域における中核病院の脳神経外科医療チームに一員として参加し、脳卒中、頭部外傷、脳腫瘍、脊椎・脊髄疾患の急性期治療を学ぶ。また、急性期から回復期（リハビリテーションまたは外来通院）に移行する過程を通じて、神経疾患の機能予後について学ぶ。これらにより患者さんの社会的背景を考慮した地域医療を体験する。

## 具体的内容

- 1) 下記の脳神経外科の日常業務に4週間携わる。

症例検討会	週5日（月～金）
病棟、ICU、脳卒中センター（SCU）回診	週5日（月～金）
一般外来、救急外来	週1日
手術（開頭手術、うち水曜日は脳血管内手術）	週5日（月～金）
脳血管撮影	週5日（月～金）
- 2) 患者さんを指導医と共に担当し、神経学的検査、放射線検査、診断、治療に参加する。
- 3) 救急外来にて、脳神経疾患の救急に対する迅速な対応処置を習得する。

評価： 臨床実習共通評価表に基づいた総合評価を指導責任者が行う。

受入定員： 1クール1名

注意事項： 臨床実習中の服装は白衣着用（当院支給）

予習項目： 参考書「病気がみえる」の脳・神経疾患を勉強しておくこと。また、神経診察の手法について復習しておくこと。

復習項目： 実習で扱った症例について学んだことをまとめること。

初日の集合場所、時間： 医局に午前9時

交通手段： 別紙地図参照

宿泊施設： なし

オフィスアワー担当者： 大西 宏之  
連絡先：内線 307

オフィスアワー日時： 毎週金曜日 13:00～14:00



# 臨床実習プログラム

教育機関名： 医療法人大植会 葛城病院 消化器内科

責任者名： 原田 智

実習内容：

## 科目の概要

消化器内科医師に必要な臨床能力を身につけるのみでなく、より深く、広く学ぶために、単に診療手技を習得することが主な目的ではなく、患者や医療チームの職員とのコミュニケーションを保って医療の現場に溶け込むようにする。

## 科目のゴール

消化器内科が対象とする消化器系臓器は食道、胃、大腸だけではなく、小腸、肝臓、胆嚢、膵臓、腹膜と多彩な臓器であり、消化管や肝臓、膵臓といった細かな分野にとらわれず、幅広い診療技術と考え方を習得し、治療だけでなく患者とのコミュニケーションをはかり精神面のケアも行えることを目標とする。

## 具体的内容

診療参加を通じて診断・治療計画の策定のため、病歴聴取、身体診察、治療手技の見学（内視鏡検査および治療）、カルテ記載、プレゼンテーションを行い、将来何科に進んでも必要となる臨床基本技能の習得を目指すことを主眼におくプログラムとする。

評価： 共通評価表

受入定員： 1クール1名（受入可能期間は別紙一覧の通り）

注意事項： 熱意のある先生望む

予習項目： 参考書“内科学”を参照し、勉強しておくこと

復習項目： 実習で扱った症例4例についてまとめること

初日の集合場所、時間： 医局 AM9:00  
月曜日が休日の場合は火曜日、同上

交通手段： 別紙地図参照

宿泊施設： 各自ご準備ください。

オフィスアワー担当者： 原田 智  
連絡先：代表 Tel: 072-422-9909（内線：5507）

オフィスアワー日時： 随時

# 臨床実習プログラム

教育機関名： 川西市立総合医療センター 産婦人科

責任者名： 荘園 ヘキ子

## 当院産婦人科の紹介：

2022年9月に医療法人協和会協立病院と市立川西病院が合併し、病床数405床の川西市立総合医療センターが開設されました。川西市、猪名川町、能勢町、豊能町において、唯一の分娩施設、婦人科手術を行う施設となります。

### 【産科】

当院は基本的に低～中リスク妊娠を扱う地域の中核施設であり、日本における出生数が急激に減少する中で分娩件数は600件/月を越えています。特色としては、近年の産科医療を取り巻く環境を反映し、無痛分娩希望が約3割、高度不妊治療後妊娠が約0.5割を占めています。

### 【婦人科】

#### ①良性腫瘍の治療

子宮筋腫、卵巣腫瘍、子宮腺筋症、子宮内膜症、骨盤臓器脱、子宮頸部及び内膜ポリープ等の良性疾患につきましては、ホルモン療法等の薬物治療や手術療法を行っています。当院では内視鏡手術技術認定医が属しており、侵襲の少ない腹腔鏡手術、子宮鏡手術を中心に、必要に応じて開腹手術、腔式手術も行っております。

#### ②悪性腫瘍の治療

前癌状態である子宮頸部異形成、子宮内膜増殖症等は当院で治療の対応可能ですが、子宮頸癌、子宮体癌、卵巣癌、腹膜癌等の悪性疾患については近隣の地域がん診療連携拠点病院や大阪医科大学病院へご紹介しています。

#### ③女性のQOL（生活の質向上）のサポート

思春期、成熟期、更年期、老年期のいわゆる女性医学領域に関してQOLを改善すべく、ホルモン剤や漢方薬中心とする投薬治療を行っています。

### 【生殖医学】

人工受精、体外受精、顕微授精といった高度生殖補助医療は、協和会系列である第二協立病院ARTセンターで行っております。また、子宮筋腫や慢性卵管炎といった不妊に影響する因子がある場合、医療センターで子宮鏡や腹腔鏡下での妊孕性温存手術を行っています。

## 実習内容：

### 科目の概要

### 科目のゴール

- |        |   |
|--------|---|
| 【産科】   | 周産期の管理や新生児の医療に必要な基礎知識と特殊性について研修するとともに、妊産婦メンタルヘルスケアの必要性について触れる。  |
| 【婦人科】  | 女性医学領域である思春期から成熟期、更年期、老年期におけるホルモン変化とそれに伴う身体的・精神的変化について理解を深めるとともに、診断や治療について研修する。また、婦人科良性腫瘍や前癌病変に対する診断や手術をはじめとする治療について研修する。 |
| 【生殖医学】 | タイミング療法、人工受精、高度生殖補助医療について研修する。また、不妊患者が子宮筋腫や子宮内膜ポリープ、子宮内膜症などの合併症を抱える場合の管理や妊孕性温存手術についても研修する。                                |

### 具体的内容

スケジュール：月曜日-外来・病棟見学、手術、術前術後症例検討  
火曜日-外来・病棟見学、産科症例検討

水曜日-外来・病棟見学、手術  
木曜日-外来・病棟見学、手術  
金曜日-外来・病棟見学

評 価： 共通評価表

受入定員： 1クール1名

注意事項： 女性相手のため、特に服装、身だしなみに注意してください

予習項目： 産科、婦人科ともに参考書を参照し、勉強しておくこと

復習項目： 実習で扱った症例に関連して学んだ知識（学問、接遇、疾患や精神・社会的背景を考慮した患者との関わり方など）を今後臨床の場で活かせるようまとめること

宿泊施設： なし

オフィスアワー担当者： 荘園 ヘキ子  
連絡先：soen@kyowakai.com

オフィスアワー日時： 月～木曜午後

# 臨床実習プログラム

**教育機関名：** 社会医療法人岡本病院（財団）京都岡本記念病院 精神科

**責任者名：** 川野 涼

**実習内容：**

## 科目の概要

一般診療科との連携の上に展開されるリエゾン・コンサルテーション精神医学を中心に、物忘れ外来、緩和ケアチームでの活動など、総合病院においてどのように精神科医療が行われているかを理解する。

## 科目のゴール

- ・せん妄：せん妄は一般病院入院患者に頻発する精神症状・病態であり、患者及び家族の苦痛、医療者の負担を増加させるため、適切な対処が求められる。精神医学の知識、経験をもとに、せん妄に対する適切な介入を行うといった総合病院での精神科の役割の一端を理解する。
- ・自殺企図症例：救急医療を担う当院では自殺企図による入院患者も少なくない。心理社会的な苦悩、うつ病などの精神疾患の増悪、発達特性が関与した衝動制御の問題など、多様な背景があることを理解し、それぞれの症例に応じた介入が必要であることを学ぶ。
- ・アルコール依存・離脱症候群：身体症状のため入院となった患者にアルコール多飲歴があり、入院後に離脱症状、せん妄状態を呈することもしばしばみられる。離脱期における不穏状態への介入、退院後の依存症治療につなげるための疾病教育の導入などについて理解する。
- ・認知症：当院では物忘れ外来を設けており認知症の診断、治療を行っている。アルツハイマー型認知症、レビー小体型認知症、血管性認知症、前頭側頭型認知症など種々の認知症性疾患を適切に診断すること、また治療可能な認知症症状や認知症とは異なる精神医学的状态を鑑別することも重要である。これらについて外来見学を通して理解を深める。
- ・緩和ケア：がん患者をはじめとする身体疾患患者の苦痛を全人的苦痛として捉え、多面的な視点で緩和を図る必要性が指摘されている。緩和ケアチームにおける多職種での活動の中で精神科領域からの関与について理解を深める。

## 具体的内容

**評価：** 共通評価表

**受入定員：** 1クール1名（受入可能期間は別紙一覧の通り、3クールまで）

**注意事項：** 原則として新型コロナワクチンの接種は受けておいてください。

**予習項目：** 標準的な教科書を参照し勉強しておくこと

**復習項目：** 実習で扱った症例について学んだことをまとめる

**初日の集合場所、時間：** 病院内3階医局、午前8時30分、受付で臨床実習生である旨言ってください。

**交通手段：** 別紙地図参照

- ・近鉄京都線「大久保」駅・JR奈良線「新田」駅から⇒淀方面行きの京都京阪バスに乗車。「佐山」停で降車。徒歩約5分。

- ・京阪本線「淀」駅から⇒京阪宇治駅または近鉄大久保方面行きの京都京阪バスに乗車。「佐山」停で降車。徒歩約5分。
- ・JR 片町線（学研都市線）「松井山手」駅から⇒まちの駅イオンモール久御山店前行きの京都京阪バスに乗車。「京都岡本記念病院」停で降車。

**宿泊施設：** なし

**オフィスアワー担当者：** 川野 涼  
連絡先：病院と同じ、内線：5392（PHS）

**オフィスアワー日時：** 毎週月、水、金曜日 13:00～14:00 医局

# 臨床実習プログラム

教育機関名： 社会福祉法人京都社会事業財団 京都桂病院 心臓血管センター・外科

責任者名： 島田 亮

実習内容：

## 科目の概要

心臓血管外科領域の基本的知識を習得し、臨床での治療を体験し、理解する。

## 科目のゴール

1. 患者様との信頼関係を確立する。
2. 指導医と共に臨床例を診察し、基本的技術を学ぶ。

## 具体的内容

1. 指導医と共に入院患者を担当し、信頼関係を構築する。
2. 病歴を聴取し、患者様の訴えを理解し、理学的検査を行う。
3. 検査・治療におけるインフォームドコンセントを実施する。
4. 各種検査手技の実習および結果を診断、理解する。
5. 治療的手技（手術など）の介助を行い、治療効果の判定をする。

評価： 共通評価表による。

受入定員： 1クール1名

注意事項： 聴診器、白衣を携帯すること。

予習項目： 清潔、不潔を再確認しておく。  
心臓大血管の手術症例を勉強しておくこと。

復習項目： 経験した症例をまとめる。

初日の集合場所、時間： 午前8時30分に心臓血管センター、画像解析室。  
月曜日が休日の場合は火曜日、同上

交通手段： 別紙地図参照 <https://www.katsura.com/> 交通案内ページから 無料送迎バス時刻表参照。

宿泊施設： なし

オフィスアワー担当者： 東 修平  
連絡先：075-382-3185（画像解析室直通）

オフィスアワー日時： 毎週金曜日 17:00～18:00 カンファ室

# 臨床実習プログラム

教育機関名： 医療法人恵生会 恵生会病院 眼科

責任者名： 鈴木 浩之

実習内容：

## 科目の概要

臨床現場を体験し、眼科の一般診療や手術を理解する。

## 科目のゴール

眼科検査の意義を理解する。

眼科の疾患に関する基本的知識を身に付ける。

眼科手術の手技を理解する。

## 具体的内容

外来見学、外来検査見学、診察機器の使用実習

手術見学、病棟実習

評価： 共通評価表

受入定員： 1クール1名（受入可能期間は別紙一覧の通り）

注意事項： 白衣持参

予習項目： 白内障手術について勉強しておくこと

復習項目： 実習で扱った症例について学んだことをまとめること

初日の集合場所、時間： 眼科外来に9:00集合  
月曜日が休日の場合、火曜日同上

交通手段： 別紙地図参照

宿泊施設： なし

オフィスアワー担当者： 鈴木 浩之  
連絡先： 恵生会病院 072-982-5101（代表）

オフィスアワー日時： 毎週水曜日 15:30 医局

# 臨床実習プログラム

教育機関名： 神戸市立医療センター中央市民病院 総合内科

責任者名： 西岡 弘晶

実習内容：

## 科目の概要

基本的臨床能力の基礎を学ぶ。

## 科目のゴール

- ①病歴をきちんととれるようになる。
- ②身体所見をきちんととれるようになる。
- ③プレゼンテーションができるようになる。

## 具体的内容

診療チームの一員となり、毎日一緒に回診やカンファレンスを行う。

評価： 共通評価表

受入定員： 8名

注意事項： 時間を守ること

予習項目： 特になし

復習項目： 特になし

初日の集合場所、時間： 8時30分。当院 臨床研修センター

交通手段： 別紙地図参照

宿泊施設： 有（いくつかのパターンがあるので事務に確認してください）

オフィスアワー担当者： その日の担当者  
連絡先：

オフィスアワー日時： 8:45～17:30



# 臨床実習プログラム

教育機関名： 公立宍粟総合病院 産婦人科

責任者名： 植木 健

実習内容：

## 科目の概要

市中～へき地病院における産婦人科診療の実習

## 科目のゴール

- 1：正常分娩の管理、異常の発見と対応の学習
- 2：新生児の管理と学習
- 3：産婦人科手術の見学学習

## 具体的内容

- 1、2：分娩経過の観察、管理および分娩に立ち会う  
(分娩・新生児管理を見学)
- 3：帝王切開、流産手術、婦人科手術の見学

評価： 共通評価表

受入定員： 1クール2名（受入可能期間は別紙一覧の通り）

注意事項：

予習項目： 分娩、帝王切開術、婦人科手術（子宮筋腫など）について参考書を参照し、勉強しておくこと

復習項目： 実習で扱った症例について学んだことをまとめること

初日の集合場所、時間： 医局 午前8時30分

交通手段： 別紙地図参照

宿泊施設： あり

オフィスアワー担当者： 植木 健  
連絡先：541（PHS）

オフィスアワー日時： 毎週水曜日 8:00～8:45

# 臨床実習プログラム

教育機関名： 国立循環器病研究センター 産婦人科部

責任者名： 吉松 淳

実習内容：

## 科目の概要

当院では主に周産期学の臨床実習を行う。一般妊婦から合併症妊婦まで専門的な知識、医療技術を習得できるようにする。

## 科目のゴール

特に当院では循環器疾患、脳血管疾患の合併症妊娠、また胎児心疾患に関する最新の医学的知見に興味を持って習得すること。

## 具体的内容

外来、病棟で専門医と患者診療を行い、実習最後には必須知識の確認の為に時間を持つ。

評価： 共通評価表

受入定員： 1 クール 2 名

注意事項： 当院は National Center であり、その専門性を評価されている。  
職員の意識も高く、実習学生にも節度を持った態度が求められる。

予習項目： 「産婦人科診療ガイドライン」「心疾患合併妊娠の管理」を読んでおく

復習項目： 症例についてまとめのレポート作成

初日の集合場所、時間： 8:30 am 病院 4F 管理棟 医療係  
月曜日が休日の場合は火曜日、同上

交通手段： 別紙地図参照

宿泊施設： なし

オフィスアワー担当者： 澤田 雅美  
連絡先：60105

オフィスアワー日時： AM8:30 - PM5:30 業務の間 1 ～ 2 時間  
5 階 産婦人科病棟

# 臨床実習プログラム

教育機関名： 医療法人社団それいゆ会 こだま病院 消化器外科

責任者名： 理事長 児玉 慎一郎

実習内容：

## 科目の概要

消化器外科治療が必要な救急疾患の診断から治療を理解し、消化器外科に関する基本的知識、技能の習得を目標とする。

## 科目のゴール

- 1) 病める人の尊厳を守り、医療の提供と公衆衛生の向上に寄与する職業の重大性を深く認識し、医師としての基本的価値観及び医師としての使命の遂行に必要な資質・能力を身につける。
- 2) 外科・内科双方の立場から、一般消化器外科の診断と治療の進め方及び医療・介護サービスの連携を学ぶ。
- 3) 患者及びその家族、更には医療スタッフとのコミュニケーションを通して患者情報の収集、医療現場の実際を学ぶ。
- 4) 地域医療の機能と体制を学ぶ。

## 具体的内容

積極的に手術や内視鏡検査に参加し、臨床現場を経験する。

評価： 共通評価表

受入定員： 1クール1名

注意事項： 適切な言葉使い、礼儀正しい態度、身だしなみで患者等に接すること。

予習項目： 糸結び、縫合、清潔操作について勉強しておくこと。

復習項目： 見学した手術、内視鏡検査について学んだことをまとめること。

初日の集合場所、時間： 病院1階受付、午前8時30分

交通手段： 別紙地図参照  
ホームページ参照 <https://www.soreiyu.net/>

宿泊施設： なし

オフィスアワー担当者： 児玉 慎一郎  
連絡先：内線 605

オフィスアワー日時： 毎週水曜日 16:00～17:00 医局

# 臨床実習プログラム

教育機関名： 社会医療法人美杉会 佐藤病院 整形外科

責任者名： 白井 久也

実習内容：

## 科目の概要

運動器疾患と四肢外傷の病歴聴取の仕方および身体所見の診かたを習得する。  
診断を行い、保存療法と手術療法の適応を理解する。

## 科目のゴール

1. 外来、病棟で医療面接と身体所見の取り方を身につける。
2. 代表的な運動器疾患と外傷例の画像読影法を身につける。
3. 保存療法（ギプス固定、理学療法、薬物療法）の選択肢を列挙する。
4. 手術の基本（皮膚切開、結紮、縫合など）を習得する。

## 具体的内容

当院は枚方市北部の一般病院であり、腰痛、膝痛、腱鞘炎など日常遭遇する疾患が多い。大学病院とは異なる整形外科患者の実際を学ぶことができる。

外来実習：問診を実際に行ってもらい、ベテラン医師の問診の取り方と比較する。

初診で適切なレントゲン、検査オーダーが何かを考えてもらう。

患者への医師としての優しい対応の仕方を学ぶ。

病棟実習：入院患者を主治医と一緒に診察し、処置する。

ソーシャルワークとともに、早期退院が可能となるようクリニカルパスの仕方を学ぶ。

手術実習：手術の助手として手洗いをしてもらう。骨折ではスクリュの刺入も経験してもらう。

評価： 共通評価表

受入定員： 1クール1名

注意事項：

予習項目： 参考書（医学書院 標準整形外科学）を参照し、勉強しておくこと。

復習項目： 実習で習った症例の手部腱鞘炎、腰部脊柱管狭窄症について学んだことをまとめること。

初日の集合場所、時間： 月曜午前8時30分、外来受付前  
月曜日が休日の場合は、火曜日、同上

交通手段： 別紙地図参照

宿泊施設： なし

オフィスアワー担当者： 白井 久也  
連絡先：院内 PHS 9010

オフィスアワー日時： 毎週水曜日 16～17時 医局または副院長室

# 臨床実習プログラム

教育機関名： 市立池田病院 産婦人科

責任者名： 竹原 幹雄

実習内容：

科目の概要

産婦人科の臨床実習を行う。

科目のゴール

産婦人科疾患の診断・治療を修得すること。

具体的内容

分娩の立ち会い、外来診療、検査、手術に参加していく。

評価： 共通評価表

受入定員： 1クール1名

注意事項： 患者に接するときは、十分な配慮と節度をもって行うこと。

予習項目： 参考書（特に指定ありません）を参照し、勉強しておくこと。

復習項目： 実習で扱った症例について学んだことをまとめること。

初日の集合場所、時間： AM8：45 医局  
月曜日が休日の場合は火曜日、同上

交通手段： 別紙地図参照

宿泊施設： なし

オフィスアワー担当者： 竹原 幹雄  
連絡先：072-754-6374

オフィスアワー日時： 毎週金曜日 16:00－17:00 会議室

# 臨床実習プログラム

教育機関名： 市立伊丹病院 呼吸器内科

責任者名： 細井 慶太

実習内容：

## 科目の概要

学生は、市民病院という地域の基幹病院で行われている地域医療を体験して、将来のプロフェッショナルとしての自らの医師像を提示できるように学習する。

## 科目のゴール

- 1) 勉強会、カンファレンスに参加できるように一日の時間をコントロールできる
- 2) 症例を呈示して、先輩の医師たちの質問に答えることができる
- 3) 症例の診療記録を POS の形式で記述することができる
- 4) 喀痰、尿を採取して適切な染色をして起炎菌の推定を述べることができる
- 5) 心音、呼吸音の聴取、頸静脈波形の観察所見を述べることができる
- 6) 胸部の単純写真を読んで所見を述べることができる
- 7) ピークフローメーターを使用してその所見の意味を述べることができる
- 8) 担当症例の診療録を整理して、口頭で症例の呈示ができる
- 9) 担当症例の問題リストを作成して、問題間の関係を図式化して提示できる

## 具体的内容

- 1) 患者を主治医とともに担当する
- 2) 喀痰のグラム染色を実施して検鏡する
- 3) 回診において症例を呈示して質問に答える
- 4) 回診において胸部写真を読影して所見を述べる
- 5) 担当している症例に関する最近の話題を文献で調べて発表できる
- 6) 放射線科とのカンファレンス、救急カンファレンス、カンサーボードなどの合同カンファレンスに参加する

評価： 共同評価  
カンファレンスでの発表

受入定員： 1 クール 1 名（受入可能期間は別紙一覧の通り）

注意事項：

予習項目： 特になし

復習項目： 実習で扱った症例について学んだことをまとめること

初日の集合場所、時間： 病院総務課に連絡

交通手段： 別紙地図参照・ホームページ (<https://www.hosp.itami.hyogo.jp>)

宿泊施設： 施設あり（委細は総務課で相談）

オフィスアワー担当者： 細井 慶太  
連絡先：072-777-3773

オフィスアワー日時： 月・火・水・木・金 PM3:30－PM4:30

# 臨床実習プログラム

教育機関名： 市立伊丹病院 循環器内科

責任者名： 下山 寿

実習内容：

## 科目の概要

日常診療で頻繁に遭遇する循環器疾患（心不全、虚血性心疾患、不整脈、高血圧、血管疾患など）に適切な対応が出来るようになる。

## 科目のゴール

1. 循環器疾患の病歴および理学的所見をとることができる。
2. 心電図をとり、その判定ができる。
3. 循環器治療薬を正しく理解し、使用することができる。
4. ホルター心電図、心エコー、運動負荷試験、心臓核医学検査、心臓 MR、冠動脈 CT を実施し、その結果を評価できる。
5. ショック、心不全、失神発作、激しい胸痛発作などに対して救急の初期対応ができる。
6. 心臓カテーテル検査の適応を決定し、その前後の管理ができる。

## 具体的内容

1. 循環器検査（心電図、心エコー、心臓カテーテル検査・治療、不整脈アブレーション治療）の見学
2. 症例検討会に参加

評価： 共通評価表

受入定員： 1 クール 1 名

注意事項： 特になし

予習項目： 特になし

復習項目： 特になし

初日の集合場所、時間： 午前 8 時 45 分に 2 階総務課へ  
月曜日が休日の場合は火曜日、同上

交通手段： 別紙地図参照

宿泊施設： なし

オフィスアワー担当者： 下山 寿  
連絡先：内線 5032

オフィスアワー日時： 9:00～17:00



# 臨床実習プログラム

教育機関名： 地方独立行政法人 市立大津市民病院 一般・乳腺・消化器外科

責任者名： 田中 慶太郎、大住 渉

実習内容：

## 科目の概要

消化器外科、一般外科における医学的知識と一般臨床の実際を知る。医学生としての基本的臨床技能を習得する。

## 科目のゴール

- ・外科的疾患の身体的診察ができる。
- ・対象患者の治療に関する内容と過程が理解できる。

## 具体的内容

- ・消化器外科における診察を見学・体験し、その理解と技術の習得を行う。
- ・内視鏡外科手術の理解・手術の適応について

評価： 共通評価表

受入定員： 1クール1～2名

注意事項：

予習項目： 次の実習までの手術症例について、術式等勉強しておくこと

復習項目： 実習で扱った手術症例について学んだことをまとめること

初日の集合場所、時間： 午前8時20分 医局前

交通手段： 別紙地図参照

宿泊施設： なし

オフィスアワー担当者： 大住 渉  
連絡先： PHS 7926

オフィスアワー日時： 第1・3水曜日 17:00～  
第3会議室

# 臨床実習プログラム

教育機関名： 市立奈良病院 形成外科

責任者名： 部長 大谷 一弘

実習内容：

## 科目の概要

形成外科的疾患の理解と診断法を身につける

## 科目のゴール

体表外傷の救急処置法を知る

一般的創傷の処置の方法、治療計画を身につける

創傷被覆材の種類と使用法の概要を知る

顔面骨骨折の読影法、その他軟部組織腫瘍の画像診断について知る

形成外科手術基本手技を見学する（他科との関連が多いことも）

保存的加療・術後療法が、手術以上に大切であることを理解する

患者・家族の精神的苦痛の理解、QOL 向上、社会復帰について考える

## 具体的内容

### ① 週間スケジュール

月曜：外来見学、外来小手術、褥瘡回診見学

火曜：中央手術見学

水曜：中央手術見学、外来見学、病棟実習

木曜：病棟回診、臨床講義

金曜：中央手術見学、病棟実習、症例検討会

### ② 経験できる疾患

形成外科全般；外傷（顔面外傷、顔面骨骨折、熱傷、切断指など）、腫瘍（皮膚悪性腫瘍、切除後再建、マイクロサージャリー、乳房再建、植皮術など）、先天異常（口唇裂、小耳症、多指症、漏斗胸、頭蓋狭窄症、母斑症など）、その他（巻き爪、眼瞼下垂、鼻涙管再建、腋臭症、レーザー治療、ケロイドなど）など

### ③ 経験（見学）できる手技

問診、外来診察、バイタルサインチェック、レントゲン読影、レーザー治療、褥瘡 NST 回診、熱傷患者のシャワー浴介助、入院患者のガーゼ交換・創傷処置、手術助手、血管確保や皮内・皮下注射、皮膚縫合など

評価： 共通評価表

受入定員： 1 クール 1 名（受入可能期間は別紙一覧の通り）

注意事項： 外来・病棟でのマナー、患者のプライバシーの保護に留意。

予習項目： 特になし。大学の臨床講義（総論）の復習

復習項目： 研修で学んだことをレポート（簡単なもの）提出

初日の集合場所、時間： 市立奈良病院 2 階事務局（担当：弓場）月曜日 8 時50分

緊急時の連絡先電話： 0742-24-1252（内）5065 形成外科部長：大谷

交通手段： 近鉄奈良駅よりバスで10分、紀寺駅下車

宿泊施設： なし

オフィスアワー担当者： 濱田

連絡先：形成外科外来（院内 PHS：5988）

オフィスアワー日時： 9時～16時（平日：月～金）

# 臨床実習プログラム

教育機関名： 市立奈良病院 総合診療科

責任者名： 下川 充、山口 恭一

実習内容：

## 科目の概要

市中病院において、頻度の高い疾患についての急性期診療を経験する。

## 科目のゴール

1. 市中病院における2次救急診療を経験する。
2. コモンな疾患における急性期治療を経験する。
3. 心理社会的背景も踏まえた診療を経験する。
4. 市中病院でチーム医療の重要性を理解する。
5. 臨床的疑問の抽出と対応方法を経験する。

## 具体的内容

- ・ 初期臨床研修医とともに診療に従事する。
- ・ 患者診察の見学、診療補助、診療を行う。
- ・ ERでの研修  
患者の診療補助、及び、医師の指導の下で大学の規定内での医療行為を行う。
- ・ 病棟での研修  
1～2名の患者を担当し、日々の患者診療を医師とともに行う。  
臨床的な疑問を抽出し、その疑問について解決していく。  
最終日に事例について臨床的疑問を踏まえ発表する。

評価： 共通項目、及び、日々の記録・症例発表（1例）

受入定員： 1クール1名（受入可能期間は別紙一覧の通り）

注意事項： 敷地内禁煙

予習項目： なし

復習項目： 当日の振り返り。疑問を共に考えます。

初日の集合場所、時間： 2F 総務課、午前8:30  
月曜日が休日の場合は火曜日、同上

交通手段： 別紙地図参照（病院駐車場の使用はできません）

宿泊施設： なし

オフィスアワー担当者： 山口 恭一（総合診療科）  
連絡先：0742-24-1251（市立奈良病院 代表）

オフィスアワー日時： 水曜日 / 木曜日 / 金曜日 15:00～16:30

# 臨床実習プログラム

教育機関名： 市立ひらかた病院 内科

責任者名： 後藤 功

実習内容：

## 科目の概要

市民病院での一般内科診療（呼吸器内科、内分泌・代謝内科、神経内科）を、実際の患者さんと接することで経験し、問題点を見だし解決方法を検討する。

## 科目のゴール

- ・病歴から鑑別診断ができるようになること。
- ・診察ができるようになること。
- ・胸部画像診断ができるようになること。
- ・担当症例を含め、カンファレンス、回診の症例の症状、検査所見、診断治療を理解できるようになること。

## 具体的内容

カンファレンス、回診への参加、外来診療の見学、  
病歴の聴取、身体診察、検査データの確認、問題点のリストアップ、治療方針の検討

評価： カンファレンスでのプレゼンテーション及び共通評価表

受入定員： 計5名（1クール1名）

注意事項： なし

予習項目： 聴診所見、呼吸機能検査、血液ガス検査について理解しておくこと  
胸部レントゲン写真、胸部CTの読影法を確認しておくこと  
1型糖尿病と2型糖尿病の違いを理解しておくこと

復習項目： 担当患者さんや回診、カンファレンス等で経験した疾患について確認すること

初日の集合場所、時間： 市立ひらかた病院 2階総務課 午前8時45分

交通手段： 別紙地図参照

宿泊施設： なし

オフィスアワー担当者： 後藤 功  
連絡先： PHS 3102

オフィスアワー日時： 毎週金曜日 15:00－16:00

# 臨床実習プログラム

教育機関名： 市立ひらかた病院 糖尿病・内分泌内科

責任者名： 柴崎 早枝子

実習内容：

## 科目の概要

地域医療の中核を担う市民病院での糖尿病・内分泌内科診療を、実際の患者さんを通じて経験し、問題点を見出し解決方法を検討する。

## 科目のゴール

- ・病歴から糖尿病の鑑別診断ができるようになること。
- ・診察ができ、必要な検査をオーダーできるようになること。
- ・担当症例を含め、カンファレンス、回診、検査所見、診療内容が理解できるようになること。

## 具体的内容

カンファレンス、回診への参加、外来診療の見学、担当患者さんの病歴の聴取、身体診察、検査データの確認、カンファレンス用カルテ作成、問題点のリストアップと治療方針の検討

評価： カンファレンスでのプレゼンテーション及び共通評価表

受入定員： 計5名（1クール1名）

注意事項： なし

予習項目： なし

復習項目： 担当患者さんの疾患、カンファレンスや回診で見聞きした事について、自分で調べて復習すること

初日の集合場所、時間： 市立ひらかた病院 2階総務課 午前8時45分

交通手段： 別紙地図参照

宿泊施設： なし

オフィスアワー担当者： 柴崎 早枝子  
連絡先：院内 PHS 3119

オフィスアワー日時： 毎週月～金曜日 15:00～16:00 院内

# 臨床実習プログラム

教育機関名： 市立ひらかた病院 循環器内科

責任者名： 中島 伯、武田 義弘

実習内容：

## 科目の概要

循環器疾患の診断プロセスと検査・治療の流れを理解する

## 科目のゴール

1. 循環器疾患患者の病歴聴取と身体所見を体験し、正確に記録できる
2. 診断に必要な検査を見学し、検査結果を理解できる
3. 各種治療を見学し、その適応と合併症を理解できる

## 具体的内容

1. 外来診療の見学、参加
2. 生理機能検査室での各種検査の見学、心電図の解読
3. カテーテル検査室での検査・治療の見学
4. 病棟や救急外来で患者対応を見学し、主治医と治療方針について検討する
5. 院内外の症例検討会や研究会に参加する

評価： 共通評価表

受入定員： 計4名（各クール1名）

注意事項： 白衣（ケイシー可）、聴診器を持参する。身だしなみ、患者さんへの言動に注意し、医療チームの一員であることの自覚を持つこと。

予習項目： 循環器内科の一般的な知識を教科書などを参照し、勉強しておく。

復習項目： 受け持ち症例のレポートを作成し、学んだことをまとめる。

初日の集合場所、時間： 8時45分 2階総務課  
月曜日が休日の場合は火曜日、同上

交通手段： 別紙地図参照

宿泊施設： なし

オフィスアワー担当者： 中島 伯 武田 義弘  
連絡先：内線 PHS 3111（中島）、3603（武田）

オフィスアワー日時： 適宜

# 臨床実習プログラム

教育機関名： 市立ひらかた病院 消化器外科・乳腺内分泌外科・一般外科

責任者名： 林 道廣、木下 隆、森田 眞照、河合 英（かわい まさる）

実習内容：

## 科目の概要

消化器外科、乳腺内分泌外科、一般外科における医学的知識と一般臨床の実際を知る。医学生の基本的臨床技能を習得する。

## 科目のゴール

- ・対象患者の診断に至る検査所見と検査過程が理解できる。
- ・対象患者の治療に関する内容と過程が理解できる。
- ・対象患者の病態を総合評価し、診療計画を立てることができる。
- ・高齢者の病態を総合評価し、診療計画を立てることができる。
- ・外科的疾患の身体診察ができる。

## 具体的内容

- ・消化器外科、乳腺内分泌外科、一般外科における診療を見学・体験し、その理解と技術の習得を行う。
- ・外来診療、病棟回診、手術見学、症例検討会
- ・内視鏡外科手術の理解
- ・手術の適応疾患について
- ・カルテ記載方法の習得

評価： 共通評価表

受入定員： 1クール1名

注意事項：

予習項目： 次週までの手術症例について、手術術式等勉強しておくこと

復習項目： 実習で扱った手術症例について学んだことをまとめること

初日の集合場所、時間： 市立ひらかた病院 2階総務課 午前8時45分

交通手段： 別紙地図参照

宿泊施設： なし

オフィスアワー担当者： 林 道廣  
連絡先：内線 3126  
木下 隆  
連絡先：内線 3103  
河合 英  
連絡先：内線 3525



オフィスアワー日時： 林： 9:00～17:00 木下： 8:40～ 9:00 河合： 9:00～17:00

# 臨床実習プログラム

教育機関名： 市立ひらかた病院 心臓血管外科・呼吸器外科

責任者名： 吉井 康欣

実習内容：

## 科目の概要

呼吸器外科領域および（心臓）血管外科領域の基本的知識を習得し、臨床での治療を体験し、理解する。

## 科目のゴール

1. 患者との信頼関係を確立する。
2. 指導医と共に臨床例を診察し、基本的技術を学ぶ。

## 具体的内容

1. 心臓、血管（大血管・末梢血管）および呼吸器の解剖・生理を理解する。
2. 心、大血管および末梢血管疾患、呼吸器疾患の病因・病態・疫学の基本的知識を習得する。
3. 指導医と共に入院患者を担当し、信頼関係を構築する。
4. 患者や家族に対して検査・治療における十分なインフォームドコンセントを実施する。
5. 各種検査および治療的手技（気管支鏡検査、エコー、胸腔ドレナージ、手術など）に安全に参加・実施し、検査結果、治療効果を評価し理解する。

評価： 共通評価表による。

受入定員： 1クール1名

注意事項： 聴診器、白衣を持参。

予習項目： 清潔、不潔の区別を再確認しておく。

呼吸器疾患（気胸、肺癌、縦隔腫瘍等）、末梢血管疾患（動脈瘤、急性動脈閉塞、ASO、下肢静脈瘤）の手術について勉強しておくこと。

復習項目： 経験した症例をまとめる。

初日の集合場所、時間： 午前8時45分に市立ひらかた病院 2階総務課（初日が祝日の場合は、翌日）。

交通手段： 別紙地図参照

<https://hirakatacity-hp.osaka.jp/0000000025.html>

宿泊施設： なし

オフィスアワー担当者： 吉井 康欣

連絡先：内線3107

オフィスアワー日時： 毎週水曜日 16:00～17:00 3F 医局

# 臨床実習プログラム

教育機関名： 市立ひらかた病院 整形外科

責任者名： 大原 英嗣

実習内容：

## 科目の概要

運動器疾患および外傷の診療を体験し、臨床医としての基本的知識と態度を習得する。

## 科目のゴール

1. 病歴の聴取、身体所見の診察方法を体験し、これを記録できる。
2. 診断に必要な検査を列挙し、その所見を解釈できる。
3. 各種治療法の実際を知り、その適応と限界を理解できる。
4. 基本的手技（ギプス、救急処置、手術、脱臼骨折の整復）を体験する。

## 具体的内容

医療チームの一員として主治医とともに患者を受け持ち、外来、病棟での診療を介助し、手術に助手として参加する。症例検討会に参加して、受け持ち患者の治療計画や病状経過を報告する。

評価： 共通評価表

受入定員： 1 クール 2 名（受入可能期間は別紙一覧の通り）

注意事項： 男子はネクタイ着用（ケーシー白衣可）

予習項目： 「標準整形外科」を参照し勉強しておくこと

復習項目： 実習で扱った症例について学んだことをまとめること

初日の集合場所、時間： ①月曜日は8:00 第一会議室 10時00分～2 階総務課  
②月曜日が休日の場合は火曜日 2 階総務課 午前 8 時45分  
※玄関入口が開いていない場合は病院 1 階の防災センターにお声かけ下さい

交通手段： 別紙地図参照

宿泊施設： なし

オフィスアワー担当者： 大原 英嗣・飛田 高志  
連絡先：

オフィスアワー日時： 毎週（火）16:00－17:00

# 臨床実習プログラム

教育機関名： 市立ひらかた病院 小児科

責任者名： 岡空 圭輔

実習内容：

科目の概要

小児の一般的疾患、救急疾患についての初期対応、基本知識を学ぶ。

科目のゴール

子供の疾患に対する知識をつけ、診断、治療方針を考える。

親、家族、子供をとりまく環境、子育て支援の視点を理解する。

具体的内容

一般外来、救急外来、病棟入院患者の診察、基本手技の実践

評価： 共通評価表

受入定員： 1クール1名（受入可能期間は別紙一覧の通り）

注意事項： 本当にやる気のある人、どうしても当科で研修したい人に限ります。

予習項目：

復習項目：

初日の集合場所、時間： 午前8時45分 市立ひらかた病院 2階総務課  
月曜日が休日の場合は火曜日、同上

交通手段： 別紙地図参照

宿泊施設： なし

オフィスアワー担当者：

連絡先：

オフィスアワー日時：

# 臨床実習プログラム

教育機関名： 市立ひらかた病院 産婦人科

責任者名： 岡崎 審

実習内容：

## 科目の概要

市中病院における産婦人科の実際に関する実習

## 科目のゴール

1. 正常分娩の管理、分娩の実際、新生児管理を学習する。
2. 分娩経過中の異常の認識と対応を学習する。
3. 産科婦人科疾患手術の見学・学習

## 具体的内容

1. 2. 分娩経過観察・管理および分娩に立会い、分娩・新生児管理を見学する。
3. 婦人科腹腔鏡下手術（子宮・卵巣）、帝王切開術、子宮全摘出術、流産手術などの見学。

評価： 共通評価表

受入定員： 1クール1名

注意事項：

予習項目： 教科書、参考書、参照学習して下さい。特に分娩（経過）と子宮筋腫・卵巣のう腫手術。

復習項目： 分娩（正常および異常分娩）、婦人科手術（ともに上記内容）

初日の集合場所、時間： 市立ひらかた病院 2階総務課 午前8時45分  
初日が火曜日の場合も同様

交通手段： 別紙地図参照

宿泊施設： なし

オフィスアワー担当者： 岡崎 審  
連絡先：内線 PHS 3153

オフィスアワー日時： 火曜日 16:00頃

# 臨床実習プログラム

教育機関名： 市立ひらかた病院 眼科

責任者名： 小畠 祥太

実習内容：

## 科目の概要

臨床現場を体験し、眼科の一般診療や手術を理解する。

## 科目のゴール

眼科検査の意義を理解する。

眼科疾患の基本的知識を身につける。

眼科手術の手技を理解する。

## 具体的内容

外来見学、外来検査見学、手術見学、診察機器の使用実習

評価： 共通評価表

受入定員： 1 クール 1 名（受入可能期間は別紙一覧の通り）

注意事項： 白衣持参

予習項目： 眼科検査方法、主に白内障手術について勉強しておくこと

復習項目： 実習で扱った症例について学んだことをまとめること

初日の集合場所、時間： 病院 2 階総務課 午前 8 時 45 分

交通手段： 別紙地図参照

宿泊施設： なし

オフィスアワー担当者： 小畠 祥太

連絡先：市立ひらかた病院医局 072-847-2821

オフィスアワー日時： 毎週火曜日 16:30 医局

# 臨床実習プログラム

教育機関名： 市立ひらかた病院 耳鼻咽喉科

責任者名： 西川 周治

実習内容：

## 科目の概要

耳鼻咽喉科の外来診療、検査データに基づく治療プランニング、手術などの実地臨床にふれる。

## 科目のゴール

外来・入院・手術などに積極的に参加し、耳鼻咽喉科・頭頸部外科疾患の理解を向上させる。

## 具体的内容

外来診療、病棟回診、手術治療への参加・助手を行い、治療への積極的な参加。  
症例検討会に参加。

	月	火	水	木	金
午前	外来実習	外来実習	外来実習	外来実習	手術
午後	病棟実習	手術	手術 カンファレンス	手術	手術

評価： 共通評価表

受入定員： 各期間 1 名

注意事項： 大阪医科薬科大学の学生として、自覚と誇りを持って行動してください。  
耳鼻咽喉科・頭頸部外科の基本的な解剖整理を理解しておくこと。  
研修先として市立ひらかた病院を検討している学生に特に参加していただきたい。

予習項目： 耳鼻咽喉科・頭頸部外科の代表的な疾患および解剖について

復習項目： 実習で扱った症例に対する理解

初日の集合場所、時間： 市立ひらかた病院 2階総務課 午前8時45分

交通手段： 別紙地図参照

宿泊施設： なし

オフィスアワー担当者： 西川 周治  
連絡先：院内 PHS 3180

オフィスアワー日時： 月～金 9:00～17:00 院内

# 臨床実習プログラム

教育機関名： 市立ひらかた病院 泌尿器科

責任者名： 和辻 利和

実習内容：

科目の概要

泌尿器の一般診察、手術の実際を知る。

科目のゴール

他科より泌尿器科コンサルトのタイミングを知る。

泌尿器の一般診察ができる。

具体的内容

外来診察、手術、病棟診察、見学、実習

評価： 共通評価表

受入定員： 1クール1名（受入可能期間は別紙一覧の通り）

注意事項： 医師として診察にあたる常識的な服装でお願いします。

予習項目： 前立腺肥大症、前立腺癌、膀胱癌、尿路結石について勉強しておくこと。

復習項目： 外来で診察についた症例、手術見学した症例について学んだことをまとめておくこと。

初日の集合場所、時間： 午前8時45分 市立ひらかた病院 2階総務課

交通手段： 別紙地図参照

京阪バス 高槻→枚方市駅→市民病院前

宿泊施設： なし

オフィスアワー担当者： 和辻 利和

連絡先：072-847-2821（市立ひらかた病院）

オフィスアワー日時： 毎週木曜日 16:00～16:30 泌尿器科外来（Bブロック、5番診察室）



# 臨床実習プログラム

教育機関名： 市立ひらかた病院 麻酔科

責任者名： 宮崎 信一郎

実習内容：

## 科目の概要

麻酔科医の業務（手術麻酔・ペインクリニック）を理解し、患者の評価、周術期の管理、疼痛管理を学ぶ。また、チーム医療の一員としての接遇を学ぶ。

## 科目のゴール

術前診察を指導医とともにに行い、患者の麻酔計画を立てる。  
麻酔に関する薬剤を理解し、患者の病態に応じた麻酔管理・疼痛管理を行う。  
学生が施行可能な手技を取得する。

## 具体的内容

月～金：術前診察、術後診察、麻酔実習。ペインクリニック外来の見学。

評価： 共通評価表

受入定員： 別紙一覧の通り

注意事項： 挨拶を必ずすること。節度ある身だしなみ。

予習項目： 手術麻酔：麻酔の3要素。気道確保の手順。末梢静脈路の確保の手順  
ペインクリニック：帯状疱疹の病態

復習項目： 担当症例の振り返り

初日の集合場所、時間： 病院2F 総務課 8:45集合

交通手段： 別紙地図参照  
公共交通機関を利用すること。

宿泊施設： なし

オフィスアワー担当者： 宮崎 信一郎  
連絡先：内線 PHS 3165

オフィスアワー日時： 水曜をのぞく平日。14:00～16:30

# 臨床実習プログラム

教育機関名： 市立ひらかた病院 形成外科

責任者名： 前田 尚吾

実習内容：

## 科目の概要

形成外科の役割を理解し、基本的な形成外科的手技、および創傷の取り扱いに対する考え方や技術の習得を行う。

## 科目のゴール

- 1) 患者、家族また医療スタッフと良好な関係を確立できる。
- 2) 系統的に診察を行い、診察結果を必要かつ十分に説明できる。
- 3) 疾患に役立つ検査を選択し、画像評価ができ、結果を説明できる。
- 4) 基本的な縫合手技を身につける。

## 具体的内容

日常の病棟・外来・手術の業務を通じて学ぶ。

評価： 共通評価表

受入定員： 2名（1名／クール）

注意事項： 特になし

予習項目： なし

復習項目： なし

初日の集合場所、時間： 午前8:45 病院2階 総務課  
月曜日が休日の場合、火曜日、医局に8時30分

交通手段： 別紙地図参照

宿泊施設： なし

オフィスアワー担当者： 前田 尚吾  
連絡先：072-847-2821（PHS 3122）

オフィスアワー日時： 月～金 13:00～17:00

# 臨床実習プログラム

教育機関名： 医療法人春秋会 城山病院 消化器内科

責任者名： 東野 健

実習内容：

## 科目の概要

適切な診断・治療を目標として消化器系臓器の基本知識を疾患の病態へと結びつける。診断治療をできるようにする。

## 科目のゴール

消化器疾患の概念、疫学、病因、症状、検査やその病態や生理機能を説明できるようになる。症状、所見から疾患の鑑別や臨床検査の進め方を判断できるようになる。さらに、画像や採血データの正確な判断、診断や治療が説明できること。

## 具体的内容

診療の見学（外来、病棟での診察、内視鏡検査、胆道処置、US）やカンファレンスへの参加を通じ、医療の現場を直接体験させる。

評価： 共通評価表

受入定員： 1クール1名

注意事項：

予習項目： 消化器内科全般の教科書（朝倉内科学、イヤートート等）に目を通しておく

復習項目： 実習で学んだことをまとめてレポートする

初日の集合場所、時間： 消化器内科外来 AM:30  
月曜日が休日の場合は火曜日、同上

交通手段： 別紙地図参照

宿泊施設： なし

オフィスアワー担当者： 東野 健  
連絡先：城山病院 内線 8554

オフィスアワー日時： 毎週金曜日 15:00～16:00 医局

# 臨床実習プログラム

教育機関名： 医療法人春秋会 城山病院 消化器・乳腺センター

責任者名： 石橋 孝嗣

実習内容：

## 科目の概要

医療に必要な知識・技術の基本を修得する。

## 科目のゴール

- 1) 消化器・乳腺疾患の診断・治療を学び修得する。
- 2) 他職種スタッフとチーム医療を行う。
- 3) 患者及び家族とのコミュニケーションを通じた、医療人としての基本を修得する。

## 具体的内容

手術適応・手術方法、術前・術後管理について学ぶ。

評価： 共通評価表

受入定員： 1 クール 2 名

注意事項： 学生ではなく医療人として見られているので、言葉づかいや身だしなみには気を付ける事

予習項目： 消化器疾患の病態、腹部解剖、全身管理方法、急性腹症の鑑別診断

復習項目： 担当患者の入院から退院までのサマリーを提出する。

初日の集合場所、時間： 午前8:30 医局

交通手段： 別紙地図参照

宿泊施設： なし

オフィスアワー担当者： 石橋 孝嗣  
連絡先：内線電話

オフィスアワー日時： 適宜

# 臨床実習プログラム

教育機関名： 医療法人春秋会 城山病院 心臓血管センター

責任者名： 土田 隆雄

実習内容：

## 科目の概要

心臓血管外科領域の疾患を体験し知識を習得するとともに臨床現場での実際を学ぶ。

## 科目のゴール

指導医と共に行動し以下の項目について学ぶ。

1. 心臓外科領域の疾患の初期診療を行う。
2. 手術に立ち会うか、介助を行う。
3. その後の集中治療を経験する。

## 具体的内容

病棟回診、検査、手術の見学、介助。

症例により他科での見学や実習も合わせて行う。

評価： 共通評価表

受入定員： 1クール2名

注意事項： 特になし

予習項目： 参考書、資料を参照し、心臓血管外科手術について勉強しておくこと

復習項目： 実習で扱った症例について学んだことをまとめること

初日の集合場所、時間： 9:00 病院受付  
月曜日が休日の場合は火曜日、同上

交通手段： 別紙地図参照

宿泊施設： なし

オフィスアワー担当者： 土田 隆雄  
連絡先：072-958-1000（代）

オフィスアワー日時： 毎週木曜日 15:00～17:00

# 臨床実習プログラム

教育機関名： 医療法人春秋会 城山病院 麻酔科

責任者名： 辻井 英治（麻酔科部長）

実習内容：

## 科目の概要

実習期間内に麻酔とは何なのか？ということがわかるようになる。

麻酔実習を通じて医師とは何なのかを考えるようになってもらう。

患者様が手術を受けるにあたって、麻酔科あるいは麻酔科医がこういった役目を引き受け、こういった行動をとっているかを肌で感じてもらう。

## 科目のゴール

麻酔についてのミニレクチャー

麻酔使用薬剤への理解を深める。

学生に可能な手技を行ってもらう。

手術室の中での人間関係に対処する。

礼節を守る。

## 具体的内容

月～金：手術室麻酔実習、術前・術後回診、講義受講

評価： 共通評価表

受入定員： 1クール1名

注意事項： 節度ある身なり・服装、病院ユニフォーム貸出可

予習項目： 自主性に任せます。

復習項目： 自主性に任せます。

初日の集合場所、時間： 午前8:30 病院受付に来訪を告げ、麻酔科秘書に連絡してもらう。

交通手段： 別紙地図参照

宿泊施設： なし

オフィスアワー担当者： 中野 弘行

連絡先：072-958-1000

オフィスアワー日時： 適宜対応させていただきます。

# 臨床実習プログラム

教育機関名： 特定医療法人大阪精神医学研究所 新阿武山病院 精神神経科

責任者名： 岡村 武彦、樽谷 精一郎

実習内容：

## 科目の概要

単科精神病院における精神疾患の診断・治療がどのようになされているかを知り、精神科チーム医療や地域医療の考え方を理解する。

## 科目のゴール

- 1) 統合失調症の症状を理解し、急性期および慢性期の治療法を理解する。
- 2) 老年期精神疾患、特に「物忘れ」を中心とした認知症の概念を正しく理解し、診断方法や治療法を知る。
- 3) アルコール依存症の概念を正しく理解し、院内治療プログラムを通して治療法を知る。

## 具体的内容

指導医および主治医の指導のもとで、機能別に分かれている各病棟（精神科急性期治療病棟、精神科一般病棟、精神療養病棟、認知症疾患治療病棟、アルコール病棟）での治療、外来治療やリハビリテーションセンターでの活動を体験する。主治医、看護スタッフ、ソーシャルワーカー、臨床心理士、作業療法士などによるチーム医療に参加し、急性期の治療から社会復帰にいたるまでの精神科治療について考える。

評価： 共通評価表

受入定員： 1 クール 2 名

注意事項： 特になし

予習項目： 持っている教科書などで基本的知識を整理しておくこと

復習項目： 担当した症例についてまとめること

初日の集合場所、時間： JR 摂津富田駅前から院内バスが運行しています。（乗り場に関しては別紙地図参照）  
8 時 30 分発のバスに乗ってきてください。病院受付で臨床実習生である旨言っていただければ案内します。  
月曜日が休日の場合は火曜日、同上

交通手段： 上記参照

宿泊施設： なし

オフィスアワー担当者： 樽谷 精一郎  
連絡先：内線 106

オフィスアワー日時： 基本的には随時ですが、外来診察中、入院患者診察中は対応出来ないのと、その他業務によっては対応出来ない場合もあります。

# 臨床実習プログラム

教育機関名： 医療法人 新淡路病院 精神科

責任者名： 堀 貴晴

実習内容：

## 科目の概要

淡路島唯一の単科精神科病院における精神科医療を学ぶ

## 科目のゴール

- 1) 精神科救急を理解する
- 2) 慢性期の総合失調症と認知症を理解する
- 3) 地域医療を理解する

## 具体的内容

指導医のもとで各病棟（精神科急性期治療病棟、認知症治療病棟、慢性期病棟）での治療、外来治療を体験する。

救急や警察からの依頼による治療を体験する。

評価： 共通評価表

受入定員： 1クール1名

注意事項： なし

予習項目： 持っている教科書などで基本的知識を整理しておくこと

復習項目： その日最も印象に残った症例についてまとめること

初日の集合場所、時間： 病院受付に11時  
月曜日が休日の場合、火曜日病院受付に11時

交通手段： 自転車

宿泊施設： あり（病院がビジネスホテルを借りる）

オフィスアワー担当者： 堀 貴晴  
連絡先：PHS 315

オフィスアワー日時： 随時。ほぼ指導医の側にいます。



# 臨床実習プログラム

教育機関名： 社会医療法人清恵会 清恵会病院 糖尿病代謝内科

責任者名： 野村 美枝

実習内容：

## 科目の概要

2次救急病院における一般内科としての役割の中で糖尿病代謝内科の専門外来やベッドサイドの診療を実地で経験し、臨床における問題点や解決方法を見出す。

## 科目のゴール

- ・病歴から鑑別診断ができる
- ・身体診察ができるようになる
- ・必要な検査の選択や、その結果から診断に結び付ける過程を理解する
- ・担当症例を含め、カンファレンスでの検討課題及び診断や治療方針を知り、患者・家族への説明や教育・指導のあり方などを理解する

## 具体的内容

カンファレンス、回診への参加、外来診療の見学、病歴の聴取、身体診察、検査データの確認、問題点のリストアップ、治療方針の検討、治療効果の観察

評価： カンファレンスでのプレゼンテーション及び共通評価表

受入定員： 1クール1名

注意事項： なし

予習項目： 身体所見、血液や生理検査、画像検査について接遇や糖尿病などについて一通り理解しておくこと

復習項目： 担当患者さんや回診、カンファレンスなどで経験した疾患について確認する

初日の集合場所、時間： 清恵会病院医局（5階）午前9時

交通手段： 別紙地図参照

宿泊施設： 寮併設にて相談に応じる

オフィスアワー担当者： 野村 美枝  
連絡先：4101

オフィスアワー日時： 毎週金曜日 16:00～16:30

# 臨床実習プログラム

教育機関名： 社会医療法人清恵会 清恵会病院 内科（消化器内科）

責任者名： 星本 真弘

実習内容：

## 科目の概要

1. 実際の臨床現場に接して基本的な医療行為を習得する。
2. 一般病院での医療の現状を理解する。

## 科目のゴール

内科救急疾患に対しての理解を深め、初期対応について学習する。

消化器疾患に対しての診断および治療についてチーム医療の一員として実際に患者を受け持つことで学習する。

## 具体的内容

1. 内科救急外来において救急担当医の助手として実際の診療（問診・診察・検査・処置）の補助を行い、患者の接遇を基本に外来での医療行為について学習する。
2. 下記の各種検査に関して施行者の指導の下に見学ならびに補助を行う。
  - 超音波検査（消化器内科としては腹部エコーが主であるが、その他にも頸動脈エコー、心エコーなど）
  - 上部・下部消化管内視鏡検査および EMR や ESD などの内視鏡治療
  - 内視鏡的逆行性胆管膵管造影検査（ERCP）および同検査に付随する胆・膵疾患に対しての治療内視鏡手技
  - 経皮経肝的穿刺手技（PTCD や PTGBD、肝膿瘍ドレナージなど）
  - 放射線画像検査（X 線、CT 検査、MRI 検査）の読影・画像診断
3. 入院患者を副担当医として受け持って、主治医の指導の下に実際の診療（問診・診察・検査・処置）の補助に携わる。
4. 内科の回診・カンファレンスに参加する。

評価： 共通評価表

受入定員： 消化器内科としては 1 クール 1 名

注意事項： 当院は救急指定病院で堺近辺の 1 / 3 の救急を 24 時間体制で担当している救急医療に尽力している病院であり、本人の希望があれば一部当直で実習に参加してもらうことが望ましい。

予習項目： 消化器疾患、特に急性疾患についての診療ガイドラインに目を通しておく

復習項目： その日担当した症例についての診療について不明な点がなかったか整理しておくこと

初日の集合場所、時間： 朝 9 時医局  
月曜日が休日の場合は火曜日、同上

交通手段： 別紙地図参照

宿泊施設： なし

オフィスアワー担当者： 星本 真弘  
連絡先：PHS 内線番号 5026

オフィスアワー日時： 毎週木曜日 17時 医局あるいは医局カンファレンス室

# 臨床実習プログラム

教育機関名： 社会医療法人清恵会 清恵会病院 小児科

責任者名： 森信 若葉

実習内容：

## 科目の概要

小児の成長・発達および小児疾患の特性を理解し、一般小児科診療・小児救急医療を幅広く実習する。

## 科目のゴール

小児科医と行動を伴にすることにより、外来・入院診療および救急診療の実際を学習し小児科医療への理解を深める。

## 具体的内容

- A. 外来：午前中の一般外来では診察・処置などを見学し、問診を指導医のもとに行い習熟する。午後の専門外来（神経・発達・心身症・内分泌・アレルギー・循環器・腎臓・ワクチン・乳児検診）の見学を通して各専門領域の診療や小児保健について学ぶ。救急外来では救急患者の診療を見学し対応についての知識を深める。
- B. 病棟：小児科病棟入院患者の回診に参加し、診察、検査、診断、治療、保護者への説明などを見学し、入院から退院までの病状を観察することで疾患の経過を学ぶ。

評価： 共通評価表

受入定員： 1クール1名

注意事項： 身分証（学生ID）の携帯（名札）

予習項目： 参考書・小児科学教科書を参照し、小児疾患について基本的知識を勉強しておくこと。

復習項目： 実習で扱った症例について得た知見、習熟したことについてまとめておくこと。

初日の集合場所、時間： 5階医局 午前8時50分

交通手段： 南海高野線堺東駅 徒歩18分 南海バス 永泰橋下車すぐ  
当院ホームページ参照 <https://seikeikai.or.jp>

宿泊施設： なし

オフィスアワー担当者： 森信 若葉・松島 礼子  
連絡先：

オフィスアワー日時： 随時可

# 臨床実習プログラム

教育機関名： 医療法人蒼生会 蒼生病院 内科

責任者名： 小島 敬史

実習内容：

## 科目の概要

現場での思考法や実技、診療上や学習上の態度も含めて医師としての能力を総合的に学ぶ。

## 科目のゴール

以下4項目の医学知識、臨床推論法、技能、態度などの能力を実践的に身につけることを目標とする。

- 1) 情報収集
- 2) 評価と診療計画の立案
- 3) 診療計画の実施
- 4) 診療、学習行動の基盤となる態度

## 具体的内容

- 1) 現場での診療見学
- 2) 診療参加（対象は入院患者さん）を通じて、患者さんや患者家族、および他の医療職の方々とのチーム医療を学ぶ。

評価： 共通評価表

受入定員： 1名（受入可能期間は別紙一覧の通り）

注意事項：

予習項目： <参考図書>・内科診断学（吉利 和）金芳堂  
・消化管内視鏡診断テキストⅠ 食道・胃・十二指腸 文光堂  
・消化管内視鏡診断テキストⅡ 小腸・大腸 文光堂

復習項目：

初日の集合場所、時間： 医局 午前8時50分  
月曜日が休日の場合は火曜日、同上

交通手段： 別紙地図参照  
大阪医薬大から 電車：阪急高槻市駅→南茨木駅→大阪モノレール→門真駅→京阪電車大和田駅  
→バス15分…合計1時間程度

宿泊施設： なし

オフィスアワー担当者： 小島 敬史  
連絡先：内線 212

オフィスアワー日時： 毎週（水）8:40－9:00  
場所 当院2F 医局

# 臨床実習プログラム

教育機関名： 社会医療法人東和会 第一東和会病院 内科

責任者名： 時岡 聡

実習内容：

## 科目の概要

内科医として日常診療に必要な基本的診療能力、知識を習得する。

## 科目のゴール

- ① 指導医とともに、外来・入院患者の診療や種々の検査に参加し、日常診療に必要な基本的診療能力、知識を習得する。
- ② 内科外科カンファレンス、症例検討会などに参加し、医学知識を深める。

## 具体的内容

当院では、特に消化器内科・循環器内科・呼吸器内科においては、プライマリケアを特に修得しやすい環境にある。週間予定は以下の通りであり、指導医とともに診療に携わることとなる。

外来診療・・・3単位（呼吸循環器1単位・消化器1単位・糖尿病1単位）

循環器検査（心電図解読と心エコー）・・・2単位

腹部超音波検査・・・1単位

胃内視鏡検査・・・1単位

大腸またはERCP検査・・・1単位

症例検討会・・・1単位

病棟回診・・・2単位

評価： 共通評価表

受入定員： 1クール4名

注意事項： 特記すべきこと無し

予習項目： 内視鏡について予習しておくこと

復習項目： 内視鏡で実際にみた病変を勉強してもらう

初日の集合場所、時間： 第一東和会病院総合受付、午前8時30分 医局秘書を呼び出して下さい。  
月曜日が休日の場合は火曜日、第一東和会病院総合受付、午前9時 医局秘書を呼び出して下さい。

交通手段： 別紙地図参照

宿泊施設： なし

オフィスアワー担当者： 時岡 聡  
連絡先：第一東和会病院

オフィスアワー日時： 平日 13:00～17:00

# 臨床実習プログラム

教育機関名： 社会医療法人東和会 第一東和会病院 消化器外科

責任者名： 田畑 智丈

実習内容：

## 科目の概要

鏡視下手術症例の入院から退院まで。

内視鏡外科手術に対する基本的知識、手技を習得する。

## 科目のゴール

- 1) 指導医とともに、内視鏡外科手術患者の診療、カンファレンスに参加し、内視鏡外科診療に必要な基本診療能力、知識を習得する。
- 2) 実際に手術に参加し、基本的手技を習得する。

## 具体的内容

当院では消化器、呼吸器、婦人科疾患など広範囲にわたる種々の内視鏡外科手術を年間700～800件施行しており、最先端の分野を実際に体験できるよい機会である。可能な限り手術に参加してもらい、出来ればカメラ持ち（スコピスト）から助手が出来るようになっていただきたい。手術記録および退院サマリーをレポートして提出してもらい評価する。

ローテーション診療科（予定）： 内視鏡外科

評価： 共通評価表

受入定員： 2名（4週ごと）

注意事項： 特になし

予習項目： 内視鏡外科手術に関する参考書等を参照し、自分の学びたいこと等を事前に勉強しておくこと。

復習項目： 内視鏡外科手術の実習で扱った症例等について、学んだこと反省すべきこと等をまとめること。

初日の集合場所、時間： 第一東和会病院 1階総合受付、午前8時30分  
（※受付にて、医局秘書を呼ぶようお願いください）

交通手段： 別紙地図参照

宿泊施設： なし

オフィスアワー担当者： 田畑 智丈

連絡先： 第一東和会病院 副院長兼消化器外科部長兼救急科学長  
（院内 PHS：8581）

オフィスアワー日時： 実習時に限り随時

# 臨床実習プログラム

教育機関名： 社会医療法人東和会 第一東和会病院 脳神経外科

責任者名： 朴 陽太

実習内容：

## 科目の概要

脳神経外科指導医の下で超急性期から急性期神経疾患の診療の理解および体験

## 科目のゴール

高槻市の中核病院の神経疾患診療を体験してもらうことにより、脳卒中、頭部外傷、脳腫瘍、脊髄脊椎疾患の手術治療をはじめとした治療全般を学んでもらう。また、上記疾患に併存する生活習慣病や合併する疾患の管理も同時に学んでもらう。

## 具体的内容

1. 下記の脳神経外科日常業務に4週間携わる。

(ア) 症例検討会	毎週月曜日午後
(イ) 病棟、ICU、HCU 回診	毎週月曜日午後
(ウ) 一般外来	毎週金曜日午前
(エ) 手術（脳血管内治療も含む）	毎週水・木曜日午後
(オ) 脳血管撮影	毎週火曜日
2. 脳神経外科指導医の下で患者さんを担当し神経学的検査、放射線検査、診断および治療に参加する。
3. 救急外来にて、脳神経疾患の救急に対する診断、治療を習得する。

評価： 共通評価表

受入定員： 1クール1名

注意事項： 実習中の服装はネクタイ着用（ケーシータイプ可能）

予習項目： 脳神経外科全般（特に、脳血管障害や頭部外傷）

復習項目： 脳神経外科全般（特に、脳血管障害や頭部外傷）

初日の集合場所、時間： 第一東和会病院 3F 医局 午前8時45分  
(月曜日が祝日の場合は火曜日)

交通手段： 別紙地図参照

宿泊施設： なし

オフィスアワー担当者： 朴 陽太  
連絡先：8257

オフィスアワー日時： 毎週水曜日 11:00～12:00



# 臨床実習プログラム

教育機関名： 社会医療法人東和会 第一東和会病院 婦人科・女性泌尿器科、ウロギネコロジーセンター

責任者名： 加藤 稚佳子

実習内容：

## 科目の概要

婦人科良性疾患の実際に関する実習

## 科目のゴール

1. 婦人科手術の実際を学習する
2. 骨盤臓器脱・尿失禁について学習する
3. 婦人科・女性泌尿器科手術の見学

## 具体的内容

1. 腹腔鏡手術 経膈手術 子宮鏡手術を見学
2. 骨盤臓器脱手術・尿失禁手術の見学
3. 外来見学

評価： 共通評価表

受入定員： 1クール1名

注意事項：

予習項目： 婦人科良性疾患の手術方法、尿失禁など女性泌尿器疾患についてテキストで適宜勉強しておくこと

復習項目： 見学手術症例について復習すること

初日の集合場所、時間： 医局 8時50分  
初日が火曜日と同様

交通手段： 別紙地図参照

宿泊施設： なし

オフィスアワー担当者： 加藤 稚佳子  
連絡先：8261

オフィスアワー日時： 木曜日 10～11時 研究室・会議室

# 臨床実習プログラム

教育機関名： 高槻赤十字病院 循環器内科

責任者名： 木澤 隼

実習内容：

## 科目の概要

循環器病学に関する臨床の基礎を習得する。

## 科目のゴール

循環器内科チームに所属し、その一員として外来診療および入院診療の一部に参加する。これらを通じて、

1. 患者様との良好な関係を構築する。
2. 可能な範囲で処置などに参加し、循環器における基礎的技能を習得する。
3. 循環器における高度医療に関する基礎的知識を身につける。
4. 症例検討会、抄読会などに参加し、発表能力を養う。

## 具体的内容

指導医の指示に従い、チームの一員として外来診療、病棟診療をチームの医師と共に行う。

評価： 共通評価表

受入定員： 1クール1名

注意事項： 診療に当たっては、医師にふさわしい服装、態度を守る。

予習項目： 循環器内科全般についての知識を持つ。

復習項目： 特になし。

初日の集合場所、時間： 朝 8 時 40 分に 2 階 事務室 人事課  
月曜日が休日の場合は火曜日、同上

交通手段： 別紙地図参照

宿泊施設： なし

オフィスアワー担当者： 木澤 隼  
連絡先： PHS 8060

オフィスアワー日時： 随時

# 臨床実習プログラム

教育機関名： 高槻赤十字病院 消化器外科、乳腺外科

責任者名： 平松 昌子・小林 稔弘

実習内容：

## 科目の概要

実臨床の現場で、診療に必要な基本的知識・技能・医の倫理を学ぶ。

## 科目のゴール

- 1) 外科患者のプライマリ・ケアに対応できる基本的な知識を習得する。
- 2) 診断・治療方針の決定・手術・術後管理の過程を一貫して学ぶ。
- 3) 手術の流れと手術術式を理解する。
- 4) 基本的な手術手技や術後処置を実施または助手を行う。
- 5) 外科的救急疾患に対応できる知識を習得する。
- 6) 他職種を含めたチーム医療を理解する。
- 7) 患者・家族・医療スタッフとのコミュニケーションを通じて、実際の医療現場を学ぶ。
- 8) 医師としての倫理を培う。

## 具体的内容

指導医・上級医・研修医らとともに、手術、外来、回診等に参加する。そのうち何名かの患者を担当し、疾患・手術手技などにつき、さらに深く学習する。

消化器外科と乳腺外科はいずれか一方、あるいは両方を選択することが可能である。

評価： 共通評価表

受入定員： 1 クール 2 名

注意事項： 患者さんや医療スタッフに対して、医学生としての適切な態度で接し、身だしなみに注意すること。

予習項目： 外科解剖  
基本的な外科手技（結紮、縫合等）

復習項目： 手術適応、術式の選択、周術期合併症とその対策

初日の集合場所、時間： 本館 2 階事務室人事課 午前 7 時 45 分  
月曜日が祝日の場合は火曜日、本館 2 階事務室人事課 午前 8 時 40 分

交通手段： 別紙地図参照

宿泊施設： なし

オフィスアワー担当者： 小林 稔弘、恒松 一郎  
連絡先： PHS

オフィスアワー日時： 随時

# 臨床実習プログラム

教育機関名： 高槻赤十字病院 小児科

責任者名： 河上 千尋

実習内容：

## 科目の概要

小児の生理及び市中病院で良く遭遇する一般的疾患の病態を理解し、小児科全般の臨床において基本的診療から専門的な医療まで幅広く実習する。

## 科目のゴール

小児科領域における臨床症例の主治医と行動を共にすることにより小児診療に必要な基礎知識と技術を習得するとともに、入院症例・重症例の精査・治療過程を見学することで、小児医療への理解を深めることを目標とする。

## 具体的内容

### A 外来

午前中の一般外来診療では、診察見学、問診及び処置などの常勤医の業務並びに患者への応対を指導医のもとに習熟する。午後の専門外来（月：乳幼児健診 木：心臓外来 月、火、水：予防接種外来 4水：神経外来 月：アレルギー外来、2・4金：アトピー外来）ではそれぞれの疾患に関する検査の見学や健診・ワクチンなどの診察の実践を学ぶ。

### B 病棟

該当症例がある場合には、小児科入院症例について、診察、検査、治療手技、保護者への説明などを見学する。

評価： 共通評価表

受入定員： 1クール1名

注意事項： 身分証（学生ID）の携帯

予習項目： 参考書・小児科学教科書を参照し、小児疾患について最低限の知識を勉強しておくこと

復習項目： 実習で扱った症例について得た知見をまとめておくこと

初日の集合場所、時間： 1階 小児科外来 AM8:30（月曜日が休みの場合には火曜日の同時間、場所）

交通手段： 当院ホームページ参照 <https://www.takatsuki.jrc.or.jp/>

宿泊施設： なし

オフィスアワー担当者： 河上 千尋  
連絡先：内線 8082

オフィスアワー日時： 毎週金曜日 16:00～17:00 小児科医局

# 臨床実習プログラム

教育機関名： 高槻赤十字病院 産婦人科

責任者名： 中村 路彦

実習内容：

## 科目の概要

市中病院における産婦人科診療（特に婦人科）に関する実習

## 科目のゴール

1. 産婦人科診察の流れを学習する
2. 画像検査の所見について理解する
- (3. 婦人科疾患手術の見学実習)

## 具体的内容

1. 外来見学
- (2. 子宮付属器腫瘍手術、子宮摘出術、円錐切除術等の見学)

評価： 共通評価表

受入定員： 1クール1名（受入可能期間は別紙一覧の通り）

注意事項： なし

予習項目： 産科、婦人科のテキストで適宜勉強しておく

復習項目： 婦人科画像検査所見 特に超音波、MRI 検査について復習すること

初日の集合場所、時間： 産婦人科医局 8時50分

交通手段： 別紙地図参照

宿泊施設： なし

オフィスアワー担当者： 中村 路彦  
連絡先：072-696-0571（内線8015）

オフィスアワー日時： 月曜日、火曜日、金曜日 14:00以降  
水曜日は手術がなければ対応可能

# 臨床実習プログラム

教育機関名： 高槻赤十字病院 麻酔科

責任者名： 麻酔科 手術部長 澤井 俊幸

実習内容：

## 科目の概要

基本的な麻酔管理業務を実習する。

## 科目のゴール

周術期の麻酔管理を体験するとともに、生理学・解剖学・薬理的な知識を整理する。

## 具体的内容

術前診察時、同席し、手術患者の評価、術式、体位などを考慮しながら術後疼痛管理も含めた麻酔計画を立てる。

気道確保、麻酔薬や循環作動薬の使い方などを学ぶ。

術後診察を行って、合併症や術後疼痛、悪心・嘔吐の有無などをチェックする。

患者及び他科の医師や医療スタッフと、良好なコミュニケーションをとる。

評価： 共通評価表

受入定員： 1クール1名（受入可能期間は別紙一覧の通り）

注意事項： 手術科は、外科・整形外科・呼吸器外科・泌尿器科・婦人科・形成外科・眼科・消化器内科・血液内科である。  
一般社会人として、常識ある行動と態度を取ること。

予習項目： 麻酔の際に使う薬物（循環作動薬なども含めて）について、知識を整理しておく。

復習項目： 各症例について、術前の問題点・それを踏まえての麻酔計画・術後経過についてまとめる。

初日の集合場所、時間： 2階事務室に8:50

交通手段： 別紙地図、シャトルバス運行表参照（当院 HP）

宿泊施設： なし

オフィスアワー担当者： ①麻酔科 手術部長 澤井 俊幸  
連絡先：PHS 8087

オフィスアワー日時： 月～木 16:00～17:00

# 臨床実習プログラム

教育機関名： 社会医療法人愛仁会 高槻病院 産婦人科

責任者名： 中後 聡

実習内容：

## 科目の概要

当院では主に、分娩及び産婦人科手術を中心に臨床実習を行う。

## 科目のゴール

実践の中で、産婦人科の診療を体感する。

## 具体的内容

産婦人科診療チームの一員となり、産科・婦人科病棟で入院患者管理を学ぶと共に、当科で施行される手術及び分娩に可能な限りスタッフとして加わり産婦人科領域の外科的処置を学習する。

評価： 共通評価表

受入定員： 1クール1名（受入可能期間は別紙一覧の通り）

注意事項： 当院は一般病院のため、患者に接する時は十分な配慮と節度をもって行うこと。  
白衣（ケーシー型）着用。但し、白衣の下は柄物Tシャツ・ジーンズの着用は不可。  
履物は運動靴が好ましい。サンダル禁止。  
派手な化粧、無精髭は禁止。  
院内禁煙。帰宅、外出は直接指導医に告げること。

予習項目：

復習項目：

初日の集合場所、時間： リハビリテーション病院 3F ローソン前 8:20集合  
月曜日が休日の場合は火曜日、同上

交通手段： JR 高槻駅徒歩10分、阪急高槻市駅徒歩12分  
※自家用車および自転車での通勤不可

宿泊施設： なし

オフィスアワー担当者：

連絡先：

オフィスアワー日時：

# 臨床実習プログラム

教育機関名： 社会医療法人愛仁会 高槻病院 眼科

責任者名： 清水 一弘

実習内容：

## 科目の概要

臨床現場を体験し、眼科の一般診療や手術について実際に理解する。

## 科目のゴール

眼科検査の意義を理解し、簡単なものは実際に行って身につける。

眼科の頻発疾患、とくに成人病に関する基本的知識を身につける。

眼科手術の実際を理解する。

患者とのコミュニケーションについて学ぶ。

## 具体的内容

外来見学（問診、シュライバー）

外来検査見学、診察機器の使用実習

手術見学、病棟実習（NICU 含む）、抄読会など

評価： 共通評価表

受入定員： 1 クール 1 名（受入可能期間は別紙一覧の通り）

注意事項： 当院は一般病院のため、患者に接する時は十分な配慮と節度をもって行うこと。  
局所麻酔の ope など、患者への配慮必要、不用意な言動には注意。  
白衣（ケーシー型）着用。但し、白衣の下は柄物 T シャツ・ジーンズの着用は不可。  
履物は運動靴が好ましい。サンダル禁止。  
派手な化粧、無精髭は禁止。  
院内禁煙。帰宅、外出は直接指導医に告げること。

予習項目：

復習項目：

初日の集合場所、時間： リハビリテーション病院 3F ローソン前 8:20 集合  
月曜日が休日の場合は火曜日、同上

交通手段： 別紙地図参照  
JR 高槻駅徒歩10分、阪急高槻市駅徒歩12分  
※自家用車および自転車での通勤不可

宿泊施設： なし

オフィスアワー担当者：

連絡先：

オフィスアワー日時：



# 臨床実習プログラム

教育機関名： 社会医療法人愛仁会 高槻病院 腎臓内科

責任者名： 高橋 利和

実習内容：

## 科目の概要

腎疾患に対して適切に診断を行い、治療計画を立案できる基礎知識を習得する。透析医療、特殊血液浄化療法の見学を通して理解を深める。

## 科目のゴール

腎疾患の診断に必要な検査計画や治療計画の立て方を学ぶ。  
水・電解質の管理について実際の診療を通して理解を深める。  
急性期医療の実習として特殊血液浄化療法や維持透析患者の周術期管理について学ぶ。  
外来維持透析患者の診療を通して、末期腎不全の病態について理解を深める。

## 具体的内容

- 1) 入院患者を受け持ち、主治医の指導のもとに実際の診療を学ぶ。
- 2) 腎生検の見学。
- 3) 腎臓学に関するベッドサイドレクチャーを受ける。
- 4) 腎臓内科カンファレンス、透析カンファレンスへの参加。
- 5) 特殊血液浄化療法の見学。
- 6) 外来維持透析患者の診療をともに行う。

評価： 共通評価表

受入定員： 1クール1名（2週間単位、受入可能期間は別紙一覧の通り）

注意事項： 当院は一般病院のため、患者に接する時は十分な配慮と節度をもって行うこと。  
白衣（ケーシー型）着用。但し、白衣の下は柄物 T シャツ・ジーンズの着用は不可。  
履物は運動靴が好ましい。サンダル禁止。  
派手な化粧、無精髭は禁止。  
院内禁煙。帰宅、外出は直接指導医に告げること。

予習項目：

復習項目：

初日の集合場所、時間： リハビリテーション病院 3F ローソン前 8:20集合  
月曜日が休日の場合は火曜日、同上

交通手段： JR 高槻駅徒歩10分、阪急高槻市駅徒歩12分  
※自家用車および自転車での通勤不可

宿泊施設： なし

オフィスアワー担当者：

連絡先：

オフィスアワー日時：

# 臨床実習プログラム

教育機関名： 社会医療法人愛仁会 高槻病院 泌尿器科

責任者名： 西田 剛

実習内容：

## 科目の概要

泌尿器科診療の実際を知る。

## 科目のゴール

泌尿器科疾患の特性を学ぶ。

高齢患者様の対応を学ぶ。

## 具体的内容

外来（診察、検査）

病棟（手術、etc）

評価： 共通評価表

受入定員： 1クール1名（2週間単位、受入可能期間は別紙一覧の通り）

注意事項： 当院は一般病院のため、患者に接する時は十分な配慮と節度をもって行うこと。  
白衣（ケーシー型）着用。但し、白衣の下は柄物Tシャツ・ジーンズの着用は不可。  
履物は運動靴が好ましい。サンダル禁止。  
派手な化粧、無精髭は禁止。  
院内禁煙。帰宅、外出は直接指導医に告げること。

予習項目： 検尿、尿沈渣について学ぶ

復習項目： 検尿、尿沈渣について学ぶ

初日の集合場所、時間： リハビリテーション病院 3F ローソン前 8:20集合  
月曜日が休日の場合は火曜日、同上

交通手段： JR 高槻駅徒歩10分、阪急高槻市駅徒歩12分  
※自家用車および自転車での通勤不可

宿泊施設： なし

オフィスアワー担当者：

オフィスアワー日時：

# 臨床実習プログラム

教育機関名： 社会医療法人愛仁会 高槻病院 形成外科

責任者名： 黒川 憲史

実習内容：

## 科目の概要

急性期病院での形成外科対象疾患を理解して形成外科の役割や手技について理解する。

## 科目のゴール

形成外科の診察を見学し、医療面接・診察法・処置・手術手技・治療方針の決定などを理解する。

## 具体的内容

- ・形成外科外来診療の見学
- ・形成外科病棟処置の見学および介助
- ・形成外科手術の見学および介助

評価： 共通評価表

受入定員： 1クール1名

注意事項： 当院は一般病院のため、患者に接する時は十分な配慮と節度をもって行うこと。  
白衣（ケーシー型）着用。ただし、白衣の下は柄物Tシャツ・ジーンズの着用は不可。  
履物は運動靴が好ましい。サンダル禁止。  
派手な化粧、無精髭は禁止。  
院内禁煙。帰宅、外出は直接指導医に告げること。  
昼食持参のこと。

予習項目： 糸結び、機械縫合について学習しておくこと

復習項目： 見学した症例について学んだことをまとめること

初日の集合場所、時間： リハビリテーション病院 3階 ローソン前 8:20集合  
月曜日が休日の場合は火曜日、同上

交通手段： JR高槻駅徒歩10分、阪急高槻市駅徒歩12分  
※自家用車および自転車での通勤不可

宿泊施設： なし

オフィスアワー担当者：

連絡先：

オフィスアワー日時：

# 臨床実習プログラム

教育機関名： 医療法人医仁会 武田総合病院 心臓血管外科

責任者名： 三重野 繁敏

実習内容：

## 科目の概要

心臓血管外科領域の基本知識を習得するとともに市中病院における臨床現場の実態を学ぶ。

## 科目のゴール

臨床例を指導医とともに診察し、検査結果を評価して周術期管理を学ぶ。

1. 各種検査の診断、実習または介助を行う。

胸部CT、レントゲン、心臓、血管超音波検査

2. 外科的処置を指導医とともに行う。

創傷処置（消毒、皮膚縫合、抜糸）、心臓血管外科手術

## 具体的内容

一名の指導医と外来診療、病棟処置、検査、手術の実行、介助を行う。

希望により他科での見学、実習も可能。

評価： 共通評価表

受入定員： 1クール1名（4週間単位。詳細は別紙一覧の通り）

注意事項： 聴診器、白衣を携帯して下さい。  
周囲に不快感を与えない服装。ロッカーの準備あり。

予習項目： 成人心臓血管外科について参考書、テキストで勉強しておくこと。

復習項目： 実習中に質問された事などを調べること。  
実習で経験した症例についてまとめること。

初日の集合場所、時間： 午前9時に当院医局（2F）に集合  
月曜日が休日の場合は火曜日とします。

交通手段： 別紙地図参照

宿泊施設： なし

オフィスアワー担当者： 医局秘書  
連絡先：内線 6298 or 6313

オフィスアワー日時： 月曜－金曜 10:00－15:00

# 臨床実習プログラム

教育機関名： 医療法人医仁会 武田総合病院 脳神経外科

責任者名： 川西 昌浩

実習内容：

## 科目の概要

脳神経外科の実際の臨床現場に参加し、神経外科領域の診療の理解を深める。

## 科目のゴール

神経外科の手術治療の参加、術後管理、救急医療初期対応、判断力の養成

## 具体的内容

主な治療対象疾患は、脳腫瘍、脊髄腫瘍、くも膜下出血、未破裂脳動脈瘤、脳動静脈奇形、脳内出血、脳梗塞等の脳血管障害、急性硬膜外・下血腫、脳挫傷、慢性硬膜下血腫等の頭部外傷、脊髄損傷、頸椎症、頸椎椎間板ヘルニア、腰部脊柱管狭窄症、腰椎すべり症、圧迫骨折、腰椎椎間板ヘルニアなどの脊椎疾患、手根管症候群、肘部管症候群などの末梢神経疾患、顔面けいれん、三叉神経痛などの機能的疾患、など神経外科全般にわたり、これらの手術に参加し、術後管理につとめる。救急隊の要請はもとより、近隣の開業の先生方との“病診連携”により、くも膜下出血、脳出血、脳梗塞、頭部脊椎外傷など緊急を要する依頼に対し、24時間脳外科医が対応可能な体制を採っており、救急医療にも参加する。

評価： 共通評価表

受入定員： 1クール1名

注意事項：

予習項目： 上記、実習内容：具体的内容に列挙した疾患につき、教科書的内容を勉強しておく。

復習項目： カンファレンス（月、火、金）で取り上げられた疾患、手術日（月、火、木）でみた疾患につき復習しておく。

初日の集合場所、時間： 朝8時に医局  
月曜日が休日の場合は火曜日朝8時に医局

交通手段： 京都市地下鉄 東西線 石田駅下車 徒歩2分（高槻よりはJR新快速にて山科駅下車、京都市営地下鉄東西線乗り換え 六地藏方面行き乗車 が便利、高槻からの所要時間20分+10分）

宿泊施設： しらさぎ寮

オフィスアワー担当者： 川西 昌浩  
連絡先：6566

オフィスアワー日時： 月、火、金 8:00－9:00 医局

# 臨床実習プログラム

教育機関名： 医療法人財団康生会 武田病院 麻酔科

責任者名： 原 直樹、伊藤 雅之

実習内容：

科目の概要

麻酔科診療の体験。

科目のゴール

①気道確保・循環管理・外科的侵襲に対する生体反応の制御を体験する。

②薬理学的・麻酔科学知識の整理を行う。

具体的内容

手術室での麻酔科業務を体験する。

評価： 共通評価表

受入定員： 1クール1名（受入可能期間は別紙一覧の通り）

注意事項： 清潔な身だしなみ、適切な言葉づかい。

指示に従わない場合や社会通念から著しく逸脱した場合には退席させる。

電話等の取り継ぎは行わない。教育センターとの連絡方法を確立させてから来院して下さい。

予習項目： 吸入麻酔薬の特性および気道確保の手技

復習項目： 担当した症例を総括する。

初日の集合場所、時間： 本館2階手術室に9時30分。

月曜日が休日の場合は火曜日、同上

交通手段： 別紙地図参照

宿泊施設： なし

オフィスアワー担当者： 原 直樹

連絡先：2546

オフィスアワー日時： 毎週金曜日 14:00-15:00 医局

# 臨床実習プログラム

教育機関名： 社会医療法人きつこう会 多根総合病院 脳神経外科

責任者名： 小川 竜介

実習内容：

## 科目の概要

急性期および回復期の神経疾患診療の実際を指導医の下で体験し、神経疾患の病態生理について理解を深める。

## 科目のゴール

地域における中核病院の脳神経外科医療チームに一員として参加し、脳卒中、頭部外傷、脳腫瘍、脊椎・脊髄の急性期診療を学ぶ。また、急性期から回復期（リハビリテーションまたは外来通院）に移行する過程を通して神経疾患の機能予後についても学習する。これらにより患者さんの社会的背景を考慮した医療を体験する。

## 具体的内容

- 1) 下記の脳神経外科の日常業務に4週間携わる。

症例検討会	週5日（月～金）
脳卒中カンファレンス（神経内科と合同）	週1日（木）
病棟、ICU、脳卒中センター（SCU）回診	週5日（月～金）
回復期リハビリテーション病院回診	週1日（金）
一般外来	週1日（水）
手術	週3日（火、木、金）
脳血管撮影	週3日（月、水、金）
（そのうち月曜日は血管内手術）	

- 2) 患者さんを指導医と共に担当し、神経学的検査、放射線検査、診断、治療に参加する。
- 3) 救急外来にて、脳神経疾患の救急に対する迅速な対応処置を習得する。

評価： 臨床実習共通評価表に基づいた総合評価を指導責任者が行う。

受入定員： 1クール1名

注意事項： 臨床実習中の服装はネクタイ着用（ケーシータイプ可）。

予習項目： 当院で学びたいことを重点的に勉強しておくこと。

復習項目： 実習で扱った症例や学んだことを、週ごとにまとめること。

初日の集合場所、時間： 多根総合病院 医局 午前8時  
（月曜日が休日の場合は火曜日同上）

交通手段： 別紙地図参照

宿泊施設：



オフィスアワー担当者： 上野 梢  
連絡先：06-6581-1071

オフィスアワー日時： 平日 9:00～17:00 総合医局

# 臨床実習プログラム

**教育機関名：** 社会医療法人近森会 近森病院 形成外科

**責任者名：** 杉田 直哉

**実習内容：**

## 科目の概要

形成外科の対象疾患を理解し、急性期地域医療の中核病院における形成外科の役割や取り組みを理解する。

## 科目のゴール

- ①医療面接・診察法・外来処置・治療方針の決定など一般的形成外科診療を体験・見学する。
- ②入院患者様を主治医とともに担当し、術前・術後の周術期の管理の実際を体験・見学する。
- ③形成外科手術手技や手術に対する考え方を手術見学・介助を通して理解する。
- ④一般外科外来救急外来などにおける形成外科の役割を理解する。

## 具体的内容

- ①形成外科の外来診療を見学する。
- ②形成外科の病棟回診を見学する。
- ③形成外科担当医とともに手術見学および手術介助を行う。
- ④救急外来における形成外科診療などを見学する（特に新鮮外傷）。
- ⑤希望に応じて外科系当直を体験する。

**評価：** 共通評価表

**受入定員：** 1クール1名（受入可能期間は別紙一覧の通り）

**注意事項：** 当院については近森病院ホームページ（<https://www.chikamori.com/>）を参照の事。本学の形成外科ホームページよりもリンクしている。

臨床実習が決定したら交通手段・宿泊の相談を受け付ける。

**予習項目：** ①糸結びなど基本的な外科手技の確認  
②手洗い、清潔操作の確認  
③形成外科図書（外来棟8F外科系医局）を参照

**復習項目：** 実習で扱った症例報告、まとめ

**初日の集合場所、時間：** 臨床実習が決定したら、随時、担当者（総務部 谷／メールアドレス ttani@chikamori.com）に連絡し調整する。

**交通手段：** 別紙地図参照  
大阪⇄高知間の一往復分のみ病院規定額の交通費を支給。

**宿泊施設：** 当院には宿泊施設がないため、希望があれば近隣ホテルを紹介する。  
宿泊費用は自己負担となる。（近隣の紹介ホテルの場合4,000円／日程度）  
但し、女子医学生の方で、空きがある場合に限り女性専用寮を利用可能。

オフィスアワー担当者： 杉田 直哉  
連絡先：PHS 6056

オフィスアワー日時： 毎週（月）16:00～17:00（カンファレンス回診後）  
外来センター 8 F 外科系医局

# 臨床実習プログラム

教育機関名： 社会医療法人近森会 近森リハビリテーション病院 リハビリテーション科

責任者名： 和田 恵美子、中山 衣代

実習内容：

## 科目の概要

リハビリテーションにおけるチームアプローチを通して、回復期リハビリテーション病棟における医師の役割、意義を理解する。

## 科目のゴール

- ①回復期リハビリテーション病棟における診察・訓練を体験・見学する。
- ②維持期リハビリテーション・訪問リハビリテーション・家庭訪問等を見学する。
- ③見学・ミニレクチャーを通じ各職種の専門性を理解する。
- ④障害の構造図を理解する。

## 具体的内容

- ・理学療法士による装具・歩容・姿勢等のミニレクチャー
  - ・管理栄養士による栄養・食事のミニレクチャー
  - ・ソーシャルワーカーによる保険・サービス・介護保険・身体障害者手帳等のミニレクチャー
  - ・臨床心理士による各種心理試験の説明や、実際の体験
  - ・気管カニューレの種類や交換、離脱についてのレクチャーと交換の実習
  - ・VE 嚥下内視鏡検査をスタッフで実習
  - ・VF 嚥下造影を見学、実習
  - ・チューブ実習 経管栄養を体験
  - ・嚥下食体験 患者さんに提供されている嚥下食を体験
  - ・嚥下評価 急性期（本院）からの依頼でベッドサイド診察
  - ・訓練見学
    - 理学療法士：歩行分析や川平法などの促通療法など様々な理学療法を学ぶ
    - 作業療法士：作業療法の実際や、日常生活動作訓練の様子などを見学
    - 言語聴覚士：嚥下訓練、口腔内評価、失語症・顔面麻痺のリハなどを見学
    - 歯科衛生士：口腔内の観察や、評価法などを学ぶ
  - ・家庭訪問 退院後帰宅される患者さんのご自宅に訪問し、段差・風呂・トイレ等のチェックや改修提案などを行うために実際に家屋を見学
  - ・訪問リハ 訪問リハに同行し、自宅での生活風景や訪問リハの実際を見学
  - ・障害者支援施設（リハビリテーションセンター） 市内にある左記施設を見学
- ※上記内容は不定期のため、流動的に行っていきます

評価： 共通評価表

受入定員： 1クール1名

注意事項： 当院については近森病院ホームページ（<https://www.chikamori.com>）を参照ください。  
臨床実習決定後に交通手段・宿泊相談を受け付けます。

予習項目： 特になし

復習項目： 特になし

初日の集合場所、時間： 臨床実習決定後、担当者（谷：t.tani@chikamori.com）まで連絡ください。

交通手段： 別紙地図参照 大阪⇄高知間の一往復分のみ病院規定額の交通費を支給。

宿泊施設： 当院には宿泊施設がないため、希望があれば近隣ホテルを紹介する。  
宿泊費用は自己負担となる。（近隣の紹介ホテルの場合4,000円 / 日程度）  
但し、女子医学生の方で、空きがある場合に限り女性専用寮を利用可能。

オフィスアワー担当者： 学生毎に担当者が変わります。  
連絡先：

オフィスアワー日時： 平日 8:30～17:30

# 臨床実習プログラム

教育機関名： 医療法人歓喜会 辻外科リハビリテーション病院 リハビリテーション科

責任者名： 中土 保（なかつち たもつ）

実習内容：

## 科目の概要

臨床の場でリハビリテーション医療を理解する。

## 科目のゴール

リハビリテーションとは単なる機能回復訓練ではなく、もう一度能力を回復して人間らしい社会生活に復帰するための課程である。そのためには身体の問題だけではなく、心理的、職業的、経済的、社会的にも配慮する必要がある。また、リハビリテーション医療では、多職種によるチーム医療が必要である。このチーム医療をすすめる上で、医師はリーダーとしての役割を果たさねばならず、その位置付けについても学習する。

## 具体的内容

- 1) 辻外科リハビリテーション病院は主に回復期リハビリテーションを担当しており、近隣の急性期病院から紹介をうけた脳血管疾患、整形外科疾患患者の社会復帰をめざした回復期リハビリテーション医療を理解する。
- 2) 脳血管疾患患者等に必要な装具、下肢切断患者に必要な義足等の処方を理解する。
- 3) 併設する老人保健施設や有料老人ホームでの見学実習を行い、高齢者の維持期リハビリテーションを理解する。

評価： 共通評価表

受入定員： 1名（受入可能期間は別紙一覧の通り）

注意事項： 白衣持参

予習項目： 参考書（リハビリテーション医学・医療コアテキスト 医学書院）を参照し、リハビリテーションに関する基礎的知識を得ておくこと

復習項目： 実習で得た知識や担当した症例について学んだことをまとめること

初日の集合場所、時間： 辻外科リハビリテーション病院医局に13時00分集合  
（月曜日が休日の場合は火曜日 8時45分に同上）

交通手段： 別紙地図参照

宿泊施設： なし

オフィスアワー担当者： 中土 保

連絡先： 辻外科リハビリテーション病院 医局

オフィスアワー日時： 平日 9:00～17:00

# 臨床実習プログラム

**教育機関名：** 社会医療法人信愛会 暇生会脳神経外科病院 脳神経外科

**責任者名：** 池永 透

**実習内容：**

## 科目の概要

急性期および回復期の脳卒中診療の実践と脳腫瘍を含めその他神経疾患の病態と局所解剖について理解を深める。

## 科目のゴール

脳神経外科医・脳血管内治療医・リハビリ医で構成されるチーム医療の中で、診断・治療を迅速に進めていく方法を学ぶ。脳・脊髄（一般放射線・CT・MRI・血管撮影）方法と読影、指導医をともなった画像診断に関わる訓練を行う。治療面では多岐に渡るのだが、脳神経外科病棟・SCU・手術室の回診を通じて脳神経疾患に対する留意点を習得し治療方法（脳手術・脳血管内治療・薬剤治療）の選択をカンファランスを通じて学習する。

脳神経外科を学ぶ、あるいは専門とする臨床医にとって中枢神経の解剖、すなわち脳の局所解剖学は、病巣の診断および治療のため必要不可欠である。

神経系の解剖学は複雑で、記憶するのが困難である。また昨今、中枢神経の画像診断の進歩、脳神経における手術用顕微鏡下手術および血管内手術の普及などにより、従来の巨視的な肉眼解剖と異なり、より詳細な解剖学的知識、特に、微細な局所解剖が臨床の現場で必要となってきた。

これらを前もって研修・実施・訓練することが必要だと思われる。

## 具体的内容

- 1) 生命徴候の確認とケースバイケース必要に応じた蘇生処置を習得する。
- 2) 手術における各種開頭方法及びそれに伴う局所解剖の知識を学習する。
- 3) 術前のCTとMRI及び脳血管撮影の所見を読影しカンファランスに参加する。
- 4) 開頭手術及び脳血管内手術を見学または実際に手洗いをし参加する。
- 5) SCUにおいて術後における意識レベルの判定を行い、予後を予測する能力を訓練する。
- 6) ドライスケルを利用した局所解剖学を経験し、実際の手術のDVDを使って手術方法と解剖の関係を実習する。

**評価：** 経験症例および上述の具体的内容の達成度についてのレポート提出。

**受入定員：** 1クール2名

**注意事項：** 白衣貸与

**予習項目：** 脳卒中について、勉強しておくこと。

**復習項目：** 脳腫瘍について学んだことをまとめること。

**初日の集合場所、時間：** 信愛会 暇生会脳神経外科病院 6階 脳神経外科 医局に午前8時45分  
月曜日が休日の場合は火曜日、信愛会 暇生会脳神経外科病院 6階 脳神経外科  
医局に午前8時45分

**交通手段：** 別紙地図参照 JR 学研都市線忍ヶ丘駅より西へ徒歩7分

宿泊施設： なし

オフィスアワー担当者： 池永 透  
連絡先：内線 703

オフィスアワー日時： 毎週木曜日 14:00～16:00  
脳神経外科医局



# 臨床実習プログラム

教育機関名： 社会医療法人彩樹 豊中敬仁会病院 消化器外科

責任者名： 奥田 準二

実習内容：

## 科目の概要

実際の医療現場に参加し、外科診療に必要な知識、基礎技能や診療態度を身につける

## 科目のゴール

- 1) 外科・内科双方の立場から、一般消化器外科の診断と治療、並びにアフターケアを一貫して学ぶ
- 2) 患者及びその家族、更には医療スタッフとのコミュニケーションを通じて現場医療の実際を学ぶ
- 3) 地域医療の担う病院の性格を理解する

## 具体的内容

積極的に手術や内視鏡検査などに参加し、外科の臨床の現場を経験する

評価： 共通評価表

受入定員： 1クール1名

注意事項： 当院は一般病院であるため、身だしなみ・言動には十分に留意する必要がある

予習項目： 糸結び、縫合、清潔操作について勉強しておくこと

復習項目：

初日の集合場所、時間： 病院5階院長補佐室、午前8時30分

交通手段： 別紙地図参照

宿泊施設： なし

オフィスアワー担当者： 奥田 準二

連絡先：06-6853-1700 PHS 714

オフィスアワー日時： 月・水・木・金曜日 9:00～17:00

# 臨床実習プログラム

教育機関名： 社会医療法人甲友会 西宮協立脳神経外科病院 脳神経外科

責任者名： 辻 雅夫

実習内容：

## 科目の概要

急性期および回復期の神経疾患診療の実際を指導医の下で体験し、神経疾患の生理について理解を深める。

## 科目のゴール

地域における中核病院の脳神経外科医療チームに一員として参加し、脳卒中、頭部外傷、脳腫瘍、脊椎・脊髄疾患の急性期治療を学ぶ。また、急性期から回復期（リハビリテーションまたは外来通院）に移行する過程を通じて神経疾患の機能予後について学ぶ。これらにより患者さんの社会的背景を考慮した地域医療を体験する。

## 具体的内容

- 1) 下記の脳神経外科の日常業務に4週間携わる  
全体症例検討会：毎週水曜日  
脳外科術前カンファレンス：毎週木曜日  
神経内科合同カンファレンス：毎週金曜日  
リハビリカンファレンス：毎週火曜日  
SCU および脳外科病棟回診：毎日  
脳神経外科外来：毎週月曜日、木曜日  
救急外来：毎日（脳外科救急依頼時のみ対応）  
手術：随時  
関連回復期リハビリテーション病院回診：応相談
- 2) 患者さんを指導医と共に担当し、神経学的検査、放射線検査、診断、治療に参加する。
- 3) 救急外来にて脳神経外科疾患の救急に対する迅速な対応、処置を習得する。

評価： 臨床実習共通評価表に基づいた総合評価を指導責任者が行う。

受入定員： 1クール1名

注意事項： 当院採用の制服を着用

予習項目： 神経学的検査法  
CT/MRI 画像診断

復習項目： 当日経験した症例について

初日の集合場所、時間： 8時15分に1階受付に集合（担当 医局秘書 榎本 久美子）  
初日が祝日の場合は翌日にスライド

交通手段： 別紙地図参照

宿泊施設： なし

オフィスアワー担当者： 山田 佳孝（医局秘書：榎本 久美子）  
連絡先：

オフィスアワー日時： 8 時30分～17時00分

# 臨床実習プログラム

教育機関名： 公益財団法人日本生命済生会 日本生命病院 循環器内科・中央臨床検査

責任者名： 岡部 太一

実習内容：

科目の概要

上記診療科の基本的診療事項の習得

科目のゴール

心不全、虚血性心疾患、不整脈、高血圧症、脂質異常症の診察・検査及び治療の習得

具体的内容

外来入院診療、胸部レントゲン読影、心電図診断、トレッドミル検査、心エコー（経胸壁、経食道）検査の読影、心カテーテル検査、PCI、心臓リハビリテーション、心肺運動負荷試験（CPX）の見学

評価： 共通評価表

受入定員： 1クール（4週間単位）1名

注意事項：

予習項目： これまで大学の講義等で学んだことを再度整理しておく

復習項目： 実習で扱った症例について学んだことをまとめる

初日の集合場所、時間： 初日 医局に8:30 岡部のところに集合

交通手段： 別紙地図参照

宿泊施設： なし

オフィスアワー担当者： 岡部 太一

連絡先：7007

オフィスアワー日時： 毎週月曜日 8:30～ 総合医局

# 臨床実習プログラム

教育機関名： 医療法人長尾会 ねや川サナトリウム 精神科

責任者名： 理事長・院長 長尾 喜一郎

実習内容：

## 科目の概要

地域医療を行う精神科病院における診断や治療がどのように行われているかを知り、メンタルヘルスの考え方を理解する。

## 科目のゴール

外来・病棟実習で精神科専門療法、精神疾患の症候、精神科専門病院の現状、精神科救急、精神科デイケアについて体験、理解する。

## 具体的内容

### ①週間スケジュール

月曜：外来（再診）、病棟診察、回診。

火曜：医局会（隔週）、外来（再診）、回診、デイケア、カンファレンス。

水曜：病棟診察、外来（初診）、回診。

木曜：外来（再診）、回診。

金曜：外来（再診）、病棟診察、回診。

その他：保健所での健康相談業務、警察署での措置診察、訪問診療への同行、見学など。

### ②経験できる疾患

統合失調症、大うつ病性障害、双極性障害、各種の不安障害、適応障害、アルツハイマー型認知症についてはほぼ常時可能である。

解離性障害、知的障害、自閉スペクトラム症等、上記以外の様々な疾患の体験も概ね可能であるがすべて常時経験できるわけではない。

### ③経験できる手技

入院・通院精神療法、精神科薬物療法、精神科デイケア、精神科作業療法、改良型電気痙攣療法など。

評価： 共通評価表

受入定員： 1クール1名

注意事項： 毎朝8時50分 全体朝礼に出席のこと。

予習項目： 標準的な教科書を参照し、勉強しておくこと

復習項目： 実習で扱った症例について学んだことをまとめる

初日の集合場所、時間： 8時30分に1階受付で実習生である旨伝えて下さい。

交通手段： 別紙地図参照

ねや川サナトリウムホームページ「交通アクセス」を参照して下さい。

宿泊施設： なし

オフィスアワー担当者： 松本 均彦  
連絡先：内線 551

オフィスアワー日時： 水曜日・金曜日 16:00～16:30 医局内

# 臨床実習プログラム

教育機関名： 医療法人錦秀会 阪和記念病院 消化器内科

責任者名： 矢田 豊

実習内容：

## 科目の概要

適切な診断・治療を行うために消化器系臓器の解剖、病理等の基本的知識を疾患の症候、診断、治療に結びつけて、消化器病学の基本的知識を習得する。

## 科目のゴール

消化器疾患の概念、疫学、病因、症状、所見等やその病態や生理機能の説明ができること。また症状、所見から疾患の鑑別診断や臨床検査の進め方を判断できること。さらに、画像の読影、診断や治療方針、予後を説明できること。

## 具体的内容

- 1) 診療の見学（内視鏡検査及び治療、胆道処置、血管造影等）やカンファレンスへの参加を通じて、医療の現場を直接体験させる。また、可能であれば吐血など緊急を要する内視鏡下止血処置や閉塞性黄疸例のドレナージ処置等の実際や症例供覧を行いたい。
- 2) 入院患者を受け持ち、指導医の下で実際の診療を学ぶ。

評価： 共通評価表

受入定員： 1 クール 2 名

注意事項： 特になし

予習項目： 特になし

復習項目： 特になし

初日の集合場所、時間： 阪和記念病院 総合受付 午前 9 時00分

交通手段： 別紙地図参照

ホームページ参照 <https://kinshukai.or.jp/hanwakinen/access>

宿泊施設： 有（マンション聖和）

オフィスアワー担当者： 矢田 豊（内線 6103）

人事労務課 進藤 國男（内線 6906）

オフィスアワー日時： 平日 9:00～17:00

# 臨床実習プログラム

教育機関名： 医療法人橘会 東住吉森本病院 脳神経外科

責任者名： 磯野 直史

実習内容：

## 科目の概要

急性期神経疾患を救急外来から体験し、神経疾患のプライマリケアから急性期治療について学ぶ。またスタッフとして最低限必要な医師としてのマナーを学び医療チームの一員として今後活躍する素養を身につける。

## 科目のゴール

地域医療支援病院の脳神経外科チームに一員として参加し、急性期脳血管障害、頭部外傷、脳腫瘍、脊椎脊髄疾患、感染性疾患を通じて基本的診察、臨床検査、基本的手技、などを学ぶ。またチーム医療の形成・運営についても学び、疾患だけではなく患者の社会的背景を考慮した医療を学ぶ。

## 具体的内容

日常の病棟・外来（救急外来）およびカンファレンスを通じて学ぶ。

評価： 共通評価表

受入定員： 1クール1名（受入可能期間は別紙一覧の通り）

注意事項： 特になし

予習項目： 神経解剖の予習が望ましい

復習項目： 実習で経験した症例をまとめること

初日の集合場所、時間： 東住吉森本病院 第一医局に午前8時40分（月曜日が休日の場合は火曜日）

交通手段： 別紙地図参照

宿泊施設： なし

オフィスアワー担当者： 磯野 直史  
連絡先：内線 954

オフィスアワー日時： 随時対応



# 臨床実習プログラム

教育機関名： 医療法人愛心会 東宝塚さとう病院 循環器内科

責任者名： 大辻 悟

実習内容：

## 科目の概要

- 1) 循環器疾患の診断治療
- 2) 冠動脈疾患、心不全、不整脈疾患の診断治療

## 科目のゴール

- 1) 循環器患者の一般的な病歴聴取と診察
- 2) 循環器救急患者の治療の見学

## 具体的内容

- 1) 循環器検査（心電図、心エコー、心臓カテーテル検査、心臓電気生理学検査）の見学
- 2) 循環器救急患者の診断治療の見学
- 3) 冠動脈、末梢動脈治療（バルーン、ステント、アテレクトミー等）の見学
- 4) 不整脈治療（人工ペースメーカー、カテーテルアブレーション）の見学
- 5) 経皮的カテーテル大動脈弁植え込み術（見学）
- 6) 心臓・血管外科治療（見学）

評価： 共通評価表

受入定員： 1クール1名

注意事項： 特になし

予習項目： 心臓の解剖生理、基本的心電図

復習項目： 実際の症例での復習（バリエーションも含めて）

初日の集合場所、時間： 午前9時に医局前（2F）  
月曜日が休日の場合は火曜日、同上

交通手段： ホームページ参照 <http://www.hts-hsp.com>

宿泊施設： なし

オフィスアワー担当者： 小林  
連絡先：内線 240

オフィスアワー日時： 9:00～17:00 医局

# 臨床実習プログラム

教育機関名： 兵庫県災害医療センター 救急部

責任者名： 石原 諭、松山 重成

実習内容：

## 科目の概要

病院前救護から院内初期診療・手術等の決定的治療・集中治療管理に至るまでの一貫した治療方針の元でのチーム医療を学ぶ。

## 科目のゴール

当センターの特長である、ドクターカー活動、ハイブリッド ER (CT、Angio、蘇生的手術が可能な外来初療室) での外傷初療や ECPR (VA ECMO を活用した心肺蘇生と引き続く coronary intervention)、更に TTM (Target Temperature Management 体温管理療法) 等の神経集中治療を経験し、時間と情報の制約がある中で、チームとして行う decision making の重要性を理解する。更に病院前救急の延長として、有事における災害医療の概要を学習する。

## 具体的内容

- 1) 救急隊と連携したドクターカー活動を通じたプレホスピタル・ケアの理解
- 2) バイタルサインを重視した ER 初期治療。特に JATEC や ACLS 診療理論の理解
- 3) ハイブリッド ER での外傷を中心とした初期診療や ECPR の経験
- 4) 各診療科と連携した決定的治療への参加と救急医が果たす役割の理解
- 5) TTM 等、急性期集中治療管理の経験と診療内容の理解
- 6) 患者、家族に対して医療者が行うインフォームドコンセント形成の経験
- 7) 上記の学習を目的に、毎朝行われる症例カンファレンスと回診、更にドクターカーカンファ・M & M など各種定例カンファレンスに参加する
- 8) 院内に設置されている兵庫県災害・救急医療情報指令センターの見学や基幹災害拠点病院、DMAT の役割等を学習

評価： 共通評価表

受入定員： 1 クール 1 名 (2 週間単位)

注意事項： 個人情報の守秘義務、感染対策の徹底

予習項目： JRC 蘇生ガイドライン 2020、JATEC ガイドライン等

復習項目： 経験症例について検討

初日の集合場所、時間： 1 階玄関入口受付で健康チェック表を記載し、入館許可証をもらう。医局秘書の案内で職員と同じユニフォームに着替え、毎朝午前 8 時 30 分から研修室 1 で開始される定例カンファレンスに参加する。  
月曜日が休日の場合は火曜日、同上

交通手段： 別紙地図参照 詳細は以下の HP にも掲示  
<https://www.hemc.jp/access/index.html>

宿泊施設： 有（救命センター内当直室。ただしベッド数に制限があるので要確認）

オフィスアワー担当者： 松山 重成

連絡先：病院代表電話 078-241-3131

オフィスアワー日時： 月～金 8:30～17:00

# 臨床実習プログラム

教育機関名： 医療法人恒尚会 兵田病院 ペインクリニック

責任者名： 兵田 暁

実習内容：

## 科目の概要

病院及び関連施設での臨床実習（ペインクリニック）

外来診療・訪問診療・入院診療など

兵田病院（大阪狭山市） 老人保健施設クローバー悠苑（堺市：病院から徒歩3分）

兵田堺東クリニック（堺市堺区） 兵田クリニック（大阪市北区）

## 科目のゴール

①ペインクリニックに関する知識を身につける。

（各種神経ブロック、薬物療法、リハビリテーションなど）

②痛みに対する理解を深める。

## 具体的内容

外来診療（訪問診療含む）・入院診療の見学、問診や診察

診療業務の補助 など

評価： 共通評価表

受入定員： 1クール1名

注意事項： 清潔な服装、身だしなみ

予習項目： ペインクリニック診療で扱う疾患や実施する治療について

復習項目： 実習で経験した症例について学ぶ。

初日の集合場所、時間： 病院の外来へ8時45分に集合

交通手段： 別紙地図参照

ホームページ参照 <https://ko-syo-kai.or.jp>

南海高野線北野田駅より当院送迎バスあり（時間は病院へ問い合わせください）

宿泊施設： なし

オフィスアワー担当者： 兵田 暁

連絡先：072-366-2345

オフィスアワー日時： 12時～14時

# 臨床実習プログラム

教育機関名： 医療法人幸生会 琵琶湖中央リハビリテーション病院 リハビリテーション科

責任者名： 加藤 洋

実習内容：

## 科目の概要

地域における一般病院において急性期から回復期、維持期におけるリハビリテーション医療を実際に体験し、リハビリテーションの意義を理解する。

## 科目のゴール

- ・リハビリテーション医が一般病院においていかなる役割を持つかを理解する。
- ・脳血管障害、骨関節疾患などに起因する各種障害や廃用症候群に対して適切なリハビリテーション処方を実施できる。
- ・理学療法士や作業療法士などリハビリテーション各専門職種の役割を説明できる。
- ・各専門職種、看護師とのチーム医療の実際を理解し、指導できる。
- ・病連携や病診連携など地域ネットワークの重要性について理解し説明できる。

## 具体的内容

大津市地域の一般病院にて脳血管疾患、骨関節疾患、廃用症候群などに対する慢性期、維持期のリハビリテーション医療の実際を体験する。

医師として必要なリハビリテーション技能（障害の診断・評価、機能予後予測、目標設定、訓練処方など）を習得する。

運動麻痺・感覚障害、関節拘縮、構音・嚥下障害、失語・失認などの高次脳機能障害などに対するリハビリテーション（理学療法、作業療法、摂食嚥下療法、言語療法など）を研修する。

院内にある通所リハビリテーションにおいて介護保険利用による維持期リハビリテーションの実際を体験する。

評価： 共通評価表

受入定員： 1クール1名（受入可能期間は別紙一覧の通り）

注意事項： 白衣、聴診器持参

予習項目： 大阪医科薬科大学臨床テキストブック  
第4学年時 臨床実習（PBL）における講義内容を確認しておくこと

復習項目： 実習で扱った症例について学んだことをまとめること

初日の集合場所、時間： 病院玄関総合受付前 午前9時00分

交通手段： 別紙地図参照

宿泊施設： なし

オフィスアワー担当者： 加藤 洋  
連絡先：PHS 530

オフィスアワー日時： 実習最終日（金曜日）13:00～14:00  
場所：医局

# 臨床実習プログラム

教育機関名： 医療法人祥佑会 藤田胃腸科病院 胃腸内科・内視鏡内科・内科・消化器内科

責任者名： 本郷 仁志

実習内容：

## 科目の概要

内科、特に消化器内科医として日常診療に必要な基本知識、診療能力などの習得をめざす。

## 科目のゴール

- ①外来・病棟実習を通じて、患者接遇や診療行為に参加し、習得をめざす。
- ②他職種とのカンファレンスを通じてチーム医療に関する理解を深める。

## 具体的内容

当院では、内科及び消化器内科、内視鏡内科及び外科専門医が常勤。院長及びスタッフ、常勤医が外来・病棟・検査の指導に当たる。

評価： 共通評価表

受入定員： 1クール1名

注意事項： 特になし

予習項目： （可能なら）機能性ディスぺプシア、便秘、IBD ガイドラインの確認

復習項目： 実習であたった症例について学んだことをまとめる。

初日の集合場所、時間： 医局に AM8:30（火曜日が初日の場合 AM8:10）

交通手段： 別紙地図参照

宿泊施設： なし

オフィスアワー担当者： 本郷 仁志  
連絡先：内線 701

オフィスアワー日時： 月－水 13:30－14:00 金 16:00－17:00

# 臨床実習プログラム

教育機関名： 社会医療法人仙養会 北摂総合病院 消化器内科

責任者名： 佐野村 誠

実習内容：

## 科目の概要

適切な診断・治療を行えるために、消化器系臓器の解剖、病理等の基本的知識を疾患の症候、診断、治療に結びつけて、消化器病学の基本的知識を習得する。

## 科目のゴール

消化器疾患の概念、疫学、病因、症状、所見等やその病態や生理機能の説明ができること。また、症状、所見から疾患の鑑別診断や臨床検査の進め方を判断できること。さらに、画像の読影、診断や治療方針、予後を説明できること。

## 具体的内容

- 1) 診療の見学（内視鏡検査および治療、胆道処置、血管造影など）やカンファレンスへの参加を通じ、医療の現場を直接体験させる。また、可能であれば吐下血など緊急を要する内視鏡下止血処置や閉塞性黄疸例のドレナージ処置などの実際や症例供覧を行いたい。
- 2) 入院患者を受け持ち、指導医の下で実際の診療を学んでもらう。

評価： 共通評価表

受入定員： 1クール2名

注意事項：

予習項目： 各自、消化器について勉強しておくこと

復習項目： 各自、受け持ち症例について復習すること

初日の集合場所、時間： 午前8時45分 3階来客受付  
月曜日が休日の場合は火曜日、午前7時30分 3階 院長室

交通手段： 別紙地図参照

宿泊施設： なし

オフィスアワー担当者： 佐野村 誠  
連絡先：内線 3008

オフィスアワー日時： 毎週月曜日 8:20～9:00 3階 図書室

# 臨床実習プログラム

教育機関名： 社会医療法人仙養会 北摂総合病院 一般消化器外科

責任者名： 豊田 昌夫

実習内容：

## 科目の概要

実際の医療現場で必要な知識・技能・態度の基本を身につける。

## 科目のゴール

- 1) 一般外科疾患及び消化器疾患の診断と治療を一貫して学ぶ。
- 2) 患者及びその家族とのコミュニケーション、さらに医療スタッフとのコミュニケーションを通じて実際の医療を学ぶ。
- 3) 地域医療を担う病院の役割を理解する。

## 具体的内容

一般外科外来及び救急外来と消化器疾患の診断と外科治療を学ぶ。

評価： 共通評価表

受入定員： 1 クール 2 名（受入可能期間は別紙一覧の通り）

注意事項： 一般病院での診療となるため、身だしなみ・言動には十分留意する必要がある。

予習項目： 特にないが、6 年生としての知識、マナーは必要

復習項目： 特にないが、6 年生としての知識、マナーは必要

初日の集合場所、時間： 病院 3 階受付 午前 8 時15分  
月曜日が休日の場合は火曜日、同上

交通手段： 別紙地図参照

宿泊施設： なし

オフィスアワー担当者： 豊田 昌夫  
連絡先：内線 3001

オフィスアワー日時： 平日 9:00～17:00 医局



# 臨床実習プログラム

**教育機関名：** 社会医療法人仙養会 北摂総合病院 整形外科

**責任者名：** 植田 直樹

**実習内容：**

## 科目の概要

運動器疾患と外傷の病歴聴取の方法および身体所見の診かたを習得すると共に、診断法と保存的および手術的な治療法を理解する。

## 科目のゴール

1. 外来・病棟実習で医療面接と身体所見の取り方を身につける。
2. 代表的な運動器疾患と外傷例の画像の読影法を身につける。
3. 保存的療法（ギプス固定、理学療法、薬物療法）の選択肢を列挙する。
4. 手術法の基本（皮膚切開、結紮、縫合など）を習得する。
5. 後療法を列挙する。

## 具体的内容

当院は高齢者を含めた上下肢の外傷患者が多く、入院患者を受け持って、医療チームの一員として実際に参加することにより、将来、医師として必要な運動器疾患と外傷の診断と治療法を理解する。

1. 外来診察および病棟実習においては、単純 X 線および CT、MRI の画像診断などを行う。
2. 入院患者を担当医とともに受け持ち、指導医の下で身体診察法を習得する。
3. 手術では助手をつとめ、整形外科手術の基本を習得する。
4. 術後は創部の処置の仕方、創の感染の徴候の有無についての判断力を養う。
5. チーム医療の中で、医師の役割と各職種間の連携の重要性を理解する。
6. インフォームドコンセントの現場にも参加し、その実際を体験する。

**評価：** 大学共通の評価表に従う。

**受入定員：** 1 クール 1 名まで（受入可能期間は別紙一覧の通り）

**注意事項：**

1. 決められた時間を厳守する。
2. 患者様に信頼感を与えるような身だしなみ、言葉遣い、態度を心がける。
3. 診療グループの一員として実習するので、自覚と責任を持って行動する。
4. 患者様からの相談や質問に対しては、指導医に相談したうえで返答する。

**予習項目：** 参考書（標準整形外科学 他）を参照し、勉強しておくこと

**復習項目：** 実習で扱った高齢者の運動器疾患症例について、学んだことをまとめること。  
病院内におけるチーム医療を経験したことをまとめること。

**初日の集合場所、時間：** 午前 8:20 当院 3 階来客受付  
月曜日が休日の場合は火曜日、同上

**交通手段：** 別紙地図参照

宿泊施設： なし

オフィスアワー担当者： 植田 直樹

連絡先：北摂総合病院 院内 PHS 3028

オフィスアワー日時： 毎週月曜日 16:00～17:00

# 臨床実習プログラム

教育機関名： 社会医療法人仙養会 北摂総合病院 婦人科

責任者名： 田中 理恵

実習内容：

## 科目の概要

一般病院における産科婦人科実地臨床実習を行う。

## 科目のゴール

- ①産婦人科での検査（経膈超音波、子宮鏡、腔拡大鏡）を体験し、内容を理解する。
- ②手術に参加する。
- ③術後の管理に参加する。

## 具体的内容

- ①外来診療の実習、見学
- ②検査の実習、見学
- ③手術の実習、見学
- ④病棟廻診の実習

評価： 共通評価表

受入定員： 5名（1クール1名）

注意事項： ①服装、身だしなみ  
②あいさつ、言葉使い

予習項目： 産科、婦人科領域の解剖・検査・主な疾患等につき学習してきてください。

復習項目： 実習中に経験した症例・検査・手術についての理解を深め、口頭で確認したいと思います。

初日の集合場所、時間： 午前8時30分 産婦人科外来（3階 レディースフロア）

交通手段： 別紙地図参照

宿泊施設： なし

オフィスアワー担当者： 田中 理恵  
連絡先：内線 3058

オフィスアワー日時： 毎週金曜日 16:00－16:30 医局

# 臨床実習プログラム

教育機関名： パナソニック健康保険組合 松下記念病院 麻酔科

責任者名： 趙 崇至

実習内容：

## 科目の概要

基本的な麻酔管理業務を実習する。

## 科目のゴール

実際の麻酔業務を体験し、個々の症例から、呼吸生理、解剖、薬理学的な内容を学ぶ。

## 具体的内容

- ・ 患者の病歴や予定手術を考慮して麻酔計画をたてる。
- ・ 麻酔の準備（点滴用ルート、麻酔器、薬剤、気道確保用具）を行う。
- ・ 気道確保方法、麻酔薬や循環作動薬の使用方法を学ぶ。
- ・ 他科の医師や他職種との連携の実際をみる。
- ・ 術後診察を行い、患者の痛みや合併症の有無を評価する。

評価： 共通評価表

受入定員： 4名（1クール2名ずつ）

注意事項： 手術科は、外科、呼吸器外科、整形外科、産婦人科、泌尿器科、眼科、耳鼻科、腎不全科、皮膚科である。

一般社会人として、常識ある行動をとること。

食堂の利用は食券購入が必要。

予習項目： 全身麻酔の大まかな流れを説明できるようにしておくこと。

復習項目： 実習の中で随時課題を出します。

初日の集合場所、時間： 病院1階の総合案内に8時30分

月曜日が休日の場合、火曜日に総合案内に8時30分

交通手段： 別紙地図、アクセス・無料シャトルバス運行表

（HP：<https://kenpo.jpn.panasonic.com/kinen/about/access.html>）参照

宿泊施設： なし

オフィスアワー担当者： 趙 崇至

連絡先：松下記念病院代表（06-6992-1231）から麻酔科 趙をお呼び下さい。

オフィスアワー日時： 月～木（9:00～17:00）

# 臨床実習プログラム

教育機関名： 社会医療法人祐生会 みどりヶ丘病院 消化器内科

責任者名： 占野 尚人

実習内容：

## 科目の概要

内科医師として日常診療に必要な基本的知識・診察能力などの習得を目指す。

## 科目のゴール

①外来・病棟実習を通じて患者接遇や身体所見を含めた診察行為に参加し習得を目指す。

②他職種とのカンファレンスを通じてチーム医療に関する理解を深める。

## 具体的内容

当院では循環器内科・消化器内科・内分泌代謝内科の専門医が常勤しており実習期間中においては上記医師が中心となり指導にあたる予定である。具体的には外来実習・病棟実習・各種検査見学（内視鏡検査・エコー検査・アンギオ検査など）

評価： 共通評価表

受入定員： 1クール1名

注意事項： 時間厳守・一般常識的な接遇に注意する。

予習項目： 普段用いている本で内科一般診療について勉強しておくこと

復習項目： 実習で学んだことについてまとめること

初日の集合場所、時間： 医局の前に午前9時に集合、月曜日が休日の場合は火曜日と同じ

交通手段： 別紙地図参照

宿泊施設： なし

オフィスアワー担当者： 占野 尚人（しめの なおと）  
連絡先：072-681-5717 内線番号 7032

オフィスアワー日時： 不定期

# 臨床実習プログラム

教育機関名： 社会医療法人祐生会 みどりヶ丘病院 脳神経外科

責任者名： 病院長 新井 基弘

実習内容：

## 科目の概要

急性期および回復期の神経疾患診療の実際を指導医の下で体験し、神経疾患の病態生理について理解を深める。

## 科目のゴール

地域における中核病院の脳神経外科医療チームに一員として参加し、脳卒中、頭部外傷、脳腫瘍、脊椎・脊髄疾患の急性期治療を学ぶ。また、急性期から回復期（リハビリテーションまたは外来通院）に移行する過程を通じて、神経疾患の機能予後について学ぶ。特にリハビリテーションに関して最新の技法（CI療法、tDCS）について学ぶ。これらにより患者さんの社会的背景を考慮した地域医療を体験する。

## 具体的内容

- 1) 下記の脳神経外科の日常業務に1週間携わる。

症例検討会・脳卒中カンファレンス（リハビリ科と合同）	週1日（木）
病棟、ICU、脳卒中センター回診	週5日（月～金）
回復期リハビリテーション病院回診	週2日（火、金）
一般外来	週1日（火）
手術	週2日（月、木）
脳血管撮影	週2日（水、木）
（そのうち金曜日は血管内手術）	
- 2) 患者さんを指導医と共に担当し、神経学的検査、放射線検査、診断、治療に参加する。
- 3) 救急外来にて、脳神経疾患の救急に対する迅速な対応処置を習得する。

評価： 共通評価表

受入定員： 1クール2名（受入可能期間は別紙一覧の通り）

注意事項： 実習中の服装はネクタイ着用（ケーシータイプ可）

予習項目： 参考書（特に救急医療に関する）を参照し、勉強して下さい。

復習項目： 実習で扱った手技、症例、疾患についてまとめて下さい。

初日の集合場所、時間： みどりヶ丘病院 正面受付 AM9:30

交通手段： 別紙地図参照

宿泊施設： 有 併設職員寮

オフィスアワー担当者： 新井 基弘  
連絡先：PHS 862

オフィスアワー日時： 毎週木曜日 14:00～15:00 院長室にて

# 臨床実習プログラム

**教育機関名：** 社会医療法人景岳会 南大阪病院 整形外科

**責任者名：** 大坂 芳明、森川 潤一

**実習内容：**

## 科目の概要

運動器疾患と外傷の病歴聴取の方法および身体所見の診かたを習得すると共に、診断法と保存的および手術的な治療法を理解する。

## 科目のゴール

1. 外来・病棟実習で医療面接と身体所見の取り方を身につける。
2. 代表的な運動器疾患と外傷例の画像の読影法を身につける。
3. 保存的療法（ギプス固定、理学療法、薬物療法）の選択肢を列挙する。
4. 手術の基本（皮膚切開、結紮、縫合、手術用顕微鏡の操作など）を習得する。
5. 後療法を列挙する。

## 具体的内容

外来実習（問診、シュライバー、ギプス実習、スプリントなど）

手術実習（手術助手など）

病棟実習（入院患者を主治医とともに診察、処置など）

作業療法実習（スプリントの作成など）

理学療法実習（牽引などの体験など）

**評価：** 共通評価表

**受入定員：** 1クール1名

- 注意事項：**
1. 決められた時間を厳守する。
  2. 患者様に信頼感を与えるような身だしなみ、言葉遣い、態度を心がける。
  3. 診療グループの一員として実習するので、自覚と責任を持って行動する。
  4. 患者様からの相談や質問に対しては指導医に相談したうえで返答する。

**予習項目：** 必ず手術には参加してもらいます。手術手技書や解剖の教科書を参照し勉強しておいて下さい。（大坂）  
実習で扱う症例について、教科書・カルテを参照し、自分なりの理解と疑問を明らかにしておくこと。（森川）

**復習項目：** 手術に参加した症例の手術記録や術後指示、術後の状態をまとめて下さい。（大坂）  
予習時に理解していたことを再度確認するとともに、解決した疑問点を理解しておくこと。（森川）

**初日の集合場所、時間：** 整形外科医局に 午前8時30分  
月曜日が休日の場合は火曜日、副院長室（大坂）午前8時30分

**交通手段：** 別紙地図参照

宿泊施設： なし

オフィスアワー担当者①： 大坂 芳明  
連絡先：8889

オフィスアワー日時①： 毎週月曜日 13:00～14:00 副院長室

オフィスアワー担当者②： 森川 潤一  
連絡先：

オフィスアワー日時②： 毎週木曜日 13:30～14:30 医局



# 臨床実習プログラム

**教育機関名：** 社会医療法人同仁会 耳原総合病院 救急総合診療科

**責任者名：** 大矢 亮

**実習内容：** 救急総合診療科の臨床実習

## 科目の概要

- ・主治医チームの一員として診療に携わり、市中病院における総合診療部門の役割を理解する。
- ・病歴聴取や身体診察、プレゼンテーションといった基本的な臨床技術を学び実践することで向上させる。

## 科目のゴール

- ①病棟医療を中心に地域医療の中で臨床実習を行う。
- ②総合診療科主治医チームの一員として研修医とともに患者さんの診療を担当する。
- ③診療を通して Bio-Psycho-Social model の視点を習得する。
- ④経験した患者さんの中で 1 人選り学会発表に準じた形式で症例発表を行う。

## 具体的内容

- ①病棟以外に救急診療や訪問診療でも実習を行う。
- ②主治医チームの一員として診療に携わり以下の役割を担う。
  - ・主治医とともに新入院患者さんの病歴聴取・身体診察を行いカルテ記載する。
  - ・担当患者さんの日々の回診とカルテ記載を行う。
  - ・全体回診やカンファレンスでプレゼンテーションを行う。
- ③カルテ記載やプレゼンテーションを行う際は、フォーマットに従い社会的な背景や退院後の生活に言及する。
- ④一緒に担当した研修医とともに準備を行い、最終週に発表する。

**評価：** 共通評価表、症例報告の発表後に初期研修医・スタッフからフィードバックを行う。

**受入定員：** 1 クール 1 名（受入可能期間は別紙一覧の通り）

**注意事項：** 新型コロナウイルスのワクチンをすでに 2 度接種し、2 週間以上経過していること（これに当てはまらない場合、その旨をこちらにご連絡ください）。

**予習項目：** 将来どのような医師になりたいのかイメージしてきてください。その上で、当院で経験したいこと（学びたいこと）をイメージしてきてください。

**復習項目：** 当院の Facebook に、実習内容についての記事を投稿いただきます。

**初日の集合場所、時間：** 耳原総合病院 1 階正面玄関エントランスにあるイス、8 時 20 分。

**交通手段：** 別紙地図参照  
公共交通機関でお越しください。

**宿泊施設：** 有（当直室を無料でご使用いただけます。ただし、他大学からの学外実習生もいますので、使用を制限させていただく場合がございます）

オフィスアワー担当者： 医局事務課医学生担当 奥村 英史、高見堂 一大  
連絡先：072-241-0501（代表）、内線7870・7869

オフィスアワー日時： 平日8:45～17:30

# 臨床実習プログラム

教育機関名： 社会医療法人彩樹 守口敬仁会病院 内科

責任者名： 川上 研

実習内容：

## 科目の概要

適切な診療・治療を行えるように、実臨床を通して消化器疾患の診断・治療に結びつけて、消化器病学の基礎的知識を習得する。

## 科目のゴール

1. 消化器疾患の病態（概念・疫学・病因・症状・所見）を習得する。
2. 実臨床の場で、症状、所見より消化器疾患の診断、治療、診療の進め方を習得する。
3. 各種画像の読影・診断を習得する。

## 具体的内容

1. 診療の見学（一般診療・内視鏡検査・超音波検査・胆道造影・血管造影など）を通じ、医療の現場を直接体験させる。
2. 消化管出血など緊急処置や救急外来診療など、消化器疾患を中心に救急医療を体験させる。
3. 各科との合同カンファレンス、内視鏡カンファレンス、CT 読影にも参加して、画像診断を勉強する（多くの症例の画像を見る）。
4. 手術にも立会い、消化器の解剖、病理についても勉強させる。
5. 可能であれば、入院患者を指導医とともに受け持ち、実臨床を勉強させる。

評価： 共通評価表

受入定員： 2 名（受入可能期間は別紙一覧の通り）

注意事項： 特になし

予習項目： 消化器内科の勉強

診察の仕方、内視鏡の基礎、消化器領域の手技（例えば腹水穿刺 etc）を勉強しておくこと

復習項目： 実習で扱った症例についてまとめること

初日の集合場所、時間： 医局、午前 8 時30分

交通手段： 別紙地図参照

宿泊施設： なし

オフィスアワー担当者： 川上 研

連絡先： ken.kawakami@ompu.ac.jp

オフィスアワー日時： 毎週月、金曜日 9:00～17:00

# 臨床実習プログラム

教育機関名： 社会医療法人彩樹 守口敬仁会病院 循環器内科

責任者名： 小林 一史

実習内容：

## 科目の概要

循環器疾患における基本的な診療について、実際の臨床現場で経験し、診断と治療のプロセスを学ぶ。

## 科目のゴール

- ①総合外来・循環器外来を通して、循環器疾患の外来診療を学ぶ。
- ②救急外来において救急循環器疾患の診察の流れを学ぶ。
- ③検査を見学し、その所見に対する解釈を学ぶ。
- ④入院患者を担当し、患者とのコミュニケーションや病態を学び、入院から退院までの流れを理解する。

## 具体的内容

- ①週2－3回の午前外来における診療を見学する。
- ②救急外来については患者来院時オンコールとし、担当医とともに診療にあたる。
- ③循環器疾患にかかわる検査を見学し、その結果の評価・診断を担当医とともに検討する。
- ④入院患者の毎日の経過をまとめ、主治医と診療方針について検討する。

評価： 共通評価表

受入定員： 1クール1名

注意事項： 身だしなみや患者さんへの言動に留意し、社会人となっていく自覚を持つこと。

予習項目： 大学での循環器に関する教科書などによって学習する。

復習項目： 受け持った患者の疾病について文献的整理を行う。

初日の集合場所、時間： 病院2階 医局 午前8時30分

交通手段： 別紙地図参照

宿泊施設： なし

オフィスアワー担当者①： 小林 一史  
連絡先：内線 3811

オフィスアワー担当者②： 尾田 知之  
連絡先：内線3897

オフィスアワー日時： 随時（急性期病院であり、時間特定困難なため随時としています）

# 臨床実習プログラム

教育機関名： 社会医療法人彩樹 守口敬仁会病院 外科・消化器外科

責任者名： 岡 博史

実習内容：

## 科目の概要

実際の医療現場に参加し、外科診療に必要な知識、基礎技能や診療態度を身につける。

## 科目のゴール

- 1) 外科・内科双方の立場から、一般消化器外科の診断と治療、並びにアフターケアを一貫して学ぶ。
- 2) 患者及びその家族、更には医療スタッフとのコミュニケーションを通して現場医療の実際を学ぶ。
- 3) 地域医療の担う病院の性格を理解する。

## 具体的内容

積極的に手術や内視鏡検査などに参加し、外科の臨床の現場を経験する。

評価： 共通評価表

受入定員： 1クール2名

注意事項： 当院は一般病院であるため、身だしなみ・言動には十分に留意する必要がある。

予習項目： 糸結びや縫合、清潔操作、腹部の解剖などについて勉強しておくこと

復習項目： 見学した手術症例について学んだことをまとめること

初日の集合場所、時間： 病院2階医局、午前8時30分

交通手段： 別紙地図参照

宿泊施設： 無

オフィスアワー担当者： 岡 博史

連絡先：内線 3800

オフィスアワー日時： 平日 14:00～17:00

# 臨床実習プログラム

教育機関名： 社会医療法人彩樹 守口敬仁会病院 腎・透析科、泌尿器科

責任者名： 中嶋 章貴

実習内容：

科目の概要

血液浄化療法についての知識を習得する。

科目のゴール

血液浄化療法の適応について理解する。

急性腎不全、慢性腎不全の治療を理解する。

具体的内容

ブラットアクセスの作成

血液透析の基本

各種血液浄化の実施

評価： 共通評価表

受入定員： 1クール1名

注意事項： 白衣持参

予習項目： 透析治療一般、泌尿器科一般のいずれか。もしくは両方。

復習項目： 実習で学んだことをまとめること

初日の集合場所、時間： 病院2階、腎臓内科医局に8時30分

交通手段： 別紙地図参照

宿泊施設： なし

オフィスアワー担当者： 中嶋 章貴

連絡先：内線 2234

オフィスアワー日時： 平日 14:00～17:00

# 臨床実習プログラム

教育機関名： 淀川キリスト教病院 リウマチ膠原病内科

責任者名： 藤木 陽平

実習内容：

## 科目の概要

リウマチ膠原病関連疾患・呼吸器疾患に対する基本的な知識、検査、鑑別、治療法を習得する。

## 科目のゴール

- 1) 外来・病棟実習で医療面接と身体所見の取り方を習得する。
- 2) 代表的なリウマチ膠原病疾患・呼吸器疾患の診断、画像の読影法を習得する。
- 3) 基本的なリウマチ膠原病疾患・呼吸器疾患の治療法について習得する。

## 具体的内容

- 1) 病棟実習：主治医および指導医と行動を共にし、チームの一員としてリウマチ膠原病内科の全入院患者の診療に参加する。
- 2) 外来実習：外来の見学
- 3) 検査（関節超音波検査、気管支内視鏡検査）の見学

評価： 共通評価表

受入定員： 各期間 1 名

注意事項： 1) 決められた時間を厳守する  
2) 身だしなみ、言葉遣い、態度に注意する  
3) 診療グループの一員として、自覚と責任をもって行動する

予習項目： year note や国家試験対策問題集でリウマチ・膠原病分野の勉強をし、基礎的な知識は身につけておくこと

復習項目： 実臨床の現場で学んだ新しい知識についてまとめること

初日の集合場所、時間： 午前 8:30 に 3 階管理部門受付前へ集合してください。

交通手段： 別紙地図参照

宿泊施設： なし

オフィスアワー担当者： 藤木 陽平  
連絡先：52253

オフィスアワー日時： 火（毎週）11時～12時 総合医局

# 臨床実習プログラム

教育機関名： 淀川キリスト教病院 腎臓内科

責任者名： 富田 弘道

実習内容：

## 科目の概要

腎機能の生理学と、その異常について

## 科目のゴール

実習を通して医療面接と身体所見の取り方を学ぶ

頻度が高い腎疾患について、診断、検査、治療について学ぶ

患者教育、栄養指導などの必要性についても学ぶ

## 具体的内容

腎疾患の診療 その時の疾患の種類によりますが、

- ・慢性糸球体腎炎、慢性腎不全、急性腎不全、血液透析、水電解質酸塩基平衡異常
- ・基礎疾患としての、糖尿病、高血圧症
- ・利尿薬、輸液、降圧薬、ステロイド、免疫抑制剤などの治療薬

などについて理解を深める。

評価： 共通評価表

受入定員： 各期間 1 名

注意事項：

予習項目： ・基礎科目で使用した生理学のテキストで、腎臓の生理学を見直しておくこと  
・国家試験対策用の参考書、問題集で腎臓の分野を勉強しておくこと

復習項目： 実習で受け持った症例について、学んだことをまとめること

初日の集合場所、時間： 午前 8:30 に 3 階管理部門受付前へ集合してください。

交通手段： 別紙地図参照

宿泊施設： なし

オフィスアワー担当者： 富田 弘道  
連絡先：06-6322-2250 代表

オフィスアワー日時： 8:30-17:30



# 臨床実習プログラム

教育機関名： 淀川キリスト教病院 呼吸器内科

責任者名： 紙森 隆雄（コメディカル部長）

実習内容：

## 科目の概要

各種呼吸器疾患を経験し、疫学、その症状と病態、診断、治療を学ぶ

## 科目のゴール

- ①呼吸器疾患の診療を行うための基本的知識を習得する。
- ②身体所見を適切に取り、評価することができる。
- ③胸部レントゲン単純写真を読影することができる。
- ④呼吸器疾患診断のための各種臨床検査（血液検査、細菌学的検査、生理学的検査、内視鏡検査等含む）を理解できる。
- ⑤呼吸不全、酸素療法・非侵襲的・侵襲的人工呼吸療法が理解できる。
- ⑥胸腔穿刺・胸膜生検・持続胸腔ドレナージの適応が理解できる。
- ⑦呼吸器疾患に使用される各種薬剤を理解し、適応を判断できる。
- ⑧医療チームに参画し、患者、家族とのコミュニケーションができる。

## 具体的内容

- ①病棟実習（入院患者を主治医、指導医と一緒にチームを組み診療する）
- ②外来実習（外来で診療を見学し、必要に応じて身体所見をとる）
- ③毎週行われる画像カンファレンスで画像を読影し、指導を受ける。

評価： 共通評価表

受入定員： 各期間 1 名

注意事項： 特になし

予習項目： 教科書で一般的呼吸器疾患と胸部 X 線読影を事前に予習しておくこと

復習項目： 定期的に振り返りを行う。

初日の集合場所、時間： 午前 8:30 に 3 階管理部門受付前へ集合してください。

交通手段： 別紙地図参照

宿泊施設： なし

オフィスアワー担当者： 大谷 賢一郎（呼吸器内科部長）  
連絡先：52021

オフィスアワー日時： 毎朝 9 時 8 A カンファレンスルーム  
毎週火曜日 5 時 8 A カンファレンスルーム

# 臨床実習プログラム

教育機関名： 淀川勤労者厚生協会附属西淀病院 地域総合内科

責任者名： 落合 甲太

実習内容：

## 科目の概要

地域での総合診療の現場を経験する  
中小病院での他職種との関わりを学ぶ

## 科目のゴール

- ①臨床現場で生きる身体診察、病歴聴取、プレゼンテーションを習得する。
- ②フォーマットに沿ってカルテ記載ができる。
- ③担当患者について Bio-Psycho-Social model の視点で分けられる。
- ④担当患者について学会発表に準じた形式で症例報告を行える。
- ⑤地域とそこに住む患者の特徴を知り、大学との違いを述べることができる。
- ⑥多職種連携の重要性について述べるができる。

## 具体的内容

- ①チームの一員として診療に携わり以下の役割を担う。
  - ・担当患者の病歴聴取・身体診察を行う。研修医もしくは指導医は最初は必ず同行するが、学生の到達度によって単独での担当患者への訪問を許可する。
  - ・プレゼンテーションは研修医と同様、回診では3分以内のショートプレゼン、カンファレンスでは7分のフルプレゼンテーションの方法を教わり、実施する。
- ②電子カルテは学生用 ID にて閲覧のみとし、記載は Word 形式の学生用カルテを使用。
  - ・担当患者の新入院時には当院の『入院記載』の様式に従って記載する。
  - ・日々の記録では SOAP 形式を用いて記載する。
- ③BPS モデルについては実習開始初日に指導医からレクチャーを受ける。  
担当患者に BPS モデルをあてはめて患者を全人的に捉える。
- ④実習最終週の新患カンファレンスにて症例報告を行う。
- ⑤中小病院をとりまく環境について病院の地域活動などを通して様々な角度から学ぶ。
  - ・自身の担当患者や研修医の症例を通じて、中小病院を受診する患者の特徴を知る。
  - ・毎週水曜の訪問診療への同行にて地域の特徴を知る。
  - ・実習初日の友の会オリエンテーションにて友の会活動について知る。
  - ・スワンスワン活動に参加し、病院の HPH (Health Promoting Hospital & Health Services) 活動について知る。
- ⑥病棟や臨床倫理カンファレンスに参加し、多職種の意見を聞く・交わす機会にする。  
週1回、他職種のオリエンテーションや交流を行い、仕事内容を知る。  
(実際の仕事に同席して見学が出来れば尚良い)

評価： ・ 共通評価表（大学が用意するもの）  
・ 最終週の新患カンファレンスでの担当患者のフルプレゼンテーションにて評価する。(①④)  
・ カルテ記載については当日もしくは翌日に指導医が内容をチェックする。(②)  
・ 実習最終2週間のうちに振り返り発表を行い、その中で全人的医療や地域、多職種連携について感じたことや理解したことを発表してもらう。(③⑤⑥)  
・ 院所独自の『医学部実習生 評価表』に実習生、指導医が総括までに記載する。  
・ 事前に回収する病棟と外来の看護師からの『スタッフからの評価（フィードバック）』の用紙にて360℃評価も行う。その内容は総括までに『医学部実習生 評価表』内に担当事務が

記入する。

- ・実習最終2週間のうちに指導医との総括を行う。『医学部実習生 評価表』を共有する。
- ・実習生は実習終了までに『医学部実習生 プログラム評価』を記載する。  
(可能なら総括までに記載して共有)
- ・大学の定める期日までに大学所定の評価表を用いて評価する。

**報 告：** ・大学所定の評価表を大学の定める期日までに大学の担当部署に提出する。同時に当院の『医学部実習生 評価表』『医学部実習生 プログラム評価』も送付する。  
・『医学部実習生 評価表』と大学所定の評価表を実習終了後最初の指導医会議、医学生委員会、研修医委員会に提出する。

**受入定員：** 1クール1名（受入可能期間は別紙一覧の通り）

**注意事項：** ・4種感染症（麻疹・風疹・ムンプス・水痘）とB型肝炎の抗体価証明書を事前に提出する（諸事情により予防接種ができない場合は事前にご相談ください）  
・院内の『実習生用 感染予防マニュアル』を遵守する  
・院内の『病院実習個人情報に関わる誓約書』『電子カルテについての誓約書』『病院実習の医療安全と感染制御に関わる誓約書』を遵守する  
・敷地内禁煙

**予習項目：** どのような医師になりたいかをイメージしてきて下さい。その上で、当院で経験したいこと（学びたいこと）を、イメージしてきて下さい。

**復習項目：** 当日の振り返り。疑問を共に考えます。

**初日の集合場所、時間：** 西淀病院1階総合案内、午前8:30  
総合案内にて、医局事務課 山本をお呼びください  
別紙「実習のご案内」参照

**交通手段：** 別紙「実習のご案内」参照

**宿泊施設：** なし

**オフィスアワー担当者：** 鈴木医師  
連絡先：内線8022  
鈴木医師：学生が院内にいる時、電子カルテ内のメール機能にてご連絡ください  
学生が院外にいる時、igakusei@yodokyo.or.jp にご連絡ください

**オフィスアワー日時：**

# 臨床実習プログラム

教育機関名： 医療法人清仁会 洛西シミズ病院 整形外科

責任者名： 矢津 匡也

実習内容：

## 科目の概要

運動器疾患と外傷の病歴聴取の方法および身体所見の診かたを習得すると共に、診断法と保存的および手術的な治療法を理解する。

## 科目のゴール

1. 外来・病棟実習で医療面接と身体所見の取り方を身につける。
2. 代表的な運動器疾患と外傷例の画像読影法を身につける。
3. 保存療法（ギブス固定、理学療法、薬物療法）の選択肢を列挙する。
4. 手術法の基本（皮膚切開、結さつ、縫合など）を修得する。
5. 後療法を列挙する。

## 具体的内容

当院は上下肢・脊椎の救急患者や脊椎疾患が多く、入院患者を受け持って、医療チームの一員として実際に参加する事により、将来、医師として必要な運動器疾患と外傷の診断と治療法を理解する。

外来実習（救急患者の診察法、問診、ギブス実習など）

病棟実習（入院患者を主治医と共に診察、処置など）

手術実習（手術助手など）

リハビリ実習（理学・作業療法士とともに訓練の実習）

評価： 共通評価表

受入定員： 1 クール 2 名（受入可能期間は別紙一覧の通り）

注意事項：

予習項目： 整形外科的外傷、特徴的疾患（頻度高いもの）

復習項目： 整形外科的疾患

初日の集合場所、時間： 午前 9 時 医局  
月曜日が休日の場合は火曜日、同上

交通手段： 別紙地図参照

宿泊施設： 当直室

オフィスアワー担当者： 矢津 匡也  
連絡先：内線 2725

オフィスアワー日時： 毎週水曜日 午前10:00～12:00 院長室

# 臨床実習プログラム

教育機関名： 医療法人清仁会 洛西シミズ病院 麻酔科

責任者名： 村谷 忠利

実習内容：

科目の概要

麻酔全般の臨床内容を理解していただく。

科目のゴール

点滴確保、気道確保、気管挿管、薬剤投与、薬液の開封方法の習得。

具体的内容

上記科目のゴールに対し、臨床麻酔を実践する。

評価： 共通評価表

受入定員： 1クール2名（受入可能期間は別紙一覧の通り）

注意事項： ①火曜日および金曜日午後は責任者の勤務体制の都合上休講。  
②スーツの着用は不要です。清潔感のある服装であれば問題ありません。  
また、基本的には手術室での実習になるため術衣を着用して頂きます。  
③手術室で濃密に臨床麻酔を行っていただきたいと考えております。  
麻酔は導入から覚醒までが一通りの医療行為となります。  
そのため、学生さんに携わって頂いた患者様の麻酔が終了するまで、基本的には実習は終了  
しません。そのことを理解した上で当院の実習を選択して頂ければ幸いです。

予習項目： ①気管挿管方法。  
②点滴確保方法。  
③麻酔薬全般の薬理作用に関して。

復習項目： ①上記項目  
②実習中に必要項目として説明した内容

初日の集合場所、時間： ①月曜日が祝日の場合、水曜日が初日となります。  
②初日は、午前9：00までに当院受付に集合。  
受付で村谷を呼び出してください。

交通手段： 交通手段としては公共機関をご利用ください。  
駐車場は用意しておりません。  
当院の場所に関しては別紙地図を参照

宿泊施設： なし

オフィスアワー担当者： 村谷 忠利（村谷の実務中、外来、麻酔中も学生さんは傍にいて頂きます。）  
連絡先：院内内線 2771

オフィスアワー日時： 実習中全時間帯

# 臨床実習プログラム

教育機関名： 医療法人清仁会 洛西ニュータウン病院 消化器内科

責任者名： 中畑 孔克

実習内容：

## 科目の概要

消化器内科医師として日常診療に必要な基本的知識・診療能力などの習得を目指す。

## 科目のゴール

- ①外来・病棟実習を通じて患者接遇や身体所見を含めた診療行為に参加し習得を目指す。
- ②他職種とのカンファレンスを通じてチーム医療に関する理解を深める。

## 具体的内容

当院では循環器内科・内分泌代謝内科・消化器内科の専門医が常勤しており実習期間においては上記医師が中心になり指導に当たる予定である。具体的には外来実習・病棟実習・各種検査見学（内視鏡検査・エコー検査・アンギオ検査など）

評価： 共通評価表

受入定員： 1クール1名

注意事項： 時間厳守・一般常識的な接遇に注意する

予習項目： 普段用いている本で内科一般診療について勉強しておくこと

復習項目： 実習で学んだ事についてまとめること

初日の集合場所、時間： 医局に午前8時45分に集合  
月曜日が休日の場合は火曜日、同上

交通手段： 別紙地図参照

宿泊施設： なし

オフィスアワー担当者： 中畑 孔克  
連絡先：PHS 内線 3642

オフィスアワー日時： 不定期

# 臨床実習プログラム

教育機関名： 洛和会音羽病院 耳鼻咽喉科・頭頸部外科

責任者名： 河田 了

実習内容：

## 科目の概要

- ① 外来実習：外来での診療のすすめかたについて理解する。
- ② 病棟：手術例の新入院患者についての治療経過について学ぶ。

## 科目のゴールならびに具体的内容

- ① 外来実習：
  - 1) 紹介患者を通して病診連携の流れを理解する。
  - 2) 耳鼻咽喉科疾患の症候から診断までの過程を学ぶ。
- ② 病棟実習
  - 1) 耳鼻咽喉科疾患の検査、治療法を理解する。
  - 2) 頭頸部がんの検査、治療を理解する。
  - 3) 症例検討会に参加する。

評価： 共通評価表

受入定員： 1クール1名（受入可能期間は別紙一覧の通り）

注意事項： 実習者は事前（実習期間の前週）に責任者と連絡をとること

予習項目： 各自の耳鼻咽喉科学教科書に目を通しておいて下さい。

復習項目： 印象深い症例についてまとめましょう。

初日の集合場所、時間： 午前8時洛和会音羽病院医局

交通手段： 別紙地図参照

宿泊施設： なし

オフィスアワー担当者： 河田 了  
連絡先：ryo.kawata@ompu.ac.jp

オフィスアワー日時： 随時

# 臨床実習プログラム

教育機関名： 洛和会ヘルスケアシステム 洛和会丸太町病院 救急・総合診療科

責任者名： 上田 剛士

実習内容：

## 科目の概要

急性期医療の現場にて、目の前の患者の助けとなるために、今自分ができる全ての力を捧げるという医療の原点を学ぶ。

## 科目のゴール

- ・ 社会人、医療人として求められる態度で実習に臨み、今後医師として必要とされる知識と技術の礎を学ぶ。
- ・ 問診と身体診察は診療の入り口であり、診療の中でも特に重要な部分であることから、妥協することなく行う。

## 具体的内容

- ・ 毎朝 8 時からモーニングレクチャーに参加する。
- ・ 毎朝 9 時から教育回診を行い自分の受け持ち患者のプレゼンテーションを行い、行うべき診察・検査・治療について上級医と議論する。自分の診察所見が正しいかはここで上級医と共に確認すること。
- ・ 週に 3 コマ程度上級医と共に救急外来での診療に参加する。希望者は当直の経験も可能である。
- ・ 心電図、血液ガス、グラム染色、超音波検査など基本的な検査は自ら行い、自ら解釈できるように実践する。
- ・ 毎日夕方からは入院患者全例の振り返りカンファを行う。些細な疑問であっても放置せずに、積極的に質問することを望む。

評価： 共通評価表にて行う

受入定員： 1 クール 1 名

注意事項：

予習項目： 推奨書籍「高齢者診療で身体診察を強力な武器にするためのエビデンス 第 2 版」。持っていない人は実習開始時に貸し出します。

復習項目： 適宜、実際の症例から疑問を抽出し、調べたことを後日発表してもらいます。

初日の集合場所、時間： 朝 8 時前に 5 F 医局

交通手段： 別紙地図参照  
京都駅から JR で円町まで。円町駅から徒歩15分。

宿泊施設： なし  
京都市内なのでマンスリーマンション等が多数ありますが、当院から斡旋はしていません。



オフィスアワー担当者： 担当チームのリーダーが担当者になります。研修生と同じ医局内におりますので  
適宜声掛けしてください。

オフィスアワー日時：

## 24. 2025年 教育機関一覧（診療所）、実習プログラム

### 2025年 教育機関一覧（診療所）

臨床教育機関名	住 所	電 話	診 療 科	指導医	コース	頁
医療法人 青木医院	〒600-8884 京都府京都市下京区西七条南衣田町58	075-313-7038	脳神経外科、内科	青木 淳	2	344
芥川きどクリニック	〒569-1121 大阪府高槻市真上町1-3-28	072-685-0161	ペインクリニック内科・麻酔科	城戸 晴規	2	345
医療法人フォスター 生きる育む 輝くメンタルクリニック梅田本院	〒531-0075 大阪府大阪市北区大淀南1-3-11 ランドマーク新梅田シティ1階	06-4798-2000	心療内科・精神科	安田 由華	2	346
市岡医院	〒569-1115 大阪府高槻市古曽部町2丁目24-28	072-682-0863	脳神経外科・外科	市岡 従道	2	347
医療法人聖誕会 うめだ ファティリティークリニック	〒531-0072 大阪府大阪市北区豊崎3-17-6	06-6371-0363	産婦人科	山下 能毅	2	348
おおたこども・ アレルギークリニック	〒607-8152 京都府京都市山科区東野八代6番1	075-584-1050	小児科	大田 和美	2	349
医療法人徳志会 折野産婦人科	〒573-1111 大阪府枚方市楠葉朝日3-6-28	072-857-0243	産婦人科	折野 一郎	2	350
かづきクリニック	〒630-8115 奈良県奈良市大宮町5-1-10-1	0742-32-3201	脳神経外科	香月 脩二	2	351
勝谷医院	〒660-0052 兵庫県尼崎市七松町2丁目17-21	06-6416-1684	内科・小児科	勝谷 友宏	2	352
川崎こどもクリニック	〒597-0102 大阪府貝塚市木積656-7	072-421-2033	小児科	川崎 康寛	2	353
医療法人琢生会 神田マタニティクリニック	〒564-0063 大阪府吹田市江坂町3-31-5	06-6330-1135	産婦人科	神田 宏治	2	354
医療法人酒井会 さかいペインクリニック	〒582-0007 大阪府柏原市上市1-2-2 アゼリア柏原416	072-971-1899	麻酔科	酒井 雅人	2	355
さかいメンタルクリニック	〒567-0031 大阪府茨木市春日1丁目1番5号 アルジェントハ崎2階	072-625-7555	心療内科・精神科	堺 潤	2	356
医療法人大生曾 さくま診療所	〒542-0083 大阪府大阪市中央区東心斎橋1-14-14 T・Kビル2階	06-6241-5814	婦人科	佐久間 航	2	358
しらかわ・いもとクリニック	〒569-0055 大阪府高槻市西冠3丁目12番17号	072-670-6780	訪問診療・一般内科	井元恵津子	2	359
すぎ胃腸内科クリニック	〒569-0802 大阪府高槻市北園町16-16 イダイビル2階	072-684-1192	胃腸内科	杉 和憲	2	360
センブククリニック	〒530-0047 大阪府大阪市北区西天満4丁目6-14	06-6366-8778	内科・心療内科・循環器科・ アレルギー科	千福 貞博	2	362
田辺レディースクリニック	〒569-1116 大阪府高槻市白梅町4-13 ジオ高槻ミューズ EX4F	072-668-4651	婦人科	田辺 晃子	2	363
医療法人東西会 千舟町クリニック	〒790-0011 愛媛県松山市千舟町6丁目4-9	089-933-3788	麻酔科	栗村 光	2	364
			ペインクリニック内科	栗村 歩		365
医療法人 土居整形外科	〒569-0803 大阪府高槻市高槻町15-8 ダイエツビル3階	072-681-5555	整形外科	藤原 憲太	2	366
医療法人侑彩会 とがしクリニック	〒564-0018 大阪府吹田市岸部新町5-45 「健都クリニックモール」2階	06-6170-1741	心療内科・精神科	富樫 哲也	2	367
橿原産婦人科	〒569-0053 大阪府高槻市春日町1番27号	072-672-5000	産婦人科	橿原敬二郎	4	368
医療法人 にしがき眼科	〒569-1123 大阪府高槻市芥川町2-14-21 サージュビル本館2階	072-681-5150	眼科	西垣 昌人	2	369
医療法人脳神経外科 たかせクリニック	〒552-0001 大阪府大阪市港区波除3-9-14 ホッホM1階	06-4393-9988	脳神経外科	高瀬 卓志	2	370
医療法人社団ゆみの のぞみハートクリニック	〒532-0003 大阪府大阪市淀川区宮原3-5-36 新大阪トラストタワー1F	06-6397-8010	循環器内科	岡田健一郎	2	371
医療法人皓真会 野村クリニックなんば院	〒542-0076 大阪府大阪市中央区難波4丁目4-4	050-1720-5766	婦人科	佐々木 浩	2	372
医療法人服部整形外科	〒569-1029 大阪府高槻市安岡寺町2-13-5	072-687-2800	整形外科	服部 智	2	373
医療法人社団 英ウィメンズクリニック	〒650-0021 兵庫県神戸市中央区三宮町1丁目1-2 三宮セントラルビル2・7・8階	078-392-8723	婦人科、産科（生殖医療）、 泌尿器科（不妊治療）	塩谷 雅英	2	374

臨床教育機関名	住 所	電 話	診 療 科	指導医	コース	頁
医療法人健正会 浜崎医院 介護老人保健施設はまさき1・2・3・4 特別養護老人ホームカサブランカ 介護老人福祉施設カサブランカ	〒559-0014 大阪府大阪市住之江区北島3丁目6-27	06-6681-0361	内科・胃腸科	濱崎 憲夫	2	375
広辻眼科	〒665-0022 兵庫県宝塚市野上2丁目4-19	0797-72-6586	眼科	廣辻 徳彦	2	377
福本眼科クリニック	〒571-0032 大阪府門真市寿町21-34	06-6909-0500	眼科	福本 雅格	2	378
医療法人増進会 本田眼科クリニック	〒567-0032 大阪府茨木市西駅前町9-29 ウェーブワンビル3階	072-624-0678	眼科	本田 恭子	2	379
医療法人松本はからかクリニック	〒569-1022 大阪府高槻市日吉台七番町17-12	072-687-6525	総合診療科	松本 浩明	2	380
三嶋医院	〒606-8083 京都府京都市左京区修学院犬塚町11-3	075-791-0123	内科・循環器科	三嶋 隆之	2	381
みやもと脳神経外科クリニック	〒583-0876 大阪府羽曳野市伊賀4丁目13-6	072-955-1155	脳神経外科	宮本 貴史	2	382
やすだクリニック	〒569-0007 大阪府高槻市神内2丁目25-3	072-684-8400	小児科	保田 浩	2	384
医療法人蘇桂会 渡辺医院	〒573-1192 大阪府枚方市西禁野1-3-10	072-840-5788	小児科	渡邊 一男	2	385

※募集定員の詳細については別紙一覧を参照してください。

2は2週間コース

# 臨床実習プログラム

教育機関名： 医療法人青木医院 脳神経外科、内科

責任者名： 青木 淳

実習内容：

## 科目の概要

脳神経外科外来の臨床現場を体験する。

## 科目のゴール

脳神経外科および一般内科の外来診療、脳ドック、特定健診、往診など、地域住民に密着した診療を体験し、患者さんへの接し方、医師としての心構えを学びとる。

## 具体的内容

- 1) プライマリーケア；神経疾患を中心に、地域住民のあらゆる健康、疾病に関する問題を、迅速かつ的確に解決または治療する。
- 2) かかりつけ医として、一人の患者さんを長期にわたって、全人的に診る。
- 3) 病診連携；必要に応じ、適切に二次病院への紹介を行う。専門医と密に連携し、患者の近くで治療する。介護、福祉、歯科など他の分野と密に協調し、地域住民の問題を包括的に解決する。
- 4) 専門科診療；神経学的診察、MRI を用いた画像診断などにより、脳神経外科全般に関する、専門性の高い外来診療を行う。主な対象疾患は、頭痛、めまい、しびれ、震え、言語障害、頭部・脊髄の外傷、脳外科手術後の follow-up などである。

評価： 共通評価表

受入定員： 1 クール 1 名（受入可能期間は別紙一覧の通り、2 クールまで）

注意事項： 特になし

予習項目： 脳神経外科の参考書などで、頭痛、脳卒中について勉強しておくこと。

復習項目： 外来患者で担当した脳卒中後遺症、一次性頭痛について学んだ事をまとめること。

初日の集合場所、時間： 午前 9 時に青木医院内・控室に集合  
月曜日が休日の場合は火曜日、同上

交通手段： 別紙地図参照  
JR、西大路駅より徒歩 8 分  
阪急京都線、西院駅より徒歩 15 分

宿泊施設： なし

オフィスアワー担当者： 青木 淳  
連絡先：075-313-7038

オフィスアワー日時： 毎週水曜 13:30

# 臨床実習プログラム

教育機関名： 芥川きどクリニック ペインクリニック内科・麻酔科

責任者名： 城戸 晴規

実習内容：

## 科目の概要

- ・開業医の診療体験
- ・ペインクリニック外来についての理解

## 科目のゴール

- ・一般開業医の業務内容の理解
- ・ペインクリニックでの各種神経ブロックについての理解

## 具体的内容

外来診療の見学、外来業務の補助、訪問診療の見学

評価： 共通評価表

受入定員： 1クール1名

曜日指定はないが、週3回程度（都合は選択者と相談の上、決定）

注意事項： 清潔な身だしなみ、適切な言葉遣いなど

予習項目： ペインクリニックについての簡単な知識

復習項目： 実際に診療した患者の病態、診療法など

初日の集合場所、時間： クリニックに8:15

交通手段： 別紙地図参照

宿泊施設： 無

オフィスアワー担当者： 城戸 晴規

連絡先：072-685-0161

オフィスアワー日時： 13:00～13:30

# 臨床実習プログラム

教育機関名： 医療法人フォスター 生きる育む輝くメンタルクリニック梅田本院  
心療内科・精神科

責任者名： 安田 由華

実習内容：

科目の概要

地域における精神疾患治療を学ぶ

科目のゴール

地域において精神疾患の加療がどのように行われているのかを理解する

具体的内容

外来見学・精神科リハビリテーション見学・問診 等

評価： 共通評価表

受入定員： 1クール1名

注意事項：

予習項目： 統合失調症薬物治療ガイドライン、うつ病治療ガイドラインなどを参照し、勉強しておくこと。

復習項目： 実習で扱った疾患について学んだことをまとめること。

初日の集合場所、時間： 梅田本院 受付

交通手段： ホームページ参照  
<https://lgbmental.com/>

宿泊施設： 無

オフィスアワー担当者： 安田 由華  
連絡先：06-4798-2000 lgbmental@gmail.com

オフィスアワー日時： 9:00～9:30  
13:00～14:00 院長室

# 臨床実習プログラム

教育機関名： 市岡医院 脳神経外科・外科

責任者名： 市岡 従道

実習内容：

## 科目の概要

脳神経疾患および外科系疾患のプライマリ・ケアを学ぶ。

## 科目のゴール

頭痛・めまい・しびれなどの主訴に対する診察方法・鑑別の実習。

脳卒中の予防医学的な知識の習得・実践。

外傷に対する処置、小外科手術の実習。

## 具体的内容

脳神経外科の外来では、急性期の診療と、脳卒中後遺症・てんかん・術後など慢性期の診療があり、当院では主に慢性期の診療を行っている。これらについて実症例を通して学ぶ。脳卒中予防のために積極的な生活習慣病管理を行っており、主にガイドラインに則した管理を学ぶ。一般外科については外来レベルで行える小外科手技を学ぶ。

評価： 共通評価表

受入定員： 1クール1名

注意事項：

予習項目： 神経診断学、脳神経外科などの成書を読んでおく。

復習項目： 経験疾患についての論文など資料をまとめる。

初日の集合場所、時間： 月曜日（休日の場合火曜日）に8:40受付窓口に集合。

交通手段： 大阪医科薬科大学より北に徒歩15分

宿泊施設： なし

オフィスアワー担当者： 市岡 従道

連絡先： 当院電話番号

オフィスアワー日時： 月・水・金曜日 16:30-17:00

# 臨床実習プログラム

教育機関名： 医療法人聖誕会 うめだファミリークリニック 産婦人科

責任者名： 山下 能毅

実習内容：

科目の概要

生殖補助医療の現状を知る。

科目のゴール

外来、採卵、移植を見学し、培養室で胚の発育を観察する。

具体的内容

原則として下記の見学を行います。

午前：外来、人工授精、採卵、媒精、PGT、ERA、PRP など

午後：検査、移植、胚凍結など

評価： 共通評価表  
コミュニケーション能力、生殖医療の理解  
上記で評価します。

受入定員： 1クール1名（受入可能期間は別紙一覧の通り）

注意事項： 清潔な服装をお願いします。（ケーシーの場合はプリント T シャツなどが透けないように）  
スクラブでも OK です。更衣室あり

予習項目：

復習項目：

初日の集合場所、時間： 午前 8 時 45 分 1 階受付  
月曜日が休日の場合は火曜日午前 8 時 45 分 1 階受付

交通手段： 別紙地図参照

宿泊施設： なし

オフィスアワー担当者：  
連絡先：

オフィスアワー日時：



# 臨床実習プログラム

教育機関名： おおたこども・アレルギークリニック 小児科

責任者名： 大田 和美

実習内容：

## 科目の概要

小児科一般外来における基本的診療を幅広く実習する。

## 科目のゴール

小児科外来における急性疾患から慢性疾患の概要を把握することでプライマリーケアの実際を学び、小児医療への理解を深めることを目指す。

## 具体的内容

午前中の一般外来で、看護師のトリアージ、問診、診察を見学し、指導医の指導のもとに処置などの業務ならびに患者および家族への対応に習熟する。午後の専門外来（アレルギー、予防接種、健診）では専門的検査や小児保健、小児の発達について学ぶ。最終日には、症例のプレゼンテーションを通じてプレゼンテーションの実際と疾患の概要・鑑別診断等の実際について学ぶ。

また、当クリニックはアレルギー科も併設しており、小児期の食物アレルギー、アトピー性皮膚炎、気管支喘息やアレルギー性鼻炎等の専門的診療を行っている。食物負荷試験、皮膚テスト、呼吸抵抗検査、呼気中一酸化窒素検査の実際について学び、食物経口免疫療法やスギ花粉症およびダニアレルギーの舌下免疫療法についても習熟できる。

評価： 共通評価表

受入定員： 1クール1名（受入可能期間は別紙一覧の通り）

注意事項：

予習項目： 実習期間に流行すると考えられる感染症とその合併症について小児科学参考書（ネルソン小児科学等）で勉強しておくこと。

復習項目： 実習期間中の担当症例（複数でも可）を通してその疾患および関連疾患についてまとめ、プレゼンテーションをすること。

初日の集合場所、時間： おおたこども・アレルギークリニック 8時45分

交通手段： 別紙地図参照  
当院ホームページ参照 URI: [www.ohta-kac.com](http://www.ohta-kac.com)

宿泊施設： なし

オフィスアワー担当者： 院長 大田 和美  
連絡先：おおたこども・アレルギークリニック TEL 075-584-1050

オフィスアワー日時： 実習2週目の木曜日 14:00～15:00  
クリニック内 スタッフルーム

# 臨床実習プログラム

教育機関名： 医療法人徳志会 折野産婦人科 産婦人科

責任者名： 折野 一郎

実習内容：

科目の概要

産婦人科の地域医療の現状を知る。

科目のゴール

外来、分娩（自然分娩、帝王切開）の見学

午前中は主に外来（産科・婦人科）の見学

午後は分娩（自然分娩、帝王切開）の見学

具体的内容

評価： 共通評価表

コミュニケーション能力

産婦人科医療の理解

分娩を見学した場合は見学しての感想

受入定員： 1クール1名

注意事項： 白衣、上靴持参。清潔な服装、身だしなみをお願いします。

予習項目： 正常分娩の経過を予習しておくこと。

復習項目： 実習で見学した分娩についてまとめること。

初日の集合場所、時間： 午前8時45分 1階受付

交通手段： 別紙地図参照

宿泊施設： なし

オフィスアワー担当者： 折野 一郎

連絡先：

オフィスアワー日時： 金曜日 15:00～16:00

事務室

# 臨床実習プログラム

教育機関名： かづきクリニック 脳神経外科

責任者名： 香月 脩二

実習内容：

科目の概要

地域医療における脳神経外科診療の実際について学ぶ。

科目のゴール

MRI などによる画像診断を中心とした、臨床における診断能力の向上

具体的内容

頭痛、眩暈、しびれなどの日常的な症状の向こう側に隠された疾患について、MRI 等の画像診断を積極的に活用し、様々な可能性を検討した上で、的確な診断と、患者さんに対する十分な納得の得られる説明をすることができる臨床能力を養う。手術加療の必要性、入院加療の必要性など、状況に応じて緊急性を含めた的確な判断を要求される日々の外来臨床に参加する。

評価： 共通評価表

受入定員： 1 クール 1 名（受入可能期間は別紙一覧の通り）

注意事項：

予習項目：

復習項目：

初日の集合場所、時間： 午前 8 時30分 クリニック

交通手段： 別紙地図参照

近鉄奈良線 新大宮駅下車 徒歩 7 分

JR 奈良駅 徒歩 5 分

宿泊施設： なし

オフィスアワー担当者：

連絡先：

オフィスアワー日時：

# 臨床実習プログラム

教育機関名： 勝谷医院 内科・小児科

責任者名： 勝谷 友宏

実習内容：

## 科目の概要

市中における一般的な疾患を知る。

外来診療における迅速な問診、診察、治療を学ぶ。

## 具体的内容

基本的な内科診断を実施するための問診、診察のポイントを知る。

問診、血圧測定、胸部 X 線や心電図の読影を実践する。

高齢者の機能（認知機能、うつ状態など）評価を学ぶ。

臨床研究の進め方を知る。

発熱・感染外来の対応を学ぶ。

評価： 共通評価表

受入定員： 1 クール 1 名（受入可能期間は別紙一覧の通り、2 クールまで）

注意事項： 各自白衣と聴診器を持参すること  
社会ルールの遵守と節度ある態度と周囲への配慮を行うこと

予習項目： 高齢者診療の基礎知識（老年症候群、サルコペニア、フレイル、認知症）を勉強しておくこと。

復習項目： 週の前半に興味を持った 1 症例について背景も含めて勉強し、週の最後にまとめて発表すること。

初日の集合場所、時間： 医院受付に 8 時 50 分  
月曜日が休日の場合は火曜日、同上

交通手段： 別紙地図参照  
当院ホームページ参照：<https://katsuya-iin.com/>

宿泊施設： なし

オフィスアワー担当者： 勝谷 友宏  
連絡先：06-6416-1684

オフィスアワー日時： 当院診療時間内

# 臨床実習プログラム

教育機関名： 川崎こどもクリニック 小児科

責任者名： 川崎 康寛

実習内容：

## 科目の概要

小児の普遍的な疾患を知り、保健指導の実際を学ぶ。

## 科目のゴール

- ・感染症を中心とした小児一般外来患者に対して、診断、治療が行えるようになる。
- ・患者背景も考えた保健指導を行えるようになる。

## 具体的内容

外来診察の見学及び実際の患者対応  
低身長症、思春期早発症等の精査・定期診察など  
院内実施検査の見学及び施行  
ワクチン（定期・任意・渡航用）の接種  
併設病児保育室入室児への対応  
貝塚市乳幼児健診の見学（日程による）  
小児在宅患者への対応

評価： 共通評価表

受入定員： 1クール1名（2クールまで）

注意事項： 小児科診療に興味のある学生、将来総合診療医・家庭医を目指している学生を歓迎します。  
喫煙者不可。

予習項目： ・最新の予防接種スケジュール（日本小児科学会、国立感染症疫学センター等のホームページにあります）を確認しておくこと。  
・厚生労働省「抗微生物薬適正使用の手引き」に目を通しておくこと。

復習項目： 経験した症例より1～2症例についてまとめること。

初日の集合場所、時間： AM 8:30 当院診察室  
月曜日が休日の場合は火曜日、同上

交通手段： 別紙地図参照

宿泊施設： なし  
紹介はできます。

オフィスアワー担当者： 川崎 康寛  
連絡先：院長あてに、直接

オフィスアワー日時： 特に時間は決めていません。

# 臨床実習プログラム

教育機関名： 医療法人琢生会 神田マタニティクリニック 産婦人科

責任者名： 神田 宏治

実習内容：

科目の概要

産科医療の現状を知る。

科目のゴール

外来、分娩、手術を見学し、新生児の保育について体験する。

具体的内容

原則として下記の見学を行います。

午前：外来、分娩

午後：外来、分娩、手術等

評価： 共通評価表  
コミュニケーション能力、産科医療の理解  
上記で評価します。

受入定員： 1クール1名（受入可能期間は別紙一覧の通り）

注意事項： 上下とも白衣をお願いします。貸与可

予習項目： 産科の教科書を参照し、勉強しておくこと。

復習項目： パルトグラムを用いて分娩の経過をまとめること。

初日の集合場所、時間： 午前8時20分 1階受付  
月曜日が休日の場合は火曜日 午前8時20分 1階受付

交通手段： 別紙地図参照

宿泊施設： なし

オフィスアワー担当者： 神田 宏治  
連絡先：06-6330-1135

オフィスアワー日時： 月、木 15～17時

# 臨床実習プログラム

教育機関名： 医療法人酒井会 さかいペインクリニック 麻酔科

責任者名： 酒井 雅人

実習内容：

## 科目の概要

開業医の診療体験

麻酔科外来（ペインクリニック）についての理解

## 科目のゴール

①一般開業医の業務内容の理解

②ペインクリニックでの各種神経ブロックについての理解

## 具体的内容

診療の見学、外来業務の補助、実地患者の診療、問診 など

評価： 共通評価表

受入定員： 1 クール 1 名（受入可能期間は別紙一覧の通り）

曜日指定はないが、週 3 回程度合同実習指導（都合は選択者と相談の上決定）

注意事項： 清潔な身だしなみ、適切な言葉遣いなど

予習項目： ペインクリニックについての簡単な知識（治療方法、対象疾患など）

復習項目： 実際に診療した患者の病態、治療法など

初日の集合場所、時間： 診療所へ 8:45 に

交通手段： 別紙地図参照

宿泊施設： なし

オフィスアワー担当者： 酒井 雅人

連絡先：072-971-1899

オフィスアワー日時： 12:00～12:30

# 臨床実習プログラム

教育機関名： さかいメンタルクリニック 心療内科・精神科

責任者名： 堺 潤

実習内容：

## 科目の概要

- ・地域医療を行う心療内科、精神科の診療所における診断や治療がどのように行われているかを知り、メンタルヘルスの考え方を理解する。

## 科目のゴール

- ・不眠症（睡眠覚醒障害）：不眠症の患者は決して少なくありません。また不眠に基づく学業や業務の能率低下、事故などによる経済的損失は莫大なものです。ストレス社会を生きる現代人は不眠と上手に付き合っていく必要があります。不眠症に必要な検査や薬物療法について理解する。
- ・認知症：物忘れには、正常高齢者の物忘れのほか、軽度認知障害（Mild cognitive impairment, MCI）および認知症による物忘れがあります。さらに認知症の中にも、アルツハイマー型認知症、レビー小体型認知症、血管型認知症、前頭側頭型認知症など種々のものがあります。またその進行の程度によって示す症状も様々です。超高齢社会とともに認知症の患者さんは増加の一途を辿り、これに対する適切な対応が求められています。認知症などの老年期の精神疾患の症状を理解し、必要な検査や、治療法、介護システムを理解する。
- ・うつ病（感情障害）：一言でうつ病と言っても、その中には色々なものが含まれています（異種性）。病気のなり易さ（易罹病性）も個人によって異なります。また発症の契機もそれぞれ異なっています。薬物療法も最近多くの SSRI や SNRI といった抗うつ薬が使用されるようになっていきます。うつ病の症状を理解し薬物療法や社会支援のシステムについて理解する。
- ・神経症（神経症性障害）：神経症には色々なものがあります。身体症状にこだわる心気症、不安の強い不安神経症や、強迫的に同じことにこだわる強迫神経症、内気で人を避けたいといった社会不安障害と色々です。神経症の症状を理解し治療法についても理解する。
- ・統合失調症：統合失調症も急性に発症し、一過性に経過し社会復帰できるものから、慢性に経過するものまで千差万別です。薬物療法として、最近では副作用の少ない非定型抗精神病薬が主に用いられています。統合失調症の症状と経過を理解し治療法についても理解する。

## 具体的内容

- ・指導医より心療内科、精神科疾患全般の説明を受け、概略を理解する。
- ・指導医の外来診察に同伴し、具体的に個々の疾患の診断と治療法を学ぶ。

評価： 共通評価表

受入定員： 1 クール 1 名（受入可能期間は別紙一覧の通り）

注意事項： 特になし

予習項目： 標準的な教科書を参照し、勉強しておく事

復習項目： 実習で扱った症例について学んだ事をまとめる

初日の集合場所、時間： 診療所待合室 午前 9 時、受付で臨床実習生である旨言ってください。



**交通手段：** JR茨木駅西口を出て、右（北）側の階段を降りる。バスターミナルを左に見て進み、正面の交差点「茨木駅前」をそのまま北へ渡り右折。30mほど進み左手にあるアピス薬局茨木店が入るビルの2階。

**宿泊施設：** なし

**オフィスアワー担当者：** 堺 潤  
連絡先：072-625-7555（診療所と同じ）

**オフィスアワー日時：** 毎週月、水、金曜日 13:00～14:00 医局

# 臨床実習プログラム

教育機関名： 医療法人大生曾 さくま診療所 婦人科

責任者名： 佐久間 航

実習内容：

## 科目の概要

オフィスギネコロジーの理解

多様化する性、若年層の置かれている社会的状況などを医療的な側面から理解できる機会としてそれに対してできる医療的かつ社会的なアプローチ（教育や支援など）をどのように他機関と連携していくかなど体験し理解の一助となれば幸いである。

## 科目のゴール

医療に携わる人間としていかに社会にアプローチしていくか、そのようなスタンスを生涯を通じて持っていくきっかけを作る。

## 具体的内容

外来見学 付帯施設でのカウンセリング、支援活動の見学など

評価： 共通評価表

実習に対する感想などレポート報告による評価

受入定員： 2名（1クール1名×2クール）

注意事項： 医療面接に準じた服装

木曜は休診なので実習はなしです。自学自習とします。

予習項目： 月経のメカニズム 性感染症について

復習項目：

初日の集合場所、時間： 初日は9:00 当院エレベーター2階昇降口ホールに集合

交通手段： 別紙参照

宿泊施設： なし

オフィスアワー担当者： 佐久間 航

連絡先：06-6241-5814

オフィスアワー日時： 火、水 17:00～17:30

# 臨床実習プログラム

教育機関名： しらかわ・いもとクリニック 訪問診療・一般内科

責任者名： 井元 恵津子

実習内容：

## 科目の概要

地域医療、在宅医療に必要な基本的知識・診療能力の習得。

## 科目のゴール

- ①外来及び訪問診療に同行し、患者の接遇や身体所見を含めた診療行為に参加し、習得を目指す。
- ②他職種との連携・チーム医療について、理解を深める。

## 具体的内容

訪問診療に同行し、一般的な診察から各種処置（気管カニューレ・胃ろう・尿カテ交換・褥瘡処置など）に参加してもらう予定である。

評価： 共通評価表

受入定員： 1名（1クール）

注意事項： 患者宅に伺うため、脱ぎ履きしやすい靴。一般的な接遇。

予習項目： 内科一般・褥瘡・胃ろうなどについての知識

復習項目： 実習のまとめ、感想など

初日の集合場所、時間： 午前8:45にしらかわ・いもとクリニックに集合

交通手段： 別紙地図参照

宿泊施設： なし

オフィスアワー担当者： 井元 恵津子  
連絡先：080-5344-6780

オフィスアワー日時： 不定期

# 臨床実習プログラム

教育機関名： すぎ胃腸内科クリニック 胃腸内科

責任者名： 院長 杉 和憲

実習内容：

## 科目の概要

胃腸内科を標榜した診療所での基本的な医療知識や診療態度を身につける。

## 科目のゴール

- 1) 病歴や診療所見のとりかた・カルテ記載について学ぶ。
- 2) 検査（血液検査・内視鏡検査など）の必要性について学ぶ。
- 3) 診察所見や検査結果に基づいた診療方針・内服薬処方の方え方を学ぶ。
- 4) 保険診療で認められる投薬・検査・病名付けなど、保険医としての基礎知識の修得を学ぶ。
- 5) 診療所で対応困難な疾患における、高次病院への転院の手順を学ぶ。
- 6) 特定健診や各種がん検診について学ぶ。

## 具体的内容

- 1) 午前（9:00～12:00）は、診察と胃内視鏡検査の見学です。
- 2) 午後（13:00～）は大腸内視鏡検査の見学です。検査がなければ国試の勉強を。

評価： 共通評価表

受入定員： 1 期間（2 週間）あたり 1 名。合計 2 名。受け入れ不可の期間あり。

注意事項： 1) 当院は胃腸科の診療所です。内視鏡はスクリーニング検査と生検と大腸ポリープ切除程度です。内視鏡検査もできる開業医、を目指す方は必見です。逆に、内視鏡に興味の無い方や高度な内視鏡治療を目指す方は、当診療所での実習は退屈なものになるでしょう（他院での実習をお勧めします）。

2) 当院は、実習生のための更衣室や休憩場所はありません。小さな手荷物を入れるロッカーはあります。お手数ですが、着替えは大阪医科薬科大学の学生のお部屋を、昼食は大阪医科薬科大学の食堂を御利用下さい。

3) 白衣をご持参下さい。服装は、ネクタイ着用か白のケーシーを。T シャツ・ジーパン・短パン・裸足などの医師としてふさわしくない服装は不可。

予習項目： ①病気が見える Vol 1 消化器（メディック・メデア）のうちの消化管総論～腸腹膜まで、または、② Navigate 消化器疾患（医学書院）のうちの単元 A ～ H（消化器解剖～直腸肛門疾患）を、一通り目を通しておく。

復習項目： 実習の中で経験した症例の中から重要と思われる疾患を指示するので、帰宅後、参考書などで復習を行うこと。

初日の集合場所、時間： クリニックへ、実習初日の月曜日の正午に、私服で（白衣を持参すること）お越し下さい。

交通手段： 別紙参照。大阪医科薬科大学病院の正面の門から西へ約50m です。

宿泊施設： なし

オフィスアワー担当者： 杉 和憲（院長）  
連絡先：内線17

オフィスアワー日時： 毎週金曜日14時から15時。内視鏡室にて。

# 臨床実習プログラム

教育機関名： センプククリニック 内科・心療内科・循環器科・アレルギー科

責任者名： 千福 貞博（せんぷく さだひろ）

実習内容：

## 科目の概要

一般診療所の概要と認識

## 科目のゴール

- 1) 外来診療、病診連携の理解
- 2) 西洋医学と漢方診療の併用治療の理解
- 3) 在宅診療の理解

## 具体的内容

- 1) 総合診療的な外来患者への対応
- 2) 漢方診察（脈診・舌診・腹診）の実施
- 3) 鍼治療の立ち会い、実習

評価： 共通評価表

受入定員： 1クール1名  
木曜の午後は休診です

注意事項： 患者・医療スタッフへの配慮、服装、言葉遣いなど

予習項目： 1. 漢方には、望聞問切という四診があります。具体的には実習で行いますが、その概略を教科書で勉強しておいて下さい。  
2. 注意すべき生薬：麻黄、附子、甘草、大黄の有効成分と副作用について、薬理学や漢方入門の教科書で勉強しておいて下さい。

復習項目： 1. 漢方治療が有用であった疾患には、どのようなものがあったか？  
2. それらは西洋医学では、何か対処方法がなかったか？  
3. 漢方医学と西洋医学を併用して治療することの長所と欠点について

初日の集合場所、時間： 午前8時50分 診療所  
月曜日が休日の場合は火曜日、同上

交通手段： 別紙地図参照

宿泊施設： なし

オフィスアワー担当者： 千福 貞博  
連絡先：センプククリニック 診察室

オフィスアワー日時： 随時可能（診察時間中で患者が空いたときなど自由に）  
診察中・治療中でも常識をわきまえての質問・発言は可能

# 臨床実習プログラム

教育機関名： 田辺レディースクリニック 婦人科

責任者名： 田辺 晃子

実習内容：

科目の概要

オフィスギネコロジーの実際現場を知り、婦人科一般診療内容を知る。

科目のゴール

外来見学を通して、婦人科疾患の理解

具体的内容

AM：外来見学

PM：ふりかえり講義（院長による）

週一回ミニテスト

評価： 共通評価表

独自に作成したミニテストによる評価

受入定員： 2名（1クール1名×2クール）

注意事項： 医療面接に準じた服装。ロッカーあります。

木曜は休診につき、実習は無しです。自学自習とします。

予習項目： 月経のメカニズム

無月経の分類

妊娠初期の注意点

復習項目：

初日の集合場所、時間： 8:45 受付

交通手段： 別紙地図参照

宿泊施設： なし

オフィスアワー担当者： 田辺 晃子

連絡先：072-668-4651

オフィスアワー日時： 月・火・水・金 15:15～15:45

# 臨床実習プログラム

**教育機関名：** 医療法人東西会 千舟町クリニック 麻酔科、ペインクリニック内科

**責任者名：** 栗村 光

**実習内容：**

## 科目の概要

在宅医療におけるプライマリ・ケアを学ぶ。

在宅医療におけるペインクリニック（慢性疼痛疾患）を学ぶ。

## 科目のゴール

在宅医療を受けられている患者・家族への対応・接し方について学ぶ。

訪問診療におけるペインクリニック（慢性疼痛疾患）の在り方を学ぶ。

## 具体的内容

在宅医療（訪問診療）の見学等

**評価：** 共通評価表

**受入定員：** 1クール1名（1クールまで）

**注意事項：** 医師として適切な言葉遣い、身だしなみ

**予習項目：**

1. 在宅医療の現状や仕組み、地域包括ケアシステム等を厚生労働省“在宅医療（その1）H29.1.11”をインターネットで検索し、参照して下さい。
2. 内科の聴診・視診・触診等基本的な手技
3. レントゲン、腹部エコーの読影

**復習項目：** 当院の選択臨床実習の中で、印象に残っている事例（出来事）を一つ上げてレポート作成をお願いします。

**初日の集合場所・時間：** 午前8時45分 当院2階受付（集合時間については要相談）

**交通手段：** 別紙地図参照

来院に際しては飛行機・電車等の公共交通機関をご利用ください。乗用車での来院は認めません。

**宿泊施設：** 宿泊施設あり（宿泊施設については要相談）

**オフィスアワー担当者：** 栗村 光

連絡先：089-933-3788

**オフィスアワー日時：** 栗村 光（毎週水～金曜日 12:00～13:00）

在宅医療が基本院外での業務なので、食事を食べながら行う予定です。



# 臨床実習プログラム

**教育機関名：** 医療法人東西会 千舟町クリニック 麻酔科、ペインクリニック内科

**責任者名：** 栗村 歩

**実習内容：**

## 科目の概要

在宅医療におけるプライマリ・ケアを学ぶ。

在宅医療におけるペインクリニック（慢性疼痛疾患）を学ぶ。

## 科目のゴール

在宅医療を受けられている患者・家族への対応・接し方について学ぶ。

訪問診療におけるペインクリニック（慢性疼痛疾患）の在り方を学ぶ。

## 具体的内容

在宅医療（訪問診療）の見学等

**評価：** 共通評価表

**受入定員：** 1クール1名（1クールまで）

**注意事項：** 医師として適切な言葉遣い、身だしなみ

**予習項目：**

1. 在宅医療の現状や仕組み、地域包括ケアシステム等を厚生労働省“在宅医療（その1）H29.1.11”をインターネットで検索し、参照して下さい。
2. 内科の聴診・視診・触診等基本的な手技
3. レントゲン、腹部エコーの読影

**復習項目：** 当院の選択臨床実習の中で、印象に残っている事例（出来事）を一つ上げてレポート作成をお願いします。

**初日の集合場所・時間：** 午前8時45分 当院2階受付（集合時間については要相談）

**交通手段：** 別紙地図参照

来院に際しては飛行機・電車等の公共交通機関をご利用ください。乗用車での来院は認めません。

**宿泊施設：** 宿泊施設あり（宿泊施設については要相談）

**オフィスアワー担当者：** 栗村 歩

連絡先：089-933-3788

**オフィスアワー日時：** 栗村 歩（毎週月～金曜日 12:00～13:00）

在宅医療が基本院外での業務なので、食事を食べながら行う予定です。

# 臨床実習プログラム

教育機関名： 医療法人 土居整形外科 整形外科

責任者名： 藤原 憲太

実習内容：

## 科目の概要

運動器疾患と外傷の病歴聴取の方法および身体所見の診かたを習得すると共に、診断法と保存的治療法を理解する。

## 科目のゴール

1. 外来実習で医療面接と身体所見の取り方を身につける。
2. 代表的な運動器疾患と外傷例の画像の読影法を身につける。
3. 保存的療法の選択肢を列挙する。

## 具体的内容

外来実習（問診、ギプス実習、スプリントなど）  
理学療法実習（牽引などの体験、実施など）

評価： 共通評価表

受入定員： 1クール1名（受入可能期間は別紙一覧の通り）

注意事項： 1. 決められた時間を厳守する。  
2. 患者さんに信頼感を与えるような身だしなみ、言葉遣い、態度を心がける。  
3. 診療グループの一員として自覚と責任を持って行動する。

予習項目： 整形外科テキストを持参して下さい。

復習項目： 実習時、口頭で指示をします。

初日の集合場所、時間： 診療所 午前8時15分  
月曜日が休日の場合は火曜日、同上

交通手段： 別紙地図参照

宿泊施設： なし

オフィスアワー担当者： 藤原 憲太  
連絡先：072-681-5555 土居整形

オフィスアワー日時： 随時

# 臨床実習プログラム

教育機関名： 医療法人侑彩会 とがしクリニック 心療内科・精神科

責任者名： 富樫 哲也

実習内容：精神科臨床実習

## 科目の概要

地域医療を行う心療内科、精神科、神経科の診療所における初期対応と治療の実践を学ぶ。

## 科目のゴール

- 1) 精神症状の捉え方の基本を学ぶ。
- 2) 精神症状を持つ患者の診察を行う上での法と倫理の必須項目を列挙できる。

## 具体的内容

- 1) 指導医より心療内科、精神科、神経科疾患全般の説明を受け概略を理解する。
- 2) 指導医の外来診察に同伴し、薬物療法、精神療法、行動療法を見学し学ぶ。
- 3) 指導医から地域支援体制について説明を受け、理解する。

評価： 共通評価表による。

受入定員： 1クール1名

注意事項： カルテから必要な情報はメモを取る。コピー、画面撮影等はせず、個人情報の取扱いに注意すること。

予習項目： 各精神疾患に関して次に示す参考図書を熟読し知識を整理しておくこと。

参考図書・NIM Lecture 精神医学、三好功峰、藤縄昭編（医学書院）

- ・現代臨床精神医学、大熊輝夫著（金原出版）
- ・精神医学、大槻三郎著（文光堂）
- ・臨床精神医学テキスト、カブラン著（医学書院）

復習項目： 実習で担当した症例の鑑別診断、症候、治療についてレポートにまとめること。

初日の集合場所、時間： クリニック待合室、午前9時（受付にて臨床実習生であると伝える）

交通手段： 別紙地図参照

JR 岸辺駅より連絡デッキでピエラ岸辺健都 2F クリニックモールに直結（徒歩5分）

阪急正雀駅より徒歩15分

宿泊施設： なし

オフィスアワー担当者： 富樫 哲也

連絡先：06-6170-1741 医療法人侑彩会 とがしクリニック

オフィスアワー日時： 月曜、火曜 15:00～16:00（当院）

# 臨床実習プログラム

教育機関名： 榑原産婦人科 産婦人科

責任者名： 榑原 敬二郎

実習内容：

科目の概要

産科医療の現状を知る

科目のゴール

外来分娩、手術を見学し新生児保育について体験

具体的内容

午前 外来、分娩など

午後 手術など

評価： 共通評価表、コミュニケーション能力、産科医療の理解

受入定員： 1クール1名まで

注意事項： 上下、手術着をお願いします

予習項目： 産科学の教科書を参照し勉強しておくこと

復習項目： バルトグラムを用いて分娩の経過をまとめること

初日の集合場所、時間： 午前8時30分 1階 外来

交通手段： ホームページ参照

宿泊施設： 無

オフィスアワー担当者： 榑原 敬二郎  
連絡先：072-672-5000

オフィスアワー日時： 毎週木曜 14:00～15:00

# 臨床実習プログラム

教育機関名： 医療法人 にしがき眼科 眼科

責任者名： 西垣 昌人

実習内容：

科目の概要

外来の一般的な疾患を理解する。

科目のゴール

手術（白内障）の方法と疾患の治療方法及び説明を理解する。

具体的内容

手術見学、外来見学、眼科機器の操作

評価： 共通評価表

受入定員： 1クール2名

注意事項： 白衣持参

予習項目： 代表的な眼疾患について、勉強しておくこと。

復習項目： 実習中にテーマを決めて、レポートを自筆で書くこと。（最低A4 1枚）

初日の集合場所、時間： 初日（月曜日）クリニックにAM9時（クリニック入口よりお入りください）  
月曜日が休日の場合は火曜日

交通手段： 別紙地図参照  
ホームページ参照 <https://www.nishigaki-ganka.com>

宿泊施設： なし

オフィスアワー担当者： 西垣 昌人  
連絡先：072-681-5150

オフィスアワー日時： 平日 9:00～19:00 木、土は9:00～12:00

# 臨床実習プログラム

教育機関名： 医療法人脳神経外科 たかせクリニック 脳神経外科

責任者名： 高瀬 卓志

実習内容：

## 科目の概要

脳神経系のプライマリ・ケア、特に頭痛外来・物忘れ外来の現場について学ぶ。

## 科目のゴール

- 脳神経外科一次診療の現場に参加し、医療面接と神経所見の取り方を身につける。
- 二次性頭痛の鑑別診断、MRI等画像の読影法を身につける。
- 一次性頭痛に対する初期治療について、代表例につき学ぶ。
- 認知症の初期診断・治療について学ぶ。

## 具体的内容

脳神経外科外来において、頭痛は最も多い主訴であるが、対応に難渋することも多い。片頭痛、緊張型頭痛、群発頭痛など、一次性頭痛に対する診断・初期治療を修得する。また、脳卒中や脳腫瘍など、見逃してはならない二次性頭痛の鑑別診断について実習する。プライマリ・ケア医にとって、認知症の診療は避けることのできないものである。特に物忘れと初期の認知症について、その診断と対応について実習する。

評価： 共通評価表

受入定員： 1クール1名（2クールまで）

注意事項： 特になし

予習項目： 頭痛、認知機能低下などの神経徴候に対する、病歴の取り方、神経学的診察法について、参考書（神経内科ハンドブック等）を参照し、勉強しておくこと。

復習項目： 実習で経験した初診患者について、学んだことをまとめられたい。

初日の集合場所、時間： 午前8時30分に、クリニック受付に集合

交通手段： 別紙地図参照

宿泊施設： なし

オフィスアワー担当者： 高瀬 卓志

連絡先：06-4393-9988

takashi.takase@ompu.ac.jp

オフィスアワー日時： 毎週金曜日 13:30～14:30 クリニック第一診察室

# 臨床実習プログラム

教育機関名： 医療法人社団ゆみの のぞみハートクリニック 循環器内科

責任者名： 岡田 健一郎

実習内容：

## 科目の概要

外来診療における迅速な問診、診察、治療を学ぶ。

訪問診療における問診、診察、治療、多職種によるチーム医療を学ぶ。

## 科目のゴール

医療人として、幅広い教養を持ち合わせるよう努力すること。

## 具体的内容

問診、血圧測定、胸部 X 線写真や心電図の読影などを実践する。在宅訪問診療にかかわる医療・介護スタッフの役割を知る。タイミングが合えば、患者の ACP や看取りに立ち会う。

評価： 共通評価表

受入定員： 1 クール 1 名（4 クールまで）

注意事項： 患者さん、ご家族に不快な思いをさせないよう、清潔を保ち、身だしなみに気をつけること

予習項目： 循環器疾患と高齢者診療の基礎知識について勉強しておくこと

復習項目： 週の前半に興味を持った 1 症例について、背景も含めて勉強し、週の最後にまとめて発表すること

初日の集合場所、時間： クリニック 8:30（もし可能なら金曜日は7:40）

交通手段： 別紙地図参照

[nozomi-heartclinic.com/](http://nozomi-heartclinic.com/)（のぞみハートクリニック ホームページ）ご参照下さい。

宿泊施設： なし

オフィスアワー担当者： 村岡 信典

連絡先：06-6397-8010

オフィスアワー日時： 特になし

# 臨床実習プログラム

教育機関名： 医療法人皓真会 野村クリニック なんば院 婦人科

責任者名： 佐々木 浩

実習内容：

科目の概要

婦人科疾患全般

科目のゴール

月経困難、PMS、良性婦人科腫瘍および性感染症などの婦人科疾患について学び、その診断・治療について理解する

具体的内容

月経困難症・PMS・不正出血・帯下異常などの患者に対してどのようにして診断し治療を行っているかについて見学する。性感染症（ヘルペス・梅毒等）に関しては疾患を実際に見学することができ、また顕微鏡での顕鏡実習も行う

評価： 共通評価表

受入定員： 1クール1名

予習項目： 婦人科全般、主に内分泌・性感染症

初日の集合場所、時間： クリニック、9時

\*月曜日が休日の場合は担当者（佐々木）に事前にメールにて連絡し確認してください [hiroshi.sasaki@ompu.ac.jp](mailto:hiroshi.sasaki@ompu.ac.jp)

交通手段： ホームページ参照 <https://www.nomura-cln-namba.jp/>

宿泊施設： 無

オフィスアワー担当者： 佐々木 浩

メール [hiroshi.sasaki@ompu.ac.jp](mailto:hiroshi.sasaki@ompu.ac.jp)

オフィスアワー日時： 月・金曜日 13:00～13:30 クリニック内にて



# 臨床実習プログラム

教育機関名： 医療法人服部整形外科 整形外科

責任者名： 服部 智

実習内容：

## 科目の概要

運動器疾患と外傷の病歴聴取の方法および身体所見の診かたを習得すると共に、診断法と保存的治療法を理解する。

## 科目のゴール

1. 外来実習で医療面接と身体所見の取り方を身につける。
2. 代表的な運動器疾患と外傷例の画像の読影法を身につける。
3. 保存的治療法（ギプス固定、シーネ固定、理学療法、薬物療法）の選択肢を列挙する。

## 具体的内容

外来実習（問診、ギプス実習、スプリント、外傷の処置）  
理学療法実習（体験）

評価： 共通評価表

受入定員： 1 クール 1 名（受入可能期間は別紙一覧の通り、2 クールまで）

注意事項： 患者様に信頼感を与える様な身だしなみ、言葉遣い、態度を心がける。

予習項目： 変形性膝関節症、腰部脊柱管狭窄症について勉強しておくこと

復習項目： 実習で扱った症例について学んだことをまとめること

初日の集合場所、時間： 診察室に午前 8 時 40 分  
月曜日が休日の場合は火曜日、同上

交通手段： 別紙地図参照

宿泊施設： なし

オフィスアワー担当者： 服部 智  
連絡先： 当院内

オフィスアワー日時： 当院診察室にて毎週（水）14:00～15:00

# 臨床実習プログラム

**教育機関名：** 医療法人社団 英ウィメンズクリニック 婦人科、産科（生殖医療）、泌尿器科（不妊治療）

**責任者名：** 理事長 塩谷 雅英

**実習内容：**

科目の概要

生殖補助医療の実際を知る

科目のゴール

生殖補助医療の現場を見学し、現状を知る

具体的内容

医師業務：外来、採卵、移植、検査、処置、その他外来（カウンセリング、胎児エコー等）

培養士業務：卵子・精子・胚の凍結・融解、体外受精、顕微授精等

などの見学を主に行います。

**評価：** 共通評価表による

**受入定員：** 1クール2名（受入可能期間は別紙一覧の通り）

**注意事項：** スクラブや白衣、スリッパ等はこちらで用意します。

普段使用している名札があればご持参ください。昼食はこちらで用意しております。

**予習項目：** 特になし

**復習項目：** 特になし

**初日の集合場所、時間：** 8:00に7F受付へお越しください。

**交通手段：** 各線三宮駅より徒歩約5分

**宿泊施設：** なし

**オフィスアワー担当者：** 日によって異なります。

実習スケジュール作成時に確定してお伝えいたします。

**オフィスアワー日時：** 基本的に16:00～17:00頃

# 臨床実習プログラム

**教育機関名：** 医療法人健正会 浜崎医院 内科・胃腸科  
介護老人保健施設 はまさき 1.2.3.4  
特別養護老人ホーム カサブランカ  
介護老人福祉施設 カサブランカ

**責任者名：** 濱崎 憲夫

**実習内容：**

## 科目の概要

浜崎医院においては、地域医療における一般内科の診察、検査、治療について学習。併設介護老人保健施設はまさきと特養カサブランカにおいては、介護に対する考え方や実践を把握し、介護保険を理解し、介護チームの一員として医師の役割を学習する。

## 科目のゴール

- 1) 一般内科における外来診察の流れの理解
- 2) X線（CT）、内視鏡検査、超音波検査等の読影と手技の理解
- 3) 高齢者施設における医療の理解

## 具体的内容

- 1) 一般外来診察の実習
- 2) 内視鏡検査、画像読影（CT、エコー等）診断の実習
- 3) 施設医師としての実習
  - ・医療保険と介護保険の違い
  - ・入所者に対する一般診察と加療
  - ・ケアプラン会議への出席
  - ・褥瘡処置、胃瘻管理、外科的処置
  - ・終末期における施設での看取り

**評価：** 共通評価表

**受入定員：** 1クール1名（受入可能期間は別紙一覧の通り）

**注意事項：** 医療介護チームの一員と自覚し、社会人としての身だしなみ、言葉遣い、態度に配慮すること。又、当施設ではNPOを通じての外国人介護スタッフが多数就労している。コミュニケーションには充分留意すること。

**予習項目：** 医療保険と介護保険の違いについて勉強しておくこと。

**復習項目：** 実習時に担当した入所者に対しておこなった医療と介護について学習したことをまとめること。

**初日の集合場所、時間：** 浜崎医院 外来待合室 AM8:30

**交通手段：** 別紙地図参照

**宿泊施設：** なし

オフィスアワー担当者： 松本 達士  
連絡先：06-6681-0361

オフィスアワー日時： 各クール最終日 13時から

# 臨床実習プログラム

教育機関名： 広辻眼科 眼科

責任者名： 廣辻 徳彦

実習内容：

## 科目の概要

地域における眼科診療の実際について基本的理解を得る。

## 科目のゴール

眼科診療についての診察の流れを理解する。

眼科における代表的な検査機器についての知識を得る。

代表的眼科疾患の基礎知識を得る。

診断に至る考え方と治療法を見学し理解する。

## 具体的内容

問診聴取、検査（視力、眼圧、眼底、視野、角膜内皮、OCT など）の見学と実習、診察や処置（レーザーや手術）の見学、症例検討

評価： 共通評価表

受入定員： 1 クール 1 名（受入可能期間は別紙一覧の通り）  
（月、水、木の午前および水の午後）

注意事項： 地域の医療機関ですので、服装や言動に留意してください。

予習項目： 国試対策本程度でよいので、眼科のページに目を通してください。

復習項目： その日に扱った疾患は、その項目を復習してください。

初日の集合場所、時間： 午前 8 時 45 分 医院に来てください。  
月曜日が休日の場合は水曜日、同上

交通手段： 別紙地図参照  
阪急電鉄逆瀬川駅より徒歩 5 分

宿泊施設： なし

オフィスアワー担当者： 廣辻 徳彦  
連絡先： 0797-72-6586

オフィスアワー日時： 実習時間内で随時

# 臨床実習プログラム

教育機関名： 福本眼科クリニック 眼科

責任者名： 福本 雅格

実習内容：

## 科目の概要

実臨床の現場にて、眼科の外来診療及び手術について学ぶ

## 科目のゴール

眼科疾患と治療技術について基本的知識を身につける

診療全体を俯瞰することで、コメディカル存在とコミュニケーションの重要性を理解する

患者－医師間のコミュニケーションについて学ぶ

## 具体的内容

外来診察見学（診察、処置）

外来検査見学

手術見学

評価： 共通評価表

受入定員： 1クール1名（受け入れ可能期間は別紙一覧の通り、1クールまで）

注意事項： 白衣持参

診療、手術時に、患者へ十分な配慮をする

不用意な言動には注意する

手術時には衛生環境保持のためにスタッフの指示に従う

予習項目： 眼科疾患の一般的な知識を教科書にて得ておく

復習項目： 実習で学んだことを、A4用紙1枚にまとめる

初日の集合場所、時間： AM8:40 スタッフルーム；裏口インターフォンを鳴らすこと  
月曜日（休日の時は火曜日）

交通手段： 別紙地図参照

京阪古川橋駅から南へ徒歩10分（ホームページ参照）

宿泊施設： なし

オフィスアワー担当者： 院長 福本 雅格

連絡先：06-6909-0500

オフィスアワー日時： 診療時間内（ホームページ参照）

# 臨床実習プログラム

教育機関名： 医療法人増進会 本田眼科クリニック 眼科

責任者名： 院長 本田 恭子

実習内容：

## 科目の概要

臨床現場を体験し、眼科の一般診療や手術について実際に理解する。

## 科目のゴール

眼科検査の意義を理解し、簡単なものは実際に行って身につける。

眼科の頻発疾患、特に成人病に関する基本的知識を身につける。

眼科手術の実際を理解する。

患者とのコミュニケーションについて学ぶ。

## 具体的内容

外来見学（問診、シュライバー）

外来検査見学、診察機器の使用実習

手術見学、抄読会など

評価： 共通評価表

受入定員： 1クール1名

注意事項： 白衣持参 不用意な言動には注意

予習項目： 眼科の教科書をよく読んでおくこと

復習項目： 実習中にテーマを決めてレポートを自筆で書くこと（最低A4 1枚）

初日の集合場所、時間： クリニック待合室 AM10:00

交通手段： 別紙地図参照  
ホームページ参照 [www.hondaeyeclinic.com](http://www.hondaeyeclinic.com)  
JR 京都線茨木駅西口から徒歩5分

宿泊施設： なし

オフィスアワー担当者： 本田 恭子  
連絡先：072-624-0678

オフィスアワー日時： 月・火・水・金 AM10:00～PM5:00

# 臨床実習プログラム

教育機関名： 医療法人松本ほがらかクリニック 総合診療科

責任者名： 松本 浩明

実習内容：

## 科目の概要

ゆりかごから墓場まで、地域の人々の人生に寄り添う地域医療の現場を経験しその重要性と楽しさを理解する。

## 科目のゴール

- 1) 地域の信頼される医療者としての態度と姿勢で行動する。
- 2) 地域の人々のあらゆる健康問題の Gate Keeper として、外来診療、訪問診療、予防接種、健康診断、ACP（人生会議）等を経験する。
- 3) 地域での多職種連携の重要性を理解する。

## 具体的内容

- 1) 外来診療に参加する（病歴聴取からアセスメント、診断、治療の立案等）。
- 2) 看護師、管理栄養士、受付事務に密着し、地域の患者さんとの距離感を経験する。
- 3) 訪問診療に同行し、終末期を自宅で過ごす患者さんとその家族へのケアを経験する。
- 4) 週 2 回開催の朝の勉強会へ参加する。
- 5) 地域での多職種症例検討会への同行等、診療業務以外の地域での活動へ参加する。

評価： 共通評価表（態度を重要視します）

受入定員： 1 クール 1 名（受け入れ可能期間は別紙一覧の通り）

注意事項： 医療者、学習者としての態度を身に付けておくことが参加条件です

予習項目： 特になし（実習開始後、適宜課題を出します）

復習項目： その日の学び、その週の学びを振り返ります

初日の集合場所、時間： 外来受付、午前 8 時 30 分

交通手段： 当クリニックホームページ参照

宿泊施設： なし

オフィスアワー担当者： 松本 浩明  
連絡先：携帯電話

オフィスアワー日時： クリニックの開院時間



# 臨床実習プログラム

教育機関名： 三嶋医院 内科・循環器科

責任者名： 三嶋 隆之

実習内容：

## 科目の概要

診療所（入院施設なし）での診療、地域医療を体験する。

## 科目のゴール

- 1) 診療所のスタッフの一員であることを自覚し行動する。
- 2) 疑問に思ったことは、そのままにせず調べるなり、質問するなりすること。
- 3) 外来診療の基本を習得する。

## 具体的内容

- 1) 外来診療（主に内科）の基本的な手技を理解する。
- 2) 患者を紹介する（他科もしくは高次病院）タイミング、方法を理解する。
- 3) 学校医の仕事を体験する。

評価： 共通評価表

受入定員： 1クール1名（受入可能期間は別紙一覧の通り）

注意事項： 白衣、聴診器持参

予習項目：

復習項目：

初日の集合場所、時間： 午前8時30分 現地  
月曜日が休日の場合は火曜日、同上

交通手段： 別紙地図参照

宿泊施設： なし

オフィスアワー担当者：

連絡先：

オフィスアワー日時：

# 臨床実習プログラム

教育機関名： みやもと脳神経外科クリニック 脳神経外科

責任者名： 宮本 貴史

実習内容：

## 科目の概要

脳神経外科外来での診療を体験する。

## 科目のゴール

実際の脳神経外科外来において、当院医療スタッフと交流しながら脳神経外科疾患の診療のす  
すめ方や患者さんへの接し方を体験する。

## 具体的内容

- ・複数の診察室がある当院のメリットを利用して、脳神経外科専門医の監督下にて実際に患者  
を問診したり、具体的な神経学的所見の診察や手順を経験する。
- ・患者受付から各種検査を経て診察室からリハビリテーション室にいたるまでの診療行為の流れ  
を、受付事務や診察室のメディカルクラークと交流しながら電子カルテを実際に運用して体験  
する。
- ・各種診断機器（1.5テスラ MRI、頸動脈エコー、重心動揺測定、骨密度、ポリグラフ、レント  
ゲン、心電図など）の実際の施行現場を見学しながら放射線技師や看護スタッフと交流し、そ  
の所見結果を脳神経外科専門医と供覧しながら理解する。
- ・以上の体験から、当院に来院される患者さんの様々な疾患を、できるかぎり受診当日に画像機  
器などを駆使してスピーディーに確定診断し、内服やリハビリテーション治療あるいは高次機  
能病院紹介などに至る脳神経外科外来での診療行為の大局的な流れをとらえる事を最終的な行  
動目標とする。

評価： 共通評価表

受入定員： 1クール1名（受入可能期間は別紙一覧の通り、2クールまで）

注意事項： 患者さんと接する事になるので、ふさわしい外観で来院して下さい。

予習項目： 当院にある脳神経外科の参考書などを参照し、勉強しておくこと

復習項目： 実習で扱った症例及び神経学的所見についてまとめること

初日の集合場所、時間： 午前8時45分に当院に来院して受付におっしゃって下さい。  
週3回（月、水、金）午前診での実習を予定しています。

交通手段： 別紙地図参照

- ・近鉄南大阪線の藤井寺駅下車 近鉄タクシーに乗車し「みやもと脳神経外科クリニック」と  
おっしゃって下さい。タクシーにて必ず領収書をもらって下さい。

宿泊施設： なし

オフィスアワー担当者： 宮本 貴史

連絡先：みやもと脳神経外科クリニック 072-955-1155

オフィスアワー日時： 第2週金曜日 13:00～ クリニック 診察室

# 臨床実習プログラム

教育機関名： やすだクリニック 小児科

責任者名： 保田 浩

実習内容：

科目の概要

小児の一般的疾患、プライマリケアを学ぶ。

科目のゴール

子供の疾患に対する知識をつけ、診断、治療方針を考える。

親子、母子をとりまく環境、子育て支援の視点を理解する。

具体的内容

外来診察の見学、基本的診察手技など

評価： 共通評価表

受入定員： 1クール1名（受入可能期間は別紙一覧の通り）

注意事項： 将来開業も考えている人は是非研修して下さい。  
診療と雑用で忙しい毎日を体験して下さい。

予習項目： 一般小児科の知識をつけておくこと。  
呼吸音、心雑音など、聴診技術を鍛えておくこと。

復習項目： 日々実習で習ったことを復習

初日の集合場所、時間： 8時30分 クリニック

交通手段： 別紙地図参照

宿泊施設： なし

オフィスアワー担当者：

連絡先：

オフィスアワー日時：

# 臨床実習プログラム

教育機関名： 医療法人蘇桂会 渡辺医院 小児科

責任者名： 渡邊 一男

実習内容：

科目の概要

小児の一般的疾患、プライマリケアを学ぶ。

科目のゴール

子供の疾患に対する知識をつけ、診断、治療方針を考える。

親子、母子をとりまく環境、子育て支援の視点を理解する。

具体的内容

外来診察の見学、基本的診察手技など

評価： 共通評価表

受入定員： 1クール1名

注意事項： 数多くの患者が来られます。その点で常識的な配慮のできる方。

予習項目： 特になし

復習項目： 実習時の指導項目をまとめておくこと

初日の集合場所、時間： 8時50分 自院受付へ  
月曜日が休日の場合は火曜日、同上

交通手段： 別紙地図参照

宿泊施設： なし

オフィスアワー担当者： 渡邊 一男  
連絡先：072-840-5788

オフィスアワー日時： 毎日 実習開始前 10分 or 終了後 10分

## 25. 2025年 教育機関（単位互換科目）

### 関西医科大学「選択制臨床実習」（単位互換科目）

教育機関： 関西医科大学

責任者名： 木梨 達雄（関西医科大学学長）

実習内容：

#### ■はじめに

近畿地区私立医科大学4校は、平成18年度からお互いの学生が相互に附属病院を訪問し、一緒に臨床実習を行う、相互選択臨床実習を行うことになりました。各大学の学友が同じ病院で、ともに切磋琢磨しながら友情を育み、有意義な臨床実習を本学で受けられることを願っています。

クリニカル・クラークシップは、将来医師となる学生諸君にとり、臨床現場において医師、看護師など医療チームの一員として貴重な臨床経験を積む大切な機会です。

クリニカル・クラークシップに臨む際には、社会人としての自覚を持ち、医師を目指す医学生として真摯かつ自覚ある行動を強く求めます。

#### ■関西医科大学の教育の理念

関西医科大学医学部は、建学の精神に則り、自由・自律・自学の学風のもと、生涯にわたり、学問的探究心を備え、幅広い教養と国際的視野をもち、地域社会に貢献する人間性豊かな良医を育成することを教育の理念とする。

#### ■関西医科大学のディプロマ・ポリシー

##### 1. 医療人としての人間性

1) 慈しみ・めぐみ・愛を心の規範として豊かな人間性を身につける。

##### 2. プロフェッショナリズム・倫理観

1) 医師としての職責を自覚し、倫理観・使命感・責任感を涵養し、省察的態度をもって行動ができる。

2) 法令や社会的規範を遵守し、責任ある社会人として行動ができる。

##### 3. コミュニケーション能力

1) コミュニケーション能力を持ち、患者・家族・同僚と良好な人間関係を築くことができる。

##### 4. 患者中心・共感の姿勢

1) 共感的姿勢を持ち、患者の立場になって行動する態度を身につける。

##### 5. 医学的知識・技能

1) 国際的・社会的に貢献できる幅広い教養、特定分野にとらわれない医学的知識を修得する。

2) 根拠に基づいた医療を基盤とする臨床推論を実践できる。

3) 良質で安全な医療に立脚した基本的診療能力・技能を修得する。

##### 6. 科学的思考・問題解決能力

1) 科学的な観察力・思考力・表現力を身につけ、自ら問題を解決することができる。

##### 7. 自己主導型学習・生涯学習

1) 自己主導型学習を実践し、向上心を持ち生涯にわたり学習を継続する姿勢を身につける。

##### 8. 多職種連携

1) リーダーシップを発揮し、多職種連携による医療・研究を実践できる。

##### 9. 国際的視野・地域医療

1) 国際的視野を持ち、医療人として国際社会に貢献できる。

2) 地域における保健・医療・福祉を理解し、医療人として地域社会に貢献できる。

### ■関西医科大学附属病院の理念

慈仁（めぐみ）を心の鏡とした、安全であたたかい医療を提供します。

1. 患者の意思を尊重し、個々の患者に最適な医療を行います。
2. 感染対策に注力し、安全な医療に最善を尽くします。
3. 医療人の責任と自覚を持って、チーム医療を行います。
4. 地域の医療機関との連携を深め、地域社会に貢献します。
5. 先進的な医学研究にとりくみ、最新の医療を提供します。
6. 医育機関として人間性ゆたかな優れた医療人を育成します。

### ■実習学生の守るべき点、心掛ける点（節度ある態度）

1. 患者さんへの接し方、話し方に注意し、丁寧な言葉遣いをする。
2. 医行為で失敗したり、事故があった時、あるいは患者さん、家族が怒りだした時など事態が変化したとき、必ず指導医ないし近くの医師に報告すること。
3. 分からないことは自己判断せず、指導医に聞くこと。
4. 病院の中では大声で話したり、大声で笑ったりしないこと。
5. 病棟詰所から何か持ち出すときは看護師に許可を得ること。
6. 「学生用接遇マニュアル」に記載された服装・みだしなみを遵守すること。

### ■医師のつとめ

1. 患者のケアを第一に考える。
2. すべての患者に親切と思いやりをもって接する。
3. 患者の尊厳とプライバシーを尊重する。
4. 患者のいうことに耳を傾け、患者の考えを尊重する。
5. 患者が理解できるように説明する。
6. 患者の権利を尊重し、自分の治療に関する決定に十分関与してもらう。
7. 最新の専門知識と技能を修得するように努める。
8. 自分の専門能力の限界を知る。
9. 正直であり、信頼されるように努める。
10. 守秘義務を遵守する。
11. 患者の治療にあたっては自分の個人的な考えに左右されないように注意する。
12. 自分や同僚の能力または技術に限界があるときは指導医（専門医）の協力を求めることをためらわない。
13. 医師としての地位を濫用しない。
14. 同僚と協力し、患者が最大の利益を受けるようにはかる。

### ■実施方法

2週間のプログラムとし、診療参加型臨床実習を実施する。

選択した講座における「到達目標」「臨床実習評価票」「講座別連絡先」「実習スケジュール」等の詳細や実習初日の集合時刻・場所等については、教務課教務係から事前に連絡する。

### ■実習単位： 2単位

### ■評価方法

臨床実習指導者が「臨床実習評価票」に従って行い、学生の所属する大学に対して所定の期日までに「学修評価表および認定証」にて報告する。

評価方法は100点法の総合評価とし、60点以上を合格、59点以下を不合格とする。

■単位認定

単位互換協定に基づき取得した単位（時間）は学生の所属大学における単位（時間）として認定する。

以上



## 26. 2025年 教育機関一覧（海外）

### 臨床実習プログラム（海外）

#### 実習内容：

##### 科目の概要

国内外で医療に貢献できる医師となるための医学知識、教養を修得する。海外交流校の臨床見学実習に参加し、海外の医療について知識を深める。派遣期間は3月/4月（原則4週間）。

##### 科目のゴール

1. 研修国・地域において、患者、医療者と良好なコミュニケーションを築くことができる言語能力、社会的スキルを身につける。
2. 研修国・地域の医療の現状について理解し説明できる。
3. 研修国・地域の医療と日本の医療を比較検討し、どのように貢献できるのかを考える。
4. 本実習が卒業後の医療人としてのキャリアにどう活かされるのか考える。
5. 語学力の研鑽のためだけでなく、医師を目指す者として明確な目的を持って、実習に参加することができる。

##### 具体的内容

1. 各実習先での見学・補助
2. 症例検討会への参加

※具体的内容に関しては各研修先で異なるため、研修先の指示に従う。

**選考方法：** 募集及び選考は、医学部国際交流委員会を通じて行う。募集時期、選考方法についてはユニバーサルパスポートを参照のこと。

また、選考の参考とするため、TOEFL iBT、IELTS を積極的に受けること。

**評価：** 本学評価表を用いて、現地実習担当者が評価を行う。単位認定プログラムはそれを基に本学で単位認定を行う。

**注意事項：**

1. 募集及び選考は5年生時（ハワイ大学については4年生時）に行い決定するが、第5学年臨床実習評価試験に不合格、第6学年国家試験対策の出席が必須になるなどの成績が振るわない場合は、派遣決定後であっても取り消される事がある。
2. 派遣決定後は、派遣者自身で受入れ先大学とのやり取りを行う。希望実習科の申込みも派遣者自身が行う研修先もあるため、期限内に所定の手続きを行うこと。なお、所定手続きを行えない場合は、派遣を取り止めることがあるので注意すること。
3. 研修先について事前によく情報収集をし、自身の学習の目的に沿った研修先を選択すること。

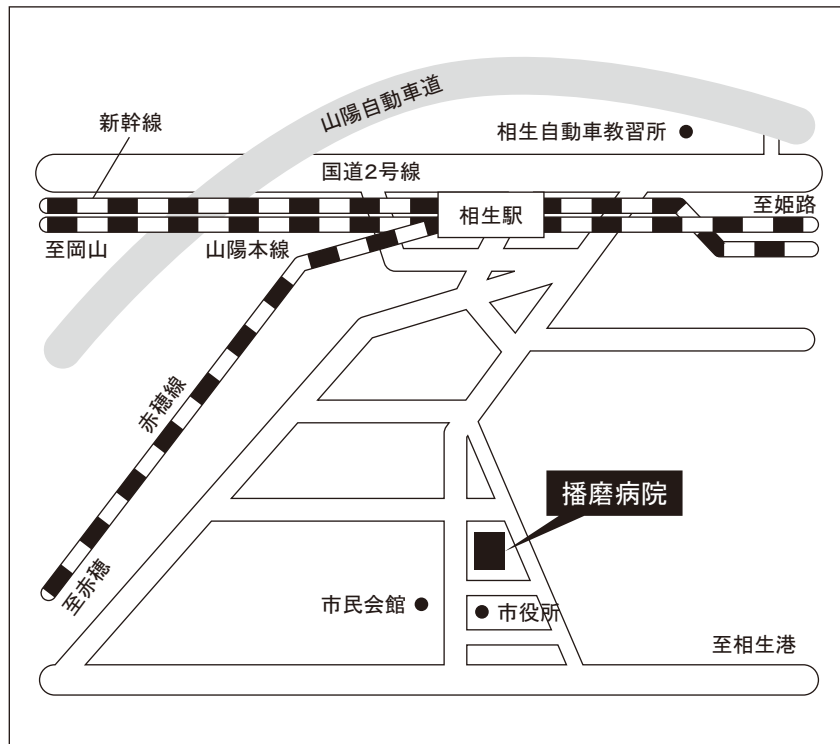
## 2025年度派遣先一覧

国・地域	大学名	定員	単位形式	備考
米国	ハワイ大学医学部	1 名	認定	University of Hawaii, John A. Burns School of Medicine 研修施設：University of Hawaii, John A. Burns School of Medicine（関連病院を含む） URL: <a href="https://jabsom.hawaii.edu/">https://jabsom.hawaii.edu/</a>
タイ王国	マヒドン大学医学部 シリラート病院	2 名	認定	Mahidol University, Faculty of Medicine, Siriraj Hospital 研修施設：Siriraj Hospital URL: <a href="http://www2.si.mahidol.ac.th/en/">http://www2.si.mahidol.ac.th/en/</a>
大韓民国	韓国カソリック大学 医学部	2 名	認定	The Catholic University of Korea, School of Medicine 研修施設：St. Mary's Hospital URL: <a href="http://songeui.catholic.ac.kr/eng/">http://songeui.catholic.ac.kr/eng/</a>
	ソウル国立大学医学部	2 名	認定	Seoul National University, College of Medicine 研修施設：Seoul National University Hospital URL: <a href="https://medicine.snu.ac.kr/en">https://medicine.snu.ac.kr/en</a>
シンガポール	シンガポール国立大学 医学部	2 名	認定	National University of Singapore, Yong Loo Lin School of Medicine 研修施設：National University Hospital 他 URL: <a href="https://medicine.nus.edu.sg/">https://medicine.nus.edu.sg/</a>
台湾	台北医学大学	2 名	認定	Taipei Medical University, College of Medicine 研修施設：Taipei Medical University Hospital URL: <a href="http://medicine.tmu.edu.tw/index.php">http://medicine.tmu.edu.tw/index.php</a>
	国立台湾大学	10 名	認定	National Taiwan University, College of Medicine 研修施設：National Taiwan University Hospital URL: <a href="http://www.ntu.edu.tw/english/academics/academics_medicine.html">http://www.ntu.edu.tw/english/academics/academics_medicine.html</a>

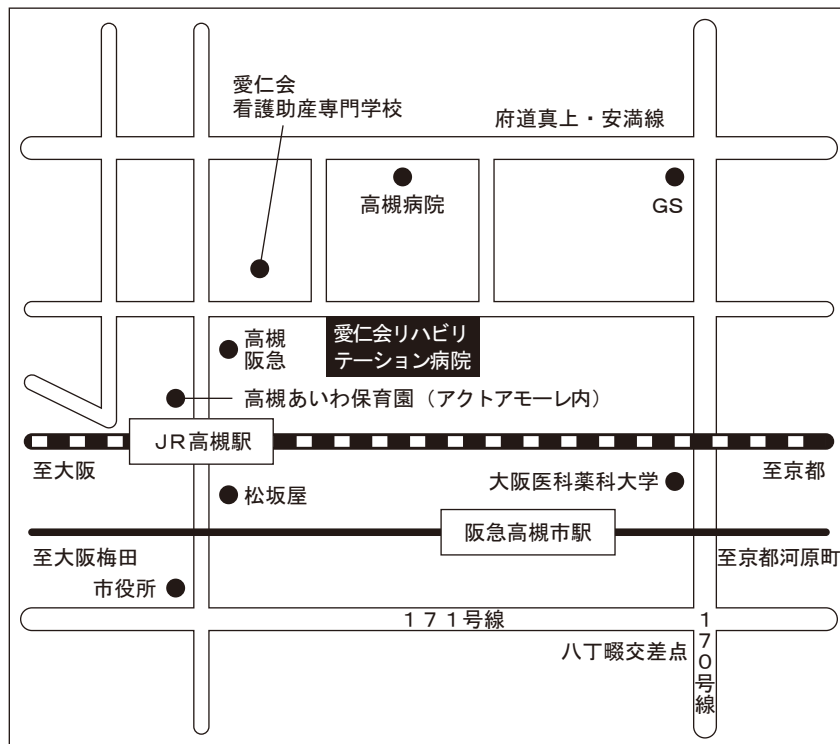
事務問い合わせ先：医学部国際交流委員会

オフィスアワー：平日9:00～16:50 iec-med@ompu.ac.jp

# I H I 播 磨 病 院



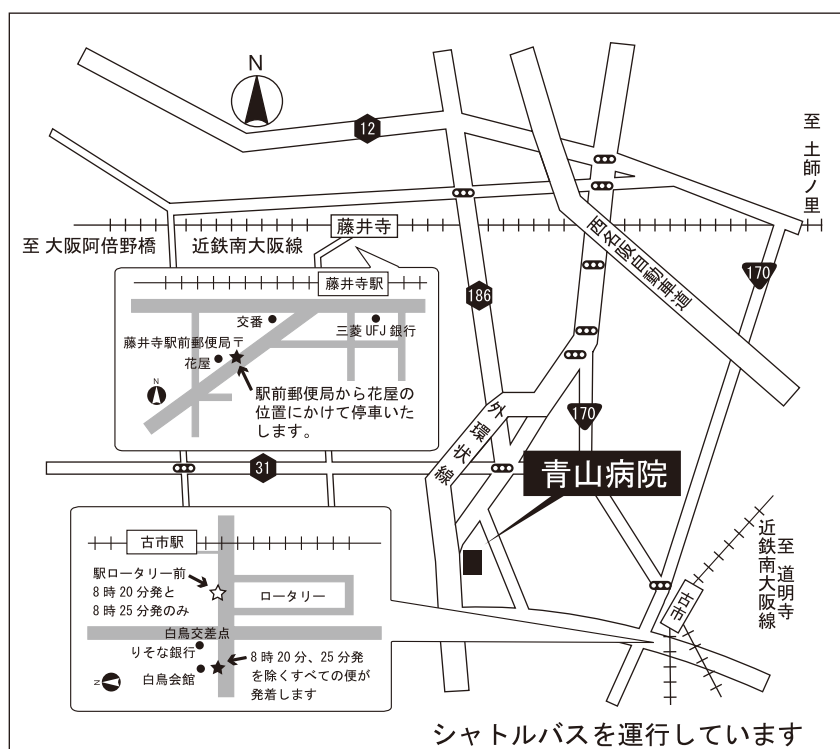
# 社会医療法人愛仁会 愛仁会リハビリテーション病院



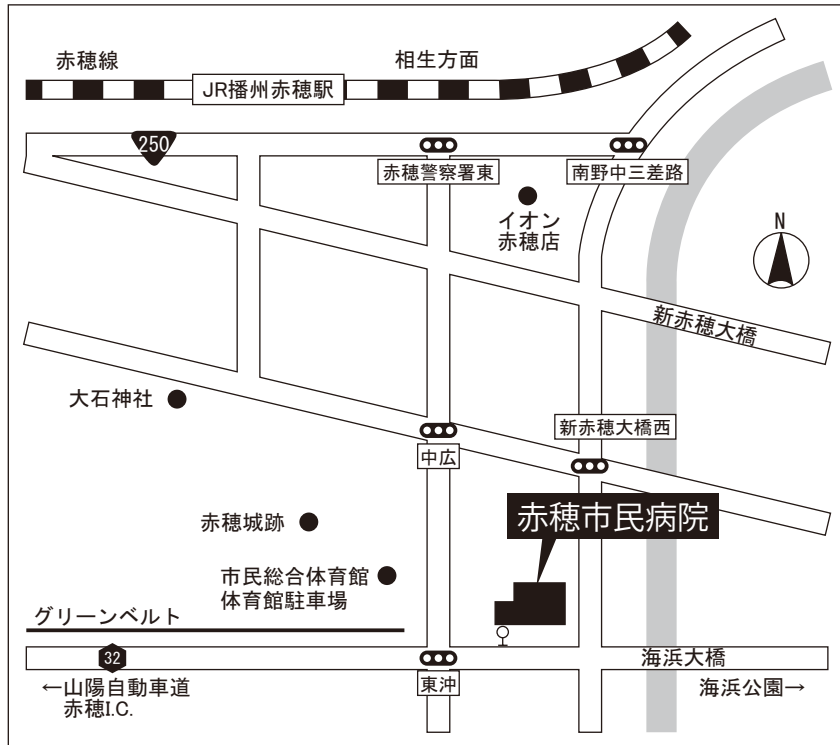
医療法人恒昭会 藍野花園病院  
医療法人恒昭会 藍野病院



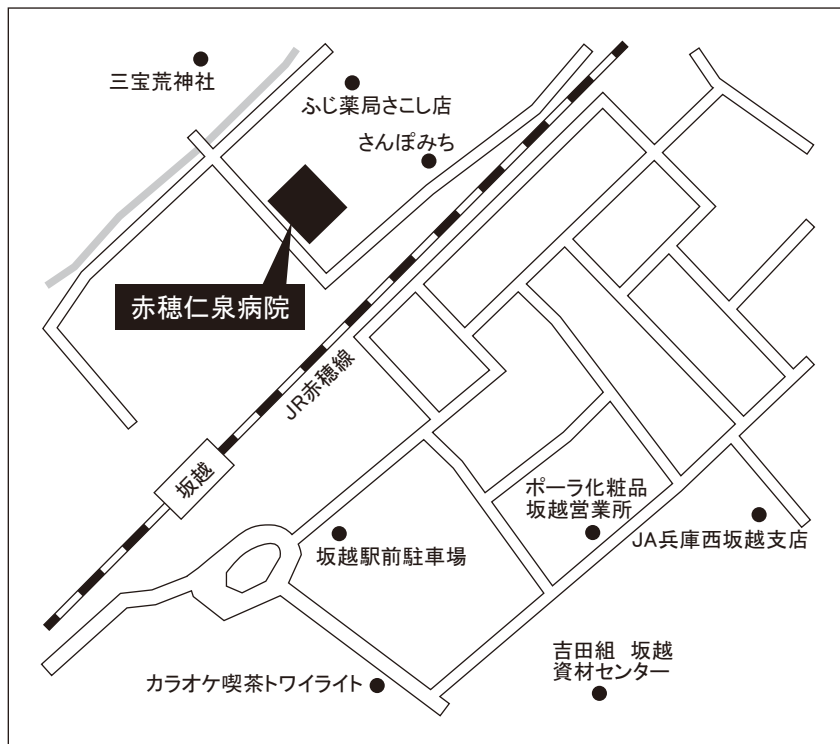
医療法人ラポール会 青山病院



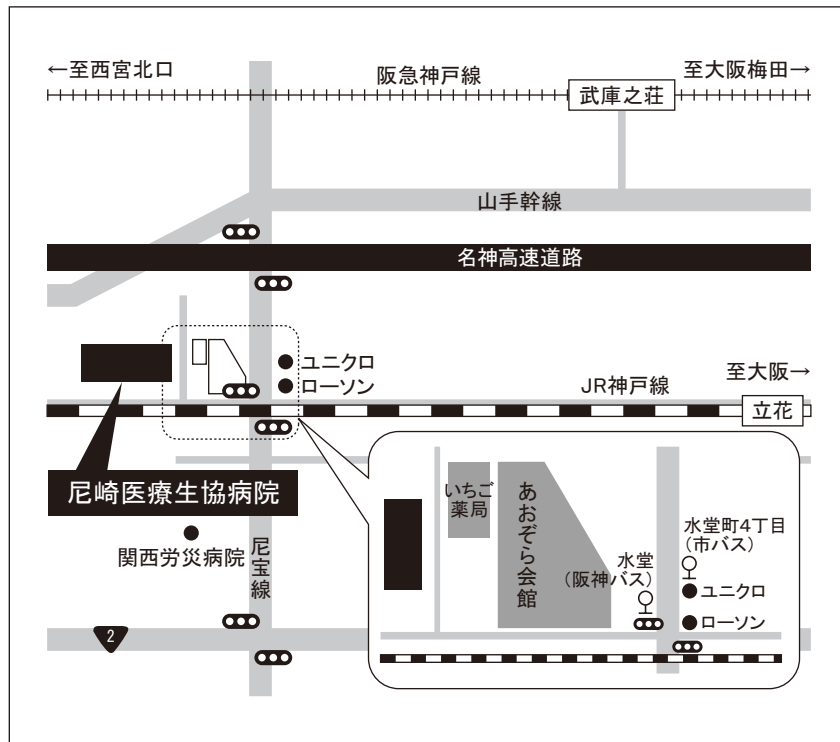
## 赤穂市民病院



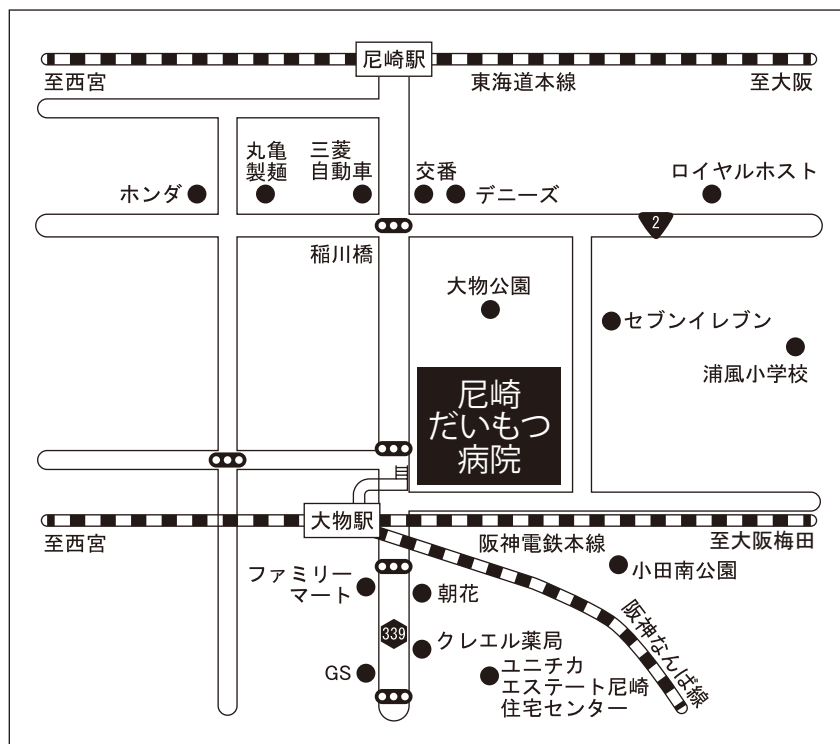
医療法人千水会 赤穂仁泉病院



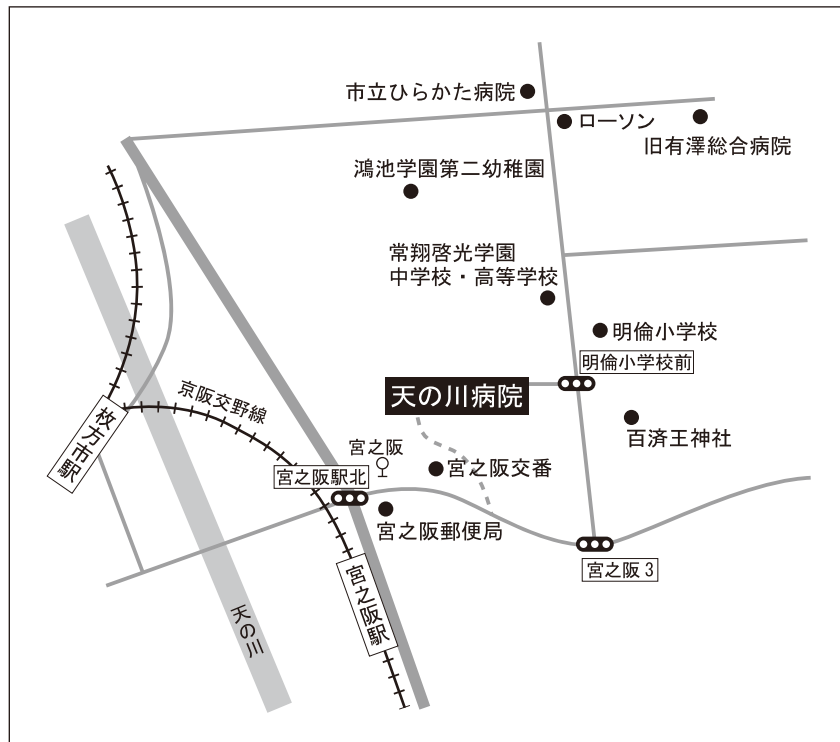
## 尼崎医療生協病院



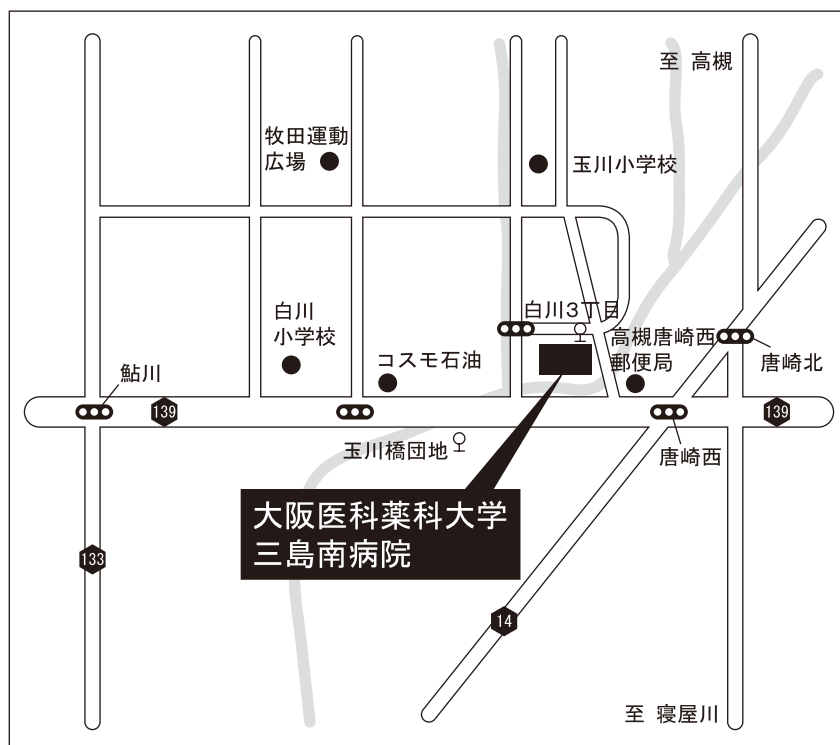
## 社会医療法人愛仁会 尼崎だいもつ病院



## 医療法人北辰会 天の川病院



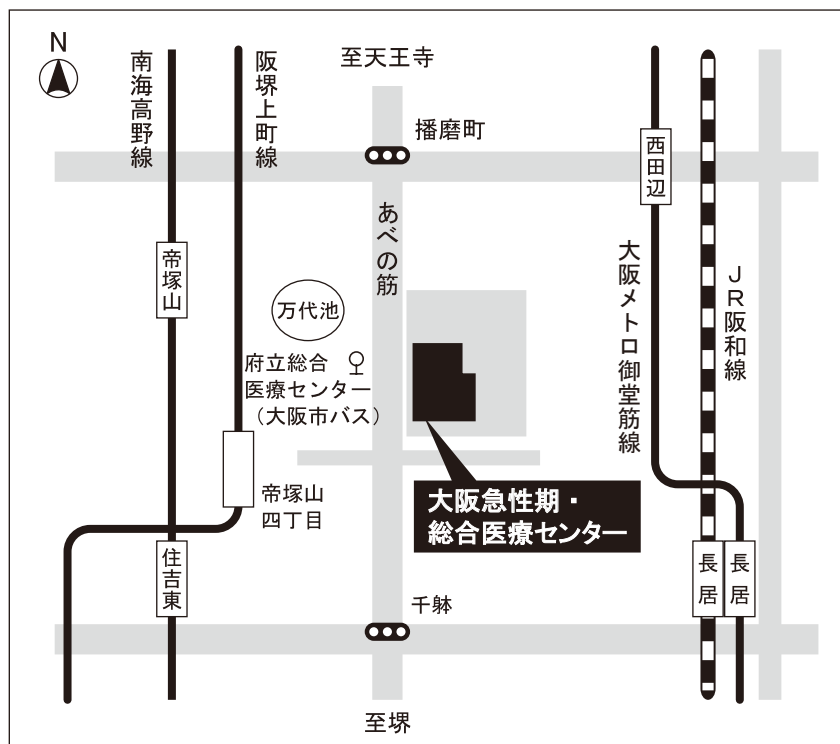
## 大阪医科薬科大学三島南病院



## 大 阪 回 生 病 院

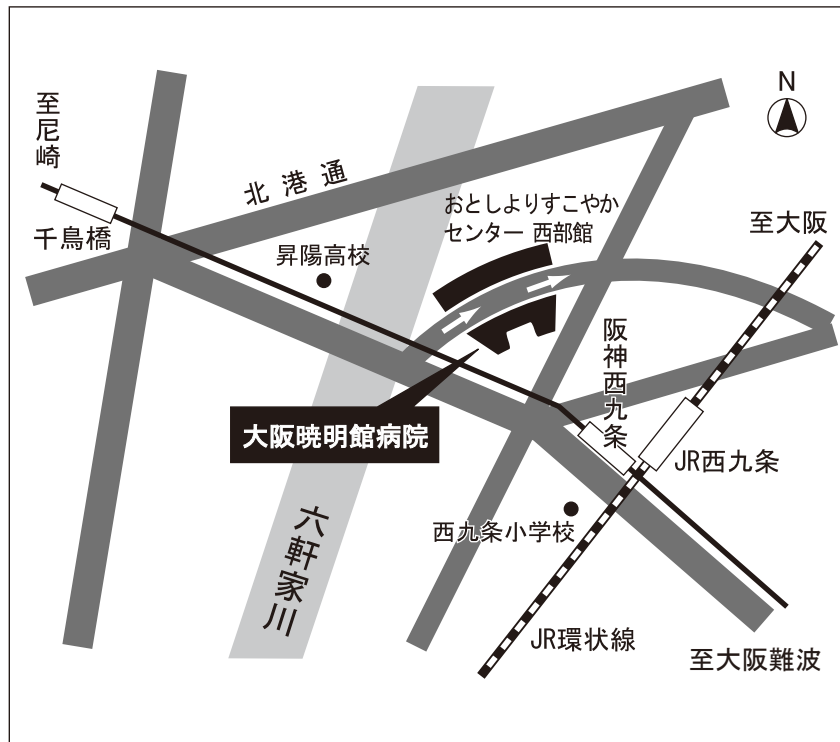


## 大阪急性期・総合医療センター

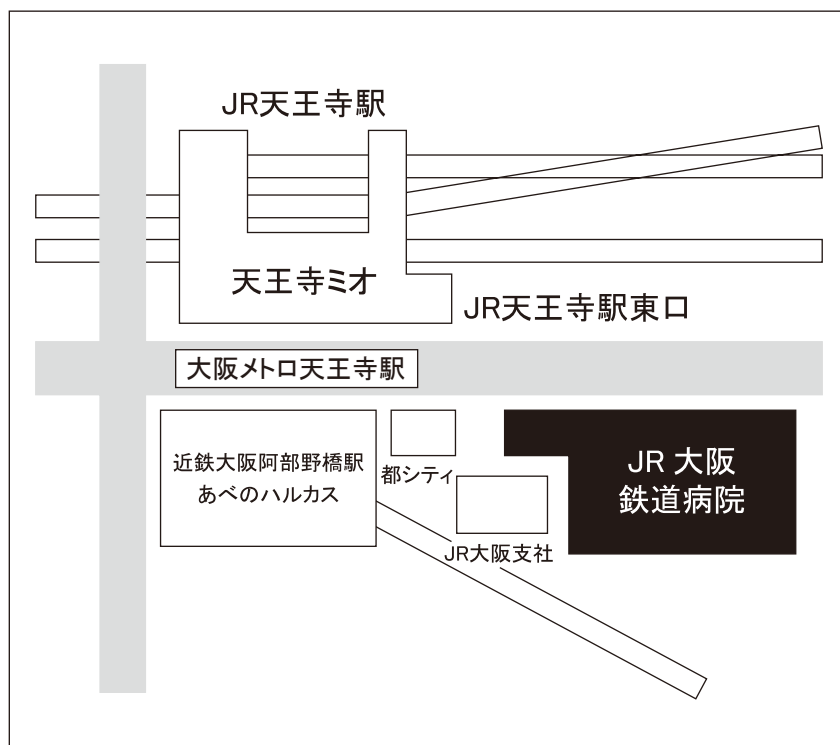




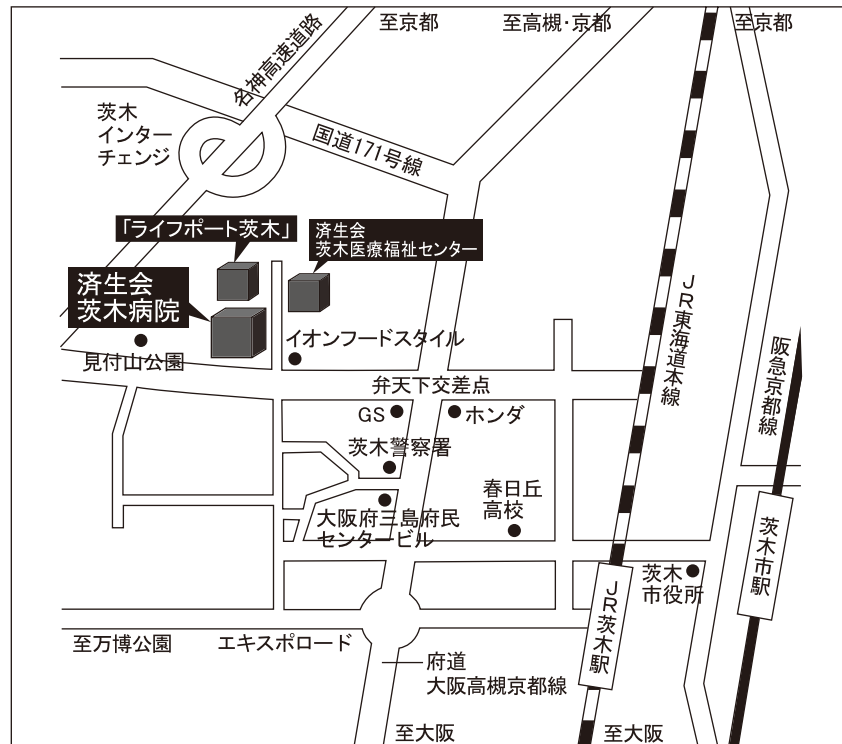
## 大 阪 暁 明 館 病 院



## 西日本旅客鉄道株式会社 大阪鉄道病院



## 大阪府済生会茨木病院



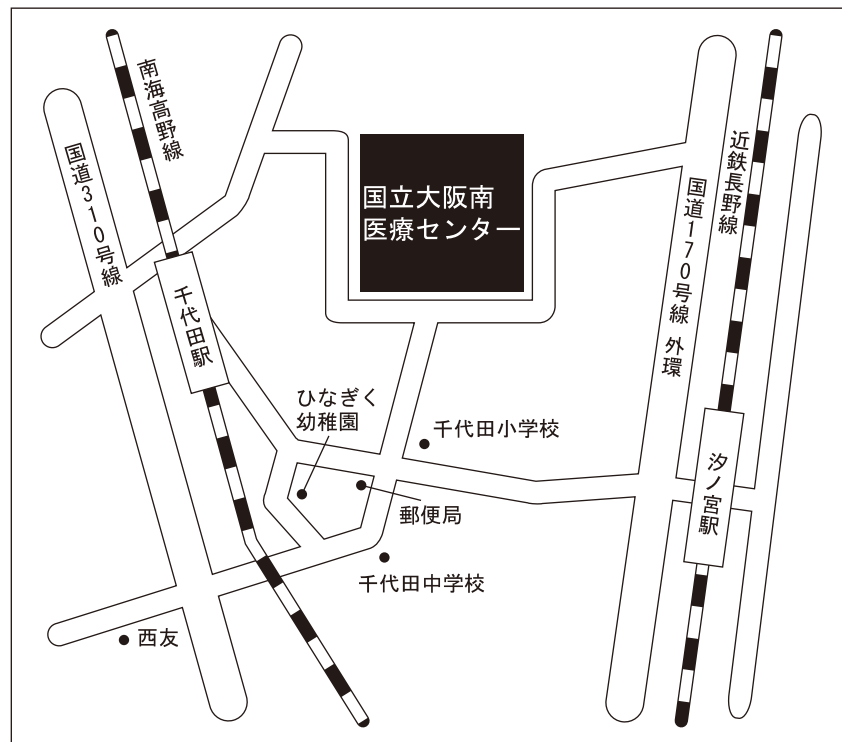
## 大阪府済生会吹田病院



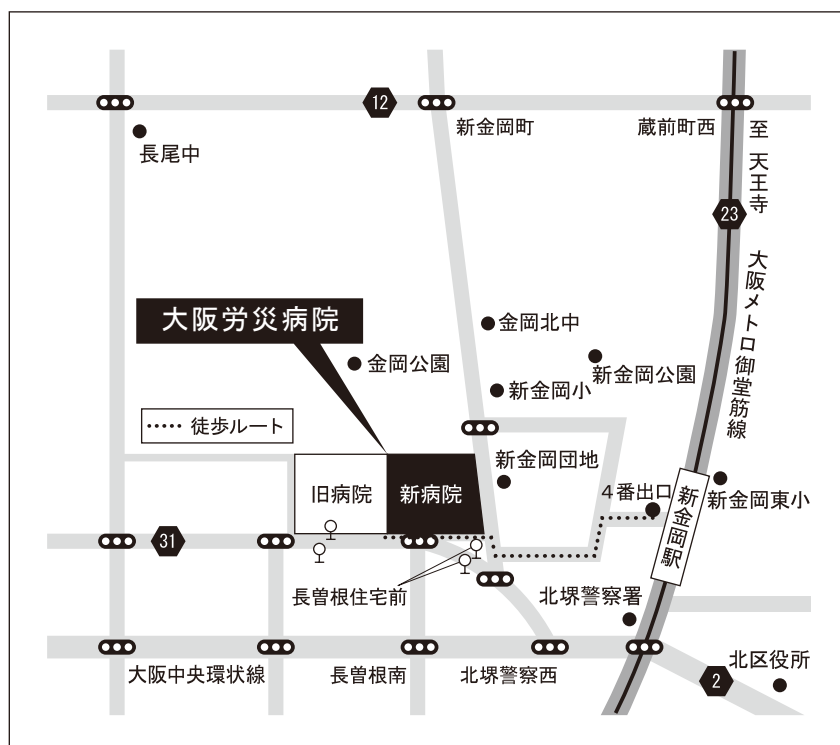
## 大阪府済生会中津病院



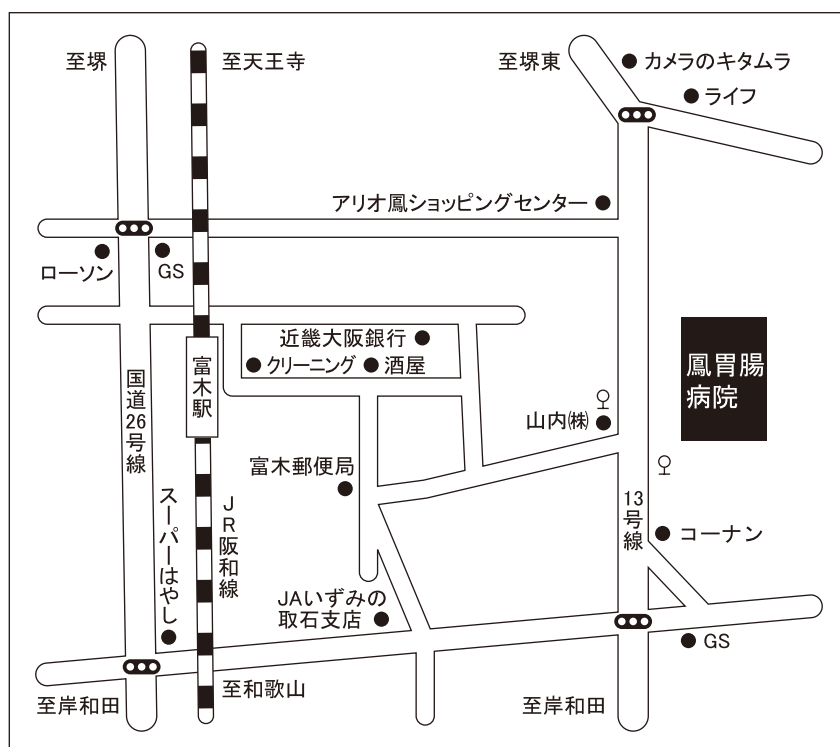
## 独立行政法人国立病院機構 大阪南医療センター



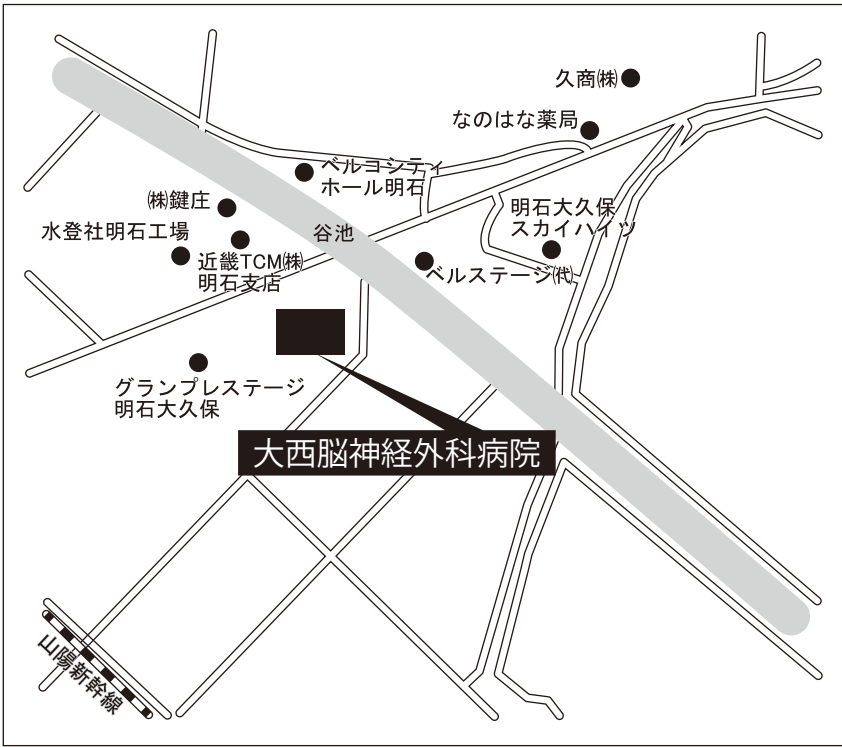
## 独立行政法人労働者健康安全機構 大阪労災病院



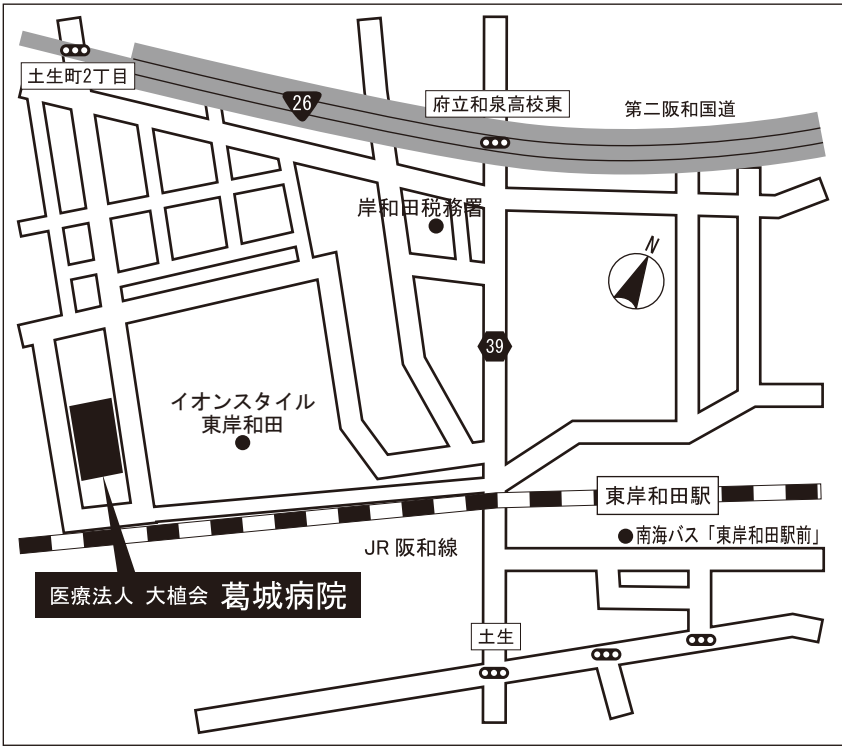
## 医療法人達瑛会 鳳胃腸病院



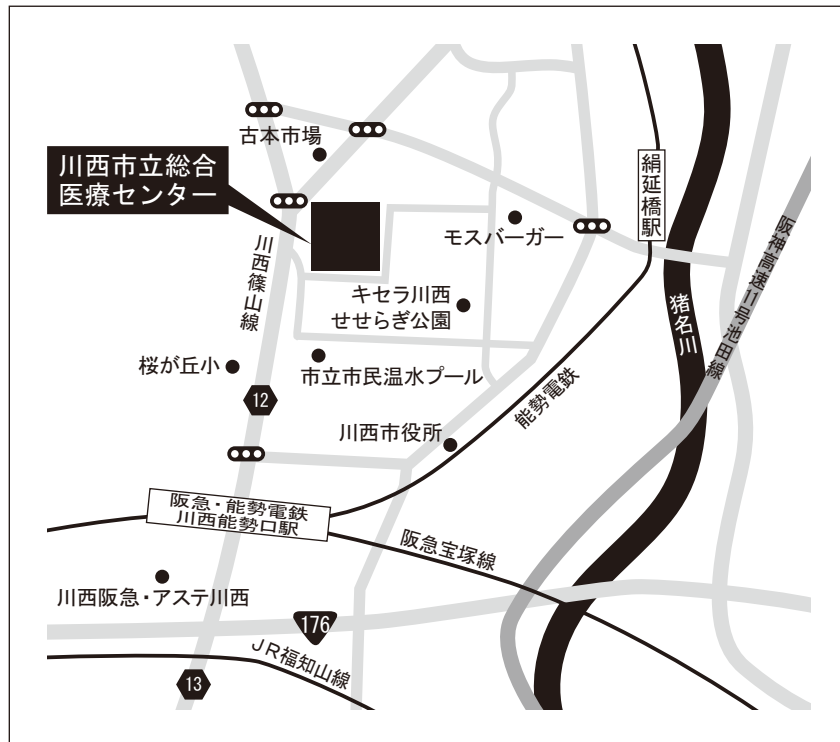
## 医療法人社団英明会 大西脳神経外科病院



医療法人大植会 葛城病院



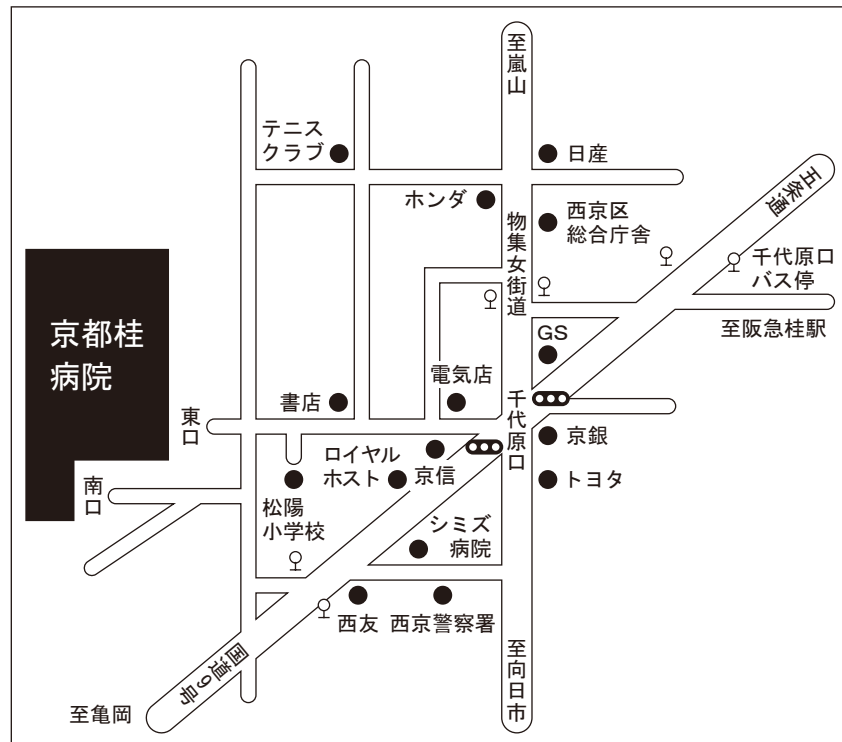
## 川西市立総合医療センター



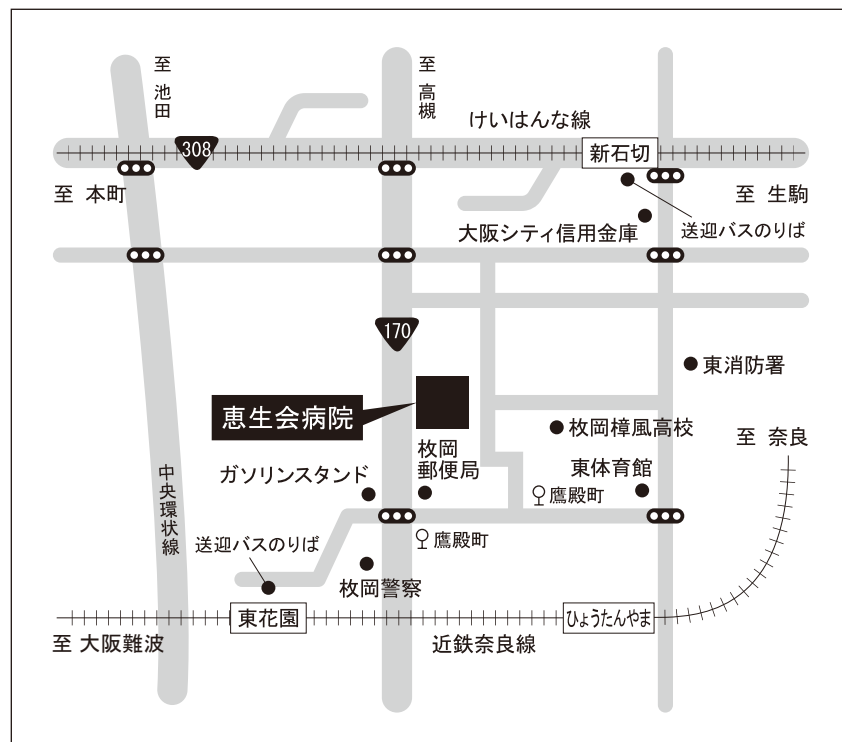
## 社会医療法人岡本病院（財団） 京都岡本記念病院



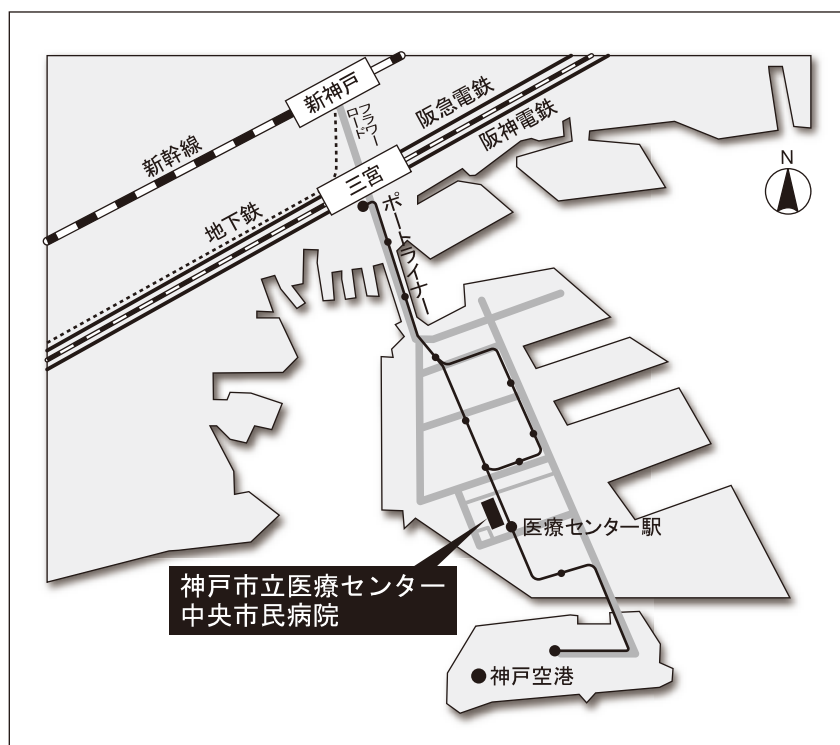
## 社会福祉法人京都社会事業財団 京都桂病院



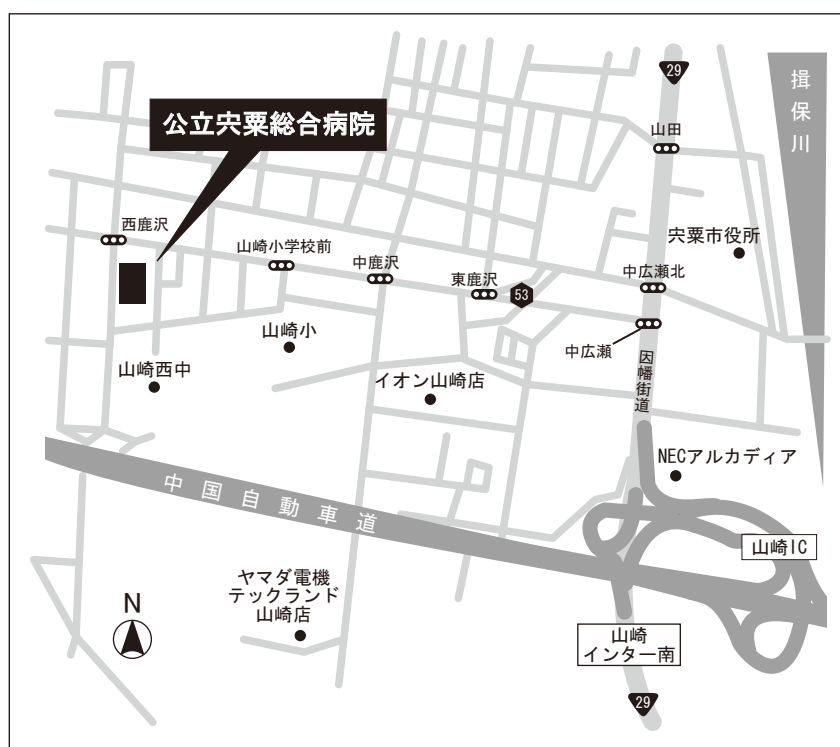
## 医療法人恵生会 恵生会病院



## 神戸市立医療センター 中央市民病院

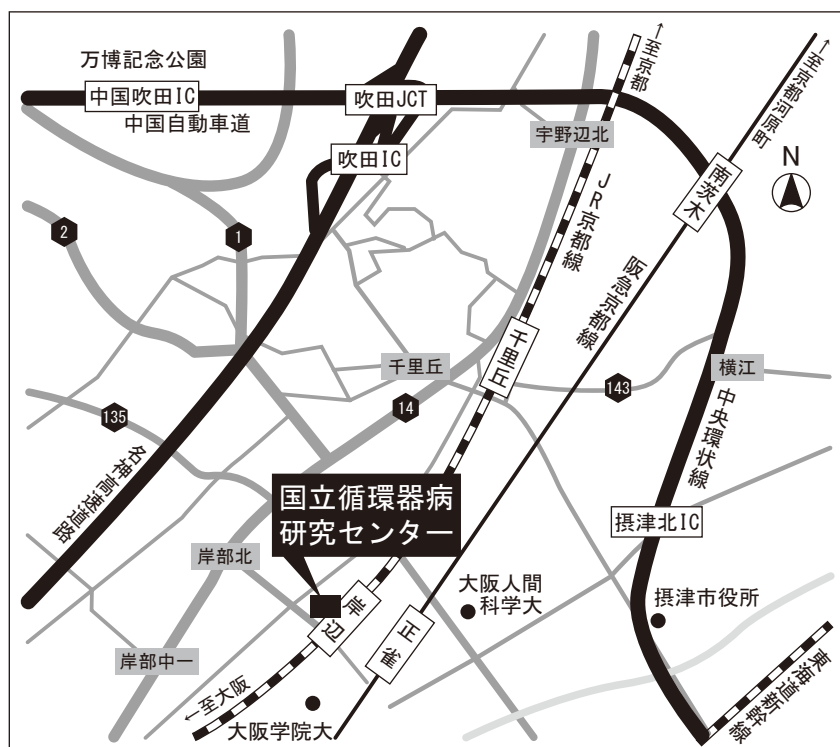


## 公立宍粟総合病院

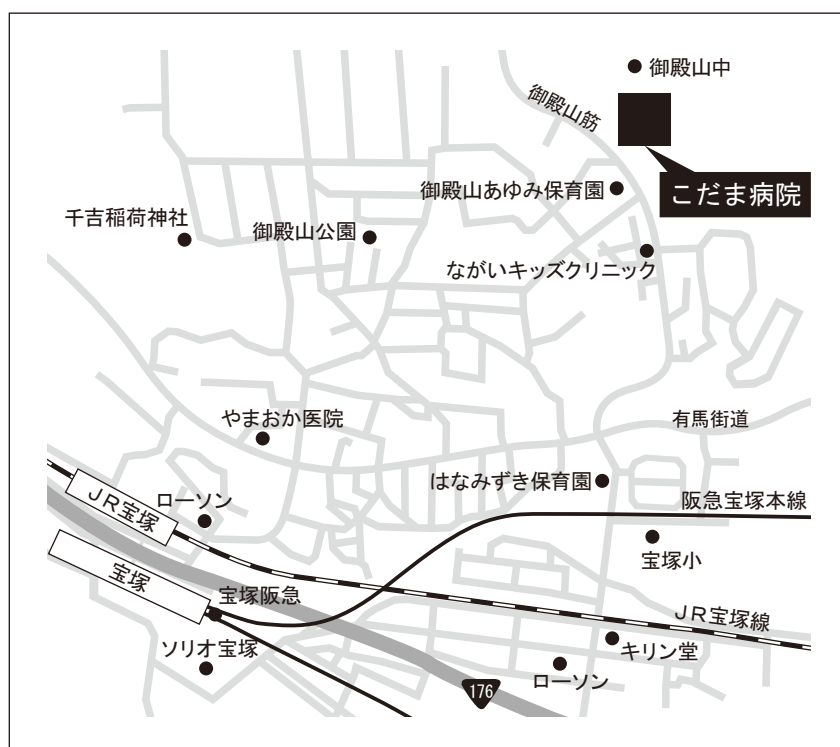




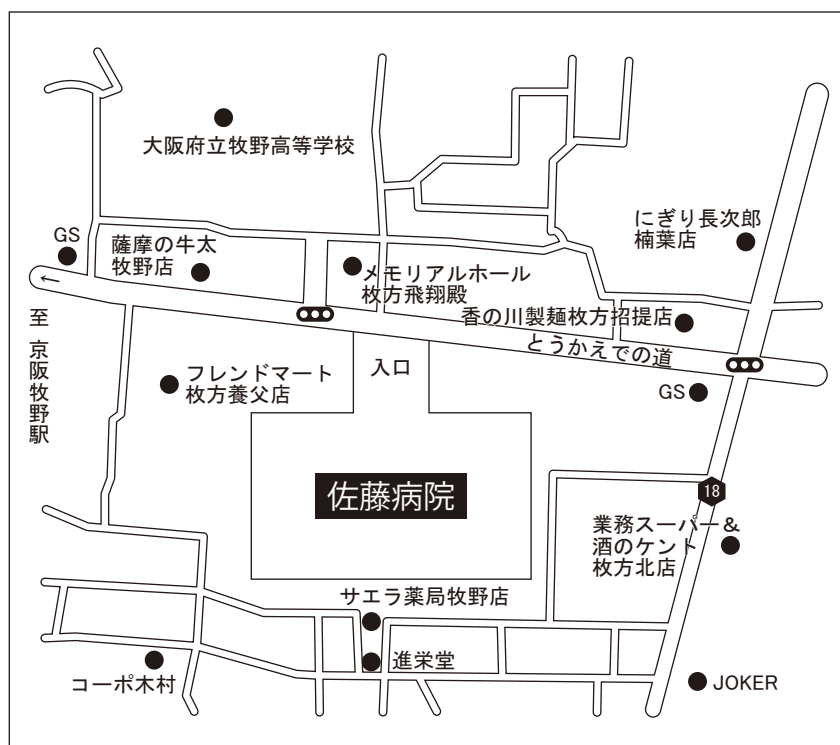
## 国立循環器病研究センター



## 医療法人社団それいゆ会 こだま病院



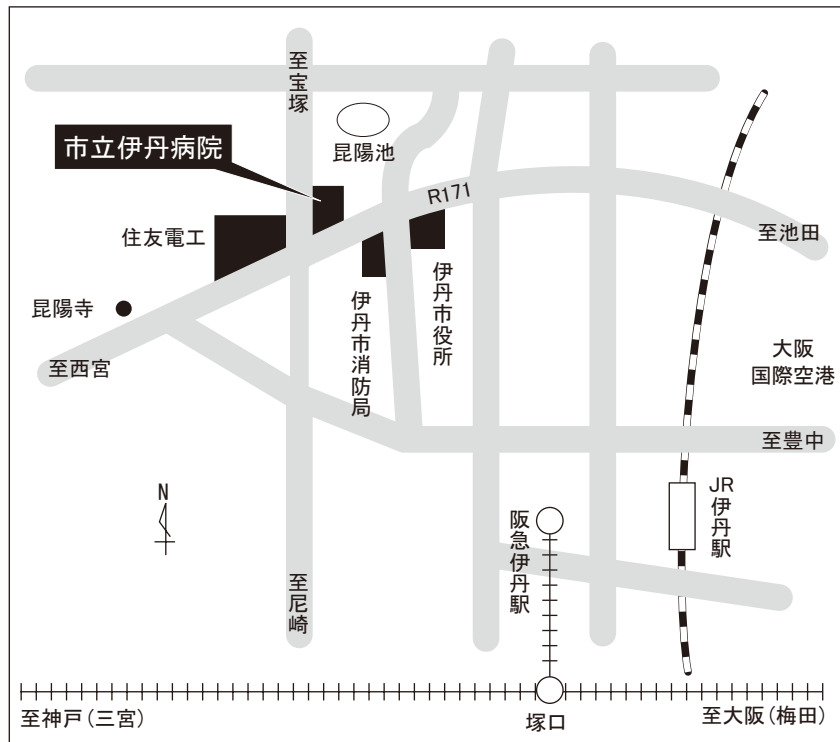
## 社会医療法人美杉会 佐藤病院



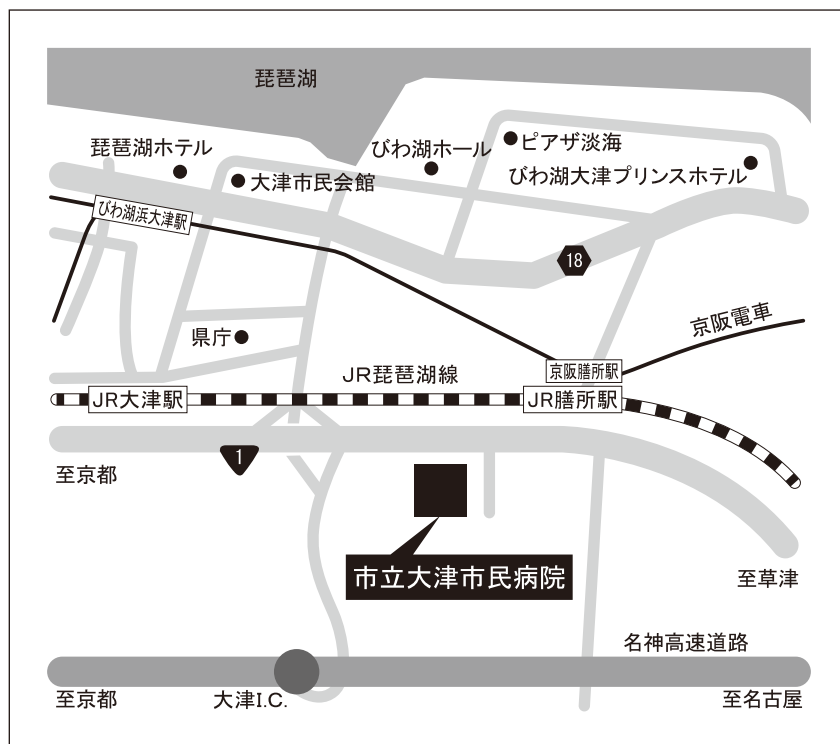
## 市立池田病院



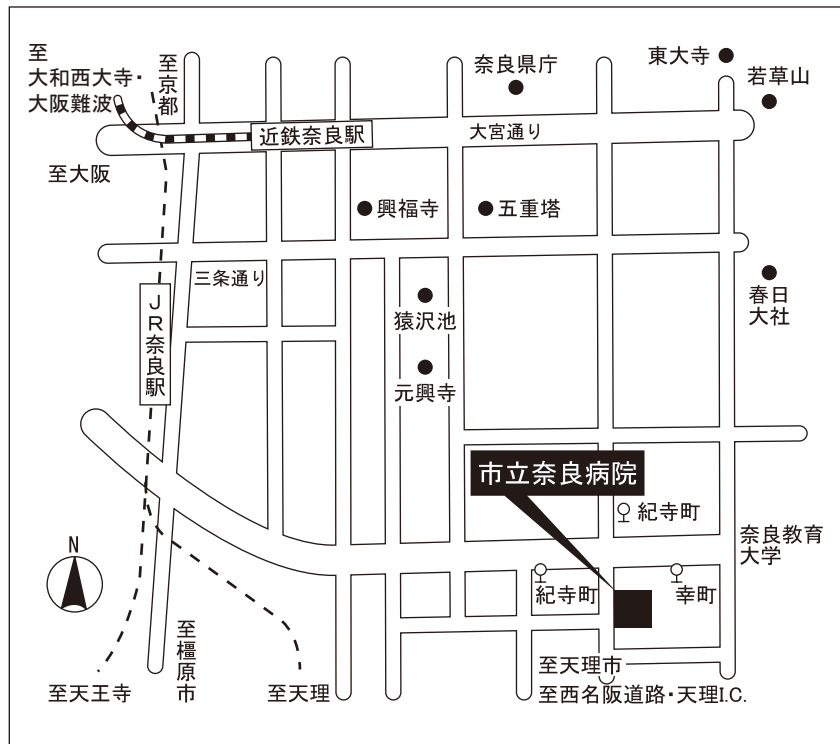
## 市立伊丹病院



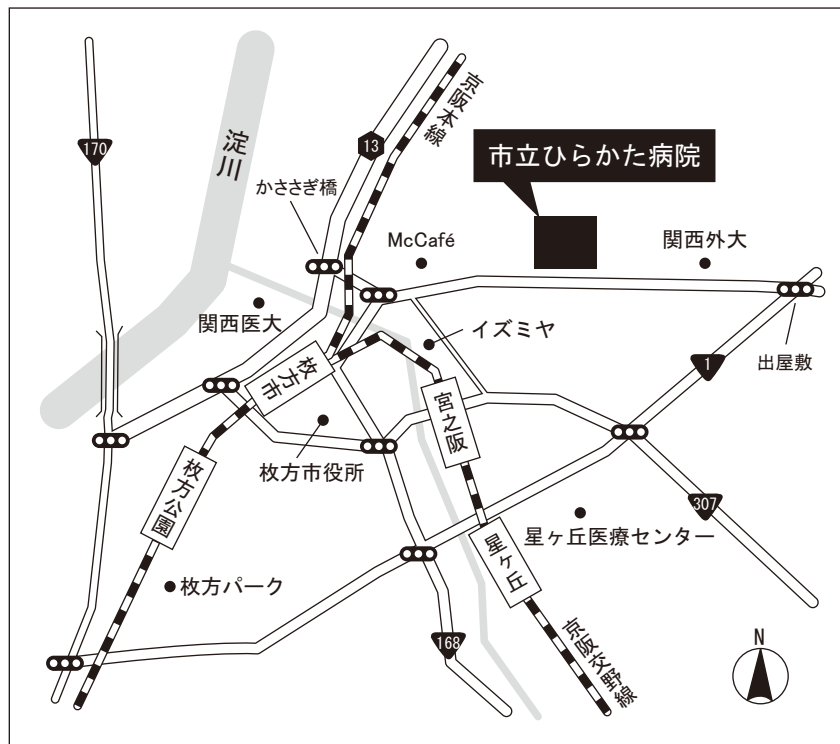
## 地方独立行政法人 市立大津市民病院



## 市立奈良病院



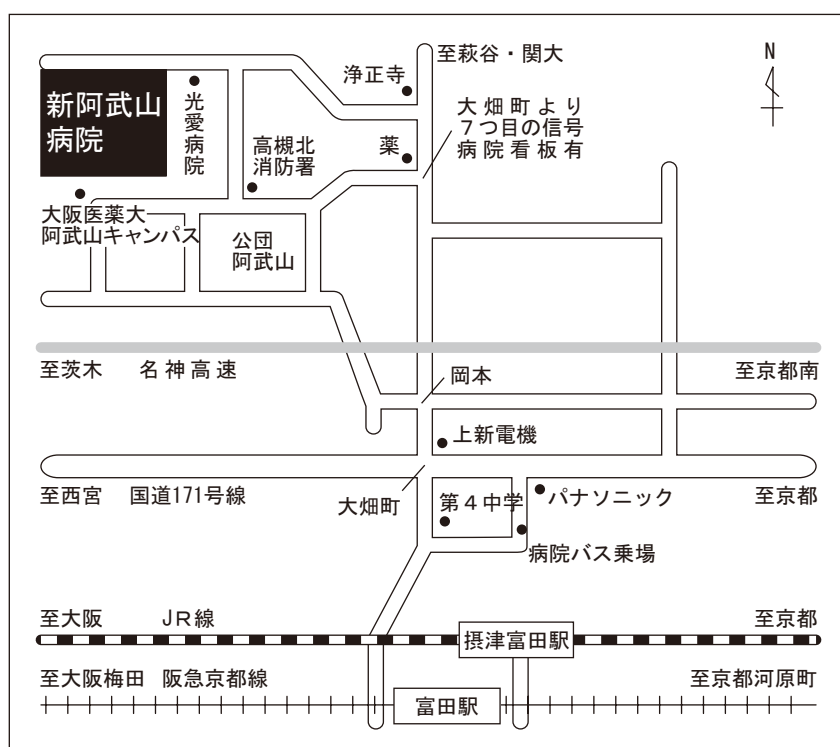
## 市立ひらかた病院



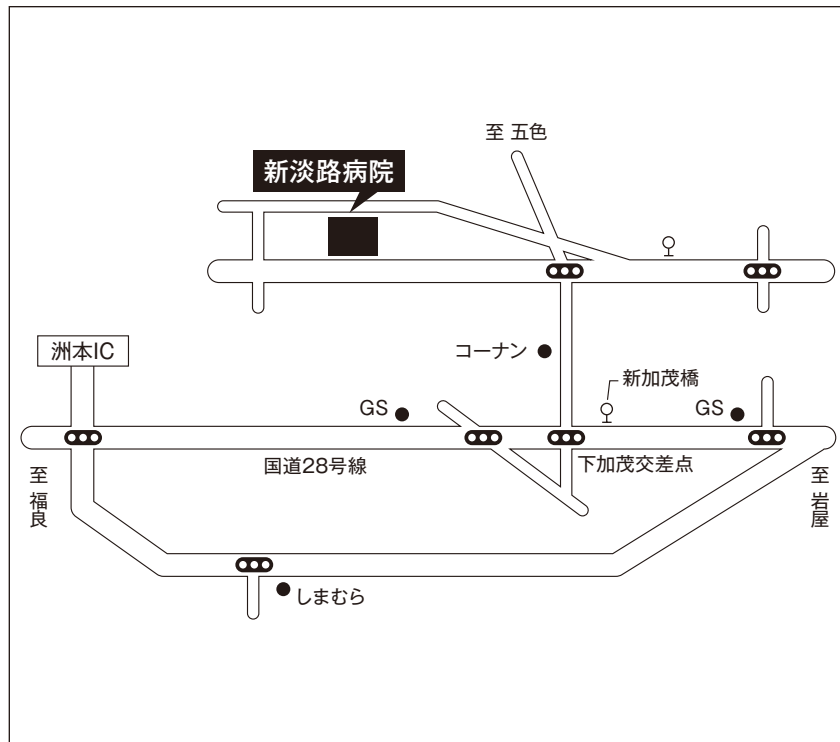
## 医療法人春秋会 城山病院



特定医療法人大阪精神医学研究所 新阿武山病院



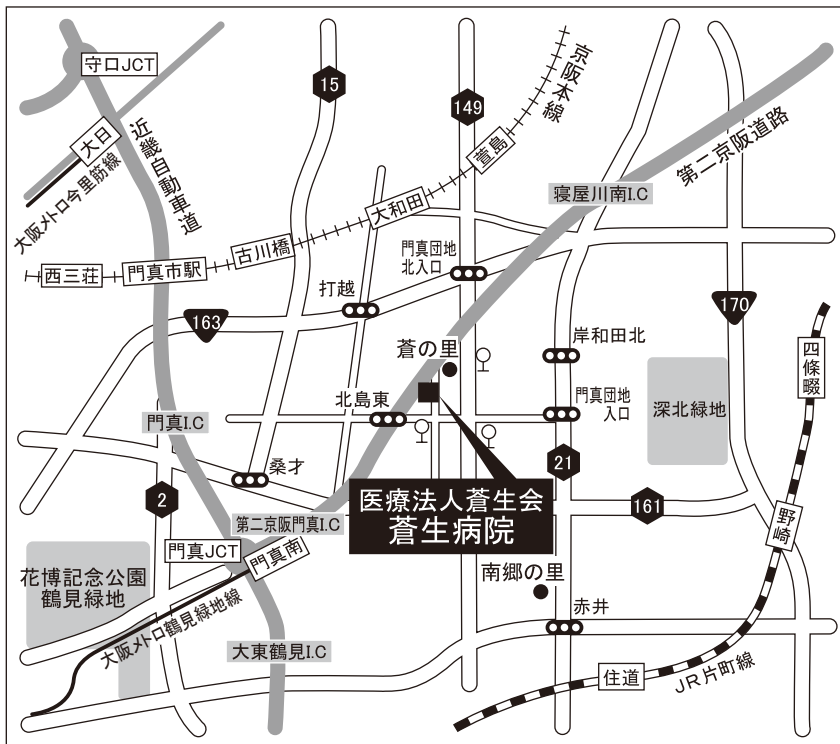
## 医療法人新淡路病院



## 社会医療法人清恵会 清恵会病院



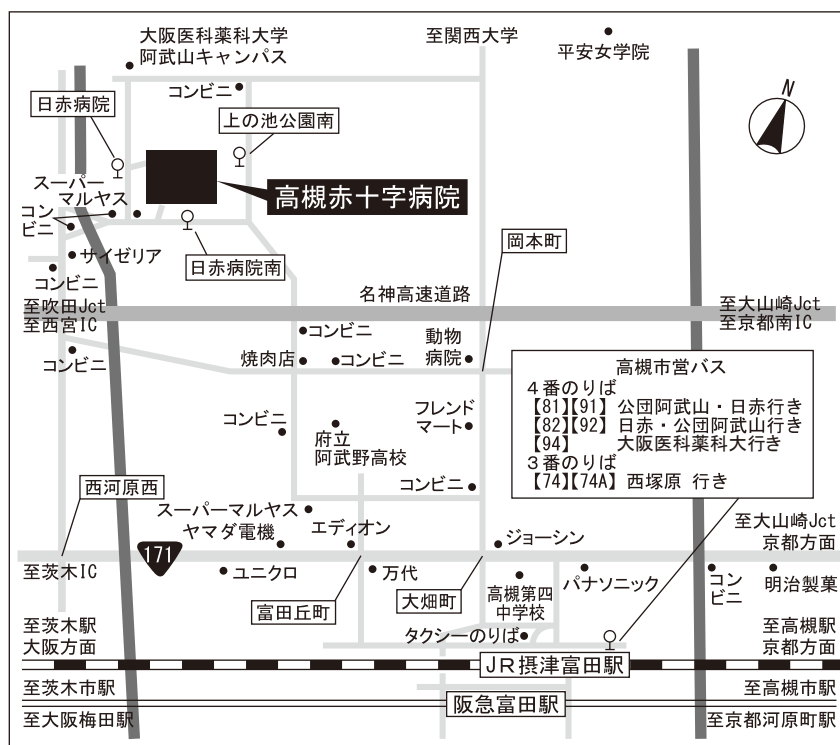
社会医療法人蒼生会 蒼生病院



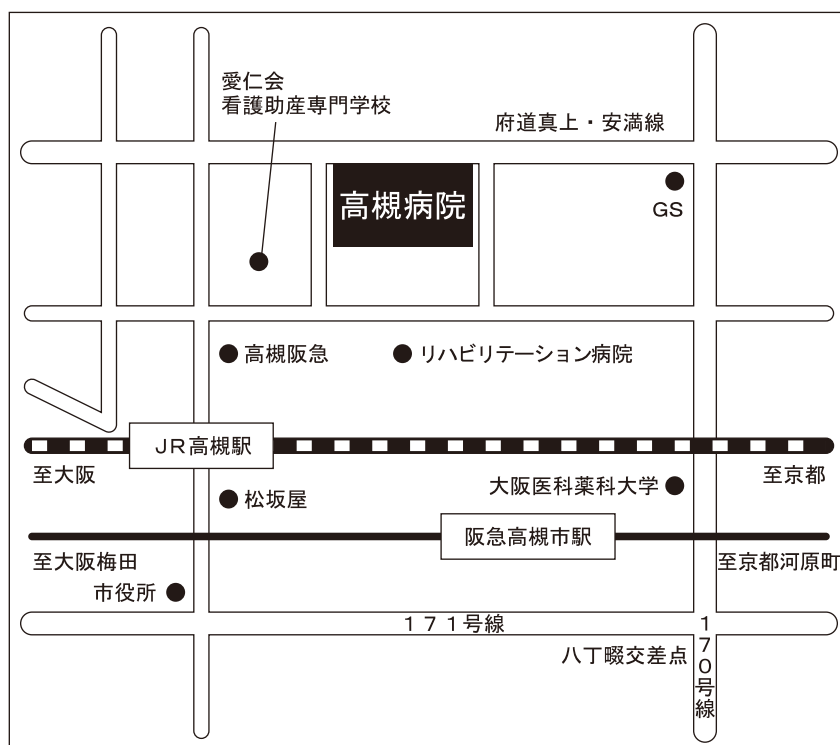
## 社会医療法人東和会 第一東和会病院



# 高槻赤十字病院



# 社会医療法人愛仁会 高槻病院

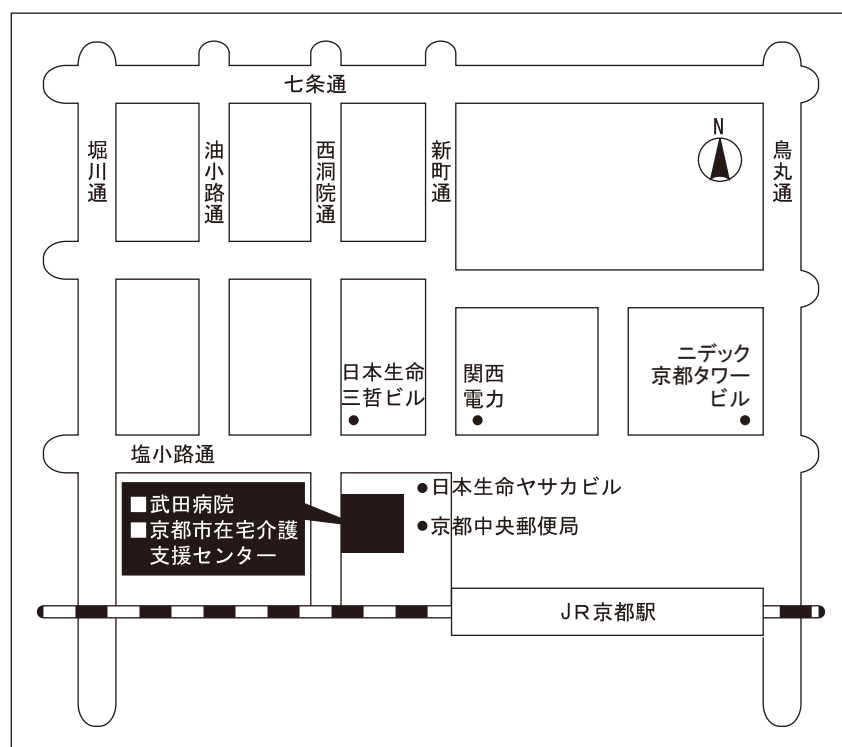




## 医療法人医仁会 武田総合病院



## 医療法人財団康生会 武田病院

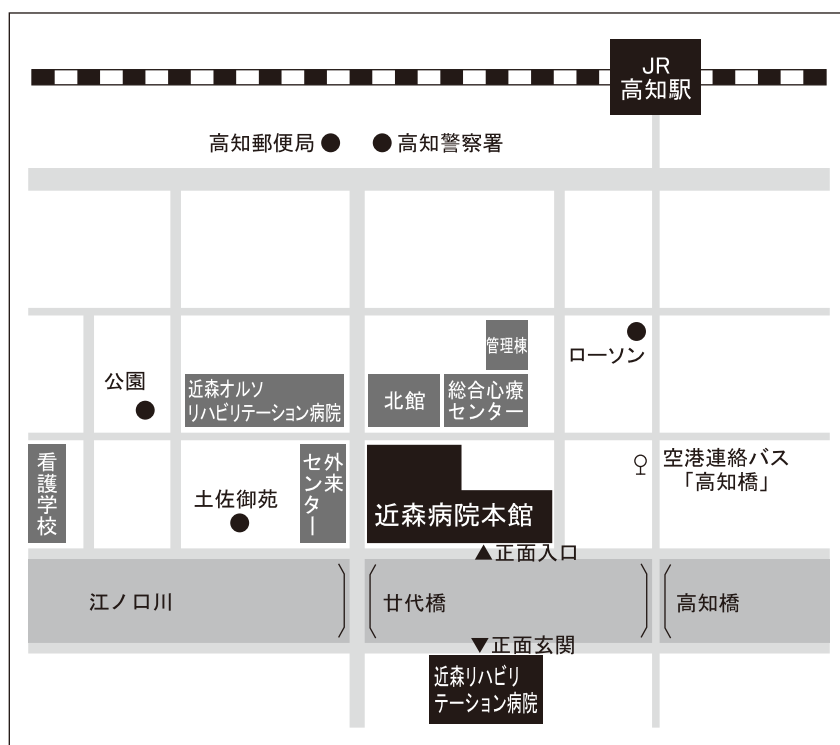


## 社会医療法人きつこう会 多根総合病院

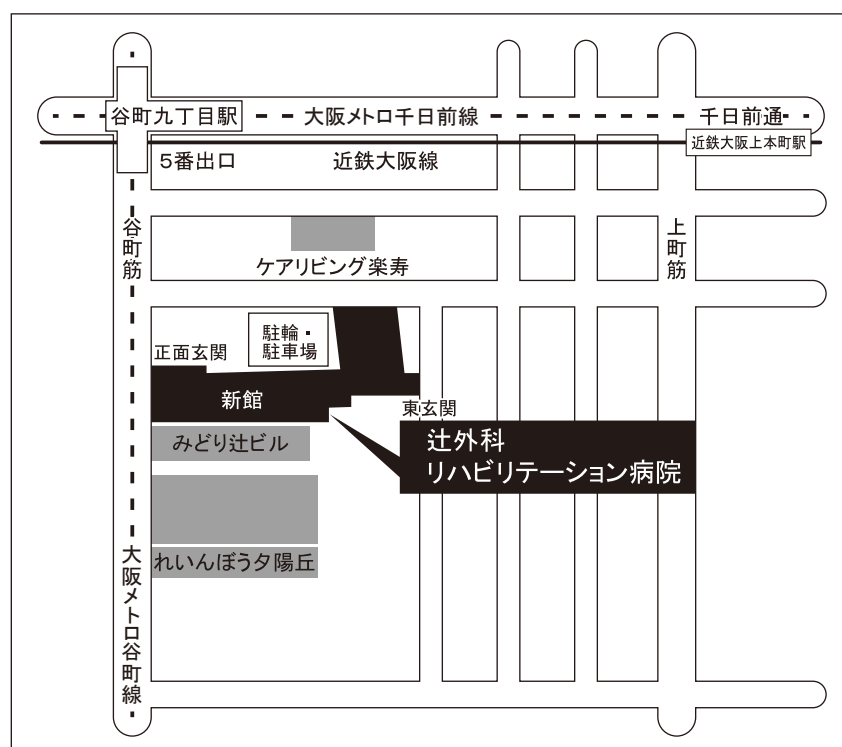


## 社会医療法人近森会 近森病院

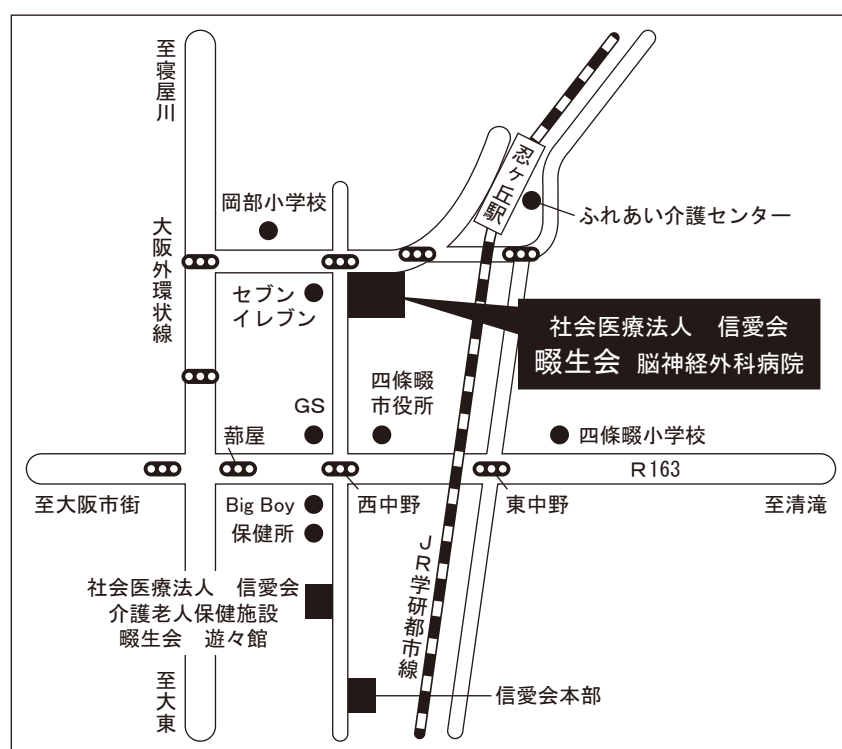
## 社会医療法人近森会 近森リハビリテーション病院



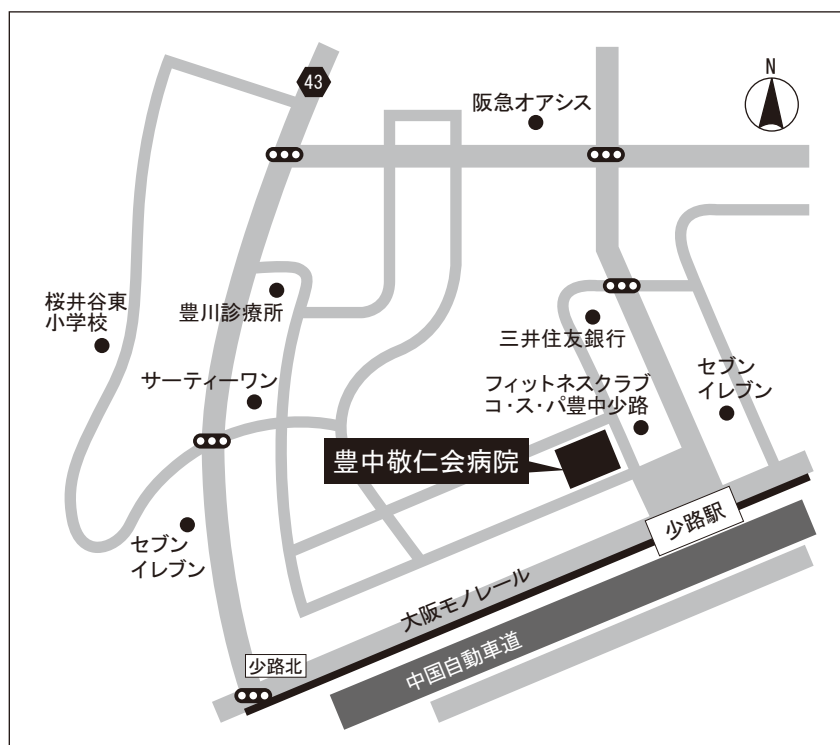
## 医療法人歓喜会 辻外科リハビリテーション病院



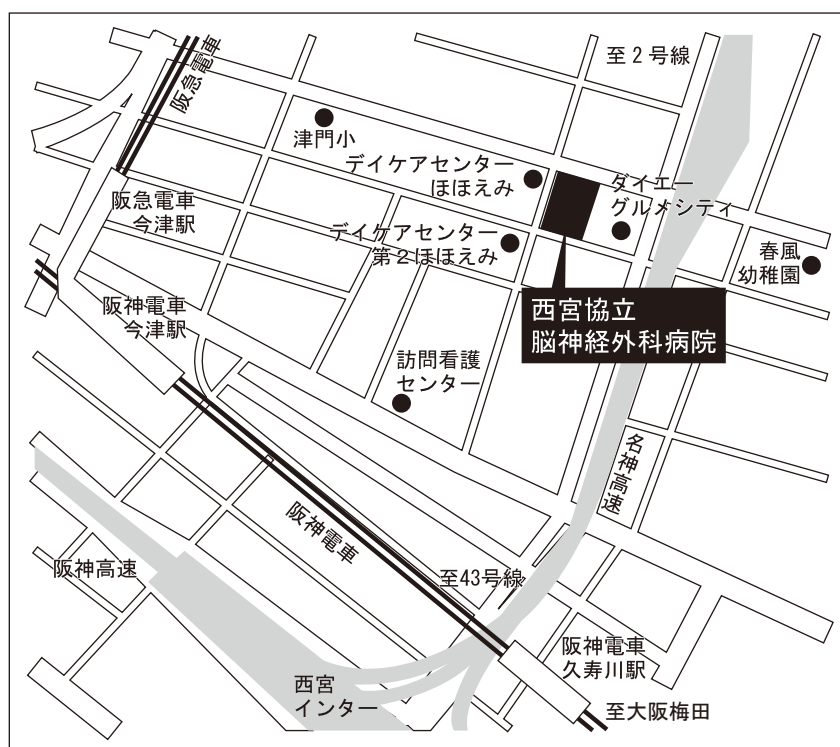
## 社会医療法人信愛会 啜生会脳神経外科病院



## 社会医療法人彩樹 豊中敬仁会病院



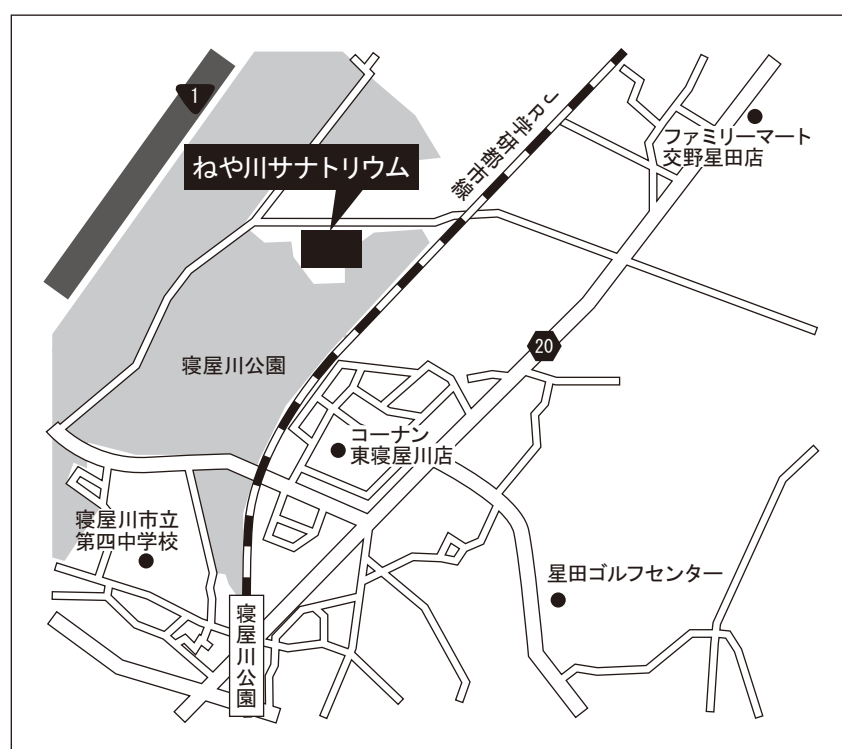
## 社会医療法人甲友会 西宮協立脳神経外科病院



## 公益財団法人日本生命済生会 日本生命病院



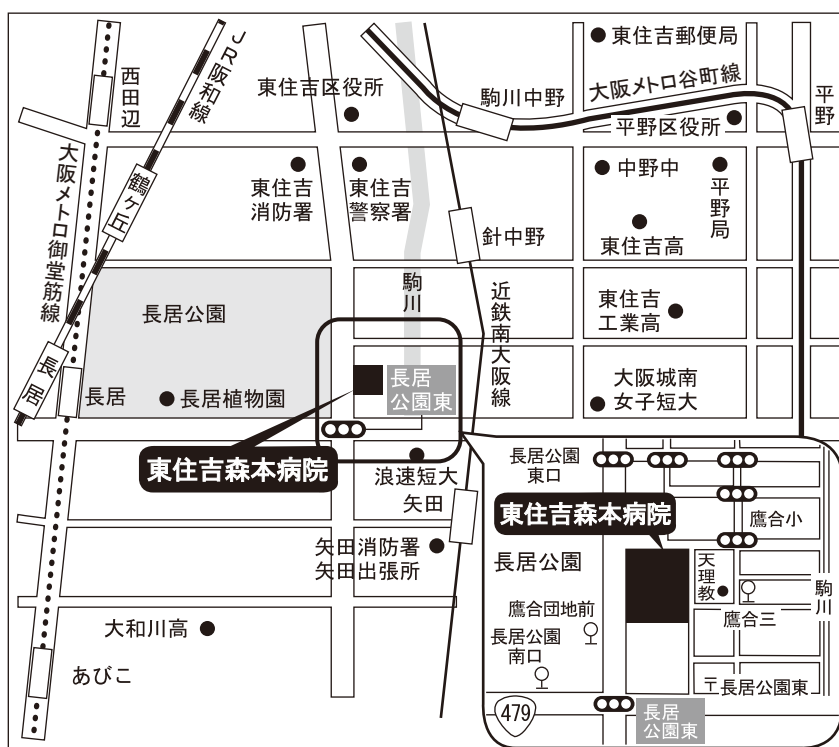
## 医療法人長尾会 ねや川サナトリウム



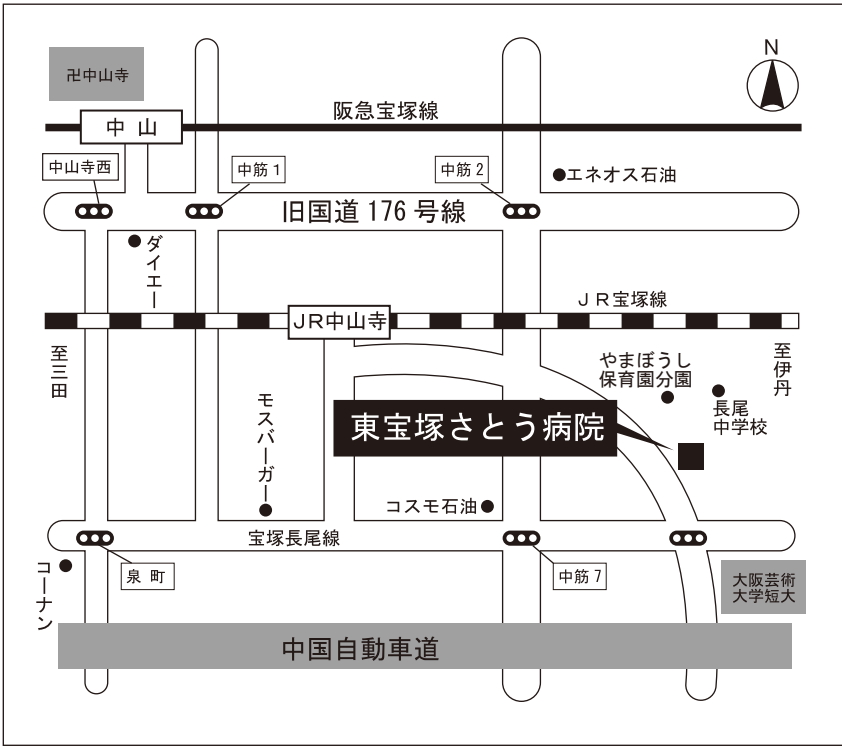
## 医療法人錦秀会 阪和記念病院



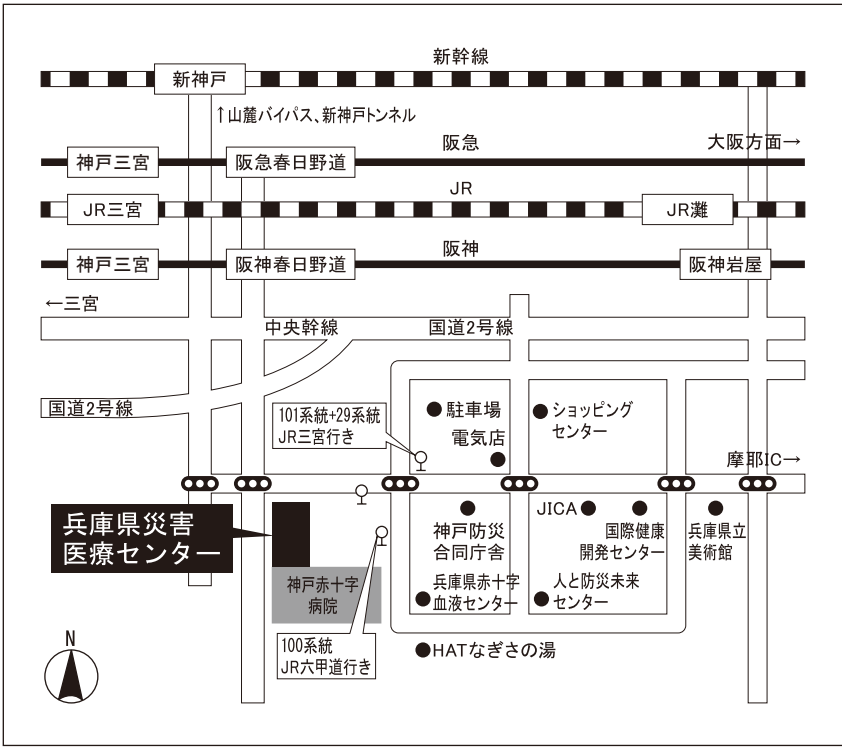
## 医療法人橘会 東住吉森本病院



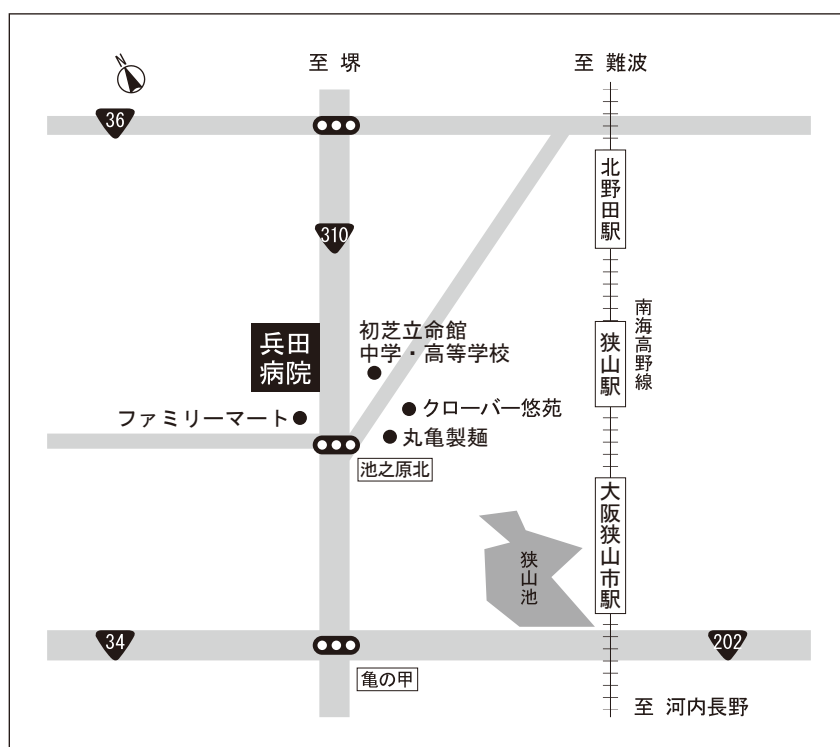
## 医療法人愛心会 東宝塚さとう病院



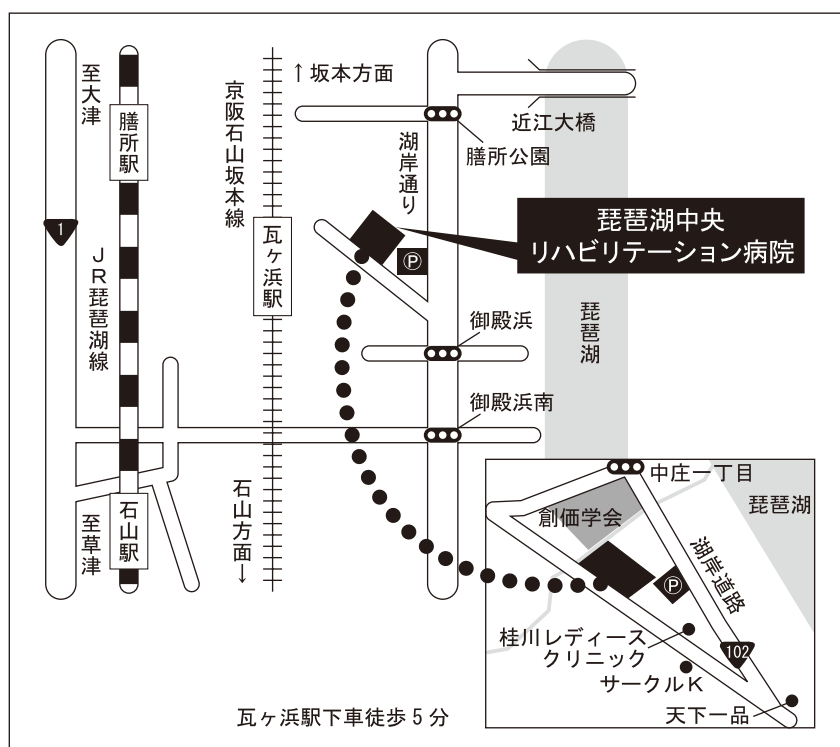
## 兵庫県災害医療センター



## 医療法人恒尚会 兵田病院

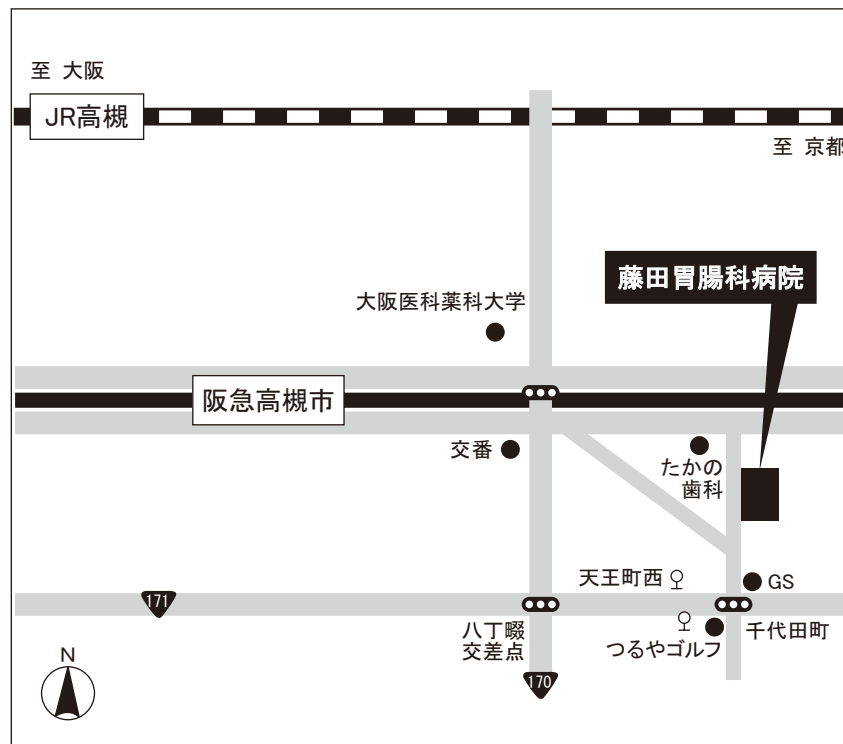


## 医療法人幸生会 琵琶湖中央リハビリテーション病院

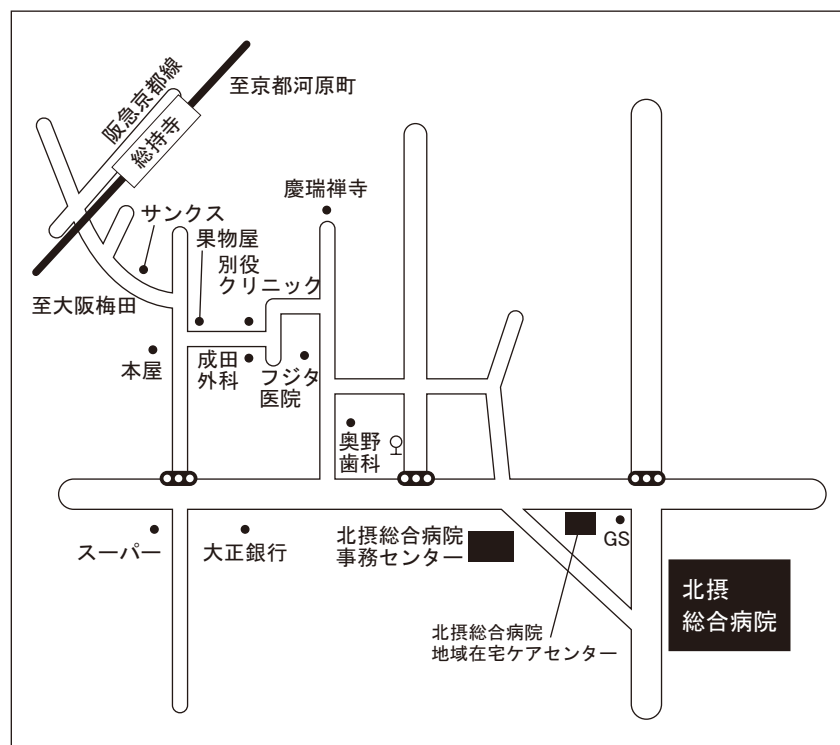




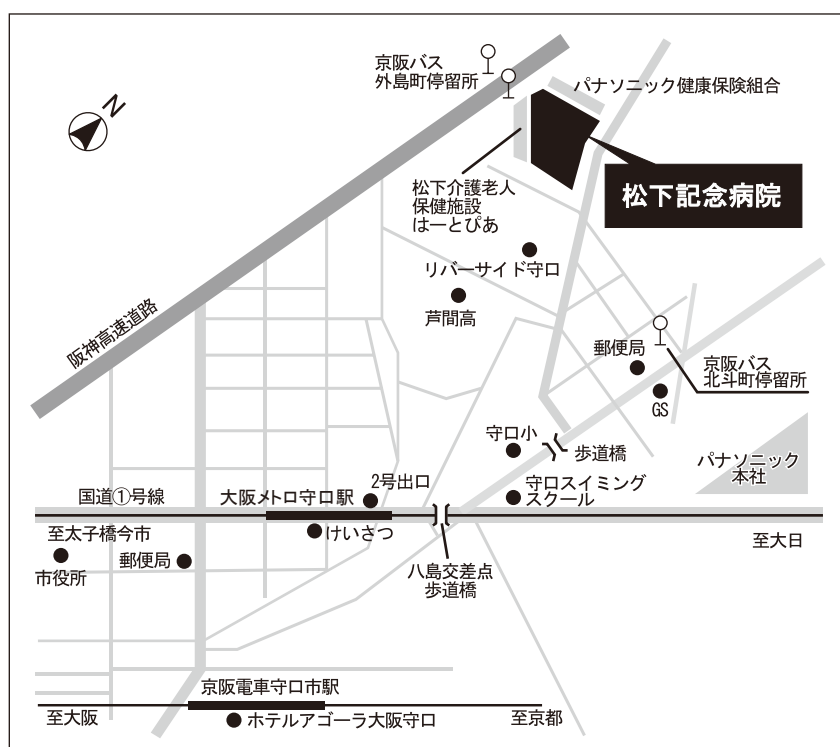
## 医療法人祥佑会 藤田胃腸科病院



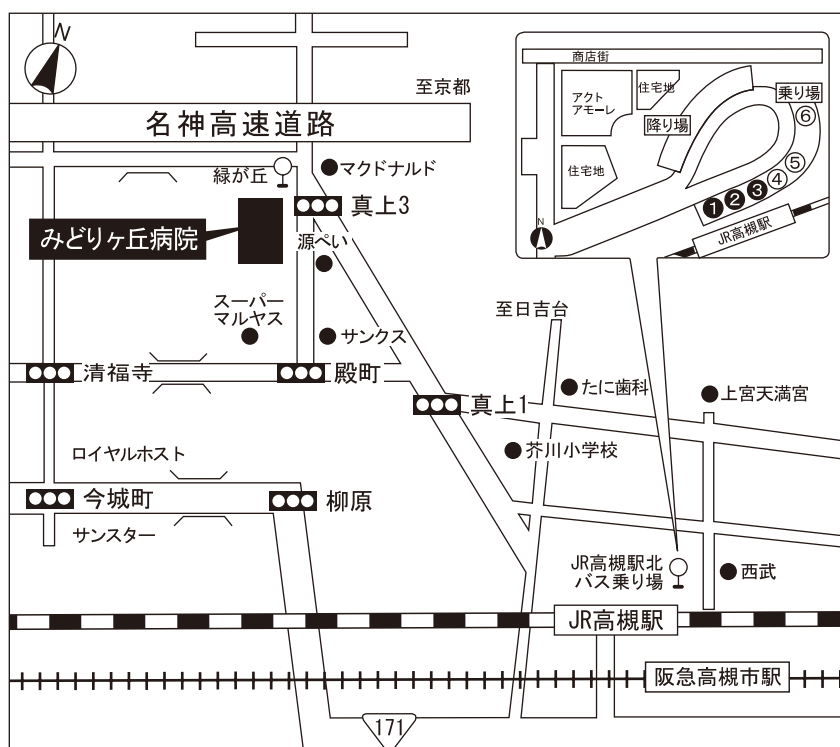
## 社会医療法人仙養会 北摂総合病院



## パナソニック健康保険組合 松下記念病院



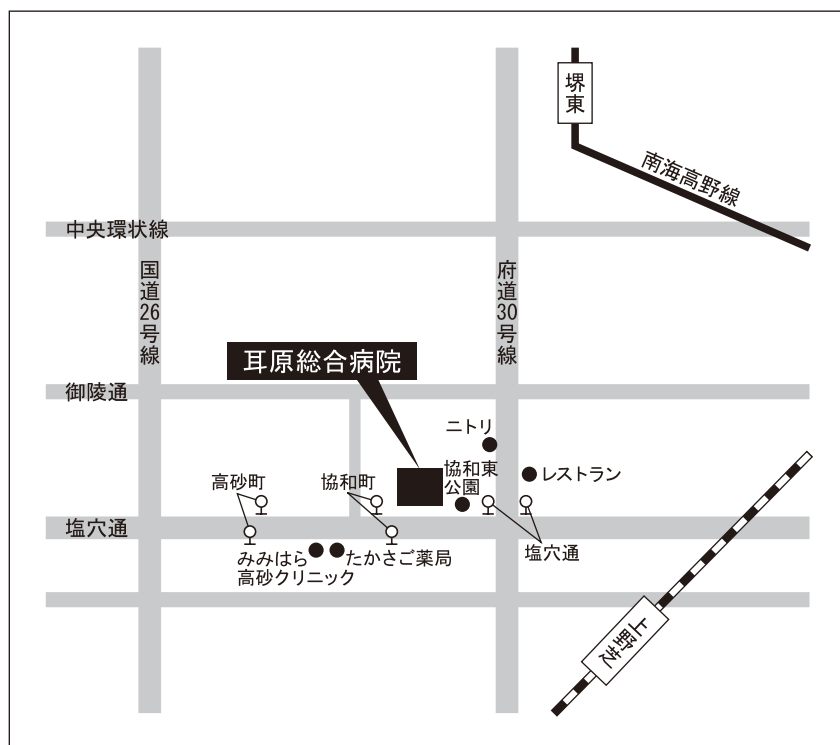
## 社会医療法人祐生会 みどりヶ丘病院



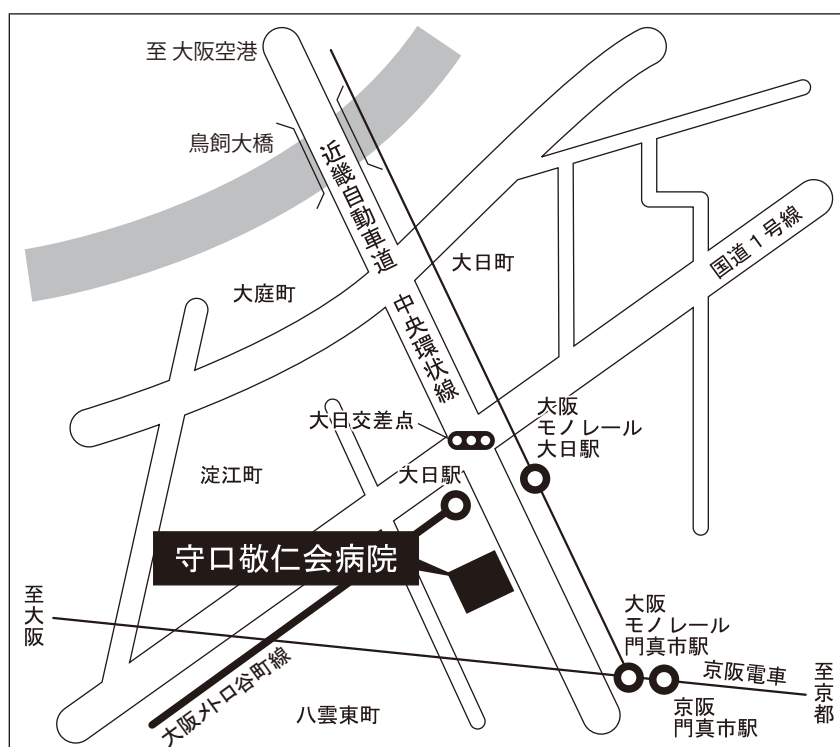
## 社会医療法人景岳会 南大阪病院



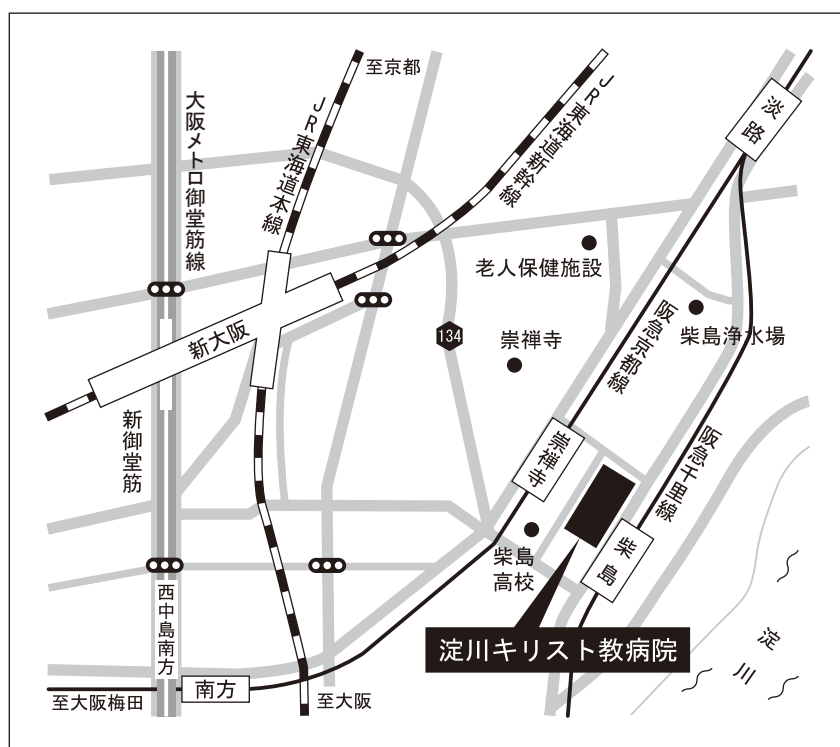
## 社会医療法人同仁会 耳原総合病院



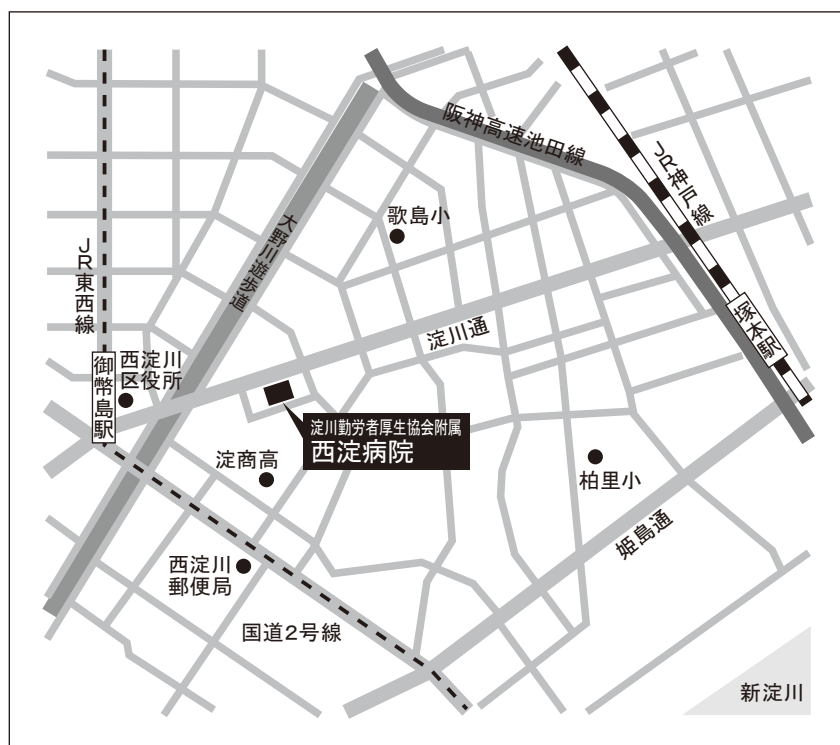
## 社会医療法人彩樹 守口敬仁会病院



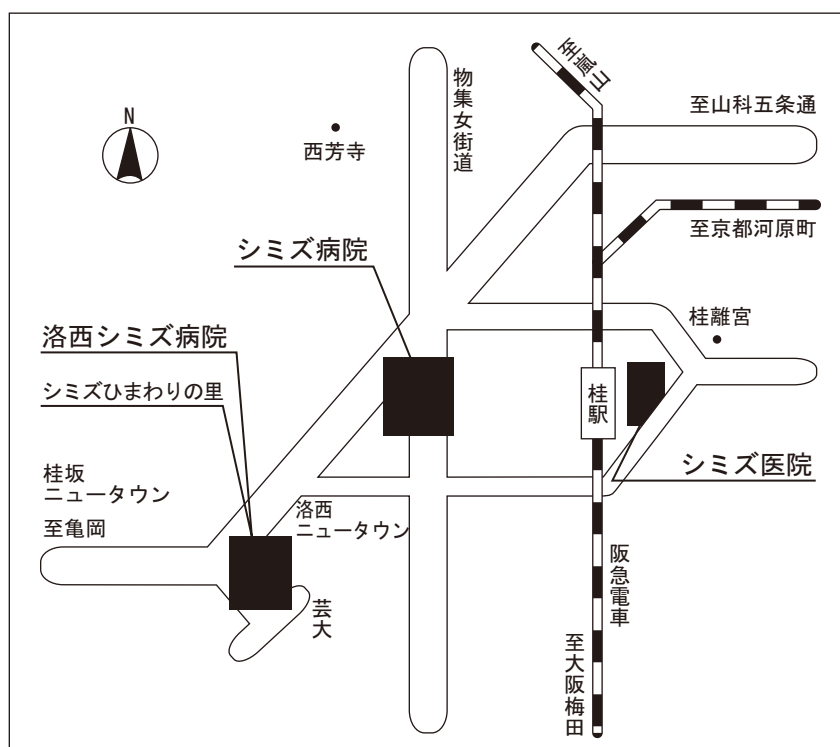
## 淀川キリスト教病院



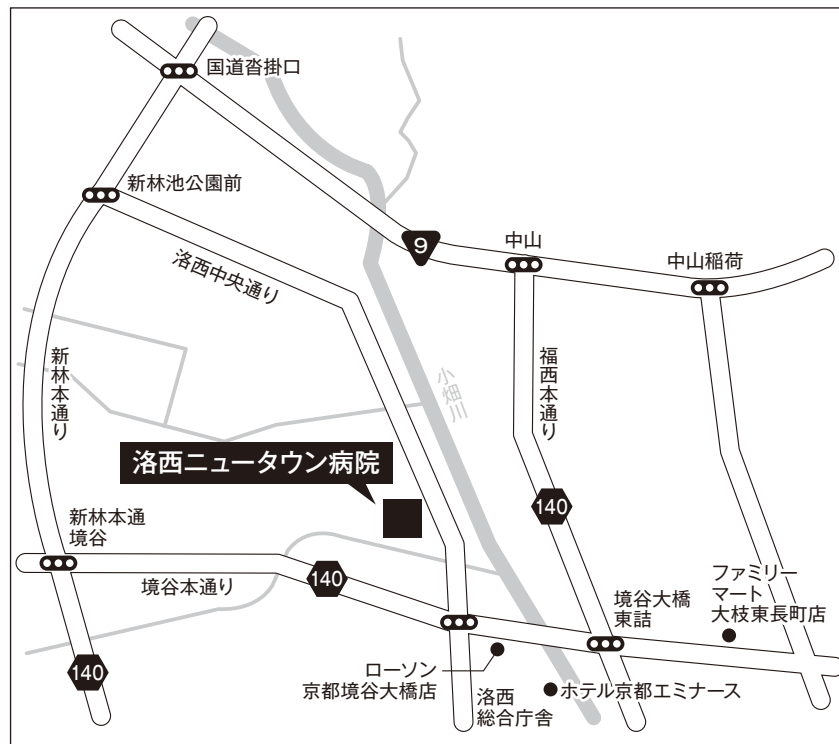
## 淀川勤労者厚生協会附属西淀病院



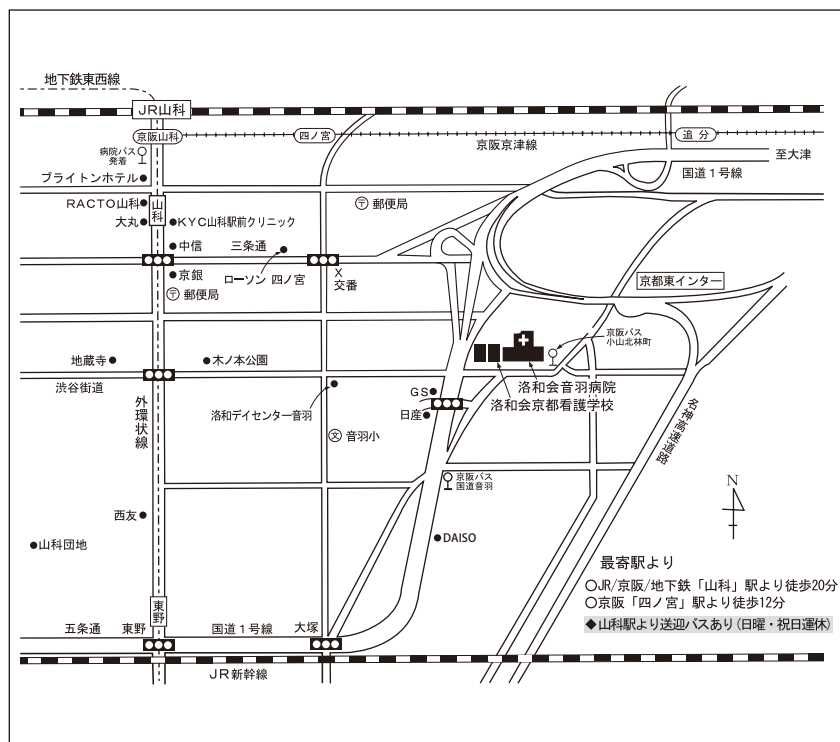
## 医療法人清仁会 洛西シミズ病院



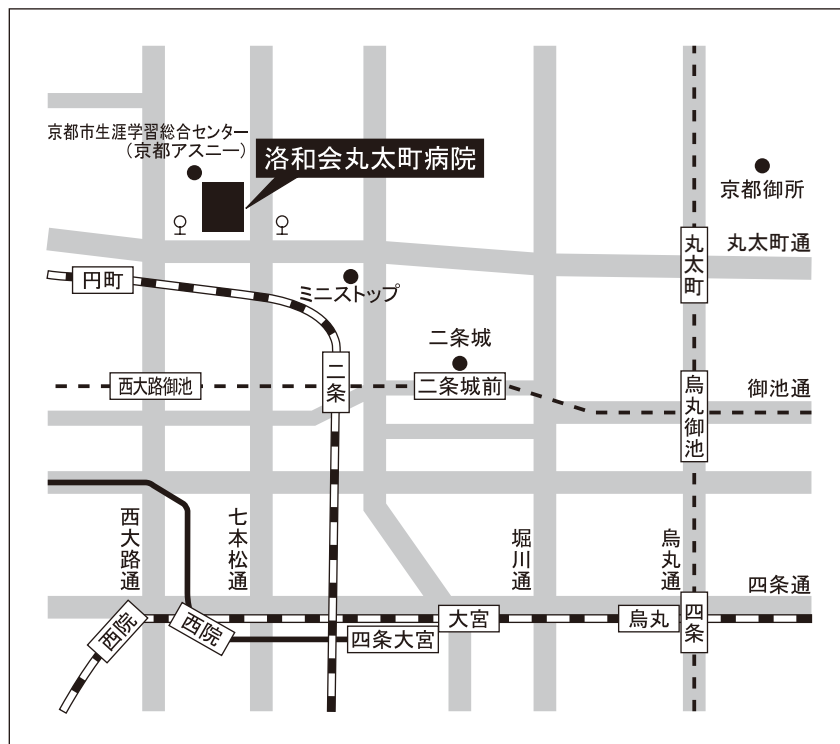
## 医療法人清仁会 洛西ニュータウン病院



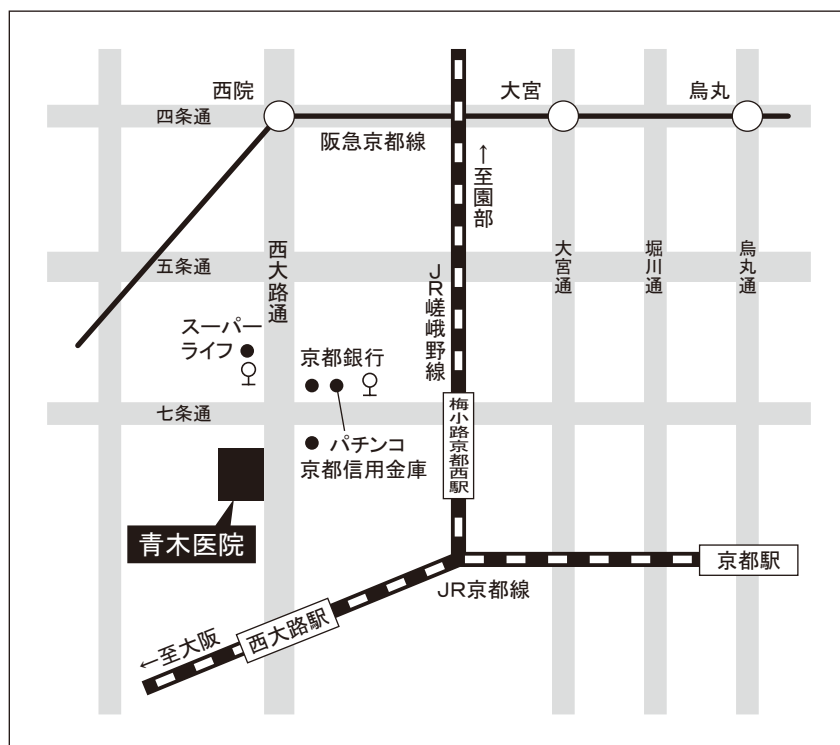
## 洛和会音羽病院



## 洛和会ヘルスケアシステム 洛和会丸太町病院



## 医療法人青木医院



## 芥川きどクリニック

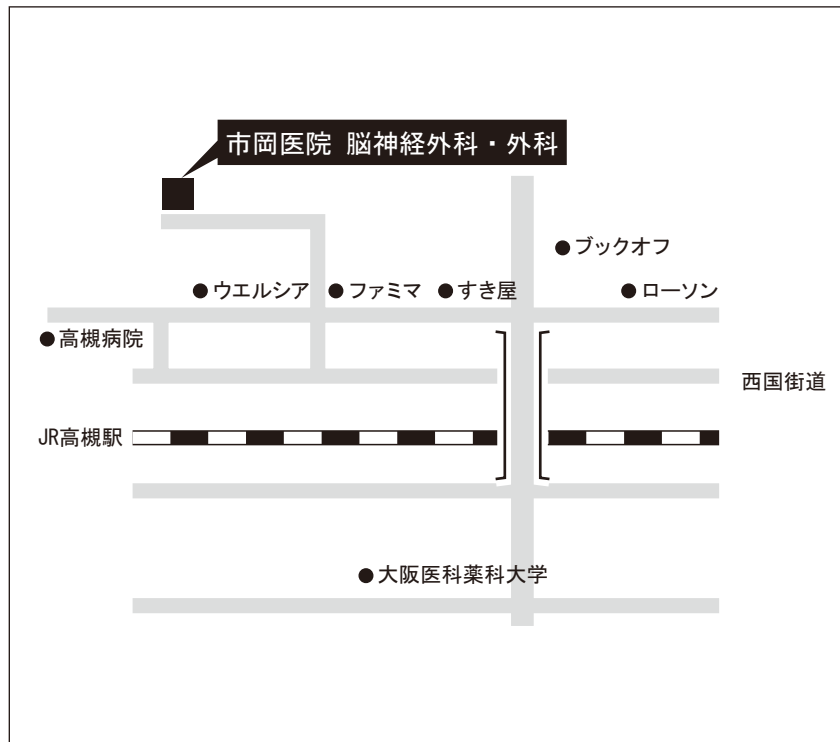


## 医療法人フォスター 生きる育む輝くメンタルクリニック梅田本院

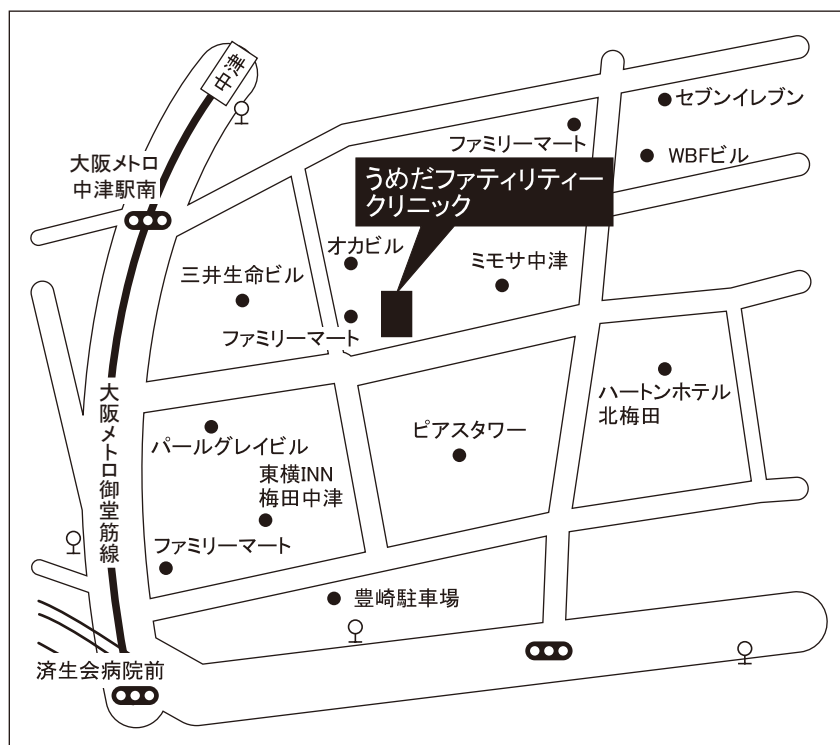




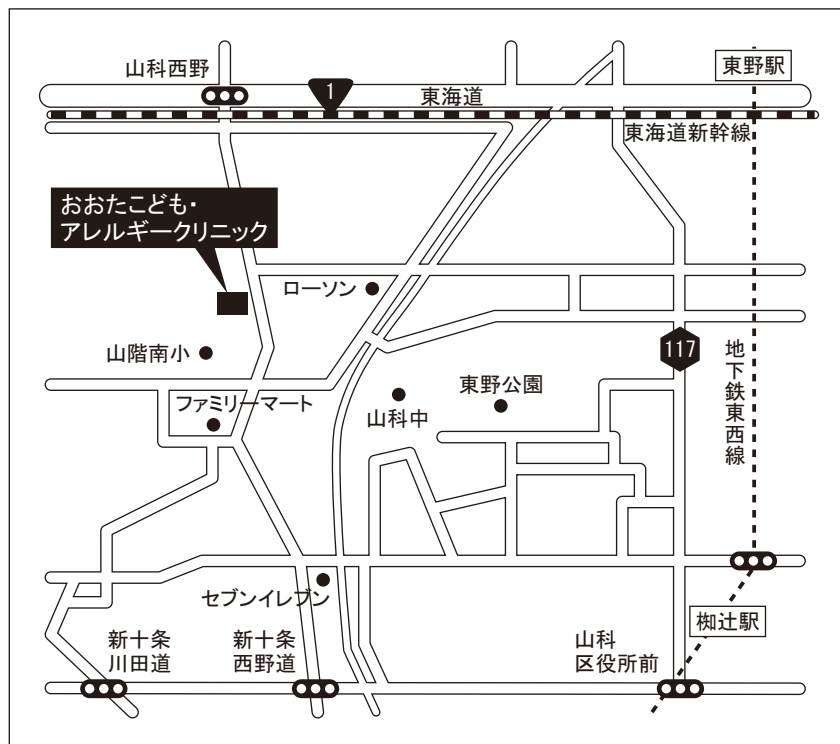
## 市 岡 医 院



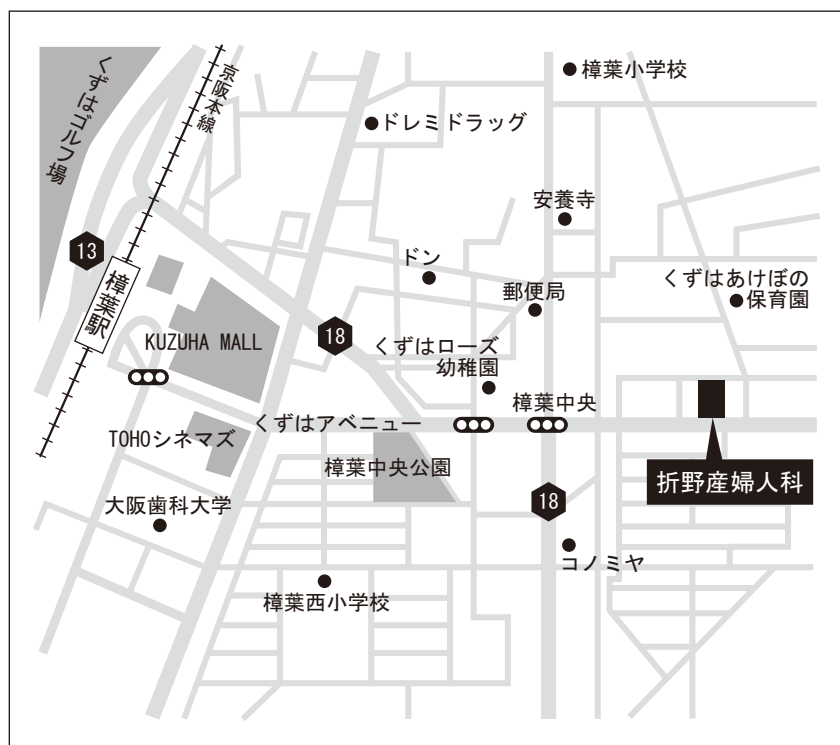
## 医療法人聖誕会 うめだファティリティークリニック



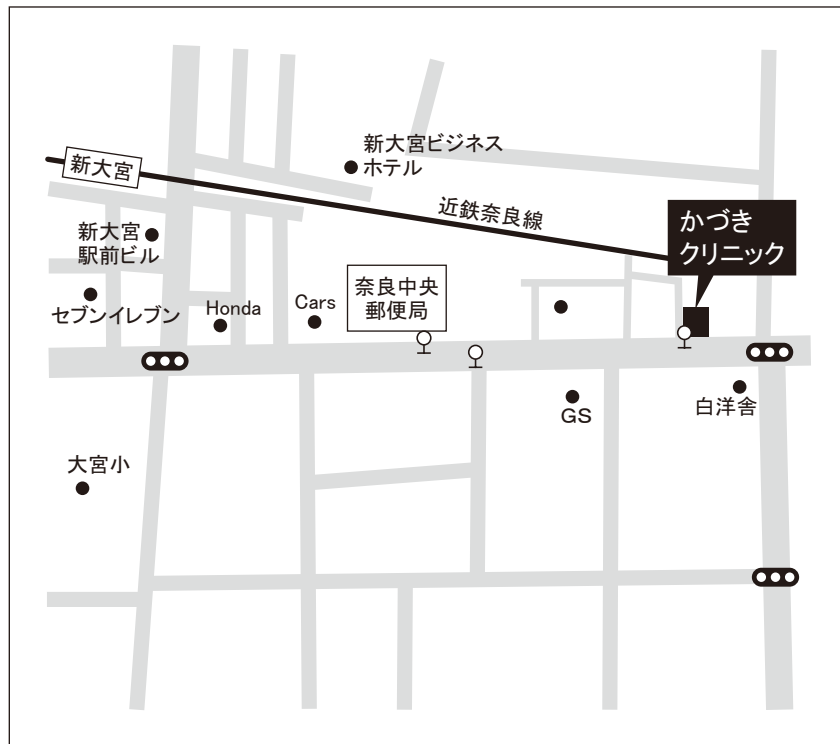
## おおたこども・アレルギークリニック



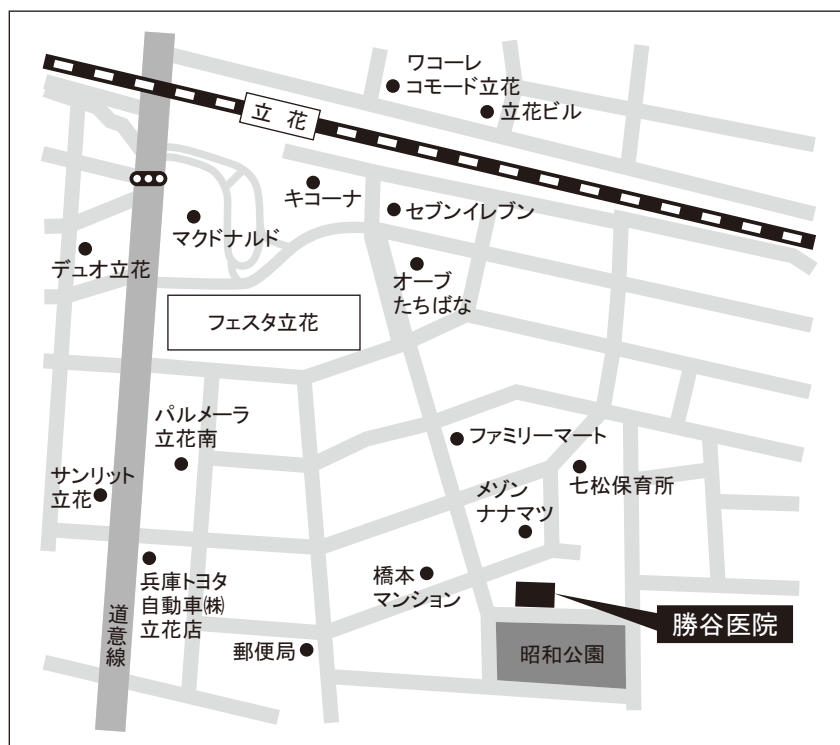
## 医療法人徳志会 折野産婦人科



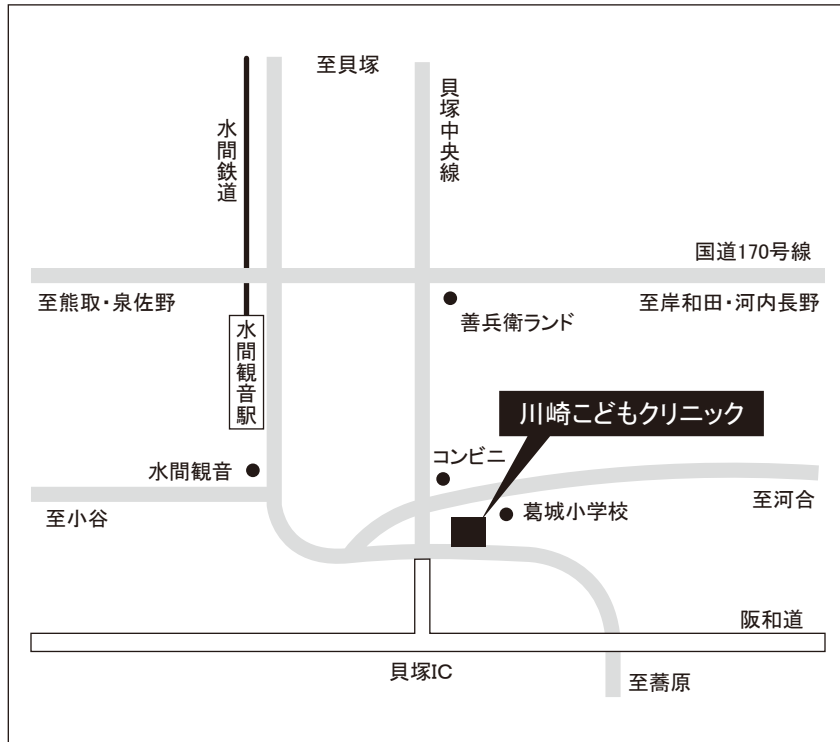
## かづきクリニック



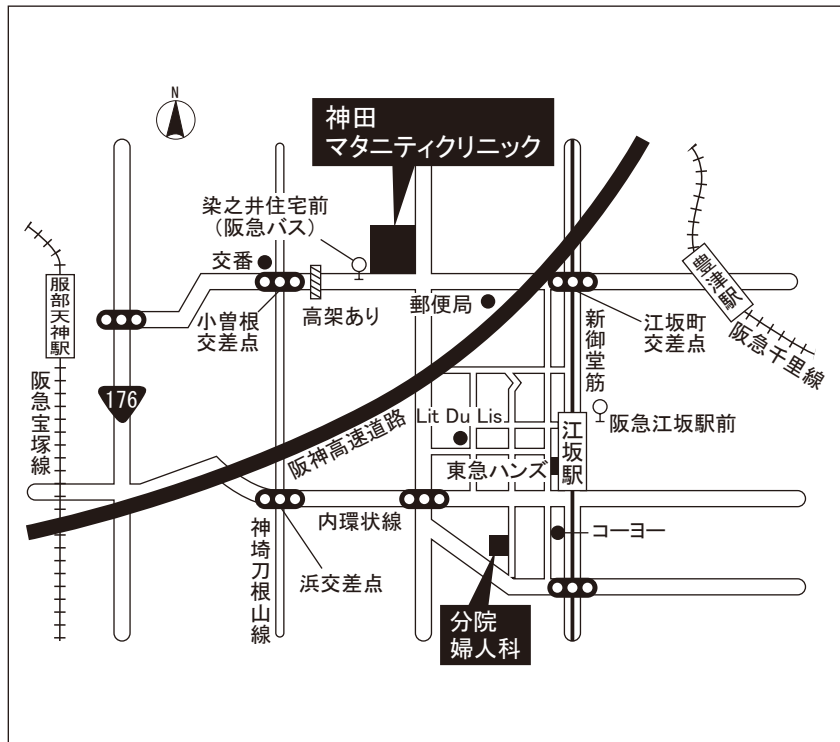
## 勝谷医院



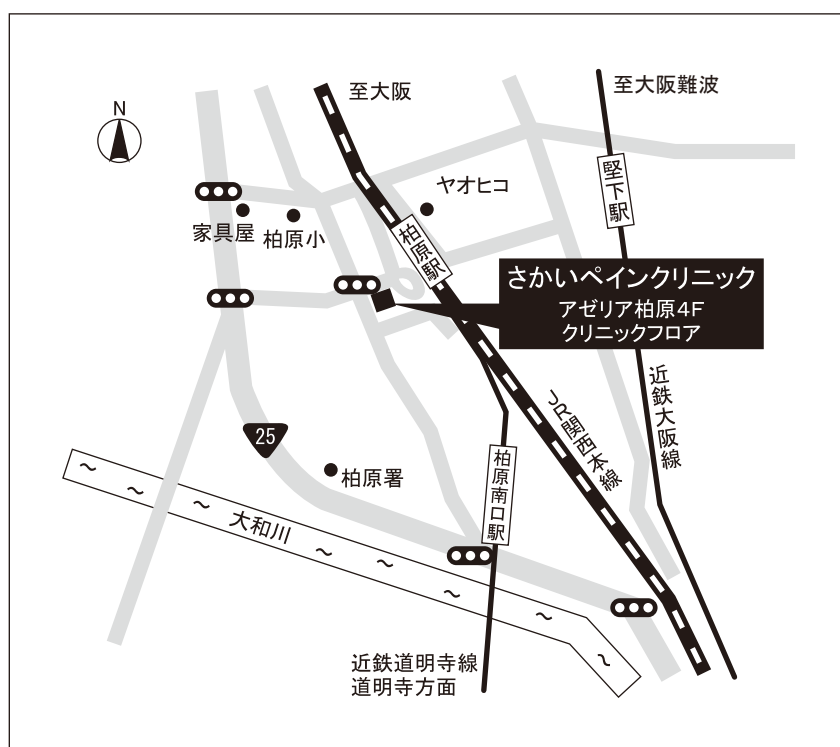
## 川崎こどもクリニック



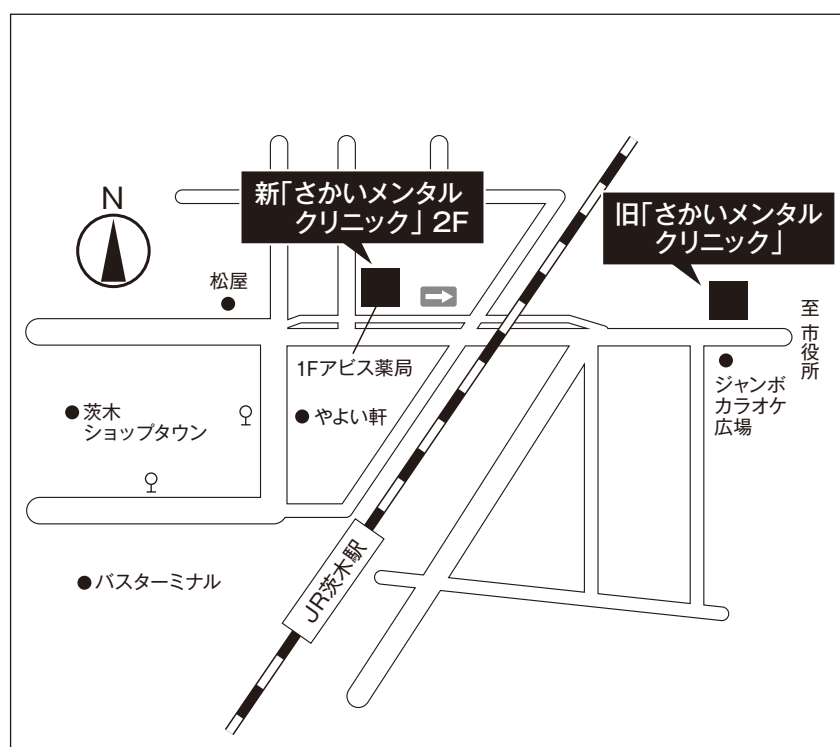
## 医療法人琢生会 神田マタニティクリニック



## 医療法人酒井会 さかいペインクリニック



## さかいメンタルクリニック



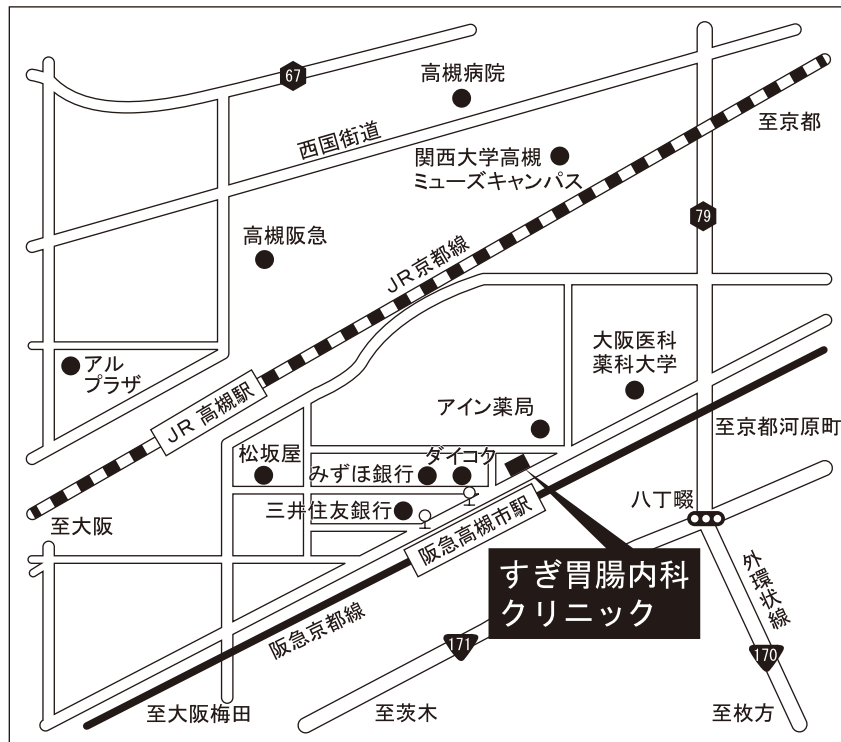
## 医療法人大生會 さくま診療所



## しらかわ・いもとクリニック



## すぎ胃腸内科クリニック



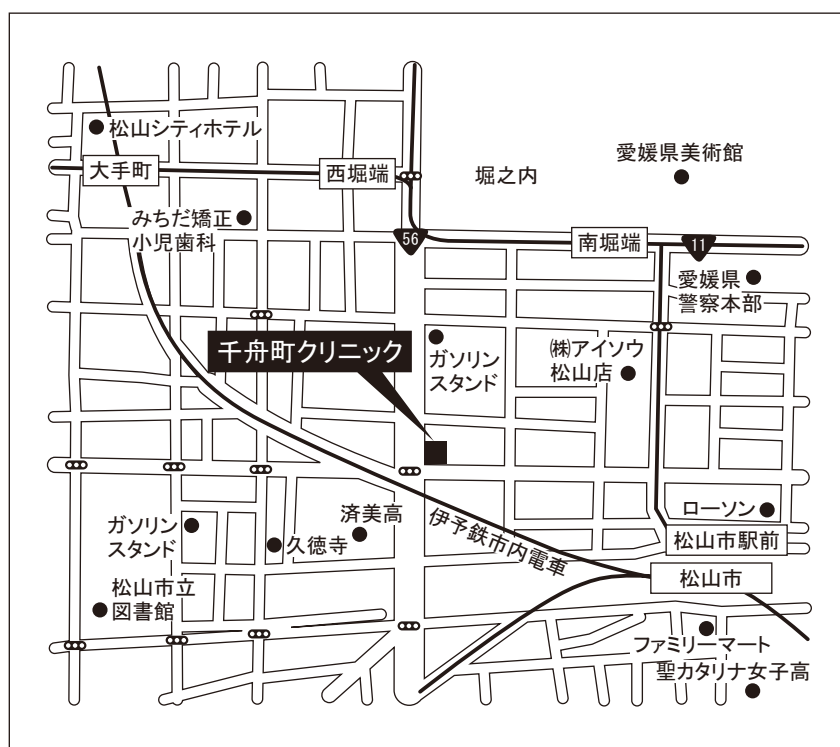
センプククリニック



## 田辺レディースクリニック



## 医療法人東西会 千舟町クリニック

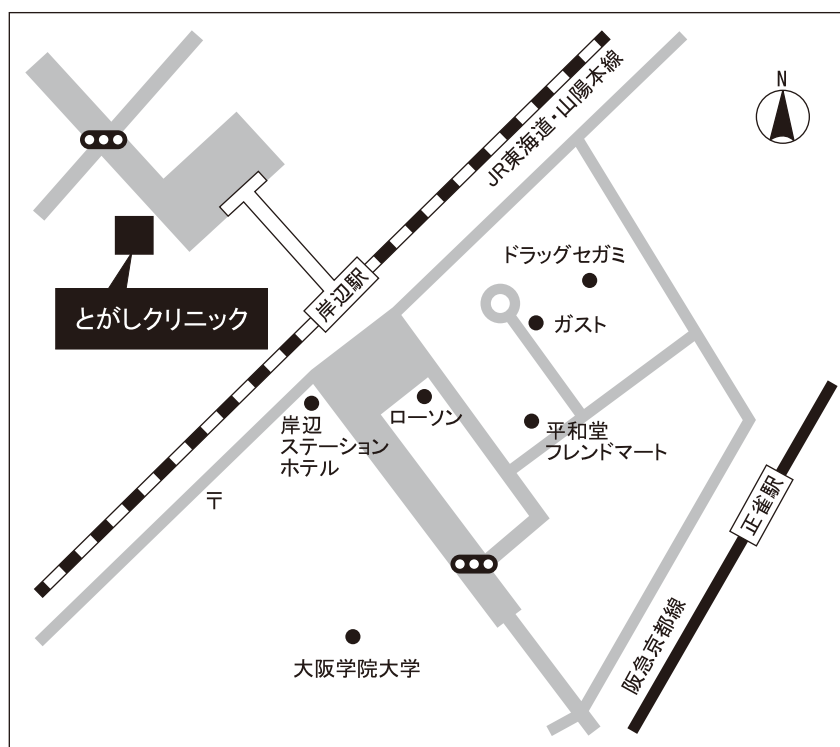




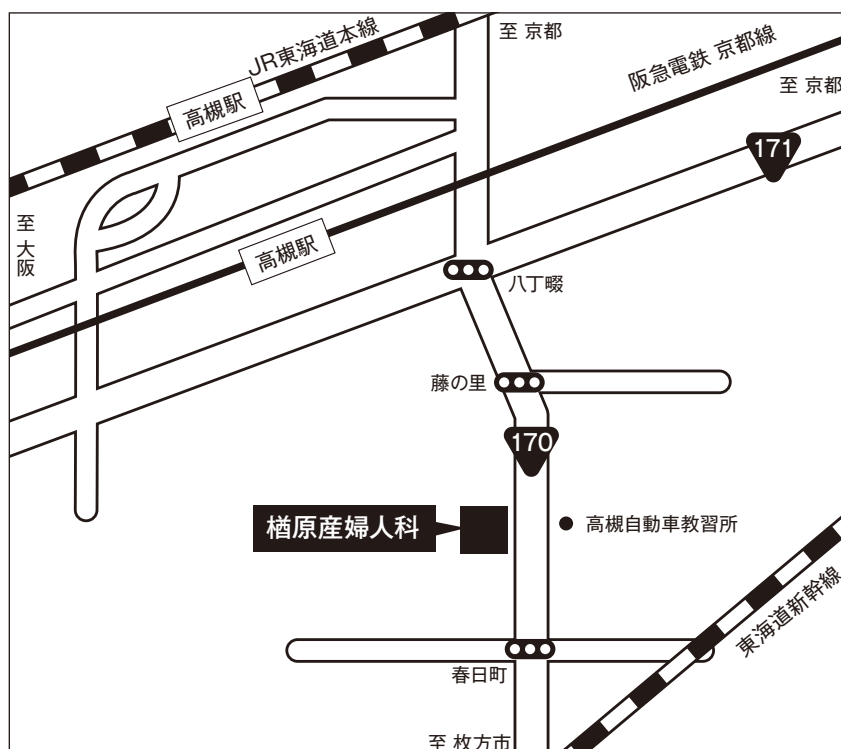
## 医療法人 土居整形外科



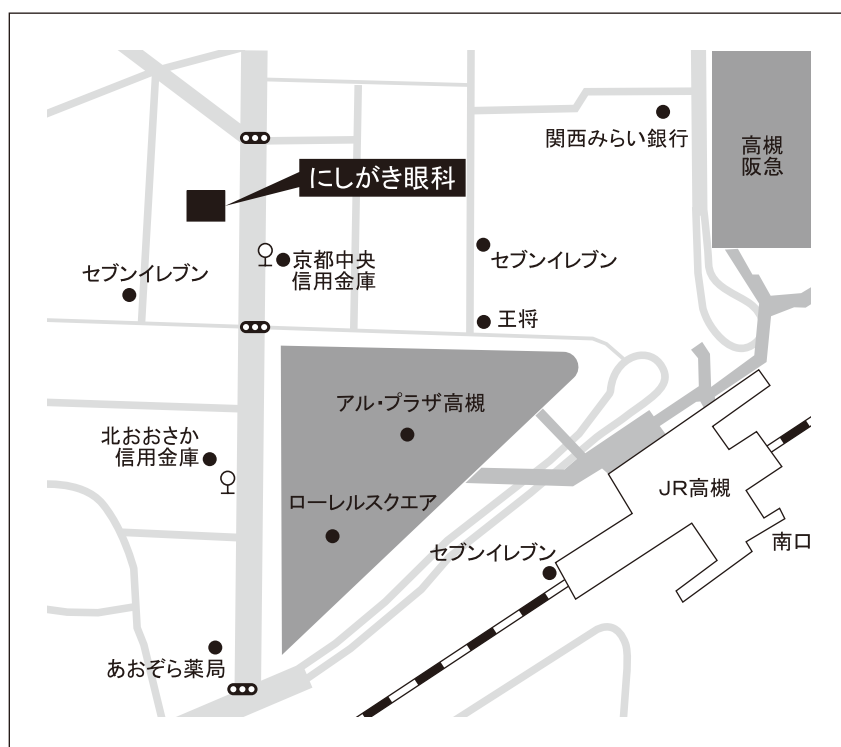
## 医療法人侑彩会 とがしクリニック



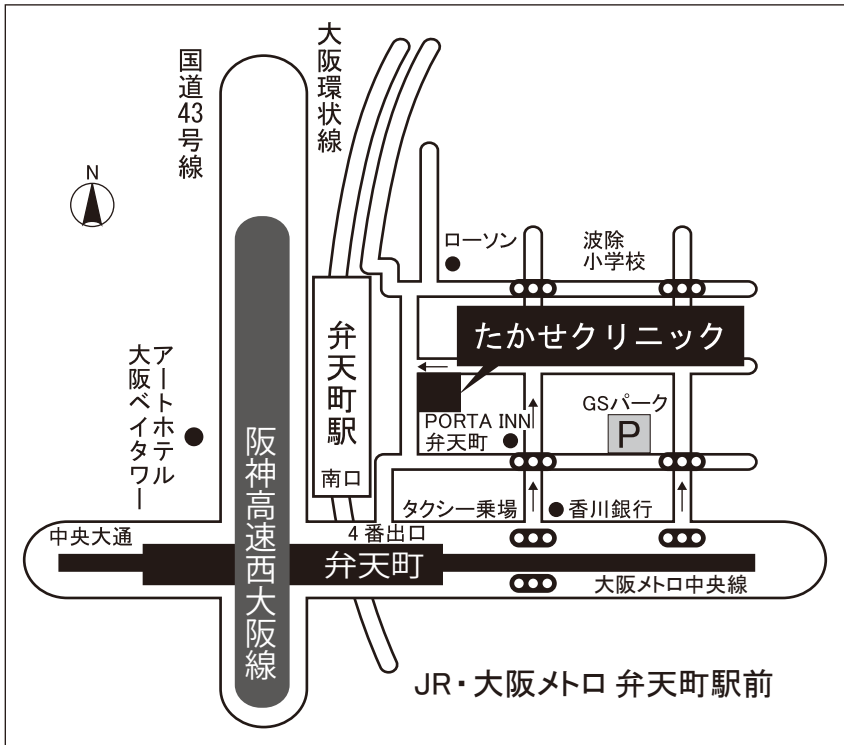
## 櫛原産婦人科



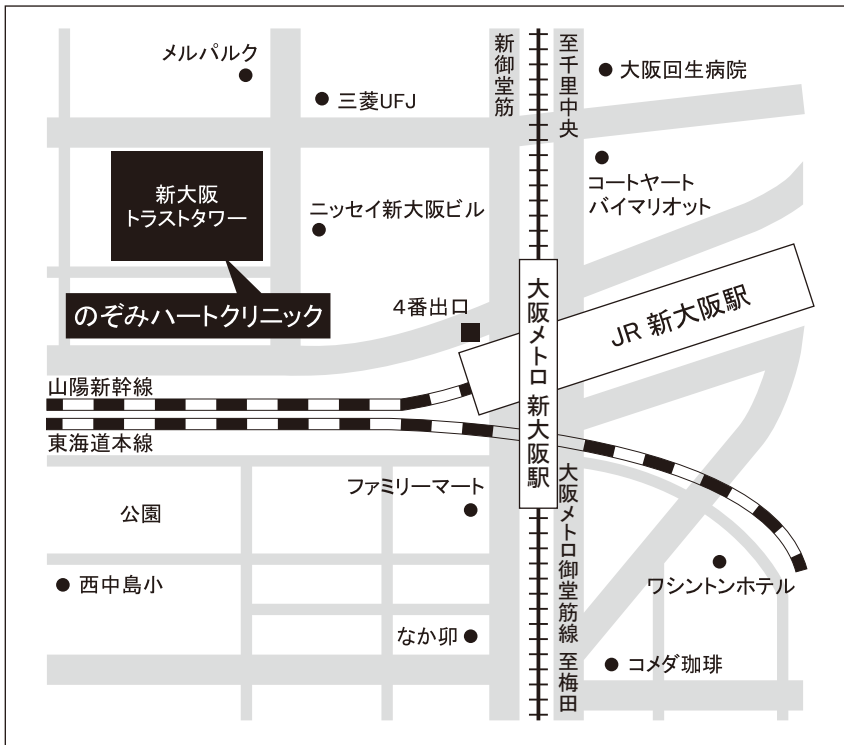
## 医療法人 にしがき眼科



## 医療法人脳神経外科たかせクリニック



## 医療法人社団ゆみの のぞみハートクリニック



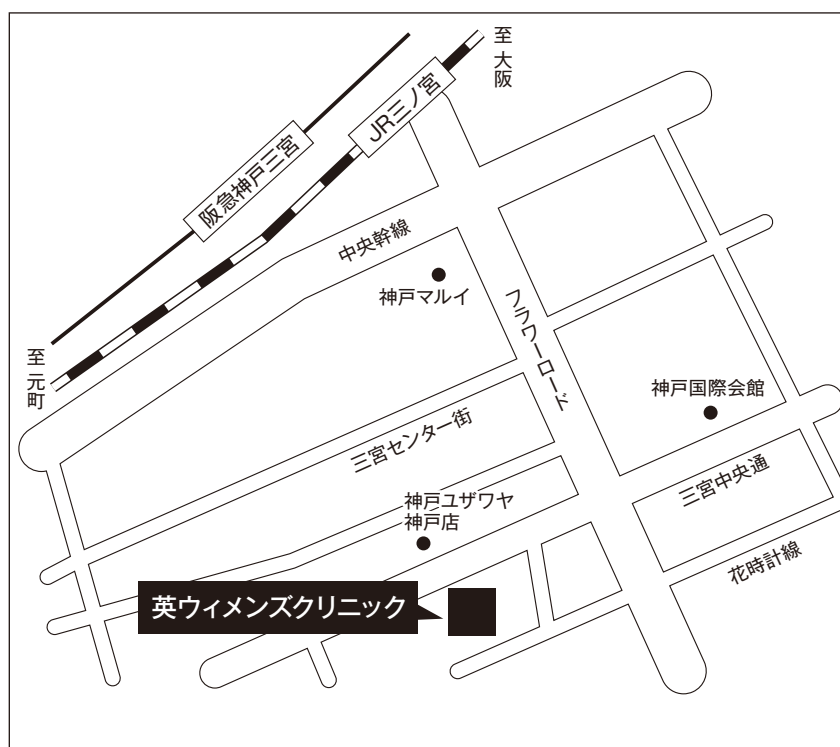
## 医療法人皓真会 野村クリニックなんば院



## 医療法人 服部整形外科



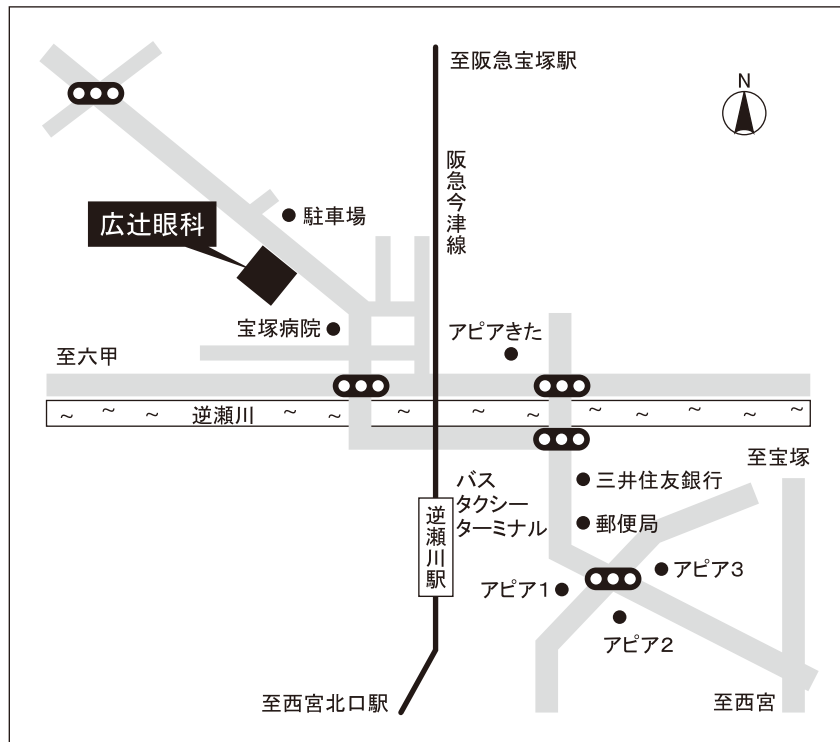
## 医療法人社団 英ウィメンズクリニック



医療法人健正会 浜崎医院・介護老人保健施設はまさき 1. 2. 3. 4  
 特別養護老人ホームカサブランカ・介護老人福祉施設カサブランカ



## 広 辻 眼 科



## 福 本 眼 科 ク リ ニ ッ ク



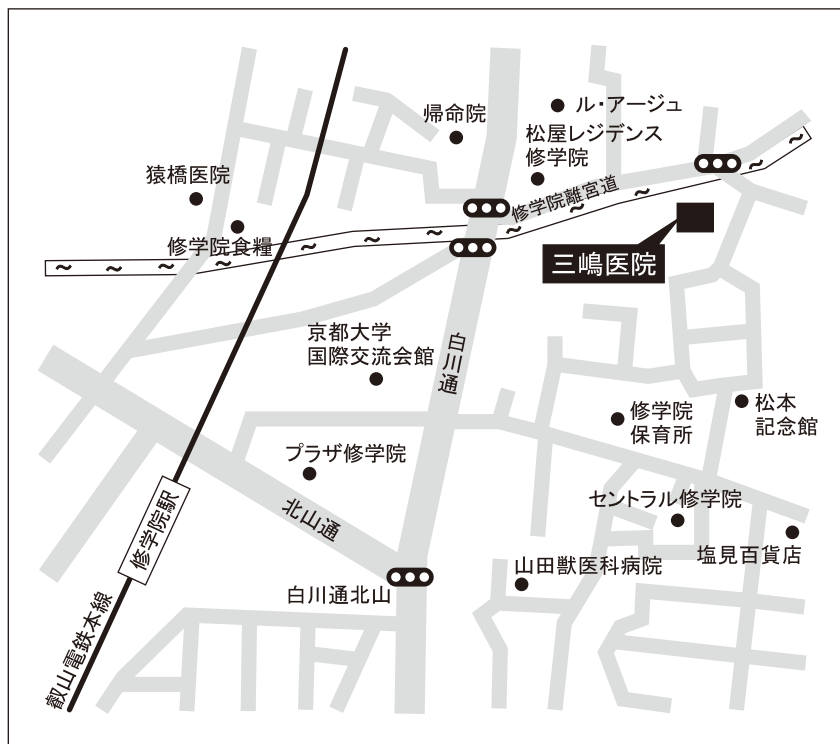
## 医療法人増進会 本田眼科クリニック



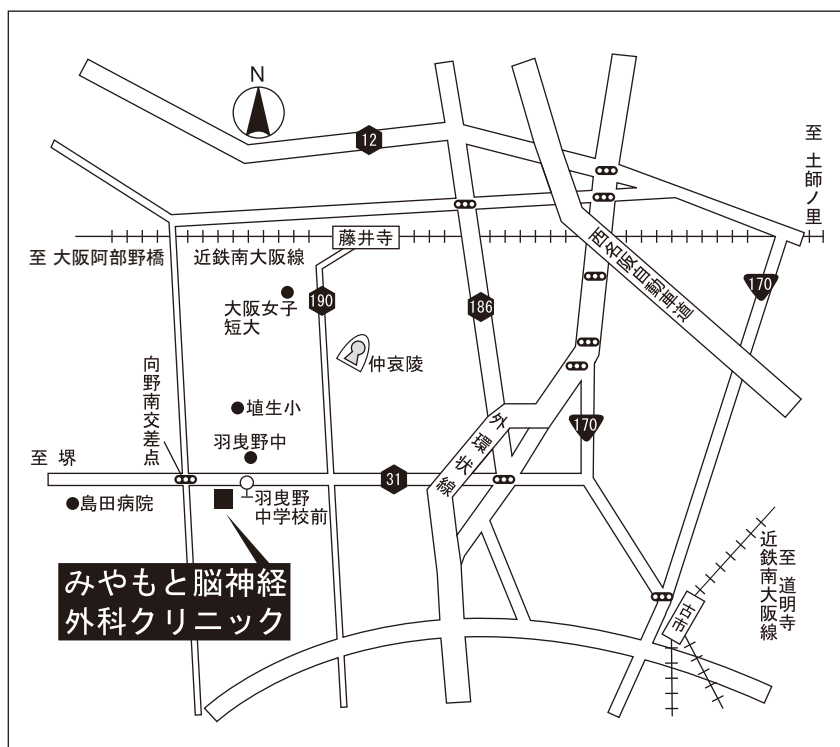
## 医療法人松本ほがらかクリニック



三 嶋 医 院

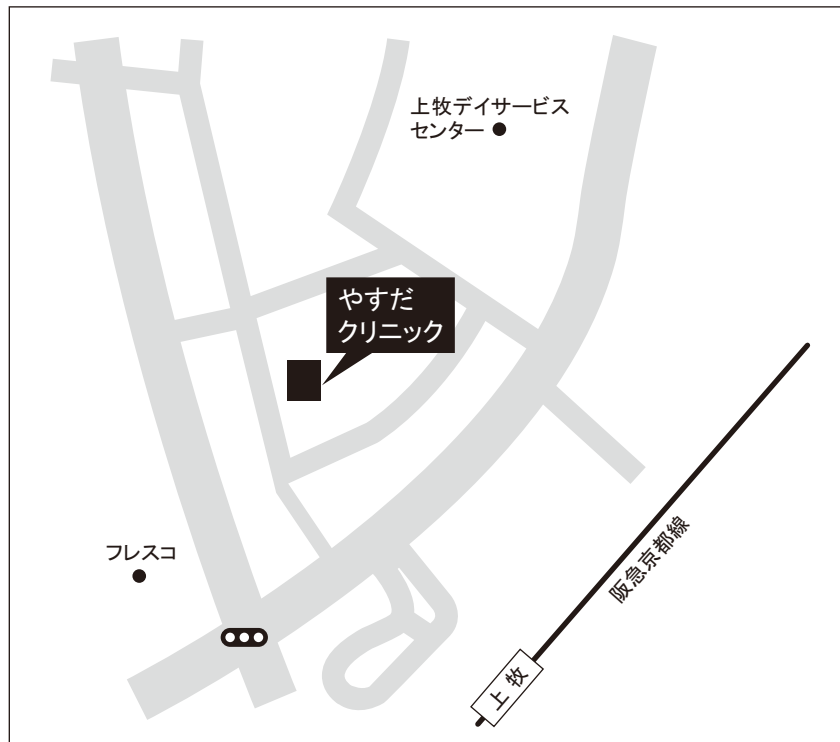


## みやもと脳神経外科クリニック





## やすだクリニック



## 医療法人蘇桂会 渡辺医院

